

総務省

我が国における青少年の インターネット利用に係るペアレンタル コントロールに関する調査

報告書

2022年5月

【委託先】 学校法人国際大学

総務省

我が国における青少年のインターネット
利用に係るペアレンタルコントロール
に関する調査

2022 年 5 月

【委託先】

学校法人国際大学



目次

本編	10
1. はじめに：調査の実施方針等.....	11
1. 1. 調査の背景と目的.....	11
1. 2. 本研究で主に明らかにすること	12
1. 3. 調査研究手法.....	14
1. 3. 1. 文献調査.....	14
1. 3. 2. 保護者・企業インタビュー調査.....	15
1. 3. 3. アンケート調査分析.....	17
1. 3. 4. 実験的調査.....	19
1. 3. 5. 有識者ヒアリング調査.....	20
2. 基礎データ：青少年の ICT 利用状況概要	22
2. 1. 青少年のインターネットに接続しているデバイス利用状況	22
2. 2. スマートフォンの利用開始時期.....	25
2. 3. 青少年のスマートフォンの通信事業者・機種.....	26
2. 4. 青少年のアプリ・サービス利用状況.....	27
3. 青少年保護者のフィルタリングサービス以外のペアレンタルコントロールの状況	30
3. 1. アプリ・サービスについての適切な管理状況.....	30
3. 2. 青少年のスマートフォン利用に関する家庭内ルールの状況.....	32
3. 3. 家庭内ルールの認知経路と情報提供媒体の需要.....	38
3. 4. 周囲にペアレンタルコントロールに詳しい人はいるか.....	41
3. 5. 有効なペアレンタルコントロールの取組が簡単にわかるフローチャート資料への 需要	43
3. 6. 家庭内ルールを守らせている人の特徴.....	44
4. フィルタリングサービスの利用状況.....	49
4. 1. フィルタリングサービスの知識・利用状況.....	49
4. 2. フィルタリングサービスで何を使っているか.....	53
4. 3. フィルタリングサービスのカスタマイズの状況.....	56
4. 4. フィルタリングサービスを利用する理由・解除した理由・利用しない理由	58
4. 5. フィルタリングサービスの認知経路と知りたいこと、情報提供媒体の需要	60
4. 6. 周囲にフィルタリングサービスに詳しい人はいるか.....	62
4. 7. 家庭内ルールとフィルタリングサービス利用の関係.....	63
5. トラブルの遭遇状況とペアレンタルコントロールの関係.....	65
5. 1. トラブルの遭遇状況.....	65

5. 2. トラブルを知った経緯と対応.....	70
5. 3. 家庭内ルール、フィルタリングサービス利用とトラブルに遭遇しないこととの関係	72
6. 実験的調査による青少年の成長や ICT 利用状況に応じたペアレンタルコントロールに 関する情報提供効果の検証.....	79
6. 1. 啓発フライヤーを見ての意識変化.....	79
6. 2. 啓発フライヤーへの評価.....	81
7. 保護者インタビュー分析.....	85
7. 1. 保護者インタビューから見えてきたストーリー.....	85
7. 1. 1. 青少年と ICT.....	85
7. 1. 2. リスク・トラブルエピソード.....	88
7. 1. 3. ペアレンタルコントロール.....	93
7. 1. 4. フィルタリングサービス.....	95
7. 2. 保護者の経験からのニーズ.....	97
7. 2. 1. コンテンツ・機能・方針に関するニーズ.....	97
7. 2. 2. 情報提供に関するニーズ.....	100
7. 3. 保護者インタビュー個別データ（全 20 件）.....	103
7. 3. A【男児・未就学・フィルタリングサービス導入中】.....	103
7. 3. B【男児・未就学児・フィルタリングサービス未導入】.....	105
7. 3. C【女児・未就学児・フィルタリングサービス導入中】.....	107
7. 3. D【女児・未就学児・フィルタリングサービス導入中】.....	110
7. 3. E【男児・小学校低学年・フィルタリングサービス解除】.....	112
7. 3. F【男児・小学校低学年・フィルタリングサービス未導入】.....	114
7. 3. G【女児・小学校低学年・フィルタリングサービス導入中】.....	116
7. 3. H【女児・小学校低学年・フィルタリングサービス未導入】.....	118
7. 3. I【男児・小学校高学年・フィルタリングサービス導入中】.....	120
7. 3. J【男児・小学校高学年・フィルタリングサービス解除】.....	123
7. 3. K【女児・小学校高学年・フィルタリングサービス導入中】.....	126
7. 3. L【女児・小学校高学年・フィルタリングサービス解除】.....	128
7. 3. M【男児・中学生・フィルタリングサービス導入中】.....	131
7. 3. N【男児・中学生・フィルタリングサービス解除】.....	134
7. 3. O【女児・中学生・フィルタリングサービス解除】.....	136
7. 3. P【女児・中学生・フィルタリングサービス未導入】.....	140
7. 3. Q【男児・高校生・フィルタリングサービス解除】.....	141
7. 3. R【男児・高校生・フィルタリングサービス解除】.....	144
7. 3. S【女児・高校生・フィルタリングサービス導入中】.....	146

7. 3. T【女兒・高校生・フィルタリングサービス未導入】	149
8. 企業インタビュー分析.....	152
8. 1. サービスの背景と特徴5点.....	153
8. 1. 1. 「使わせない」ではなく「使いながら守る」	153
8. 1. 2. 「プライバシーを守りながら SNS 利用を分析・見える化」する特許技術	153
8. 1. 3. 利用許可は「保護者」だけでなく「子供」にも同意をもらう	154
8. 1. 4. 利用状況にあわせて「アドバイス情報」を付与.....	155
8. 1. 5. 1年後の導入継続率は約90%を超える	156
8. 2. フィルタリング導入率向上およびより良い青少年の ICT 環境のために.....	156
8. 2. 1. 保護者の「危機意識の醸成・必要性の理解」と「フィルタリング・ペアレンタルコントロールサービスの設定力」の双方が重要.....	156
8. 2. 2. まずは「使ってもらふ」ことが大切。そのために「具体サービス名を含めたソリューション」を提示する.....	156
8. 2. 3. 「コントロール」ではなく対話と心理的安全性による「見守り」を	157
9. MVNO におけるフィルタリングサービス提供状況と工夫.....	158
9. 1. 提供サービスの概要.....	158
9. 2. 各社のフィルタリングサービス紹介ページの特徴.....	160
9. 3. 申込促進の工夫.....	162
10. 調査研究結果から得られる政策的含意.....	167
10. 1. 全体施策：青少年トラブルを減らすためには、フィルタリングサービスの導入促進と家庭内ルールの啓発を共に行う	167
10. 2. 対象：低年齢層への啓発をより充実させる	167
10. 3. 内容①：注意喚起に関しては、実際に遭いやすい「SNS・メッセージトラブル」と「利用過多」を優先的に啓発する	168
10. 4. 内容②：対策に関しては、保護者のニーズの高い情報を優先し且つ「設定サンプル」など具体事例とともに啓発する	168
10. 5. 内容③：アプリの推奨年齢・対象年齢を守ることの重要性を啓発する	169
10. 6. 内容④：フィルタリングサービスの効果・カスタマイズ方法・設定方法を分かりやすく啓発する	169
10. 7. 啓発経路：対面での説明会の充実と共に、オンラインでの動画を含めた媒体・手段で、広範囲にリーチする.....	170
10. 8. 開発①：親子で端末共用している家庭を踏まえ、フィルタリングサービスの ON/OFF が簡単にできるサービスの開発を促す.....	170
10. 9. 開発②：人気サービスの子供向けアプリ・サービスの開発や、子供向け機能の開発を促進する	171

10. 10. 教育：青少年自身が危機意識を醸成できるような教育や対話の場を作る	171
10. 11. 調査・コンテンツ開発：青少年の新たな環境に関する調査や、具体的なリスクなどについてわかりやすいコンテンツの開発を進める	172
付録	174
A1. アンケート調査票.....	175
A2. 実験的調査における提供資料・追跡調査票.....	234
A2. 1. 提供資料（啓発フライヤー資料）	234
A2. 2. 追跡調査票.....	236
A3. 保護者インタビュー調査票の概要.....	248
A4. 企業インタビュー調査票.....	252

本編

1. はじめに：調査の実施方針等

1. 1. 調査の背景と目的

青少年の安心安全なインターネット利用環境整備については、今後 3 年間に重点的に取り組むべき施策を明らかにすることを目的として、2021 年 6 月 7 日に「青少年が安全に安心してインターネットを利用できるようにするための施策に関する基本的な計画(第 5 次)」が決定されている。本計画における特に留意すべき取組の観点として、次の 3 点が定められている。

- ① 法改正を踏まえたフィルタリング利用率向上のための取組の更なる推進
- ② 青少年のインターネットを適切に活用する能力の向上促進
- ③ ペアレンタルコントロール¹による対応の推進

これを踏まえて、フィルタリングの利用促進のみならず、青少年のインターネット利用環境の急速な変化を考慮し、青少年がインターネット上のサービスを利用することを前提としたサービス・コンテンツ利用に関する取組を進める必要がある。以上の認識の下、総務省においては、「青少年のフィルタリング利用促進のための課題及び対策」(2019 年 8 月 青少年の安心・安全なインターネット利用環境整備に関するタスクフォース)の公表以降に生じた環境変化を踏まえ、新たな課題と、それを解決するために官民で取り組むべき対策を整理した「青少年の安心・安全なインターネット利用環境整備に関する新たな課題及び対策」(2021 年 7 月 青少年の安心・安全なインターネット利用環境整備に関するタスクフォース)を新たに策定・公表している。

本調査では、「青少年の安心・安全なインターネット利用環境整備に関する新たな課題及び対策」に基づき、我が国におけるペアレンタルコントロールに関する実態として、次の 3 点について調査分析を行う。

- ① 青少年の ICT 利活用の普及に伴い生じるリスクの確認と必要な措置
- ② 子供の成長や利用状況に即したペアレンタルコントロールのベストプラクティス
- ③ 保護者によるペアレンタルコントロールの実態調査及び低年齢層の保護者への啓発を促進するために有効な取組

そして有識者ヒアリングを行った上で、保護者が子供の成長や ICT 利用状況に即した適切なペアレンタルコントロールを行うことができるよう、官民の取組の促進に資すること

¹ ここでいうペアレンタルコントロールとは、保護者が青少年のライフサイクルを見通して、その発達段階に応じてインターネット利用を適切に管理することを指す。フィルタリング(カスタマイズを含む)等の技術的措置及び家庭内ルール作り等の非技術的措置で構成されている。

を目的として実施する。

1. 2. 本研究で主に明らかにすること

本調査研究では、A～RR を含む①～③を明らかにすることで、我が国におけるペアレンタルコントロールに関する実態を詳細に解明する。

- ① 青少年の ICT 利活用の普及に伴い生じるリスク及び当該リスクに対する必要な措置
 - ② 子供の成長や ICT 利用状況に即した、ペアレンタルコントロールの実態及びベストプラクティス、並びに適切なフィルタリングサービス・ペアレンタルコントロールサービス、優良フィルタリングサービス・ペアレンタルコントロールサービス事例及び設定率の高いフィルタリングサービス・ペアレンタルコントロールサービスの分析
 - ③ 保護者によるペアレンタルコントロールの実態及び低年齢層の子供の保護者への啓発を促進するために有効な取組
-
- A) 青少年の ICT 利用状況はどのように整理するのが適切か。
 - B) 青少年の ICT 利活用においてどのようなリスクが存在しており、トラブルは統計的にどれくらい発生しているのか。また、そのリスクは青少年の学齢や ICT 利用状況によってどのように分類されるか。
 - C) 青少年の ICT 利活用に関するそれぞれのリスクに対して、どのような対策が有効といわれているか。
 - D) 保護者は青少年のリスクとして何が怖いと考えているか。
 - E) 青少年は実際にどのようなトラブルに遭遇しているか。
 - F) 上記 D～E は青少年の学齢や ICT 利用状況によってどのように異なるか。
 - G) 青少年が実際に遭遇したトラブルに対して、どのように対応したか。そのトラブル対応はどのような結果を生んだか。
 - H) ペアレンタルコントロールとしてどういったものがあり、青少年の年齢や ICT 利用状況によって適切といわれるペアレンタルコントロールはどうなっているか。
 - I) 保護者はペアレンタルコントロールとして何をしているか。
 - J) 保護者はペアレンタルコントロールで特に何が重要と考えているか（各ペアレンタルコントロール項目に対する重要性評価）。
 - K) 保護者は事業者から提供されているペアレンタルコントロール機能について、何を使っているか。
 - L) 上記 I～K は青少年の学齢や ICT 利用状況によってどのように異なるか。
 - M) 保護者のフィルタリングサービス利用状況はどうなっているか（利用中・解除・利用したことがない）。
 - N) 保護者はどのフィルタリングサービスを利用しているか。

- O) 保護者はフィルタリングサービスのどの機能を利用しているか・どのレベルを設定しているか・カスタマイズをしているか。
- P) 保護者はフィルタリングサービスで特に重要な機能は何だと思うか（各機能に対する重要性評価）。
- Q) 保護者は現在利用中のフィルタリングサービスをどのように評価しているか（総合的な評価、ポジティブポイント、ネガティブポイント）。
- R) 保護者は現在利用中のフィルタリングサービスをなぜ利用しているのか。
- S) フィルタリングサービスを解除した保護者はなぜ解除したか。
- T) 上記 M～S は青少年の学齢や ICT 利用状況によってどのように異なるか。
- U) 保護者はペアレンタルコントロールやフィルタリングサービスに詳しい人としてどのような人が周りにいるか。
- V) 上記 U は青少年の学齢や ICT 利用状況によってどのように異なるか。
- W) 上記 U はペアレンタルコントロール実施行動やフィルタリングサービス利用行動とどのように関係しているか。
- X) 保護者の実施しているペアレンタルコントロールについて、青少年のトラブル遭遇率を低下させる有効な項目は何か。
- Y) フィルタリングサービスの利用、青少年のインターネット利用時間、親と子の関係など、様々な要素が青少年のトラブル遭遇率にどのような影響を与えているか。
- Z) 上記 X～Y は青少年の ICT 利用状況によってどのように異なるか。
- AA) 申し込み率・有効化率の高いフィルタリングサービス（優良フィルタリングサービス）にどういったものがあるか。
- BB) 申し込み率・有効化率の高いフィルタリングサービスはどのような特徴を持っており、どのような申し込み画面となっているか。申し込み率・有効化率を高めるためにどのような工夫をしているか。
- CC) 保護者へのペアレンタルコントロール啓発のために現在どのような取り組みや資料があるか。
- DD) 保護者はペアレンタルコントロールについてどのような場、資料で知ったか。
- EE) 保護者はペアレンタルコントロールについてどのような場、資料で知られると良いと考えているか。
- FF) 保護者はペアレンタルコントロールで特に何について知りたいと考えているか。
- GG) 保護者はフィルタリングサービスについてどのような場、資料で知ったか。
- HH) 保護者はフィルタリングサービスについてどのような場、資料で知られると良いと考えているか。
- II) 保護者はフィルタリングサービスで特に何について知りたいと考えているか。
- JJ) 保護者は自分の子供の学齢やインターネット利用状況に応じた、有効なペアレンタルコントロールの取組が分かるフローチャート資料にどれくらい価値を感じるか。

- KK) 上記 DD～JJ は青少年の学齢や ICT 利用状況によってどのように異なるか。
- LL) 保護者はフローチャート資料を利用して総合的にどのように感じたか。そもそもフローチャートは必要と感じるか。
- MM) 保護者がフローチャート資料で良かった点や理解が深まったと感じる点はどこか。
- NN) 保護者がフローチャート資料で改善すべきと考える点はどこか。
- OO) どれくらいの保護者が、フローチャート資料によって自分の子供のリスクについて正しく理解できたか。
- PP) どれくらいの保護者が、フローチャート資料によって各ペアレンタルコントロールの重要性を正しく評価できるようになっているか。
- QQ) どれくらいの保護者が、フローチャート資料によって適切なペアレンタルコントロールを実施しようと考えたか。
- RR) 上記 LL～QQ は青少年の学齢や ICT 利用状況によってどのように異なるか。

1. 3. 調査研究手法

文献調査、インタビュー調査、アンケート調査、実験的調査、有識者ヒアリング調査を取り入れた、次の調査を執り行う。

1. 3. 1. 文献調査

これまで調査された各種報告書、学術論文、統計データ、海外文献、そして総務省「青少年の安心・安全なインターネット利用環境整備に関するタスクフォース」の議事録・配布資料や、内閣府「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会」の議事録・配布資料等を使った文献調査から、以下を明らかにする。尚、() 内の番号は、「1. 2. 本調査で明らかにすること」に記載した①～③のどれに対応しているかを示している。

- 青少年の ICT 利用状況はどのように分類するのが適切か。(①～③)
- 青少年の ICT 利活用においてどのようなリスクが存在しており、トラブルは統計的にどれくらい発生しているのか。また、そのリスクは青少年の年齢や ICT 利用状況によってどのように分類されるか。(①)
- 青少年の ICT 利活用に関するそれぞれのリスクに対して、どのような対策が有効といわれているか。(①)
- ペアレンタルコントロールの実態調査項目として何が適切か(どのようなペアレンタルコントロールがあるか)。青少年の年齢や ICT 利用状況によって、適切といわれるペアレンタルコントロールはどうなっているか。(②、③)
- 適切なフィルタリングサービスを調査する際必要な機能・要件項目は何か(例えば、フィルタリングサービスの機能だけでなく、UI やカスタマイズのしやすさ等も候補に入

る)。(2)

- フィルタリングサービスの総合的評価を聞く際に尋ねるべき項目は何か。(2)
- 申し込み率・有効化率の高いフィルタリングサービスは何か。それはどのような特徴を持っており、どのような申し込み画面となっているか。(2)
- 保護者がペアレンタルコントロールやフィルタリングサービスについて知る経緯としてどのようなものがあるか。(3)
- 保護者へのペアレンタルコントロール啓発のために現在どのような取り組みや資料があるか。(3)

1. 3. 2. 保護者・企業インタビュー調査

保護者インタビュー調査では、5歳～18歳の末子を持つ保護者20名を対象として実施する。青少年におけるスマートフォンをはじめとするインターネット利用状況について伺ったうえで、次の3点「リスク・トラブルに関する具体的なエピソード」「ペアレンタルコントロールに関する具体的な設定とそれによる学び」「フィルタリングサービスに関する具体的な設定とそれによる学び」について抽出した。それにより、今後必要となるフィルタリングサービスやペアレンタルコントロールのあり方について総合的かつ定性的に分析を行った。次の4段階で実施を行っている。

- (1) . 選定：調査会社および一般呼びかけ（機縁法）を通じて20名を集める。必要に応じて機縁法を用いる。
- (2) . 実施：親を対象にオンラインでの実施。1回あたり最大90分程度。ZOOM オンラインでの実施。
- (3) . アンケートへのインサイト：20名のうち3～5名程度について初期に実施し、そこから見出した項目の反映
- (4) . 分析・まとめ：全20名分について、共通して「インタビュー項目に沿った個別のまとめ」と「共通因子の抽出（重要なストーリーの抽出を想定）」の2つの観点から分析を行う。

選定においては、調査会社のモニターに対してスクリーニングを実施した。その際、青少年の学年については未就学・小学生（低学年）・小学生（高学年）・中学生・高校生の5分類、性別については男女の2分類、これら10属性においてそれぞれ2名ずつの計20名以上とした。また、インタビューの要素は前述の「性別」「年齢」のほか、「兄弟姉妹の有無」、また「リスク経験および認識の有無」「ペアレンタルコントロール実施の有無」「フィルタリングサービスの実施の有無」が因子としてかかわってくるため、以下4つの項目において制約条件としてバランスよく抽出を行った（図表1.1参照）。

図表 1.1 スクリーニングで考慮する 4 つの条件

1.兄弟の有無	兄弟姉妹いずれもない <u>一人っ子を一定数（5 名以上）入れるようにする。</u>
2.リスク・トラブル	エピソードからの学びとニーズを聞くという観点から「 <u>リスクやトラブルの経験経験がある</u> 」を優先的に選択。
3.ペアレンタルコントロール	エピソードからの学びとニーズを聞くという観点から「 <u>ペアレンタルコントロールをしている</u> 」を優先的に選択。
4.フィルタリングサービス	可能な限り「 <u>利用中</u> 」「 <u>解除</u> 」「 <u>利用していない</u> 」をバランスよく（可能な限り 1:1:1）にて選択する。

上記の設定に基づき、調査会社を通じておよそ 5,000 名対象とした web アンケートから抽出された実施数は図表 1.2 および 1.3 の通りである。

図表 1.2 保護者インタビュー調査のターゲットマトリクスと実施者数（*は共用）

子の性別	男児			女児			一
フィルタリングサービス	導入中	解除	未導入	導入中	解除	未導入	計
未就学児	1	0	1	2	0	0	4
小学校低学年	0	1	1	1	0	1	4
小学校高学年	1	1	0	1	1	0	4
中学生	1	1	0	0	1	1	4
高校生	0	2	0	1	0	1	4
性別総計	10			10			総計 20 名

図表 1.3 保護者インタビュー調査のフィルタリングサービス状況別実施者数

導入中	解除	未導入
8	7	5

インタビューは半構造化面接法（基本は ZOOM 等を用いたオンライン）で行う。調査によって、各項目についてアンケート調査による定量分析で明らかになるマクロ的な傾向だけでなく、保護者の生の意見を深く知ることができる。それにより、保護者が子供の成長や ICT 利用状況に即した適切なペアレンタルコントロールを行う上で、何が障害となっており、何に力を入れるべきか等について定性的に明らかにする。また、一部をアンケート調査

票作成前に実施することで、リスク・トラブル、ペアレンタルコントロール、フィルタリングサービス等について、文献調査結果からは漏れた設問項目を、生の声から拾い上げて設問項目設計に反映する。詳細な調査票については付録A 3を参照されたい。

企業インタビュー調査については、ペアレンタルコントロールに関するサービスを提供している事業者 1 社に対してインタビューを行い、サービスの効果や導入促進にあたっての課題などを分析を行った。詳細な調査票については付録A 4を参照されたい。

1. 3. 3. アンケート調査分析

青少年保護者を対象としたアンケート調査分析を実施する。このアンケート調査は、青少年と同居している保護者を対象とする、Web アンケート調査である。サンプルの収集にあたっては、青少年の属性に偏りが出ないように割り付けを行ったうえで、6,500 名のサンプルサイズを確保する。割り付けについては、長子年齢が未就学児（5 歳・6 歳）と小学 1 年生～高校 3 年生で、1 学年ずつ均等に割り付ける。アンケート調査のシステム構築に当たっては、セキュリティ等の機能を含める。

調査対象としたのは、調査会社並びに提携会社の保有する、20 歳～69 歳の登録モニタである。調査はインターネットで行う。まずはスクリーニング調査を実施し、以下の条件に合う保護者を抽出した。

- 子供と同居しており、且つ、長子の属性が未就学児（5 歳・6 歳）、小学 1 年生～高校 3 年生のいずれかである。
- 長子がインターネットに接続しているスマートフォンを利用している。ただし、利用とは専用に限らず、兄弟との共同での利用なども含まれる。

調査時期は 2022 年 1 月 13 日～1 月 19 日である。データクリーニング前の取得数は 7,238 人で、データクリーニング後に 6,500 人となった。データクリーニングの基準は、「ストレーン回答（マトリクス設問で全て同じ選択肢を選んでいる）が複数存在している」「回答の矛盾」である。ただし、長子が女子で小学 1 年生のサンプルが 238 件にとどまったため、長子が女子で中学 1 年生～高校 3 年生までの割付を 252 件としている。実際のサンプルサイズは以下のとおり。ただし、スクリーニングデータ 31,787 件も、第 2 章の一部の分析で利用する。

図表 1.4 サンプルサイズ

学齢	男子	女子	合計
未就学（5～6歳）	250	250	500
小学1年生	250	238	488
小学2年生	250	250	500
小学3年生	250	250	500
小学4年生	250	250	500
小学5年生	250	250	500
小学6年生	250	250	500
中学1年生	250	252	502
中学2年生	250	252	502
中学3年生	250	252	502
高校1年生	250	252	502
高校2年生	250	252	502
高校3年生	250	252	502
合計	3250	3250	6500

ただし、スクリーニングの段階で各学年（未就学含む）に応じて均等割り付けを行っているため、実社会に比べて歪んだサンプルの分布となっている。つまり、本研究では「スマートフォンでインターネットを利用している長子を持つ保護者」を対象としているわけだが、図表 1.1 のような割り付けは実際の長子のスマートフォン利用率と大きく異なる。これは第 2 章で改めて触れるが、例えば未就学児（5～6 歳）のインターネットに接続しているスマートフォンの利用率は男子が 13.1%、女子が 13.0%に対し、高校 3 年生では男子が 95.7%、女子が 95.5%である。

これをそのままに分析を行うと、未就学児の説明力が過剰に高くなってしまう。極端な例を挙げると、スマートフォンを利用している未就学児（5～6 歳）の男子でアプリ A の利用率が 100%、高校 3 年生の男子でアプリ A の利用率が 20%だった時、図表 1.1 のサンプル割り付けでそのまま平均値を算出すると、未就学児（5～6 歳）男子と高校 3 年生男子のスマートフォン利用者の 60%がアプリ A を利用していると導出される。しかしスマートフォン利用率を考慮すると、実際には未就学児（5～6 歳）男子と高校 3 年生男子のスマートフォン利用者の 29.6%がアプリ A を利用しているはずである。

このように誤った結果を導くのを防ぐため、実際の分析に当たっては各学年・性別におけるスマートフォン利用率に応じたウェイトバックを行った。ウェイトバックとは、元の構成に合わせて重み付けをして分析する手法である。例えば先ほどの事例であれば、元のスマートフォン利用率に応じて分析に重みづけをして、社会の分布に近い値（29.6%）を算出する方法である。

アンケート調査項目は、上記文献調査結果を踏まえ①～③に関連した項目である。実際のアンケート調査票は付録 A. 1. を参照されたい。

得られたデータについては、まず、基本統計量を算出して青少年保護者の傾向をつかむ。続けて、基礎情報以外の項目を中心に、クロス分析によって青少年の「学齢」や「ICT 利用状況」によって、それぞれがどのように異なるか明らかにする。

これらの調査分析によって、青少年の保護者が子供の成長や利用状況に即したペアレンタルコントロールができているか、フィルタリング機能に対する保護者のニーズ、トラブルの遭遇状況等を明らかにしていく。

また、必要に応じて青少年の「学齢」や「ICT 利用状況」のクロス分析以外の、項目間でのクロス分析も実施する。例えば、リスクに対する必要な措置 (①) を分析するため、トラブルの対応がどれほど上手くいったかについて各トラブルとその対応方法によるクロス分析を行う。

さらに、ペアレンタルコントロールのベストプラクティス (②) は、啓発促進のための取組 (③) にも生かせる重要な知見である。しかしながら、青少年の「学齢」や「ICT 利用状況」のクロス分析ではベストプラクティスまでは導出できない。そこで、トラブル遭遇経験 (あるいは、青少年のインターネット利用をどれほど適切に管理できていると考えているか) についてクロス分析を行い、どのようなペアレンタルコントロールが有効な傾向にあるか確認する。

加えて、青少年の性別、学齢やインターネット利用時間等の様々な要因もトラブル遭遇経験には影響を与えていると考えられるため、それらの要素群をコントロール変数とした回帰分析を実施し、フィルタリングサービスを含むペアレンタルコントロールの有効性や、各属性や ICT 利用状況がトラブル遭遇とどう関連しているかを定量的に検証する。

1. 3. 4. 実験的調査

アンケート調査分析結果を踏まえ、500 名の保護者を対象に、大規模実証実験を行う。実証実験では、子供の成長や ICT 利用状況に応じたペアレンタルコントロールを選べる啓発フライヤー資料を提供したうえで、その後の保護者等のペアレンタルコントロールに対する意識の変化や影響について調査し、その結果を分析することにより、解明する。分析に当たっては資料の啓発効果の検証が中心となるが、資料そのものに対する評価・改善してほしい点も収集し、それらを踏まえて、啓発フライヤー資料に修正すべき箇所があれば、反映する。

仕様書よりも人数を 5 倍と大幅に増やしているのは、少人数に対する実証実験では、青少年の年齢や ICT 利用状況を加味した偏りのないサンプルの確保が困難なためである。つまり、対象の選定にあたっては、啓発フライヤー資料の効果は青少年の年齢や ICT 利用状況によって得られる結果が異なることが予想されるため、年齢や ICT 利用状況に応じて一定

のサンプルサイズが確保されることが望ましい。

情報の提供に当たっては、A4、2 ページ程度の分量の啓発フライヤー資料を作成し、使用する。本資料の作成にあたっては、実験という性質を踏まえた構成にするよう工夫をし、有識者の監修を受けたうえで、デザイナーによる提供資料の制作も行って、「保護者が容易に理解できる」ものを提供するようにする。

その後、情報をよく読んだうえで、青少年の ICT 利用状況に応じて、各ペアレンタルコントロールへの意識がどのように変化するか、必要なペアレンタルコントロール実施意向はどうか、資料に対してどのように評価してどう改善してほしいと考えたか等を追跡アンケート調査する。得られたデータを統計的に分析することで、啓発フライヤー資料がペアレンタルコントロールの実施意向や認識にどれほど寄与するか等を定量的に明らかにする。尚、追跡アンケート調査に当たっては、フローチャート資料に関するクイズを出題し、不正解の者（しっかり資料を読んでいない者）が回答に至らないように工夫をする。

調査時期は 2022 年 3 月 1 日～3 月 4 日である。アンケート調査の対象とした 6,500 名の内、以下の割付で取得した 500 名に対して実施する。尚、分析にあたってはアンケート調査分析と同様のウェイトバックをしている。

図表 1.5 実験的調査でのサンプルサイズ

年齢層	男子	女子	合計
未就学（5～6歳）	50	50	100
小学低学年	50	50	100
小学高学年	50	50	100
中学	50	50	100
高校	50	50	100
合計	250	250	500

1. 3. 5. 有識者ヒアリング調査

青少年のインターネット利用やフィルタリングサービスに関する有識者 5 名以上に対して、調査前後において 2 回以上、ヒアリングを実施する。ヒアリングについては、有識者会議を開催し、全ての有識者が参加する意見交換によって実施する。

調査前においては、効果的な調査結果を得るための調査項目や調査手法等の意見を聴取する。聴取内容は迅速に整理し、適宜アンケート調査項目に効果的に取り入れる。

調査後においては、調査結果の分析・解釈、ヒアリング結果を踏まえ、フィルタリングサービスの利用を促進するための効果的な方策等に関する意見を聴取する。

最終的には、有識者ヒアリングで聴取した意見を取りまとめ、インターネットの利用に関わる有害情報やフィルタリングサービスに対する保護者の認識を踏まえたフィルタリング

サービスの利用を促進するための方策等、今後の効果的なフィルタリングサービスの利用普及に係る政策の参考にするために、現状を整理する。

本有識者会議の参加者は以下のとおりである。

<委員>

- 小木曾 健 国際大学 GLOCOM 客員研究員
- 尾花 紀子 ネット教育アナリスト
- 鈴木 朋子 IT ライター・スマホ安全アドバイザー
- 田中 辰雄 慶應義塾大学経済学部 教授
- 曾我部 真裕 京都大学大学院法学研究科 教授
- 松岡 英治 一般社団法人 安心ネットづくり促進協議会 部長
- 森 亮二 英知法律事務所 弁護士

<オブザーバー>

- 総務省総合通信基盤局電気通信事業部消費者行政第一課

<国際大学グローバル・コミュニケーション・センター>

- 山口 真一 国際大学 GLOCOM 准教授・主任研究員
- 渡辺 智暁 国際大学 GLOCOM 教授・主幹研究員・研究部長
- 青木 志保子 国際大学 GLOCOM 主任研究員

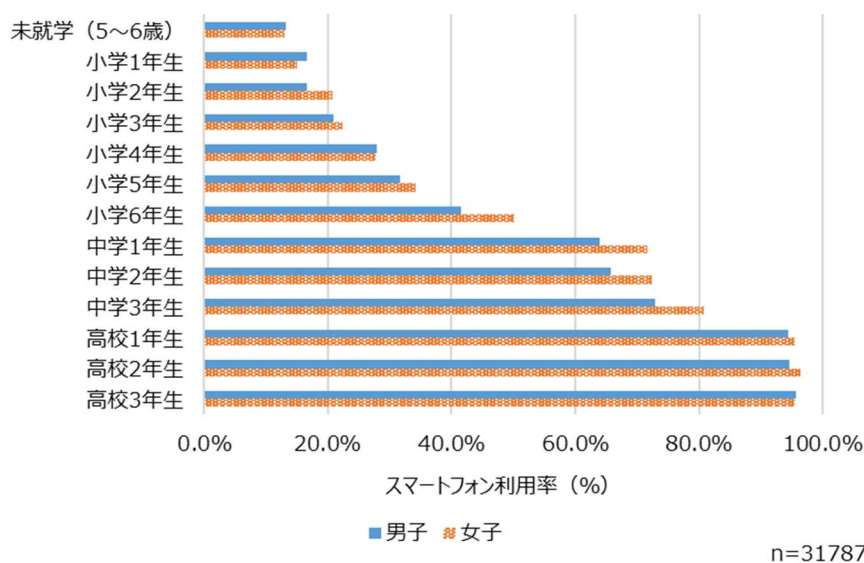
2. 基礎データ：青少年の ICT 利用状況概要

本章では、青少年の ICT 利用状況がどのようになっているか、その概要を見ていく。

2. 1. 青少年のインターネットに接続しているデバイス利用状況

まず、スクリーニング調査において未就学（5～6 歳）～高校 3 年生までで、インターネットに接続しているスマートフォン利用率がどのようになっているか示したものが図表 2.1 である。尚、ここでいう利用とは、「そのお子様専用のものを持っており、それを利用している」「兄弟姉妹で共用のものを持っており、それを利用している」「親（自分または配偶者）のスマートフォンを用いて、親が見ている前でのみ利用している」「親（自分または配偶者）のスマートフォンを用いて、一人で利用することがある」「その他の形態で利用している」「わからない」のいずれかに該当することを指す。

図表 2.1 を見ると、未就学（5～6 歳）ではおよそ 20%に満たないスマートフォン利用率が、高校 3 年生では 95%を超えていることが分かる。また、中学 1 年生、高校 1 年生といった節目で大きく変化する。



図表 2.1 青少年のインターネットに接続しているスマートフォン利用率（学年/年齢・性別別）

また、インターネットに接続しているタブレット端末、パソコン、テレビについても同様のものを示したのが図表 2.2 である²。図表 2.2 を見ると、パソコンはスマートフォンと同様

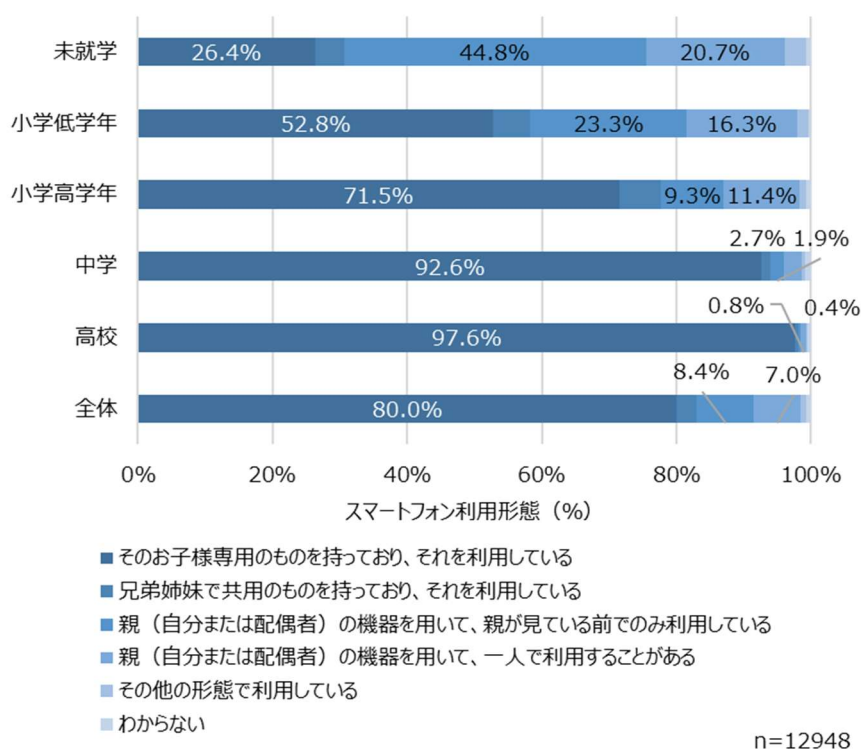
² 本調査では青少年のスマートフォン利用が主たる関心事であるが、青少年の ICT 利用状況概要に関連して、いくつかの項目ではタブレット端末、パソコン、テレビの利用状況を調査している。

に学齢・年齢が上がるにつれて利用率が増加していることが分かるが、タブレット端末とテレビは異なる推移をしているのが分かる。その背景には、図表 2.4 で後述するように、若い青少年がこれらのデバイスを親と共有して利用していることがある。また、パソコンは女子より男子の方が利用率が高い。

図表 2.2 インターネットに接続している機器の利用状況（学年/年齢・性別別）

	ネットに接続できる機器					
	タブレット端末		パソコン		テレビ	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子
未就学（5～6歳）	23.5%	23.1%	2.9%	3.0%	29.3%	27.4%
小学1年生	32.1%	31.8%	6.6%	6.2%	29.9%	28.7%
小学2年生	34.4%	33.3%	10.4%	9.2%	28.8%	28.8%
小学3年生	35.7%	38.3%	13.6%	11.8%	30.8%	28.4%
小学4年生	36.8%	39.2%	20.4%	15.1%	29.0%	26.5%
小学5年生	38.4%	39.2%	22.9%	20.9%	27.3%	24.4%
小学6年生	37.1%	35.7%	26.0%	20.1%	27.0%	22.7%
中学1年生	33.9%	33.8%	27.7%	21.6%	24.2%	21.0%
中学2年生	32.4%	35.5%	30.2%	25.2%	23.7%	18.9%
中学3年生	30.8%	29.8%	29.2%	24.1%	21.5%	17.3%
高校1年生	28.8%	31.8%	38.9%	30.0%	18.9%	22.7%
高校2年生	28.1%	32.5%	41.5%	31.7%	16.0%	17.7%
高校3年生	23.9%	26.7%	40.2%	32.2%	20.1%	19.6%

続けて、スマートフォン利用者について利用形態を調査した結果が図表 2.3 である。尚、以降未就学とは、基本的に 5～6 歳の未就学を指す。青少年の年齢によって「専用」率が単調増加し、その一方で「親と共用」が単調減少していくのが分かる（これらにはデータラベルを付けている）。特に中学生になると専用が 9 割を超える。未就学（5～6 歳）では親と共用が最も多く、親が見ている前のみと一人で利用ありを合計すると 65.5%となる。しかしこれは高校生になるとわずか 1.2%である。全体では 80.0%が専用で利用しており、青少年でも多くは自分専用のインターネットに接続しているスマートフォンを利用していることが確認された。



図表 2.3 青少年のインターネットに接続しているスマートフォン利用形態（年齢別）

図表 2.4 は同様にタブレット端末、パソコン、テレビでの傾向を見たものである。年齢が上がるにつれて親との共用が減り、青少年の専用が増えるのは変わらない。

図表 2.4 青少年のインターネットに接続しているデバイスの利用形態（年齢別）

		親共用・親の 親共用・一人					
		専用	兄弟共用	見ている前のみ	でも利用	その他	わからない
タブレット n=9811	未就学（5～6歳）	32.4%	8.3%	35.6%	22.4%	1.0%	0.3%
	小学低学年	40.2%	9.3%	24.2%	21.8%	3.7%	0.8%
	小学高学年	44.4%	10.5%	14.7%	25.9%	3.9%	0.5%
	中学	57.3%	11.7%	7.5%	20.8%	2.0%	0.7%
	高校	76.0%	8.3%	2.5%	11.8%	0.7%	0.8%
	全体	47.1%	9.9%	17.5%	21.9%	2.9%	0.7%
パソコン n=5937	未就学（5～6歳）	9.8%	1.6%	62.6%	22.0%	2.4%	1.6%
	小学低学年	22.2%	2.5%	48.4%	22.1%	3.1%	1.6%
	小学高学年	27.7%	4.6%	28.6%	36.1%	2.6%	0.5%
	中学	43.9%	3.9%	16.7%	34.0%	1.2%	0.3%
	高校	64.2%	3.3%	6.5%	24.0%	1.3%	0.7%
	全体	38.9%	3.7%	24.8%	30.0%	2.0%	0.7%
テレビ n=7778	未就学（5～6歳）	4.1%	2.0%	57.3%	32.0%	3.2%	1.3%
	小学低学年	6.4%	3.7%	42.9%	41.7%	4.4%	0.9%
	小学高学年	8.4%	5.6%	30.4%	49.2%	5.0%	1.4%
	中学	14.6%	5.9%	23.4%	49.8%	5.4%	0.8%
	高校	20.4%	5.8%	17.9%	45.5%	8.3%	2.2%
	全体	8.9%	4.4%	37.1%	43.6%	4.8%	1.2%

また、青少年が1日に利用する時間の平均値を示したものが図表 2.5 である（利用者内で

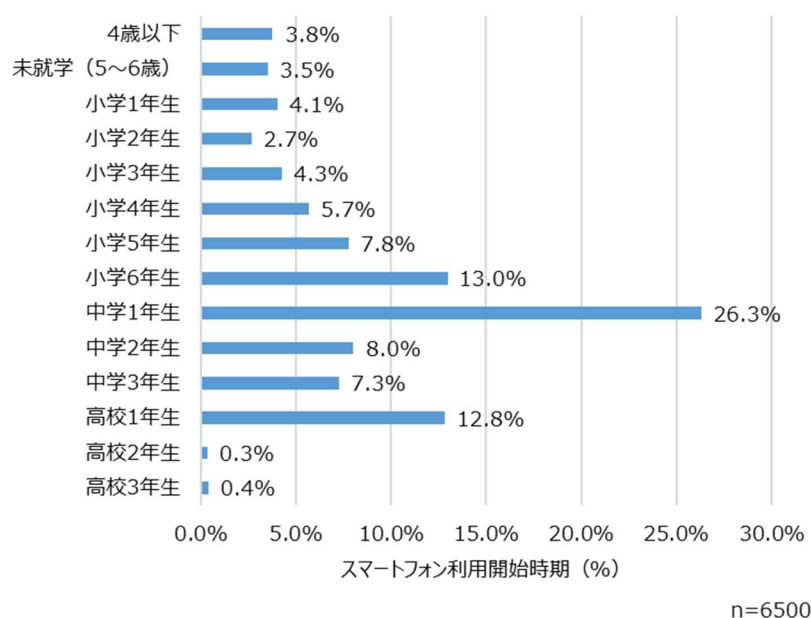
の平均値)。テレビを除く3つのデバイスで、青少年の年齢が上がるにつれて利用時間が概ね長くなっていく傾向がみられる。特に顕著なのがスマートフォンであり、未就学では0.8時間/日だったものが、高校生になると2.6時間/日となる。

図表 2.5 青少年のインターネットに接続しているデバイスの利用時間（年齢別）

	スマートフォン n=12948	タブレット端末 n=9811	パソコン n=5937	テレビ n=7778
未就学（5～6歳）	0.8	1.2	0.7	1.4
小学低学年	1.0	1.1	0.7	1.2
小学高学年	1.4	1.2	0.8	1.2
中学	2.0	1.3	1.0	1.0
高校	2.6	1.4	1.2	0.9
全体	1.8	1.2	0.9	1.2

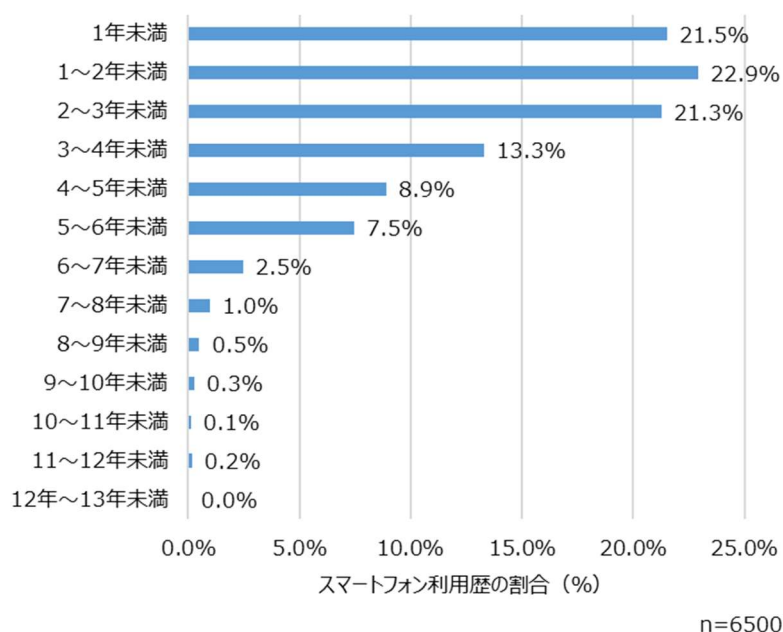
2. 2. スマートフォンの利用開始時期

以降、青少年のスマートフォン利用に限定したデータを見ていく。青少年がスマートフォンの利用を開始した時期を見ると（図表 2.6）、中学1年生が最も多く（26.3%）、次いで高校1年生（12.8%）となっている。ここでも節目でスマートフォン利用が始まる傾向が見られる。また、中学1年生までに利用を開始している青少年が7割強となっている。



図表 2.6 スマートフォンの利用開始時期（学年/年齢別）

また、利用開始から回答時点でのスマートフォン利用歴を示したのが図表 2.7 である。図表 2.7 を見ると、多くの青少年（約 65%）が利用開始から3年未満であることが確認される。



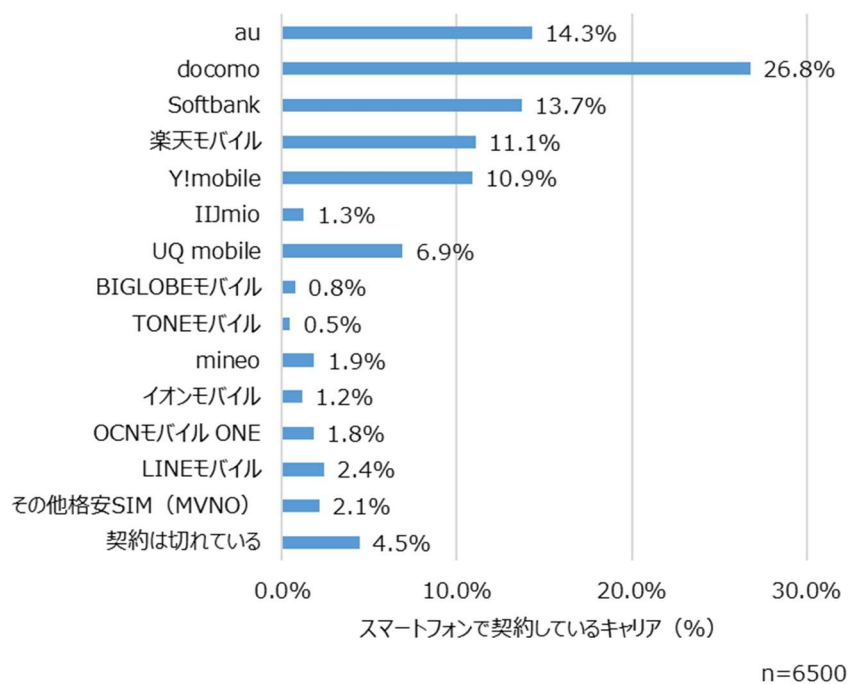
図表 2.7 スマートフォン利用歴

2. 3. 青少年のスマートフォンの通信事業者・機種

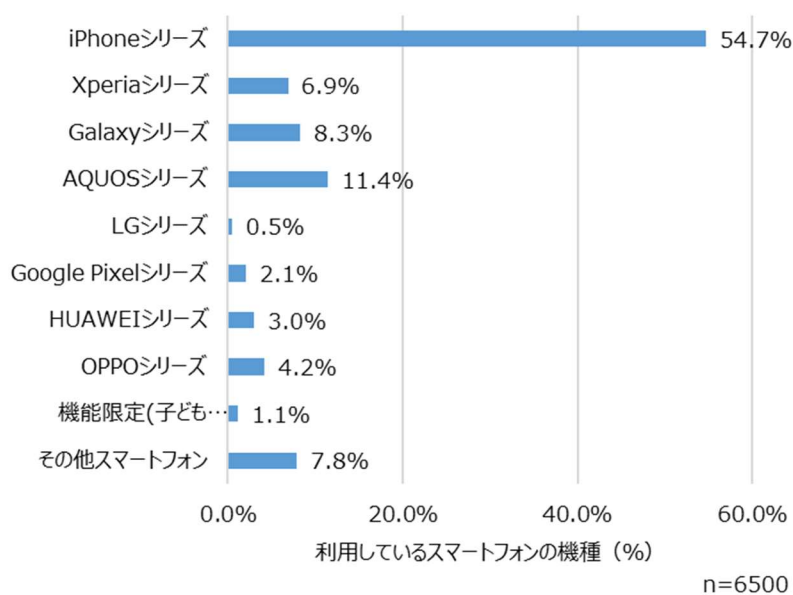
青少年が利用しているスマートフォンの通信事業者及び機種について結果を示したのが図表 2.8 と図表 2.9 である。

まず、通信事業者（図表 2.8）については「au」「docomo」「SoftBank」「楽天モバイル」の契約だけで 65.8%を占めていることが分かる。そして、SoftBank の MVNO である「Y!mobile」が 10.9%、KDDI の MVNO である「UQ mobile」が 6.9%と続く。尚、「契約は切れている」がサンプルに含まれるのは、自宅の Wi-Fi でインターネットに接続するケースがあるためである。

続けて機種（図表 2.9）では、「iPhone」シリーズが圧倒的に多く、54.7%が iPhone を利用している。ただし、他のスマートフォンの OS がほぼ 100%Android であることを考えると、OS のシェアは iOS : Android=54.7 : 45.3 となる。



図表 2.8 青少年のスマートフォンの通信事業者



図表 2.9 青少年のスマートフォンの機種

2. 4. 青少年のアプリ・サービス利用状況

青少年がスマートフォンでどのようなサービスを利用しているか調査した結果が図表 2.10 である。図表では、各年齢分類の上位 3 つのものに色付けをしている(縦に上位 3 つ)。

まず全体的な傾向を見ると、「動画共有サービス」(78.5%)、「メッセージアプリ」(70.6%)、「インターネットブラウザ・検索サービス」(58.9%)が多く、このような傾向は特に中学生・高校生で見られる。低年齢層になるとインターネットブラウザ・検索サービスの利用率は低くなり、代わりにゲームアプリが上位3つに入る。「メッセージアプリ」は多くの場合、フィルタリングサービスでは中学生まで制限対象であるが、現実としては小学生からの利用者が少なくないことが分かる。また、未就学では「学習・勉強・知育アプリ」が上位3つに入っている。

また、10種類のアプリ・サービスの利用合計数の平均値を算出したのが最下段である。これを見ると、未就学では平均して1.90種類のアプリ・サービスを利用しているのに対し、高校生になると4.56種類となっている。年齢が上がるとスマートフォン利用率が高くなるだけでなく、スマートフォンですること増えるといえる。

図表 2.10 利用しているアプリ・サービス（年齢別）

利用サービス	未就学	小学低学年	小学高学年	中学	高校	全体
動画共有サービス	80.2%	72.4%	72.1%	77.7%	82.5%	78.5%
ゲームアプリ	39.2%	47.4%	47.4%	48.8%	48.1%	48.0%
学習・勉強・知育アプリ	24.8%	20.8%	14.7%	17.3%	29.1%	22.3%
メッセージアプリ	14.0%	33.8%	58.7%	76.9%	80.0%	70.6%
SNS	5.6%	10.1%	19.8%	44.4%	59.4%	43.3%
インターネットブラウザ・検索サービス	9.2%	23.8%	44.1%	62.2%	71.1%	58.9%
フリマアプリ、ショッピング・オークションサイト	4.4%	3.7%	4.1%	9.5%	20.3%	12.7%
Eメールアプリ	4.2%	7.8%	12.1%	26.6%	40.7%	28.3%
漫画アプリ	1.8%	3.9%	7.6%	14.6%	20.0%	14.6%
その他	6.6%	5.6%	3.4%	3.1%	4.8%	4.1%
合計数の平均（種類）	1.90	2.29	2.84	3.81	4.56	3.81

n=6500

図表 2.11 は、スマートフォンの活用方法として、保護者が教えたり提案したりしているもので何があるかを調査した結果である。まず全体の傾向を見ると、「YouTube や Google Earth など、インターネット上のコンテンツを使っでの学習」(31.9%)、「勉強・学習アプリやゲームなどのアプリを通じての学習」(33.0%)、「わからないことがあったとき、インターネット検索を使って情報を得る方法」(46.7%)の3つが高く、同様の傾向は小学低学年～中学生で見られる。その一方で、未就学では検索の活用を教えている保護者が少なく、高校生では学習関連の活用を教えている保護者が少ない。また、年齢が上がるにつれて「学校からの連絡など、家族との情報共有にスマートフォンを使う」「文章作成ソフト（Word など）や表計算ソフト（Excel など）の活用方法」が多くなっていくのも特徴といえよう。

ただし、青少年が利用するアプリ・サービスの種類数と異なり、スマートフォンを活用して教えたり提案したりしているものの種類は、年齢によって必ずしも増加していない。小学低学年～高校生はほとんど横ばいとなっている。その背景には、検索、文章作成・表計算ソフト、情報共有などでの活用を教える割合は高くなる一方で、学習関連の活用を教える割合

が軒並み低くなっていることがある。

図表 2.11 スマートフォン活用方法として教えたり提案したりしているもの（年齢別）

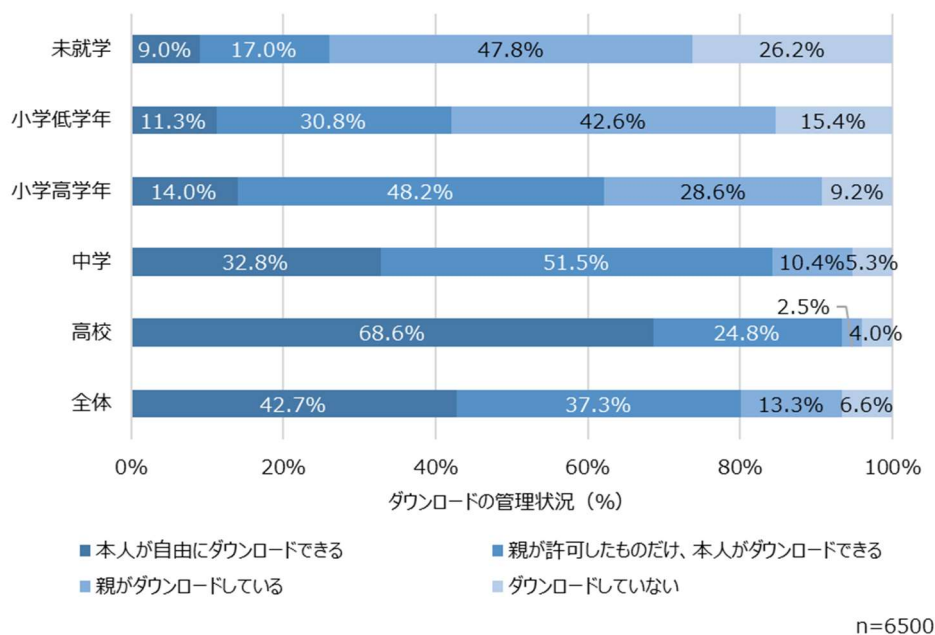
スマートフォン活用方法として教えたり提案したりしているもの	未就学	小学低学年	小学高学年	中学	高校	全体
YouTubeやGoogle Earthなど、インターネット上のコンテンツを使つての学習	37.8%	36.1%	32.5%	33.6%	29.3%	31.9%
勉強・学習アプリやゲームなどのアプリを通じての学習	44.4%	43.7%	35.0%	31.6%	30.7%	33.0%
わからないことがあったとき、インターネット検索を使って情報を得る方法	25.0%	40.1%	51.8%	49.5%	45.0%	46.7%
アプリを使って自分の勉強の進捗や時間を管理する方法	7.2%	8.0%	8.3%	9.7%	8.8%	8.9%
デジタル教科書や電子書籍など、デジタル教材を用いた学習	14.0%	13.6%	11.6%	11.7%	11.8%	12.0%
文章作成ソフト（Wordなど）や表計算ソフト（Excelなど）の活用方法	6.8%	7.1%	10.9%	11.1%	16.2%	12.8%
学校からの連絡など、家族との情報共有にスマートフォンを使う	13.6%	21.4%	22.4%	28.6%	32.9%	28.6%
その他	2.4%	2.3%	1.3%	0.9%	1.0%	1.2%
この中にはない	27.0%	20.8%	22.8%	25.3%	32.5%	27.6%
合計数の平均（種類）	1.51	1.72	1.74	1.77	1.76	1.75

n=6500

3. 青少年保護者のフィルタリングサービス以外のペアレンタルコントロールの状況

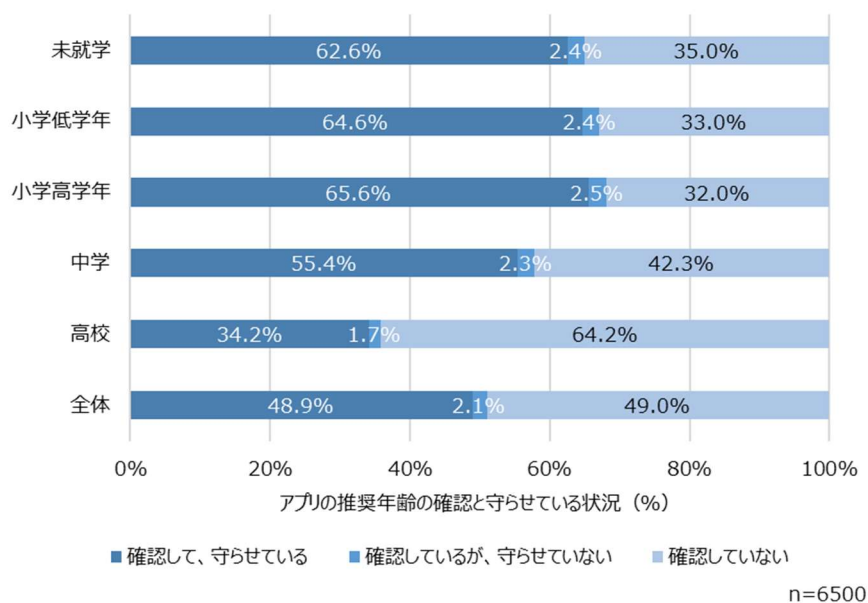
3. 1. アプリ・サービスについての適切な管理状況

図表 3.1 は、青少年のスマートフォン利用において、アプリのダウンロードをどのように管理しているか示したものである。図表 3.1 から、年齢が上がるにつれて「本人が自由にダウンロードできる」割合が高くなっていることが分かり、特に高校生になると 68.6%はアプリのダウンロードに関して親の管理がなされていない。一方、未就学でも 9.0%は「本人が自由にダウンロードできる」状態となっている。全体では 42.7%が「本人が自由にダウンロードできる」、37.3%が「親が許可したものだけ、本人がダウンロードできる」となっており、本人がダウンロードしているケースが 76.0%となっている。



図表 3.1 ダウンロードの管理状況（年齢別）

続けて、アプリ・サービスの対象とする年齢や推奨する年齢に関して、確認しているか、そして確認したものは守らせているかを示したものが図表 3.2 である。利用が推奨されないアプリ・サービスが多い中学生までは確認して守らせている割合が高いが高校生になるとあまり確認していないことが分かる。また、未就学～小学生であっても、32.0～35.0%はアプリ・サービスの対象年齢・推奨年齢を確認していない。



図表 3.2 アプリの推奨年齢の確認と守らせている状況（年齢別）

図表 3.3 は、フィルタリングサービス以外の機能的対策の実施状況を示している。図表 3.3 からは、どの年齢でも「利用していない」が突出して高いことが分かる。また、特に高校生では 81.5%がいずれも利用していない。とっている対策に年齢による大きな違いはなく、全体的には「アプリ内の設定をしている」(15.4%)と「時間管理アプリや機能を導入している」(13.3%)が多く、どの年齢でもこれらの利用率は高い。ただし、未就学と小学低学年については、「時間管理アプリや機能を導入している」は相対的に少なく、代わりに「子供用のアプリ（KIDS バージョンなど）を利用している」が多い。

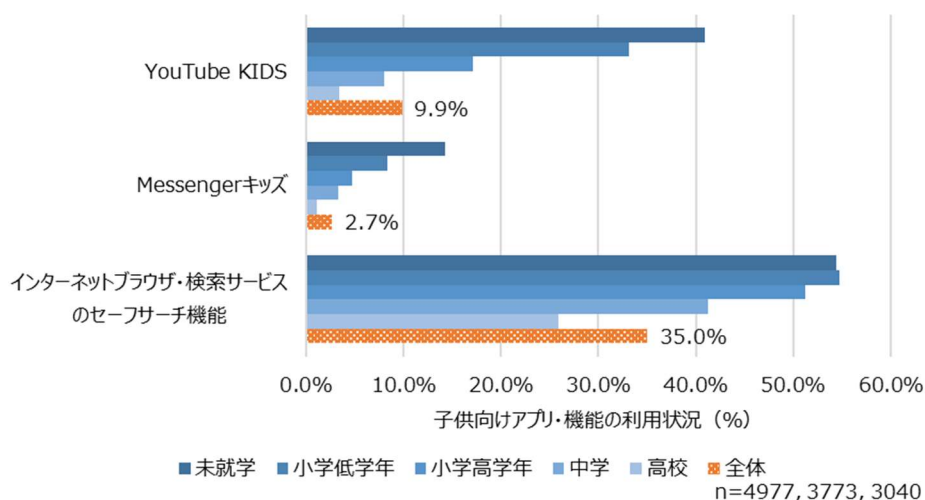
図表 3.3 フィルタリングサービス以外の機能的対策（年齢別）

フィルタリングサービス以外の機能的対策	未就学	小学低学年	小学高学年	中学	高校	全体
アプリ内の設定をしている	14.4%	20.0%	22.9%	19.6%	8.7%	15.4%
SNSの利用監視サービス（Filli等）を導入している	8.4%	8.5%	8.2%	7.6%	4.3%	6.4%
時間管理アプリや機能を導入している	10.6%	15.0%	18.0%	17.5%	8.3%	13.3%
子供用のアプリ（KIDSバージョンなど）を利用している	23.4%	19.1%	13.4%	6.0%	2.0%	6.9%
その他	1.2%	1.5%	1.8%	2.9%	2.3%	2.3%
利用していない	60.6%	58.0%	56.9%	63.0%	81.5%	69.4%

子供用アプリの利用状況についてより詳細に調査するため、青少年が「動画共有サービス」「メッセージアプリ」「インターネットブラウザ・検索サービス」を利用していた人に、それぞれ「YouTube Kids」「Messenger キッズ」「インターネットブラウザ・検索サービスのセーフサーチ機能」を利用しているかどうか調査した結果が図表 3.4 である。分母はそれぞれ「動画共有サービス」「メッセージアプリ」「インターネットブラウザ・検索サービス」の利用者である。

図表 3.4 を見ると、「インターネットブラウザ・検索サービスのセーフサーチ機能」の利

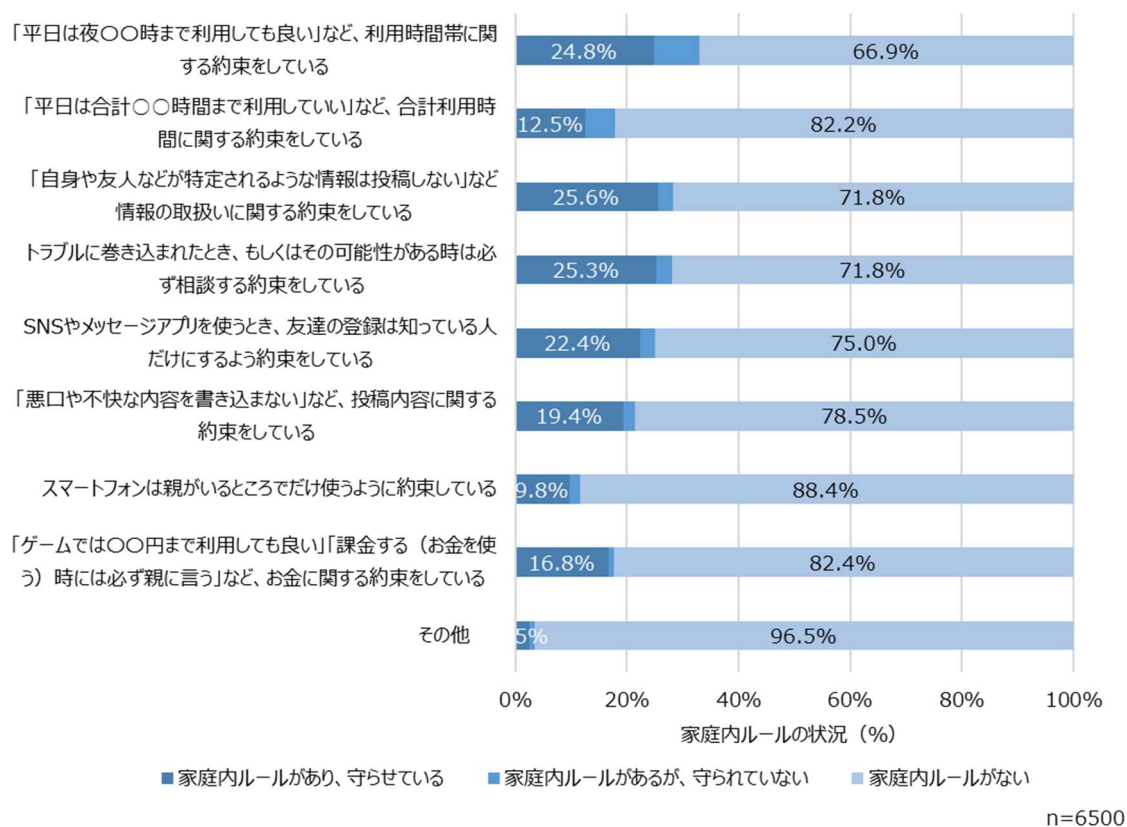
利用率は高い（35.0%）ものの、「YouTube KIDS」（9.9%）、「Messenger キッズ」（2.7%）の利用率は低いことが分かる。ただし、両方とも対象年齢が13歳未満であることや、そもそも「メッセージアプリ」利用者の中で「Messenger」利用者が少ないことには留意する必要がある。未就学での「YouTube KIDS」利用率は40.9%と比較的高い。ただし、まだ対象であるにもかかわらず、小学高学年では17.1%にまで低下する。



図表 3.4 子供向けアプリ・機能の利用状況（年齢別）

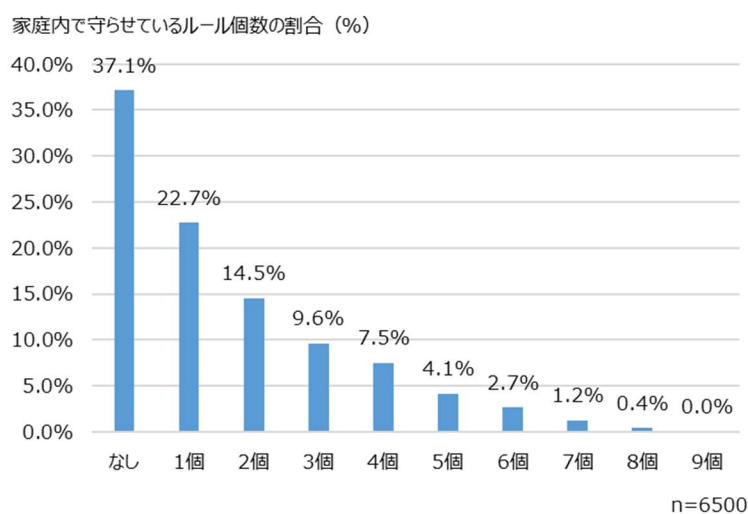
3. 2. 青少年のスマートフォン利用に関する家庭内ルール状況

図表 3.5 は、青少年のスマートフォン利用に関する家庭内ルール状況についてまとめたものである。図表 3.5 からは、特に守らせているものとして「利用時間帯に関する約束」（24.8%）、「情報の取り扱いに関する約束」（25.6%）、「トラブル時は必ず相談する約束」（25.3%）が挙げられる。ただしこれらも約25%であり、高くはない。また、「利用時間帯に関する約束」は多いものの、「合計利用時間に関する約束」（12.5%）は少ない。



図表 3.5 青少年のスマートフォン利用に関する家庭内ルールの状況

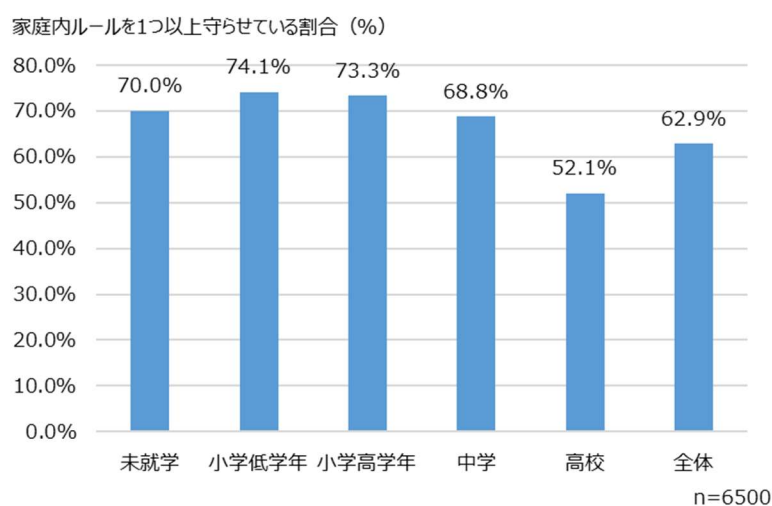
とはいえ、家庭内ルールを1つも作っていない家庭は少ない。図表 3.6 は、その他にも含めて家庭内ルールを守らせている個数の分布を示したものである。家庭内ルールがない家庭は 37.1%にとどまり、60%以上の家庭では何らかのルールが守られている。



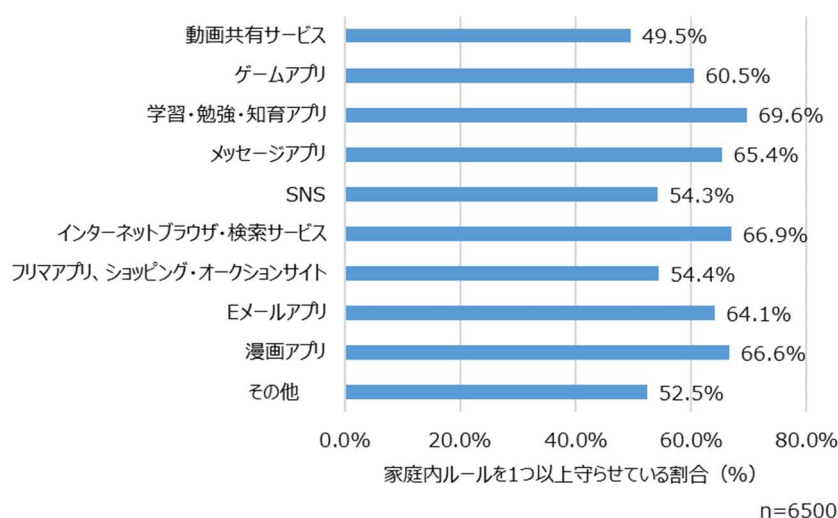
図表 3.6 家庭内で守らせているルール個数

家庭内でのルールが1つ以上守られている割合を、年齢別に見たものが図表 3.7、青少年の利用アプリ・サービス別に見たものが図表 3.8 である。まず図表 3.7 からは、未就学から中学生までは約 70%の家庭で1つ以上の家庭内ルールが守られている一方で、高校生になると約半分の家庭にルールがないことが分かる。

アプリ・サービスでも違いが出ている。「学習・勉強・知育アプリ」(69.6%)、「メッセージアプリ」(65.4%)、「インターネットブラウザ・検索サービス」(66.9%)では家庭内ルールが守られている確率が高い一方で、「動画共有サービス」(49.5%)、「SNS」(54.3%)、「フリマアプリ、ショッピング・オークションサイト」(54.4%)では低い。後者の3つでもインターネットの使い過ぎや、いじめなどコミュニケーション上のトラブル、支払いに関するトラブルなどが考えられるが、あまり家庭内ルールは設けられていないといえる。



図表 3.7 家庭内ルールを1つ以上守らせている割合 (年齢別)



図表 3.8 家庭内ルールを1つ以上守らせている割合 (アプリ・サービス別)

続けて、それぞれの家庭内ルールについて、守らせている割合が年齢別、アプリ・サービス別にどのようなになっているか示したのが図表 3.9 と図表 3.10 である。

図表 3.9 からは、年齢層によって傾向が異なり、未就学と小学低学年という低年齢層では、「利用時間帯に関する約束」「合計利用時間に関する約束」「親がいるところだけで使う」が多い一方で、小学校高学年以上になると「情報の取り扱いに関する約束」や「トラブル時に必ず相談する約束」が多くなる。小学校高学年以上の傾向について、前者は、SNS 利用者が増えることに起因すると考えられる、また、後者は親と共用ではない利用や、親がいるところ以外でも使う機会が増えるためと思われる。

全体的に未就学（1.15 個）と高校生（1.24 個）では守らせている家庭内ルール数が少ない一方で、小学高学年では最も多い（1.97 個）という、逆 U 字型になっている。高校生は子供が成長していることもあり、保護者が安心と考えていたり、子供にルールを守らせるのが困難だったりするのだろう。その一方で、未就学については、後述するように家庭内ルールを知るきっかけが少ないことが起因していると思われる。

図表 3.10 からは、どのアプリ・サービスでも概ね「利用時間帯に関する約束」「情報の取り扱いに関する約束」「トラブル時は必ず相談する約束」は多いことが分かる。動画共有サービス、ゲームアプリ、学習・勉強・知育アプリでは「親がいるところだけで使う」が多いが、これは低年齢層の利用率が高いためと考えられる。

また、特に動画共有サービスとゲームアプリについては、家庭内ルール数が少ない傾向にある。しかしこれらの利用に際しても様々なトラブルが発生することは十分に考えられ、適切な家庭内ルールが設けられていない可能性がある。

図表 3.9 家庭内ルールを守らせている状況（年齢別）

家庭内ルール	未就学	小学低学年	小学高学年	中学	高校
利用時間帯に関する約束	29.4%	35.2%	36.8%	31.8%	12.8%
合計利用時間に関する約束	23.6%	25.7%	20.4%	14.0%	5.4%
情報の取り扱いに関する約束	2.4%	15.9%	27.2%	30.1%	24.6%
トラブル時は必ず相談する約束	5.0%	17.4%	26.1%	28.8%	24.9%
友達の登録は知っている人だけ	2.6%	18.2%	30.7%	28.0%	16.9%
投稿内容に関する約束	1.8%	9.1%	18.1%	24.9%	18.5%
親がいるところだけで使う	41.8%	31.8%	17.2%	8.6%	2.2%
お金に関する約束	3.4%	11.4%	18.2%	18.2%	16.9%
その他	4.6%	3.5%	2.7%	2.7%	2.1%
合計数の平均（個）	1.15	1.68	1.97	1.87	1.24

n=6500

図表 3.10 家庭内ルールを守らせている状況（アプリ・サービス別）

家庭内ルール	動画共有サービス	ゲームアプリ	学習・勉強・知育アプリ	メッセージアプリ	SNS	インターネットブラウザ・検索サービス	フリマアプリ・ショッピング・オークションサイト	メールアプリ	漫画アプリ	その他
利用時間帯に関する約束	24.0%	22.9%	32.1%	31.0%	19.9%	27.8%	10.8%	24.0%	24.5%	13.8%
合計利用時間に関する約束	12.5%	17.1%	25.4%	15.1%	10.3%	12.4%	6.6%	11.1%	12.9%	8.4%
情報の取り扱いに関する約束	7.9%	10.2%	10.8%	22.3%	18.0%	29.8%	23.0%	33.5%	30.3%	23.8%
トラブル時は必ず相談する約束	8.1%	8.8%	12.4%	21.9%	21.0%	26.9%	26.2%	30.4%	35.7%	25.7%
友達の登録は知っている人だけ	5.6%	8.0%	6.5%	29.9%	16.7%	27.1%	16.3%	26.0%	23.9%	18.0%
投稿内容に関する約束	3.3%	6.3%	7.5%	15.5%	17.3%	22.1%	19.0%	23.2%	26.4%	21.2%
親がいるところで使う	15.4%	20.3%	25.7%	15.0%	6.6%	10.6%	2.8%	5.6%	4.9%	8.7%
お金に関する約束	8.0%	11.8%	3.1%	14.0%	12.5%	17.7%	18.9%	19.3%	24.7%	11.6%
その他	1.9%	2.6%	3.6%	2.6%	1.9%	2.8%	1.6%	2.5%	1.5%	6.9%
合計数の平均（個）	0.87	1.08	1.27	1.67	1.24	1.77	1.25	1.75	1.85	1.38

n=6500

図表 3.11 では、各家庭内ルールを重要だと考えている人の割合を上段で示しており、下段では実際に守らせているルールの割合から重要だと考えている人の割合を引いて、そのギャップを記載している。

まず上段については、図表 3.9 と異なり、家庭内ルールによるばらつきは少なく、どの家庭内ルールも重要だと考えられていることが分かる（年齢が高い青少年における「親がいるところだけで使う」を除く）。特に高いのが「トラブル時は必ず相談する約束」「投稿内容に関する約束」の 2 つである。これらは図表 3.9 でも多かったが、相対的に低かった未就学や小学低学年においても重要だと考えられているといえる。

下段については、どの年齢でも「投稿内容に関する約束」「お金に関する約束」のギャップが大きい。つまりこれらは、重要と考えているものの家庭内ルールを作って守らせることができているといえる。もちろん「お金に関する約束」についてはスマートフォンから支払うことができないようにやっつけている約束が必要ないというケースも考えられるが、「投稿内容に関する約束」はほとんどのアプリ・サービスに関わる内容である。これらについて、どのように家庭内ルールを作り、守らせていけばよいか啓発することは特に需要があると考えられる。

また図表 3.12 は、それを利用しているアプリ・サービス別に見たものである。基本的に利用しているアプリ・サービスによって大きな違いはなく、重要だと思う割合では「トラブル時は必ず相談する約束」「投稿内容に関する約束」「お金に関する約束」が高く、ギャップでは「投稿内容に関する約束」「お金に関する約束」が大きい。

図表 3.11 家庭内ルールを重要だと思う割合と実際にルールを守らせている割合（年齢別）

家庭内ルール		未就学	小学低学年	小学高学年	中学	高校	全体
重要だと思う人の割合	利用時間帯に関する約束	81.6%	84.6%	81.2%	79.6%	57.8%	71.1%
	合計利用時間に関する約束	77.6%	80.1%	74.8%	70.4%	52.8%	64.6%
	情報の取り扱いに関する約束	84.4%	85.0%	84.2%	82.7%	73.4%	79.2%
	トラブル時は必ず相談する約束	85.2%	88.7%	87.6%	84.5%	79.0%	83.0%
	友達の登録は知っている人だけ	82.4%	86.6%	84.7%	82.2%	72.4%	78.8%
	投稿内容に関する約束	86.6%	87.3%	85.5%	82.5%	75.4%	80.5%
	親がいるところだけで使う	74.6%	70.8%	55.8%	45.7%	25.8%	41.5%
	お金に関する約束	87.0%	86.3%	83.7%	80.1%	75.2%	79.3%
	その他	85.0%	84.8%	83.2%	79.9%	69.8%	76.6%
実際にルールを敷き・守らせている割合と、重要だと思う割合のギャップ	利用時間帯に関する約束	-52.2%	-49.4%	-44.4%	-47.8%	-45.0%	-46.3%
	合計利用時間に関する約束	-54.0%	-54.4%	-54.4%	-56.4%	-47.4%	-52.0%
	情報の取り扱いに関する約束	-82.0%	-69.1%	-57.0%	-52.6%	-48.8%	-53.6%
	トラブル時は必ず相談する約束	-80.2%	-71.4%	-61.4%	-55.7%	-54.1%	-57.7%
	友達の登録は知っている人だけ	-79.8%	-68.4%	-54.0%	-54.2%	-55.5%	-56.4%
	投稿内容に関する約束	-84.8%	-78.2%	-67.4%	-57.6%	-56.9%	-61.1%
	親がいるところだけで使う	-32.8%	-39.0%	-38.5%	-37.2%	-23.6%	-31.7%
	お金に関する約束	-83.6%	-74.9%	-65.5%	-61.9%	-58.3%	-62.4%
	その他	-80.4%	-81.3%	-80.5%	-77.2%	-67.7%	-74.1%

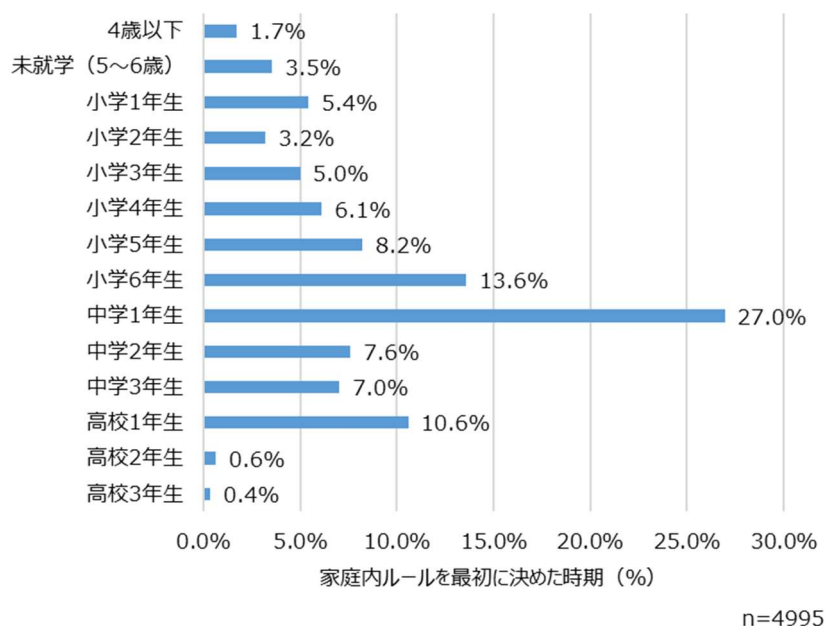
n=6500

図表 3.12 家庭内ルールを重要だと思う割合と実際にルールを守らせている割合（アプリ・サービス別）

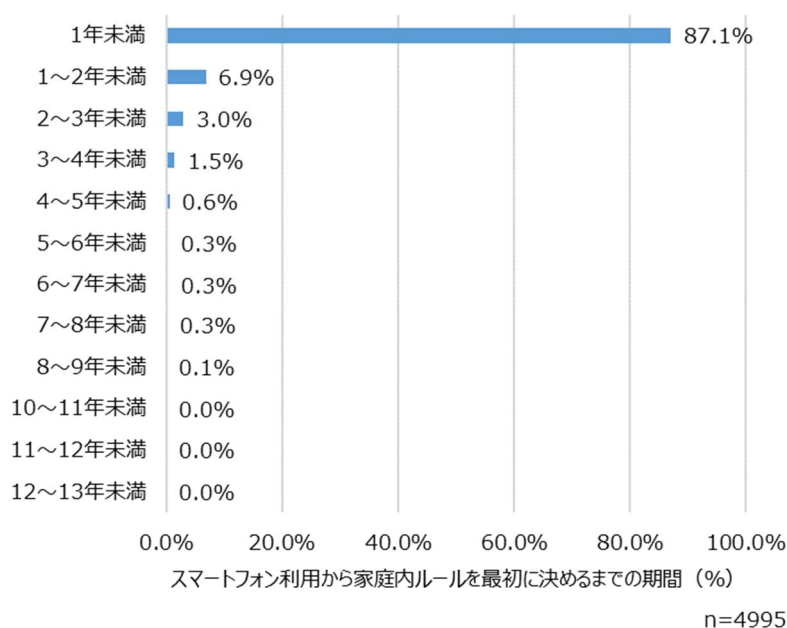
家庭内ルール		動画共有サービス	ゲームアプリ	学習・勉強アプリ	メッセージアプリ	SNS	インターネットブラウザ・検索サービス	フリマアプリ、ショッピング・オークションサイト	Eメールアプリ	漫画アプリ	その他
重要だと思う人の割合	利用時間帯に関する約束	68.0%	80.3%	77.7%	78.2%	71.1%	73.9%	56.7%	66.9%	70.3%	59.4%
	合計利用時間に関する約束	62.6%	75.0%	79.1%	69.6%	66.1%	66.3%	47.4%	62.1%	63.5%	50.1%
	情報の取り扱いに関する約束	66.4%	77.8%	78.9%	81.3%	72.9%	84.0%	69.1%	79.6%	83.5%	68.1%
	トラブル時は必ず相談する約束	67.5%	83.5%	82.2%	83.7%	78.4%	87.4%	75.9%	84.9%	86.1%	71.0%
	友達の登録は知っている人だけ	68.1%	76.7%	76.3%	81.7%	72.8%	83.6%	70.4%	79.4%	81.1%	67.1%
	投稿内容に関する約束	70.1%	82.0%	79.4%	82.1%	71.8%	84.8%	73.4%	81.0%	83.7%	69.4%
	親がいるところだけで使う	54.9%	59.5%	64.5%	50.0%	41.3%	41.3%	31.0%	34.9%	34.4%	29.8%
	お金に関する約束	68.5%	79.6%	80.6%	80.9%	73.2%	81.7%	76.8%	79.7%	84.1%	67.4%
	その他	68.4%	81.0%	77.6%	78.1%	72.8%	79.4%	75.7%	75.3%	79.2%	65.9%
実際にルールを敷き・守らせている割合と、重要だと思う割合のギャップ	利用時間帯に関する約束	-44.0%	-57.4%	-45.6%	-47.2%	-51.2%	-46.0%	-45.9%	-42.9%	-45.8%	-45.6%
	合計利用時間に関する約束	-50.1%	-57.9%	-53.7%	-54.5%	-55.8%	-53.9%	-40.9%	-51.0%	-50.6%	-41.7%
	情報の取り扱いに関する約束	-58.5%	-67.6%	-68.1%	-59.1%	-54.9%	-54.2%	-46.1%	-46.1%	-53.2%	-44.3%
	トラブル時は必ず相談する約束	-59.5%	-74.7%	-69.9%	-61.8%	-57.5%	-60.5%	-49.7%	-54.5%	-50.4%	-45.3%
	友達の登録は知っている人だけ	-62.5%	-68.8%	-69.8%	-51.8%	-56.1%	-56.5%	-54.2%	-53.4%	-57.2%	-49.1%
	投稿内容に関する約束	-66.7%	-75.6%	-72.0%	-66.6%	-54.5%	-62.7%	-54.4%	-57.8%	-57.2%	-48.2%
	親がいるところだけで使う	-39.6%	-39.2%	-38.8%	-35.0%	-34.8%	-30.7%	-28.2%	-29.3%	-29.5%	-21.1%
	お金に関する約束	-60.6%	-67.8%	-77.5%	-66.9%	-60.7%	-64.0%	-57.9%	-60.4%	-59.4%	-55.7%
	その他	-66.6%	-78.4%	-74.0%	-75.5%	-70.9%	-76.6%	-74.1%	-72.8%	-77.7%	-59.0%

n=6500

家庭内ルールを最初に決めた時期とスマートフォン利用から家庭内ルールを最初に決めるまでの期間を示したのが図表 3.13 と図表 3.14 である。家庭内ルールを決めている家庭の中では、87.1%がスマートフォン利用開始 1 年未満で決めていることが分かる。



図表 3.13 家庭内ルールを最初に決めた時期



図表 3.14 スマートフォン利用から家庭内ルールを最初に決めるまでの期間

3. 3. 家庭内ルールの認知経路と情報提供媒体の需要

図 3.15 は、家庭内ルールを知ったきっかけと、家庭内ルールを知りたい方法、そして知ったきっかけと知りたい方法のギャップについてまとめたものである。ただし、知ったきっかけのみ家庭内ルールを設けている保護者のみを対象とした結果である。

まず、家庭内ルールを知ったきっかけについては年齢による違いはほとんどなく、どの年齢でも「インターネットで家庭内のルールに関する情報を見て」と「友人や保護者同士の会話の中で聞いて」が高く、全体ではそれぞれ 33.0%、26.4%となっている。他に多いのが「テレビや本、パンフレットを見て」(19.6%)と「学校や保育園・幼稚園等での説明を受けて」(20.2%)となっている。年齢によって傾向が異なる箇所は「特にきっかけはない・覚えていない」であり、年齢が低くなるほど割合が高く、とりわけ未就学では高い。実際、「特にきっかけはない・覚えていない」を除くすべての項目で未就学はかなり低い値となっており、未就学では家庭内ルールについて知る機会が少ないと考えられる。

次に、家庭内ルールを知りたい方法についても、「インターネットで知ることができる」と「友人や保護者同士の会話で知ることができる」が高く、知ったきっかけと概ね同じ傾向であることが分かる。ただし、低年齢では「学校や保育園・幼稚園等での説明で知ることができる」の需要が高い。また、未就学でも「特に知りたいと思わない」は相対的に高くなく、むしろ中学以上の方が高くなっている。つまり、未就学の保護者は家庭内ルールを知りたいと思っているにもかかわらず、知るきっかけが少ないことを示唆している。

最後に、これらのギャップを確認すると、「インターネットで知ることができる」がどの年齢でも最も高い。「インターネットで家庭内のルールに関する情報を見て」は家庭内ルールを知ったきっかけの最多であったが、それでも、多くの保護者がもっとインターネットで知ることを望んでいることが分かる。また、「アプリで知ることができる」も未就学以外ではギャップの大きいベスト 3 に入っている。知りたい方法として割合が高かったわけではないが、そもそもアプリで知る機会がほとんどないために、家庭内ルールを知ることのできるアプリは一定の需要があると考えられる。他には、やはり未就学～小学高学年で「学校や保育園・幼稚園等での説明で知ることができる」のギャップが大きい。スマートフォン利用者が少ないために保護者向けの説明を実施していないケースが多いと推察されるが、少なくとも青少年がスマートフォンを利用している保護者の、学校や保育園での説明会ニーズは高いといえる。

図表 3.15 家庭内ルールを知ったきっかけと知りたい方法（年齢別）

	家庭内ルールを知ったきっかけ・知りたいと思う方法	未就学	小学低学年	小学高学年	中学	高校	全体
家庭内ルールを知ったきっかけ	インターネットで家庭内のルールに関する情報を見て	21.3%	30.9%	31.2%	33.1%	35.2%	33.0%
	友人や保護者同士の会話の中で聞いて	20.3%	25.2%	27.4%	26.9%	26.1%	26.4%
	テレビや本、パンフレットを見て	11.4%	15.1%	18.5%	17.8%	23.6%	19.6%
	販売店での説明を受けて	2.5%	4.9%	6.5%	7.2%	6.9%	6.6%
	学校や保育園・幼稚園等での説明を受けて	6.4%	16.6%	18.1%	20.2%	23.1%	20.2%
	国や地方公共団体や民間団体が行う講座に参加して	1.0%	2.5%	3.2%	2.5%	2.6%	2.6%
	病院（産科・小児科等）で教えてもらって	1.7%	1.0%	1.8%	1.1%	0.6%	1.0%
	アプリで知って	2.0%	3.4%	2.8%	3.3%	2.9%	3.1%
	その他	5.4%	4.9%	3.8%	5.1%	5.8%	5.1%
	特にきっかけはない・覚えていない	52.2%	40.1%	35.5%	34.2%	30.8%	34.2%
家庭内ルールを知りたい方法	インターネットで知ることができる	47.6%	50.7%	50.8%	50.7%	48.0%	49.5%
	友人や保護者同士の会話で知ることができる	36.2%	33.7%	34.3%	28.2%	25.3%	28.6%
	テレビや本、パンフレットで知ることができる	24.2%	20.7%	23.3%	18.5%	18.6%	19.6%
	販売店での説明で知ることができる	10.4%	10.9%	11.7%	12.3%	11.9%	11.9%
	学校や保育園・幼稚園等での説明で知ることができる	34.0%	30.8%	28.1%	23.6%	21.5%	24.2%
	国や地方公共団体や民間団体が行う講座で知ることができる	6.8%	7.9%	7.0%	6.4%	6.8%	6.8%
	病院（産科・小児科等）で教えてもらうことができる	9.8%	6.6%	4.0%	2.5%	2.5%	3.2%
	アプリで知ることができる	13.2%	14.4%	12.6%	13.4%	12.9%	13.1%
	その他	2.4%	2.1%	1.6%	1.7%	2.5%	2.1%
	特に知りたいと思わない	24.2%	21.4%	21.3%	25.1%	30.3%	26.4%
家庭内ルールを知ったきっかけと知りたい方法のギャップ	インターネットで知ることができる	-26.3%	-19.8%	-19.6%	-17.6%	-12.8%	-16.5%
	友人や保護者同士の会話で知ることができる	-15.9%	-8.5%	-6.9%	-1.3%	0.8%	-2.2%
	テレビや本、パンフレットで知ることができる	-12.8%	-5.5%	-4.8%	-0.6%	5.0%	0.0%
	販売店での説明で知ることができる	-7.9%	-6.0%	-5.2%	-5.1%	-5.0%	-5.2%
	学校や保育園・幼稚園等での説明で知ることができる	-27.5%	-14.2%	-10.0%	-3.4%	1.7%	-4.0%
	国や地方公共団体や民間団体が行う講座で知ることができる	-5.8%	-5.5%	-3.8%	-3.9%	-4.2%	-4.2%
	病院（産科・小児科等）で教えてもらうことができる	-8.1%	-5.7%	-2.2%	-1.4%	-2.0%	-2.2%
	アプリで知ることができる	-11.2%	-11.0%	-9.8%	-10.1%	-9.9%	-10.1%
	その他	3.0%	2.8%	2.2%	3.4%	3.2%	3.0%

n=4995, 6500, 6500

家庭内ルール関連情報で何が知りたいかを年齢別にまとめたものが図表 3.16、アプリ・サービス別にまとめたものが図表 3.17 である。

まず図表 3.16 の全体からは、「フィルタリングサービスの機能の活用の仕方」(30.4%)、「お子様の年齢に合わせた適切なルール」(29.5%)、「スマートフォンやインターネットのお子様への危険性」(28.9%) となっていることが分かる。これらはどの年齢でも概ねニーズが高く、ニーズの高い内容といえる。フィルタリングサービスについては第 4 章で述べるとおり、年齢によって大きく利用率が異なるが、この年齢でも知りたい家庭ルールのベスト 3 に入っているのは興味深い。また低年齢層では「お子様への適切なインターネットの利用の促し方」が高い傾向にあり、未就学では 2 番目に高い。

合計数の平均を見ると、未就学が 2.92 個で最多であり、年齢が上がるにつれ減っていくのが分かる。家庭内ルールを守らせている数は小学高学年をピークとした逆 U 字型になっていたが、知りたい家庭ルールの傾向は異なっている。このことから、中学、高校で家庭内ルールが少ないのは子供の成長に合わせて少なくしていると考えられるが、未就学で少ないのは知りたいのに知ることができていないという保護者の悩みが示唆される。

続けてアプリ・サービス別の図表 3.17 を確認すると、アプリ・サービスによる大きな違いはないことが分かる。例えば「SNS」「インターネットブラウザ・検索サービス」「E メールアプリ」では「お子様のインターネット利用状況に合わせた適切なルール」が高いなどの特徴はあるものの、値に大きな違いはない。

ただし合計数の平均を見ると、サービスごとの違いが顕著に見られる。具体的には、「動画共有サービス」「SNS」「フリマアプリ、ショッピング・オークションサイト」では知りたい家庭内ルールが少ない。これは家庭内ルールを守らせている状況と同様であり、これらのアプリ・サービス利用者の保護者は、やはり家庭内ルールに対して後ろ向きであることが推察される。

図表 3.16 知りたい家庭内ルール関連情報（年齢別）

知りたい家庭内ルール関連情報	未就学	小学低学年	小学高学年	中学	高校	全体
お子様への適切なインターネットの利用の促し方	41.4%	35.4%	32.7%	28.6%	19.4%	26.1%
家庭内でのインターネット利用に関するルールの必要性	25.4%	25.0%	24.6%	21.8%	15.1%	19.7%
フィルタリングサービスの機能の活用の仕方	38.8%	40.0%	36.7%	33.3%	23.5%	30.4%
お子様の年齢に合わせた適切なルール	47.4%	40.5%	37.7%	30.3%	22.9%	29.5%
家庭のルールを決める適切な方法・プロセス	30.6%	26.7%	26.7%	23.3%	17.1%	21.6%
困ったときに相談する先	33.4%	29.8%	29.6%	26.5%	27.4%	27.7%
スマートフォンやインターネットのお子様への危険性	38.4%	38.0%	35.3%	30.9%	22.7%	28.9%
お子様のインターネット利用状況に合わせた適切なルール	35.0%	33.6%	33.4%	30.4%	22.0%	27.7%
その他	1.4%	0.8%	0.6%	0.7%	1.1%	0.9%
合計数の平均（個）	2.92	2.70	2.57	2.26	1.71	2.12

n=6500

図表 3.17 知りたい家庭内ルール関連情報（アプリ・サービス別）

知りたい家庭内ルール関連情報	学習・勉強				インターネットブラウザ・検索サービス		フリマアプリ、ショッピング・オークションサイト		Eメールアプリ	
	動画共有サービス	ゲームアプリ	強・知育アプリ	メッセージアプリ	SNS	検索サービス	フリマアプリ、ショッピング・オークションサイト	Eメールアプリ	漫画アプリ	その他
お子様への適切なインターネットの利用の促し方	20.1%	27.7%	32.5%	27.1%	20.1%	27.8%	20.4%	25.3%	30.4%	21.2%
家庭内でのインターネット利用に関するルールの必要性	16.7%	19.5%	24.7%	20.8%	15.6%	21.0%	17.7%	18.9%	21.4%	18.6%
フィルタリングサービスの機能の活用の仕方	23.3%	28.5%	33.6%	32.3%	23.0%	32.7%	23.1%	29.2%	35.6%	27.7%
お子様の年齢に合わせた適切なルール	22.4%	32.3%	37.0%	31.5%	26.4%	30.3%	23.4%	26.8%	33.6%	32.1%
家庭のルールを決める適切な方法・プロセス	16.7%	22.6%	23.5%	18.1%	15.4%	22.5%	23.5%	22.4%	26.1%	19.6%
困ったときに相談する先	16.8%	22.5%	28.2%	26.1%	22.6%	30.0%	23.7%	28.5%	34.2%	27.5%
スマートフォンやインターネットのお子様への危険性	24.4%	27.7%	36.6%	30.1%	27.2%	30.1%	23.7%	27.4%	32.5%	23.7%
お子様のインターネット利用状況に合わせた適切なルール	19.1%	23.1%	30.9%	26.8%	24.2%	30.5%	19.1%	29.2%	29.8%	27.8%
その他	1.3%	0.1%	0.5%	0.6%	0.9%	0.5%	3.0%	1.2%	0.5%	2.6%
合計数の平均（個）	1.61	2.04	2.48	2.13	1.75	2.25	1.78	2.09	2.44	2.01

n=6500

3. 4. 周囲にペアレンタルコントロールに詳しい人はいるか

図表 3.18 は、周囲にいたペアレンタルコントロールに詳しい人の割合を示している。全体の傾向を見ると、詳しい人物はいなかった（78.4%）が最多であり、多くの人が周囲からペアレンタルコントロールについて情報を得ることが困難な状況がうかがえる。また詳しい人物の属性については、すべての年齢において「親族」が最多で、次点が「親しい友人」と

なった。

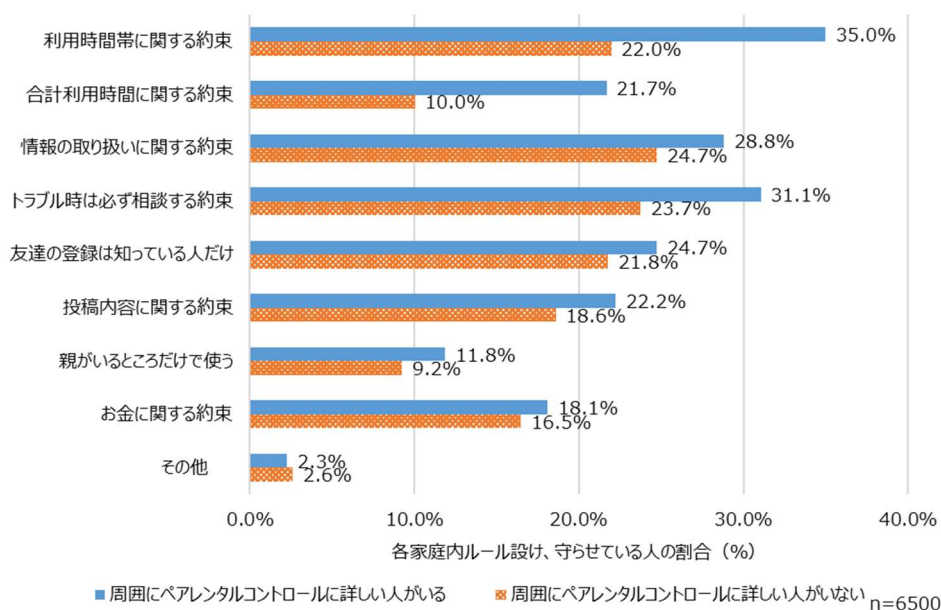
年齢別には、年齢が上がるにつれて「親族」の割合が低下していく。これは、親族の中で自分の子供が最も年齢が高いケースが増えることや、そもそも高校生になってペアレンタルコントロール需要が低くなることが関係していると思われる。ただし、「親しい友人」については未就学が高校生の次に低い（5.8%）。ここからも、周囲にペアレンタルコントロールの情報を聞けていない未就学保護者の状況がうかがえる。

図表 3.18 周囲にいたペアレンタルコントロールに詳しい人の割合（年齢別）

ペアレンタルコントロールに詳しい人	未就学	小学低学年	小学高学年	中学	高校	全体
親族	16.8%	16.6%	13.7%	13.5%	8.4%	11.7%
親しい友人	5.8%	8.2%	7.9%	6.1%	4.3%	5.8%
知り合い	5.0%	5.3%	5.4%	4.3%	3.4%	4.2%
会社の同僚や上司	4.0%	4.0%	4.2%	3.8%	3.1%	3.6%
その他	0.8%	1.5%	1.8%	1.2%	1.7%	1.5%
詳しい人物はいなかった	73.0%	71.3%	73.5%	76.8%	83.0%	78.4%

n=6500

図表 3.19 は、各家庭内ルールを守らせている割合と周囲にペアレンタルコントロールに詳しい人がいることとの関係をクロス分析したものである。周囲にペアレンタルコントロールに詳しい人がいると、どの家庭内ルールを守らせる割合も高くなっているのが確認される。とりわけ、「利用時間帯に関する約束」と「合計利用時間に関する約束」は差が大きい。クチコミで家庭内ルールが伝わる環境を整えることも、適切なペアレンタルコントロールの普及に有効な可能性がある。

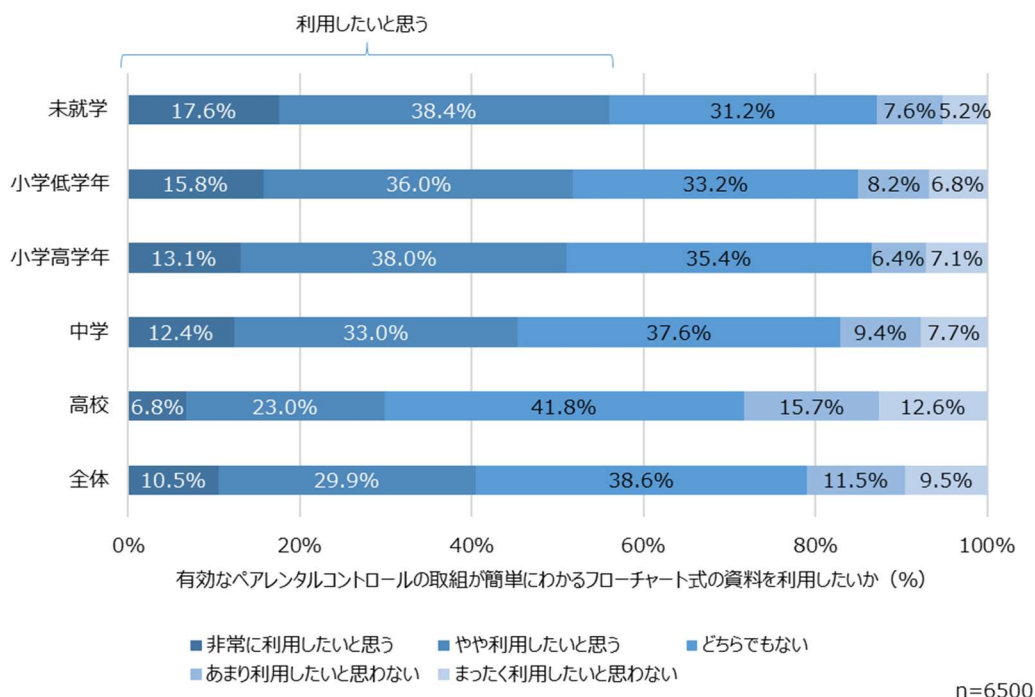


図表 3.19 各家庭内ルールを守らせている割合と周囲にペアレンタルコントロールに詳しい人がいることとの関係

3. 5. 有効なペアレンタルコントロールの取組が簡単にわかるフローチャート資料への需要

本節では、実験的調査で使用するような啓発資料についてのニーズをマクロ的に分析する。ただし、「お子様の学齢やインターネット利用状況に応じた、有効なペアレンタルコントロールの取組が簡単にわかるフローチャート式の資料をがあると想定してください。あなたは、このフローチャート式の資料を利用したいと思いますか。」と聞いており、実物は提示していない。実物を提示した時の詳細な意識調査結果などは第6章を参照されたい。また、本調査では「フローチャート式の資料」と述べているが、実際に実験的調査で作成する資料は、保護者の理解しやすさなどを重視し、保護者の悩みと青少年の利用しているアプリ・サービスから対策を教える資料となっており、フローチャート式ではない啓発フライヤー資料となっている。本節の調査結果はあくまで参考である。

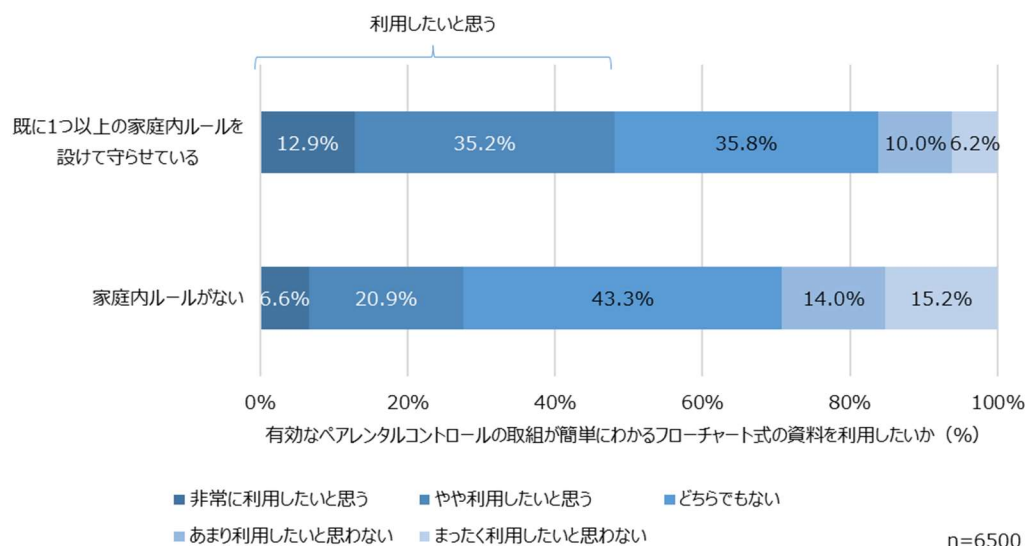
利用したいと思うかどうかを確認すると、全体では40.4%の保護者が利用したいと考えており、一定の需要があることが分かる（図表3.20）。また、特に年齢が下がるにつれてその値は高くなり、未就学では56.0%と、半分以上の保護者が利用したいと考えている。スマートフォンを利用している青少年年齢が低い保護者ほど、有効なペアレンタルコントロールに関する啓発資料のニーズが高いといえる。



図表 3.20 有効なペアレンタルコントロールの取組が簡単にわかるフローチャート式の資料を利用したいか（年齢別）

続けて図表 3.21 では、それを既に家庭内ルールを守らせているかどうかで分けてみたも

のである。図表 3.21 からは、既に家庭内ルールを守らせている保護者の方が、利用意向が強い（48.1%）ことが分かる。これは意識の差によるものと考えられる。ただし、家庭内ルールがない保護者でも 27.5%は利用したい回答しており、少なくないニーズはある。



図表 3.21 有効なペアレンタルコントロールの取組が簡単にわかるフローチャート式の資料を利用したいか（1 つ以上の家庭内ルールを守らせている別）

3. 6. 家庭内ルールを守らせている人の特徴

本節では、家庭内ルールを作って守らせている数と、フィルタリングサービスなどの青少年のスマートフォンによるインターネット利用管理や、利用アプリ・サービス、青少年の属性といった様々な要素がどう関連しているか、回帰分析により定量的に明らかにする。これにより、交絡因子などを考慮しながら、統計的に有意な関係にある要素を把握することができる。

分析するのは、保護者 i が家庭内ルールを守らせる行動を表した次の式 (3.1) である。

$$Rule_n_i = \alpha + \beta_1 Filter_i + \beta_2 App_age_i + \gamma_1 App_i + \gamma_2 Smartphone_i + \gamma_3 Characteristics_i + \varepsilon_i \quad (3.1)$$

ただし、各記号は以下を指す。

- $Rule_n_i$: 保護者 i が、長子のスマートフォンでのインターネット利用に関して守らせている家庭内ルールの数。0 以上 9 以下。
- $Filter_i$: 保護者 i がフィルタリングサービスを利用していたら 1 とするダミー変数。
- App_age_i : アプリの推奨年齢・対象年齢を確認したうえで守らせていれば 1 とするダミー変数。 $Filter_i$ と同様、保護者による青少年のインターネット利用管理に関する変数。

- App_i : 各アプリを利用していれば 1 とするダミー変数のベクトル。
- $Smartphone_i$: スマートフォン利用形態ベクトル。図表 2.3 の区分に従っており、「専用」「兄弟共用」「親と共用・親の前のみ」「親と共用」「その他」「わからない」の 6 つある。実際の分析においては「分からない」を基準とする。
- $Characteristics_i$: 個人 i とその子供に関する属性のベクトル。具体的には、「同居している子供の数 (人)」「子供の年齢 (歳)」「子供の性別」「子供のスマートフォン利用時間 (時間/日)」「保護者と子供の接している時間 (時間/日)」「保護者のスマートフォン利用歴 (年)」である。
- $\alpha, \beta_1, \beta_2, \gamma_1, \gamma_2, \gamma_3, \varepsilon_i$: それぞれのベクトルにかかったパラメータと誤差項。この内、 β_1, β_2 は青少年の ICT 利用に関する管理と家庭内ルールの数との関係を示す。

以上を踏まえて (3.1) 式を分析した結果が図表 3.24 である。ただし、 p 値は White (1980)³の標準誤差から算出されており、不均一分散に頑健な値となっている。推定結果を分かりやすく図としたものが図表 3.22 で、さらに主な特徴を表にまとめたのが図表 3.23 である。図表 3.22 においては、5%水準で優位とならなかった変数は「0.000」と表記している。

図表 3.22 では、右側 (青色) であれば家庭内ルールが多い傾向であるといえ一方で、左側 (橙色) であれば家庭内ルールが少ない傾向といえる。

解釈を加えていく。まず、フィルタリングサービス利用者は、家庭内ルールも多い傾向にあった。具体的には、フィルタリングサービスを利用していると、守らせている家庭内ルールが 0.814 個多く、利用しているかどうかで大きな差が見られた。また、アプリの推奨年齢・対象年齢を守らせている人は、そうでない人に比べて守らせている家庭内ルールが 0.457 個多かった。以上のことから、青少年のスマートフォンにおけるインターネット利用に関して様々な対策をしている保護者は家庭内ルールの数も多いといえる。逆にいえば、「家庭内ルールがあって、他の対策もしている」パターンと、「家庭内ルールがなくて、他の対策もしていない」パターンの両方が存在するということであり、これについては 4. 7 で詳しく確認する。

利用アプリ・サービスでは、全体的に、アプリ・サービスを利用している家庭の方が家庭内ルールが多い傾向となっていた。特に、相対的に「メッセージアプリ」を利用している家庭では家庭内ルールを守らせている個数が多い傾向が見られた。一方、「動画共有サービス」「SNS」「フリマアプリ、ショッピング・オークションサイト」では相対的に家庭内ルール

³ White, H. (1980). A heteroskedasticity-consistent covariance matrix estimator and a direct test for heteroskedasticity. *Econometrica: Journal of the Econometric Society*, 817-838.

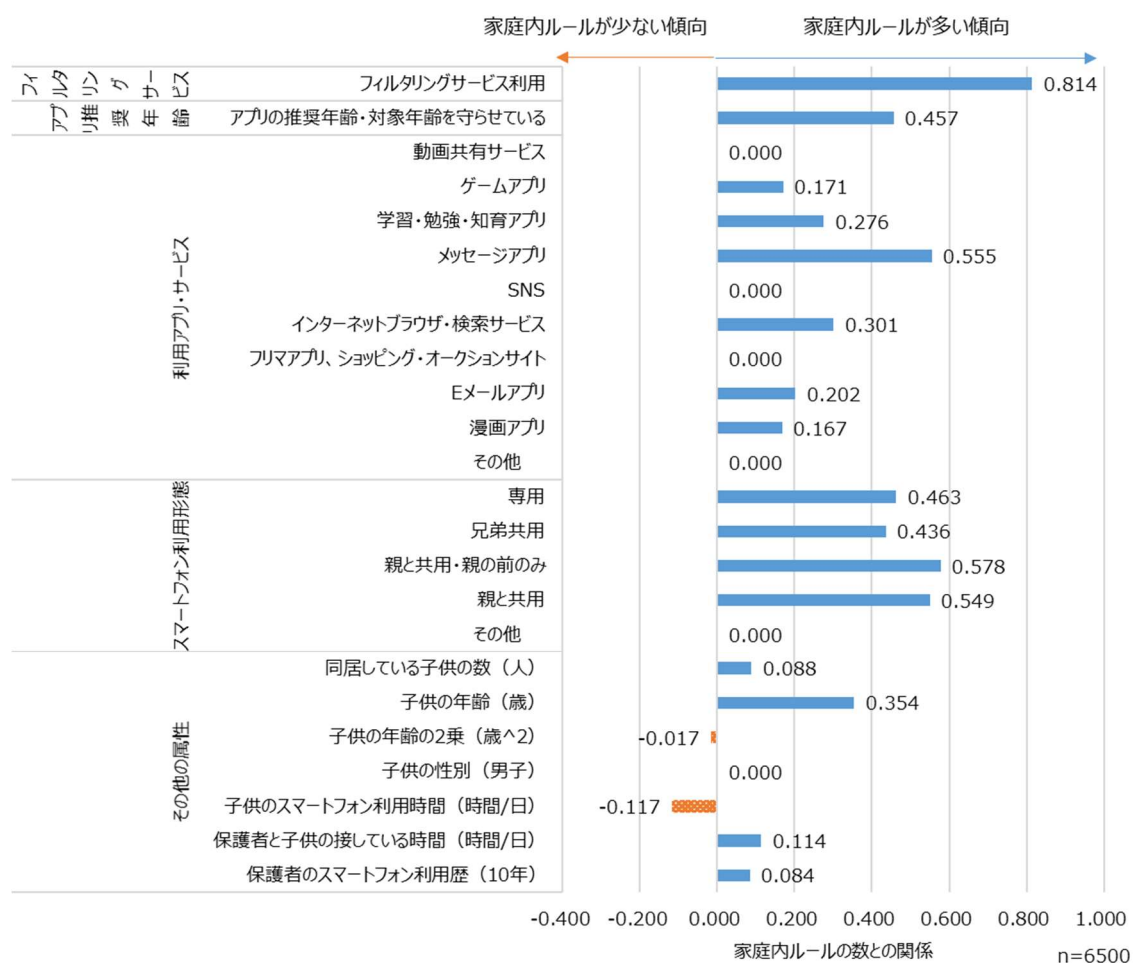
を守らせている個数が少ない傾向だった⁴。

スマートフォン利用形態では、「分からない」と「その他」以外のどの利用形態の人も、「分からない」人より守らせている家庭内ルール個数が多い傾向にあった。特にその傾向が強いのが「親と共用・親の前のみ」と「親と共用」の2つであり、親と共用の場合は家庭内ルールが多かった。

最後に、その他の属性については、「同居している子供の数」が多い、「保護者と子供の接している時間」が長い、「保護者のスマートフォン利用歴」が長い、といった場合に、守らせている家庭内ルール個数が多い傾向が見られた。他に子供がいるかや、日頃の子供とのコミュニケーション量、保護者がスマートフォンに慣れているかが、家庭内ルールを守らせる行動に影響していると考えられる。一方、「子供のスマートフォン利用時間」が長いと、守らせている家庭内ルールが少ない傾向だった。無論、子供のスマートフォン利用時間にルールを設けていないから負の相関をしている、ということもあるだろう。しかしいずれにせよ、本来子供のスマートフォン利用時間がない場合ほど家庭内ルールを適切に定めるべきであるにもかかわらず、逆転していることを考えると、子供のスマートフォン利用時間が長い家庭に重点的に啓発する必要があると思われる。

尚、青少年の年齢については、図表 3.7 で逆 U 字型となっていたことから、2 乗項を入れている。年齢は有意になっており、2 次関数の形から、およそ 10 歳程度が守らせている家庭内ルール個数のピークとなっていた。つまり、それよりも年齢が低くなるにつれて、あるいは年齢が高くなるにつれて、守らせている家庭内ルールの数は減っていく。

⁴ 有意に負ではなかったものの、他のアプリ・サービスに比べてるとパラメータが小さい（有意な影響がない）ことより。



図表 3.22 守らせている家庭内ルールの個数に何が影響を与えているか（回帰分析結果）

図表 3.23 守らせている家庭内ルールの個数とそれぞれの要素の主たる関係まとめ

分類	概要
青少年管理	「フィルタリングサービス利用者」や、「アプリの推奨年齢・対象年齢を守らせている」場合は、家庭内ルールの個数が多い傾向。
利用アプリ・サービス	- 全体的に、アプリ・サービスを利用している家庭の方が家庭内ルールが多い傾向。 - 特に、「メッセージアプリ」を利用している家庭では家庭内ルールを守らせている個数が多い傾向。 「動画共有サービス」「SNS」「フリマアプリ、ショッピング・オークションサイト」では相対的に家庭内ルールを守らせている個数が少ない傾向だった。
スマートフォン利用形態	「親と共用・親の前のみ」と「親と共用」では特に家庭内ルールの個数が多い傾向。

その他の属性	「同居している子供の数」が多い、「保護者と子供の接している時間」が長い、「保護者のスマートフォン利用歴」が長い、といった場合に、守らせている家庭内ルールの数が多い傾向。 「子供のスマートフォン利用時間」が長いと、守らせている家庭内ルールが少ない傾向。 - 青少年の年齢が10歳程度の時が最も家庭内ルールの数が多く、年齢がそれより離れるにつれて少なくなっていく傾向。
--------	--

図表 3.24 式 3.1（家庭内のルールの個数モデル）の推定結果

変数分類	変数	係数	p値
フィルタリングサービス	フィルタリングサービス利用	0.814	0.000 **
アプリ推奨年齢	アプリの推奨年齢・対象年齢を守らせている	0.457	0.000 **
利用アプリ・サービス	動画共有サービス	0.029	0.612
	ゲームアプリ	0.171	0.000 **
	学習・勉強・知育アプリ	0.276	0.000 **
	メッセージアプリ	0.555	0.000 **
	SNS	0.057	0.319
	インターネットブラウザ・検索サービス	0.301	0.000 **
	フリマアプリ、ショッピング・オークションサイト	-0.072	0.369
	Eメールアプリ	0.202	0.001 **
	漫画アプリ	0.167	0.028 *
	その他	0.152	0.183
スマートフォン利用形態	専用	0.463	0.000 **
	兄弟共用	0.436	0.010 *
	親と共用・親の前のみ	0.578	0.000 **
	親と共用	0.549	0.000 **
	その他	0.362	0.252
その他の属性	同居している子供の数（人）	0.088	0.004 **
	子供の年齢（歳）	0.354	0.000 **
	子供の年齢の2乗（歳 ² ）	-0.017	0.000 **
	子供の性別（男子）	-0.076	0.101
	子供のスマートフォン利用時間（時間/日）	-0.117	0.000 **
	保護者と子供の接している時間（時間/日）	0.114	0.000 **
	保護者のスマートフォン利用歴（年）	0.008	0.029 *
定数項	定数項	-2.244	0.000 **
	サンプルサイズ	6500	

注1：**p<0.01、*p<0.05。

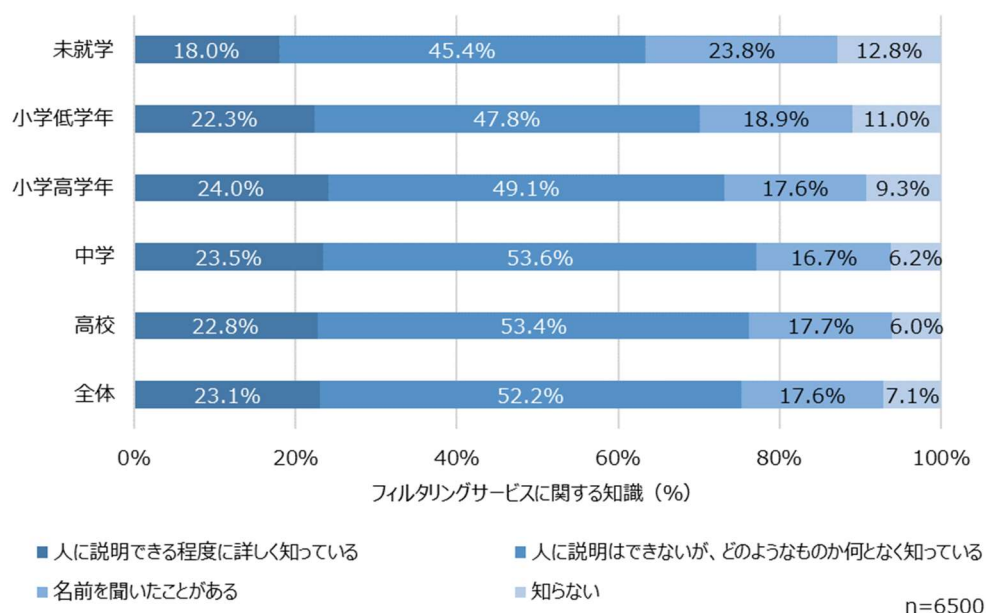
注2：p値は不均一分散に頑健な標準誤差から算出している。

注3：「フィルタリングサービス・家庭内ルールの状況」の基準は「フィルタリングサービスなし・家庭内ルールなし」。「スマートフォン利用形態」の基準は「分からない」。

4. フィルタリングサービスの利用状況

4. 1. フィルタリングサービスの知識・利用状況

図表 4.1 は、フィルタリングサービスを知っている人がどれくらいいるのかを示したものである。図表 4.1 から、「人に説明できる程度に詳しく知っている」人はどの年齢でも 20% 前後であり、未就学ではやや少ないことが分かる。「人に説明はできないが、どのようなものか何となく知っている」人と合わせると全体で 75%を超えており、多くの人がフィルタリングサービスについて、少なくともなんとなく知っていることが分かる。一方、未就学では 63.4%にとどまるため、未就学児保護者への啓発が少ないといえる。



図表 4.1 フィルタリングサービスに関する知識（年齢別）

ただし、フィルタリングサービスに関する細かい理解度については高くないことも分かっている。図表 4.2 は、フィルタリングサービスの理解度について、10 問のテストの正答率を見たものである。ただし、全て正しいことを述べており、完全に理解していれば全てが選択されるはずである。しかしながら全体の平均正答率は 41.7%で、ランダムに選択した場合よりも低い。ほとんど年齢によって差もないが、未就学と小学低学年でやや低い正答率となっている。

項目で見ると、「利用を許可したアプリからアクセスする場合、インターネット上の有害情報を遮断することはできない」と「フィルタリング設定は遠隔で変更できるので、お子様のスマートフォンから直接変更する必要はない」の正答率が低かった。ただし、前者は「フィルタリングサービスで利用を許可する」ということがどういうことか理解できていない人も多かったと予想される。そのほかでは、「お子様の居場所を確認することができる」と

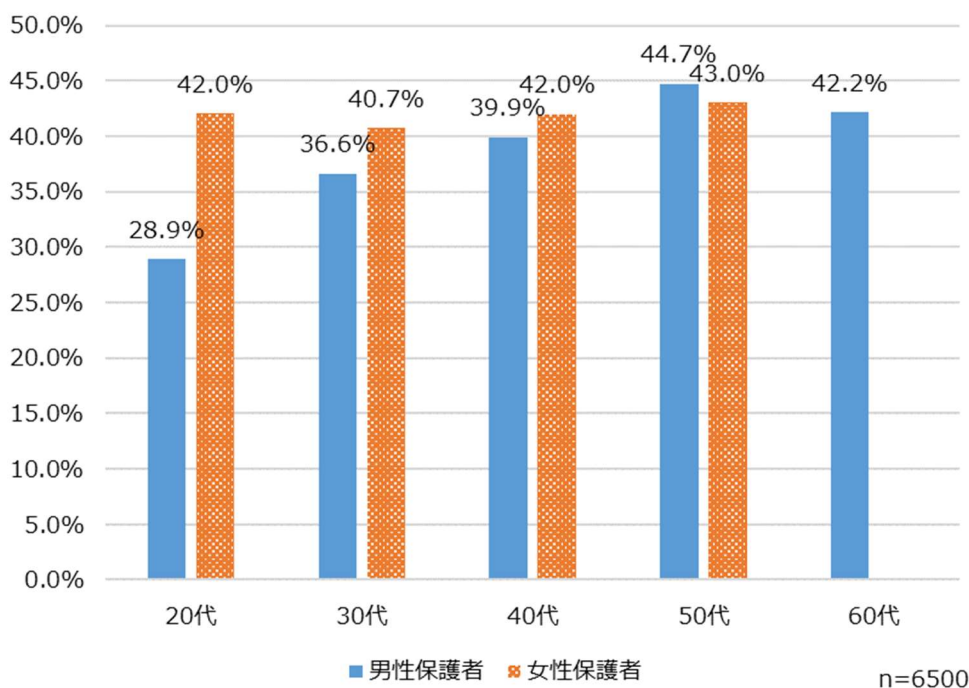
「学齢や個別設定のほかに、カテゴリ・ジャンル単位で有害サイトへのアクセスを制限することができる」もやや低い。遠隔操作や居場所確認といったフィルタリングサービスの機能や、カスタマイズの方法などについての知識が正しく理解されていないといえる。

図表 4.2 フィルタリングサービスの理解度（年齢別）

フィルタリングサービスの特徴として正しいと思うもの（全て正しい）	未就学	小学低学年	小学高学年	中学	高校	全体
フィルタリング専用ブラウザでインターネットにアクセスする際に有害情報を遮断することができる	42.8%	44.8%	41.6%	45.6%	48.4%	46.0%
アプリの利用を制限することができる	58.4%	58.2%	56.7%	58.7%	59.6%	58.7%
スマートフォンの利用時間管理、利用状況の通知などができる	43.8%	43.7%	46.1%	47.2%	44.5%	45.5%
利用を許可したアプリからアクセスする場合、インターネット上の有害情報を遮断することはできない	16.4%	17.4%	19.2%	20.8%	19.1%	19.5%
お子様の居場所を確認することができる	33.4%	40.8%	44.6%	40.1%	36.4%	39.2%
フィルタリングで規制されたアプリケーションは、後から利用できるように変更することができる	40.2%	40.8%	42.3%	45.6%	46.7%	45.0%
フィルタリングの対象年齢の設定はお子様の学齢に合わせて、複数のレベルで設定することができる	43.6%	41.1%	38.8%	41.7%	46.0%	43.1%
フィルタリング設定は遠隔で変更できるので、お子様のスマートフォンから直接変更する必要はない	24.0%	27.1%	31.4%	34.6%	33.5%	32.8%
有害サイトやアプリケーションの利用制限だけでなく、使い過ぎを防ぐ利用時間の制限ができる	46.6%	45.3%	46.9%	45.7%	45.5%	45.8%
学齢や個別設定のほかに、カテゴリ・ジャンル単位で有害サイトへのアクセスを制限することができる	44.4%	38.4%	37.2%	39.8%	45.0%	41.6%
平均	39.4%	39.8%	40.5%	42.0%	42.5%	41.7%

n=6500

尚、これらの正答率について、どのような属性の保護者の理解が特に進んでいないか確認するために、保護者の性年代別の違いを分析したものが図表 4.3 である⁵。図表 4.3 からは、20 代、30 代の男性で特に正答率が低いことが分かる。特にこのような層へのフィルタリングサービスの啓発が求められているといえる。



図表 4.3 フィルタリングサービスの理解度（保護者の性年代別）

⁵ 女性 60 代はサンプルに存在しなかった。

さて、このようなフィルタリングサービスの利用率では、全体では37.8%が利用しているものの、未就学と高校生では少ないという結果になった(図表4.4)。ペアレンタルコントロールと同様の傾向である。未就学が少ないのは、親と共用の利用が多いことと、フィルタリングサービスへの知識が乏しいことの両方が関係していると考えられる。

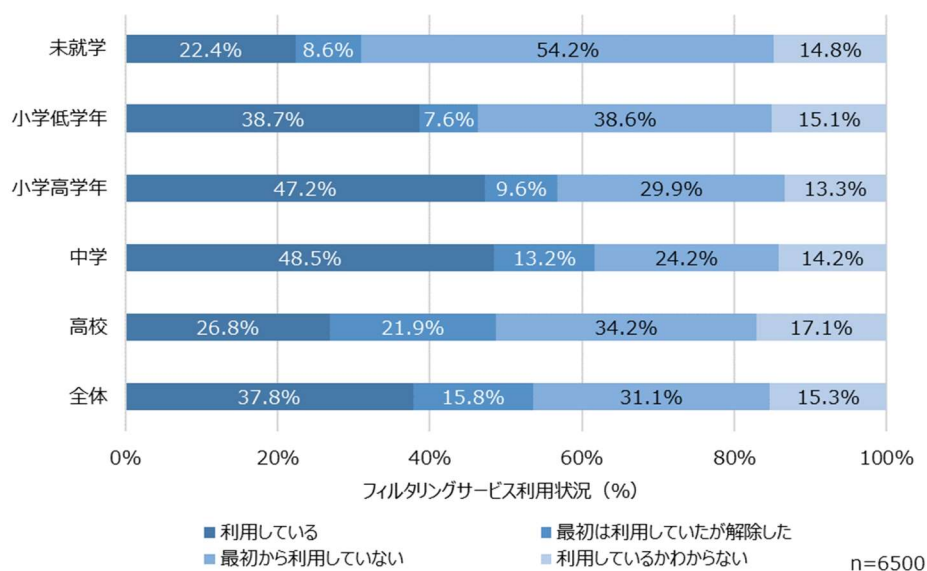
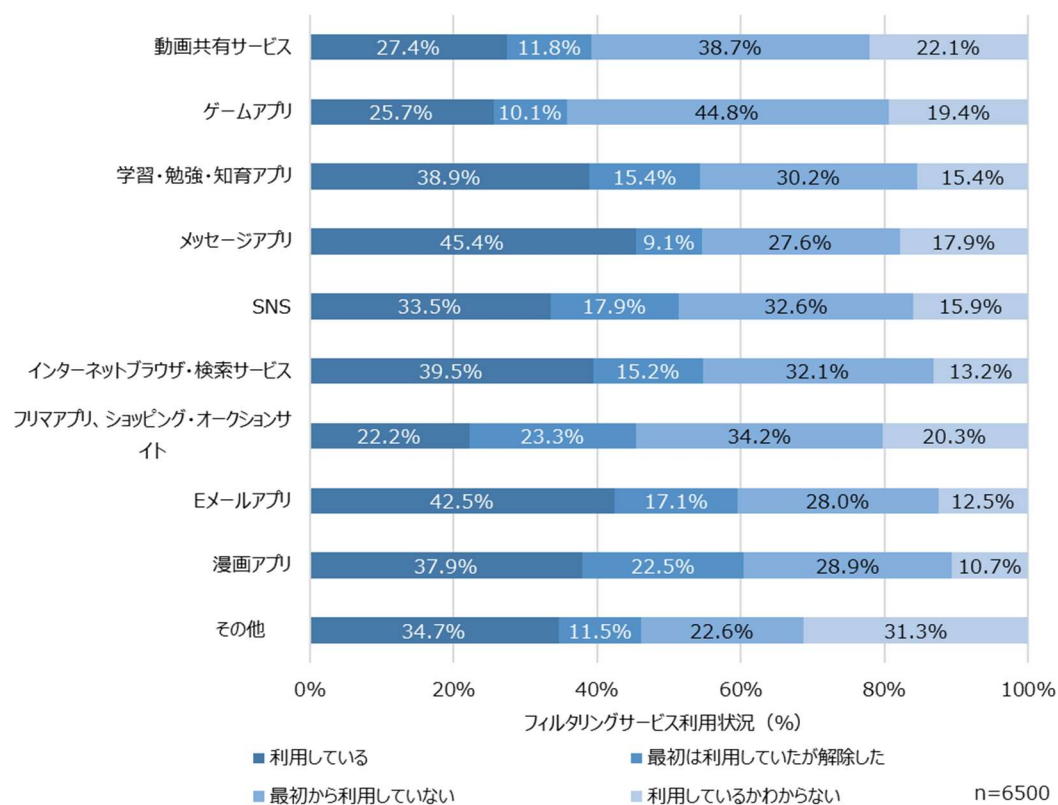


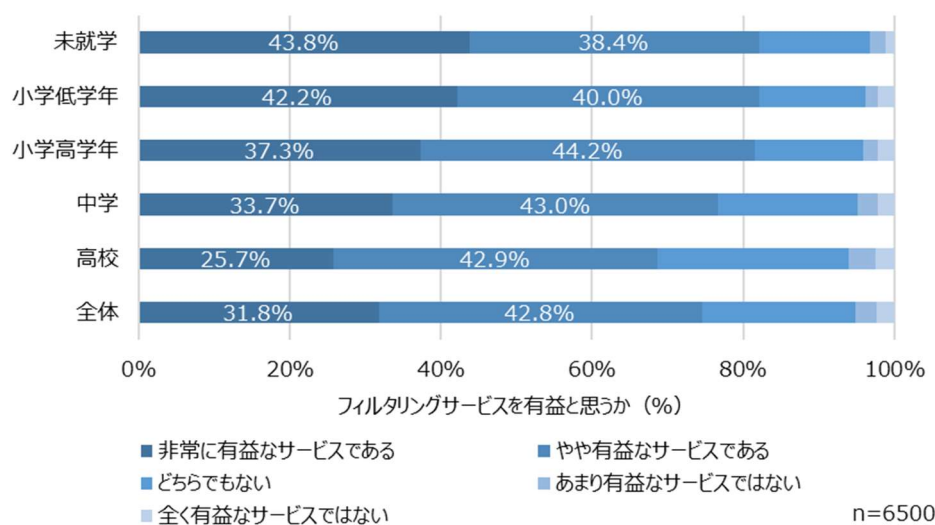
図 4.4 フィルタリングサービス利用状況（年齢別）

また、利用しているアプリ・サービス別では、「動画共有サービス」「ゲームアプリ」「フリマアプリ、ショッピング・オークションサイト」での利用が少ない結果となった(図表4.5)。これらもフィルタリングサービスによる利用管理は有効と考えられるが、突出してフィルタリングサービス利用者が少ないのは、小さい子供にこれらのアプリ・サービスを使わせた場合に制限がかかるためと予想される。図 2.10 で見た通り、特に「動画共有サービス」「ゲームアプリ」は小学生でも利用率が高いが、フィルタリングサービスでは制限されていることが多い。



図表 4.5 フィルタリングサービス利用状況（アプリ・サービス別）

このように利用率が 37.8%にとどまるフィルタリングサービスであるが、フィルタリングサービスそのものについては多くの人々が有益だと感じていることも明らかになった。図表 4.6 はフィルタリングサービスを有益と思うかどうかを調査した結果である。図表 4.6 を見ると、全体で 74.6%の人が「非常に有益なサービスである」「やや有益なサービスである」のどちらかと考えており、とりわけ年齢が低いとその割合は高い（例えば未就学では 82.2%となる）。多くの人々がフィルタリングサービスを有益と感じている一方で、利用者が多くないというパラドックスに陥っている。これは、フィルタリングサービスの効果や設定の仕方についてはハードルがあると思われることや、利益よりも不便さが上回ると考えられていることなどが背景にあると考えられる。



図表 4.6 フィルタリングサービスを有益と思うか（年齢別）

4. 2. フィルタリングサービスで何を使っているか

利用しているフィルタリングサービスでは、「あんしんフィルター」(43.1%) が最も多く、次いで「スクリーンタイム」(27.6%)、3 位に「ファミリーリンク」(19.0%) となった（図表 4.7）。大手キャリアの提供しているあんしんフィルターと、OS のフィルタリングサービスが人気といえる。世代によってやや差があり、未就学や小学低学年では OS のフィルタリングサービスが人気だが、年齢が高いとあんしんフィルターが人気になる。これは、あんしんフィルターを低い年齢で運用すると多くのアプリ・サービスで制限がかかるので、それを避けたい保護者が OS のフィルタリングサービスを利用しているためと考えられる。

図表 4.7 利用しているフィルタリングサービス（年齢別）

利用しているフィルタリングサービス	未就学	小学低学年	小学高学年	中学	高校	全体
スクリーンタイム（iOSのフィルタリング機能）	38.4%	32.4%	26.6%	28.3%	25.5%	27.6%
スクリーンタイムのファミリー共有（iOSのフィルタリング機能）	20.6%	17.4%	14.3%	17.7%	10.1%	14.8%
Digital Wellbeing（AndroidOSのフィルタリング機能）	9.0%	9.3%	8.4%	3.7%	3.7%	5.2%
ファミリーリンク（AndroidOSのフィルタリング機能）	20.6%	24.8%	27.7%	20.8%	9.1%	19.0%
au、docomo、Softbankの提供するフィルタリングサービス「あんしんフィルター」	30.4%	31.3%	34.6%	44.1%	51.0%	43.1%
その他キャリアの提供するフィルタリングサービス（「i-フィルター」「スマモリ」等）	8.0%	6.8%	10.0%	9.9%	9.2%	9.4%
その他のフィルタリング	4.5%	3.6%	3.7%	3.2%	3.5%	3.4%
わからない	11.6%	10.2%	9.2%	8.5%	8.9%	8.9%

n=2513

また、利用しているフィルタリングサービスの機能では、「Web フィルタリング機能」が最多の 76.2%で、「アプリフィルタリング機能」が 45.8%、スマートフォンの利用可能時間帯の設定・制限が 40.8%と続いた（図表 4.8）。この傾向は年齢によってもほとんど変わらないが、小学低学年と高学年においては、相対的に「位置情報検索機能」の利用率が高かった。これらの機能にはニーズがあるといえ、これらの機能や利用のしやすさの啓発が、フィルタリングサービス利用率向上につながると考えられる。

図表 4.8 利用しているフィルタリングサービスの機能（年齢別）

利用しているフィルタリングサービスの機能	未就学	小学低学年	小学高学年	中学	高校	全体
Webフィルタリング機能	66.1%	71.0%	75.5%	75.4%	79.5%	76.2%
アプリフィルタリング機能	42.0%	46.0%	53.2%	46.8%	39.9%	45.8%
スマートフォン利用可能時間帯の設定・制限	40.2%	37.8%	41.3%	48.3%	31.2%	40.8%
利用状況の確認機能	26.8%	27.6%	28.4%	29.9%	21.3%	26.8%
位置情報検索機能	18.8%	39.5%	43.7%	35.0%	27.7%	34.7%
設定の遠隔操作機能	12.5%	14.6%	17.5%	12.1%	8.2%	12.2%
インターネット検索のセーフサーチ機能	15.2%	21.6%	23.9%	23.1%	17.6%	21.4%
歩きスマホ防止機能	3.6%	5.2%	4.0%	3.4%	4.2%	3.9%
アプリ内課金を保護者に通知する機能	15.2%	22.5%	25.4%	19.1%	14.9%	19.3%
その他	7.1%	1.7%	2.1%	1.9%	3.2%	2.4%

n=2513

図表 4.9 は、これらの機能の利用率と有益だと思う人の割合を比較したものである。利用している人の割合とは異なり、どの機能でも大きな差がなく有益だと思う人が約 60～80% 存在している。中でも高いのは「Web フィルタリング機能」（78.0%）、「アプリフィルタリング機能」（73.8%）、「アプリ内課金を保護者に通知する機能」（73.9%）の 3 つである。ただし、有益と思う人の割合と実際に利用している人の割合のギャップでは、「設定の遠隔操作機能」「歩きスマホ防止機能」「アプリ内課金を保護者に通知する機能」の 3 つが大きかった。

図表 4.9 フィルタリングサービスの機能について、有益だと思う人の割合と利用している人の割合のギャップ（年齢別）

フィルタリングサービスの機能		未就学	小学低学年	小学高学年	中学	高校	全体
有益だと思う人の割合	Webフィルタリング機能	82.4%	85.5%	82.3%	80.8%	72.5%	78.0%
	アプリフィルタリング機能	83.0%	83.6%	80.1%	77.5%	66.3%	73.8%
	スマートフォン利用可能時間帯の設定・制限機能	80.0%	79.4%	76.1%	70.2%	56.6%	66.3%
	利用状況の確認機能	72.6%	76.7%	73.3%	64.5%	52.6%	62.0%
	位置情報検索機能	75.8%	79.6%	76.1%	68.8%	60.8%	67.6%
	設定の遠隔操作機能	71.6%	75.3%	70.6%	63.3%	52.6%	61.1%
	インターネット検索のセーフサーチ機能	76.8%	79.5%	74.6%	67.7%	55.6%	64.8%
	歩きスマホ防止機能	74.0%	74.7%	68.4%	63.1%	56.4%	62.3%
	アプリ内課金を保護者に通知する機能	85.2%	82.9%	80.8%	75.0%	68.1%	73.9%
実際に利用している割合と、有益だと思う割合のギャップ	Webフィルタリング機能	-16.3%	-14.4%	-6.9%	-5.4%	7.0%	-1.8%
	アプリフィルタリング機能	-41.0%	-37.6%	-26.9%	-30.8%	-26.4%	-27.9%
	スマートフォン利用可能時間帯の設定・制限機能	-39.8%	-41.6%	-34.8%	-22.0%	-25.4%	-25.5%
	利用状況の確認機能	-45.8%	-49.2%	-44.9%	-34.5%	-31.4%	-35.2%
	位置情報検索機能	-57.0%	-40.1%	-32.5%	-33.8%	-33.1%	-32.9%
	設定の遠隔操作機能	-59.1%	-60.7%	-53.1%	-51.2%	-44.5%	-48.9%
	インターネット検索のセーフサーチ機能	-61.6%	-57.8%	-50.7%	-44.6%	-38.1%	-43.5%
	歩きスマホ防止機能	-70.4%	-69.5%	-64.4%	-59.7%	-52.2%	-58.4%
	アプリ内課金を保護者に通知する機能	-70.0%	-60.4%	-55.4%	-55.9%	-53.2%	-54.5%

n=6500, 2513

次に、フィルタリングサービスの利用にあたり、各要素をどれくらい重要と考えているか調査した結果が図表 4.10 である。ニーズが高いのは「子供に使わせたいアプリのフィルタリング解除の個別設定が簡単にできる」（69.0%）、「子供のスマートフォン利用時間を把握す

ることができる」(68.1%)、「無料で利用できる」(80.4%)の3つであった。また、未就学～小学高学年の方が全体的に重要と考えている人の割合が高いものの、項目による違いに大きな傾向はなく、しいて言うならば未就学～小学低学年だと「スマートフォンに入っているアプリを保護者が確認する機能がある」を重要と考えている人が多かった。本図表で重要と考えている人の割合が高い項目は、フィルタリングサービスにおいてニーズの高い要素であるといえる。

図表 4.10 フィルタリングサービスで重視する要素（年齢別）

フィルタリングサービスの各要素	未就学	小学低学年	小学高学年	中学	高校	全体
子供に使わせたいアプリのフィルタリング解除の個別設定が簡単にできる	78.6%	80.3%	77.7%	69.5%	62.7%	69.0%
スマートフォンに入っているアプリを保護者が確認する機能がある	81.0%	80.2%	78.0%	68.8%	56.0%	66.0%
サイトの閲覧履歴を保護者が確認する機能がある	74.8%	77.8%	77.2%	65.5%	52.1%	62.9%
SNSでどのようなメッセージをやり取りしているかを確認する機能がある	67.6%	71.9%	68.1%	57.6%	43.0%	54.5%
子供がどのような操作をしているかをモニタリングする機能がある	69.0%	72.2%	69.0%	60.0%	46.7%	57.0%
子供のスマートフォン利用時間を把握することができる	81.4%	80.3%	77.5%	71.6%	58.9%	68.1%
ワンタッチでフィルタリングサービスのON/OFFを切り替えられる	71.2%	73.5%	68.9%	62.0%	51.9%	60.0%
無料で利用できる	84.0%	84.3%	83.6%	80.7%	78.1%	80.4%
平均	76.0%	77.6%	75.0%	67.0%	56.2%	64.7%

n=6500

図表 4.11 は、上記の各要素（「無料で利用できる」を除く）について、ひと月当たり最大いくらまで支払ってよいかを調査した結果である。調査にあたっては、「仮に、以下の機能が有料で提供されるフィルタリングサービスのプランが提供されることになったと想定して下さい。あなたはそれぞれの機能に対し、ひと月あたりいくらまで支払ってもよいと思いますか。その支払ってもよい最高額（税込み）について、それぞれ最も近いものを1つお選びください。」と尋ねている。

図表 4.11 を見ると、どの機能も全体で 30%程度の人が有料でも利用してよいと考えており、その割合は年齢が低いほど高くなることが分かる。項目では、「子供に使わせたいアプリのフィルタリング解除の個別設定が簡単にできる」(35.3%)、「サイトの閲覧履歴を保護者が確認する機能がある」(34.1%)、「SNS でどのようなメッセージをやり取りしているかを確認する機能がある」(34.1%)の3つがどの年齢でも人気である。興味深いのは、「サイトの閲覧履歴を保護者が確認する機能がある」は重視している割合では8項目中5位だったのに対し、有料でも利用したいと考えている保護者の割合では2位の点である⁶。本機能を重視する人は、お金を払ってもよいくらい強く求めている傾向にあるといえる。

支払い意思額では、ここで提示した要素全てを網羅している場合、平均して 483.3 円/月のニーズがあることが分かった。特にニーズの高い「子供に使わせたいアプリのフィルタリング解除の個別設定が簡単にできる」「サイトの閲覧履歴を保護者が確認する機能がある」は

⁶ 小数第2位以下でわずかに「SNS でどのようなメッセージをやり取りしているかを確認する機能がある」より多い。

フィルタリングサービスで既に可能なものであり、「SNS でどのようなメッセージをやり取りしているかを確認する機能がある」も Filii などのペアレンタルコントロールサービスで実現している。効果と使い方を分かりやすく啓発すれば、より多くの人がフィルタリングサービスやペアレンタルコントロールサービスを利用する可能性がある。

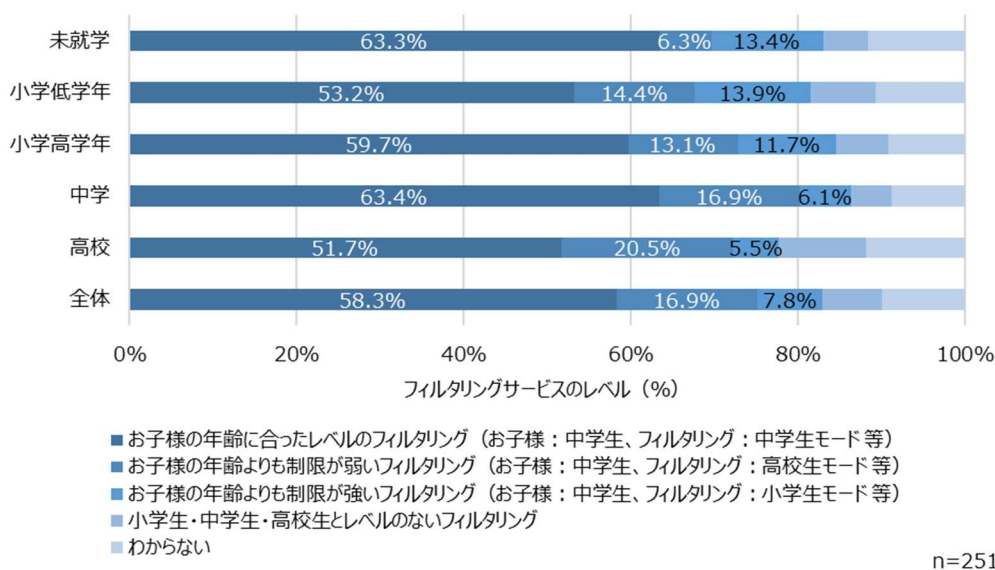
図表 4.11 フィルタリングサービスの各要素に対する支払い意思額（年齢別）

フィルタリングサービスの各要素		未就学	小学低学年	小学高学年	中学	高校	全体
有料で良い人の割合	子供に使わせたいアプリのフィルタリング解除の個別設定が簡単にできる	47.4%	45.2%	43.0%	38.7%	27.5%	35.3%
	スマートフォンに入っているアプリを保護者が確認する機能がある	47.4%	42.7%	40.1%	35.9%	26.6%	33.4%
	サイトの閲覧履歴を保護者が確認する機能がある	47.6%	42.3%	40.5%	37.7%	26.9%	34.1%
	SNSでどのようなメッセージをやり取りしているかを確認する機能がある	50.0%	44.7%	41.8%	37.2%	26.2%	34.1%
	子供がどのような操作をしているのかをモニタリングする機能がある	46.6%	43.0%	38.6%	35.6%	25.0%	32.4%
	子供のスマートフォン利用時間を把握することができる	45.0%	39.2%	38.1%	35.4%	26.2%	32.5%
	ワンタッチでフィルタリングサービスのON/OFFを切り替えられる	39.4%	36.5%	35.2%	32.1%	22.7%	29.1%
支払い意思額の平均（円/月）	子供に使わせたいアプリのフィルタリング解除の個別設定が簡単にできる	115.0	104.3	104.5	86.1	59.0	79.6
	スマートフォンに入っているアプリを保護者が確認する機能がある	101.6	89.5	94.6	74.3	51.2	69.5
	サイトの閲覧履歴を保護者が確認する機能がある	113.5	91.7	94.5	77.7	52.3	71.4
	SNSでどのようなメッセージをやり取りしているかを確認する機能がある	105.2	92.7	93.5	76.6	52.1	70.8
	子供がどのような操作をしているのかをモニタリングする機能がある	107.9	88.7	86.8	73.1	48.9	67.0
	子供のスマートフォン利用時間を把握することができる	85.6	83.3	86.8	69.7	47.4	64.4
	ワンタッチでフィルタリングサービスのON/OFFを切り替えられる	85.4	78.9	77.3	64.8	46.2	60.5
合計金額		714.2	629.1	638.1	522.4	357.2	483.3

n=6500

4. 3. フィルタリングサービスのカスタマイズの状況

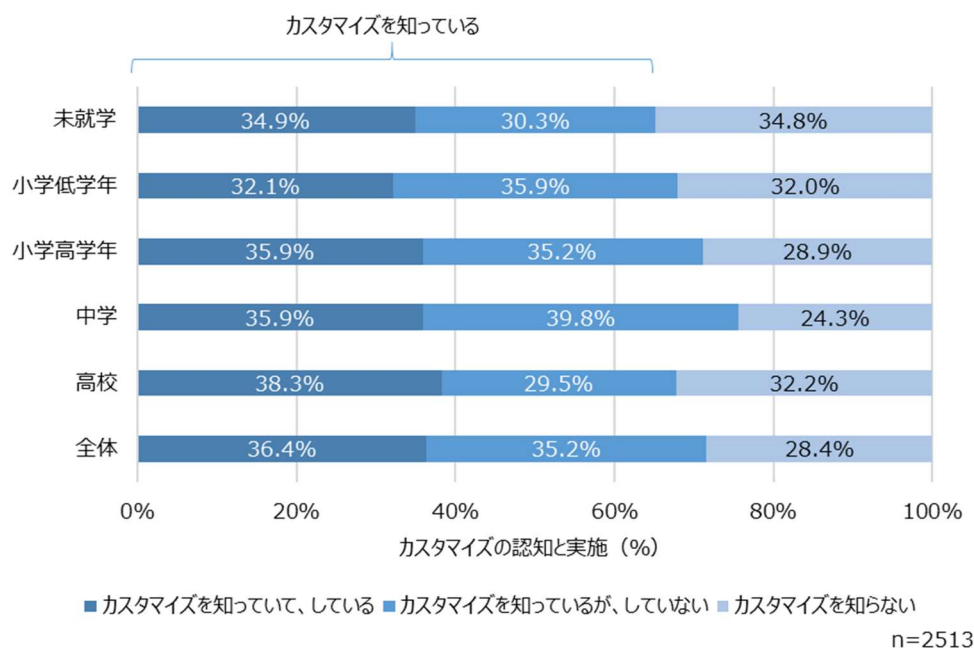
図表 4.12 は、フィルタリングサービス利用者について、それをどのレベルで利用しているかを示している。大半の人は子供の年齢にあったレベルのフィルタリングにしており、特に未就学と中学ではその割合が 60%を超えている。



n=2513

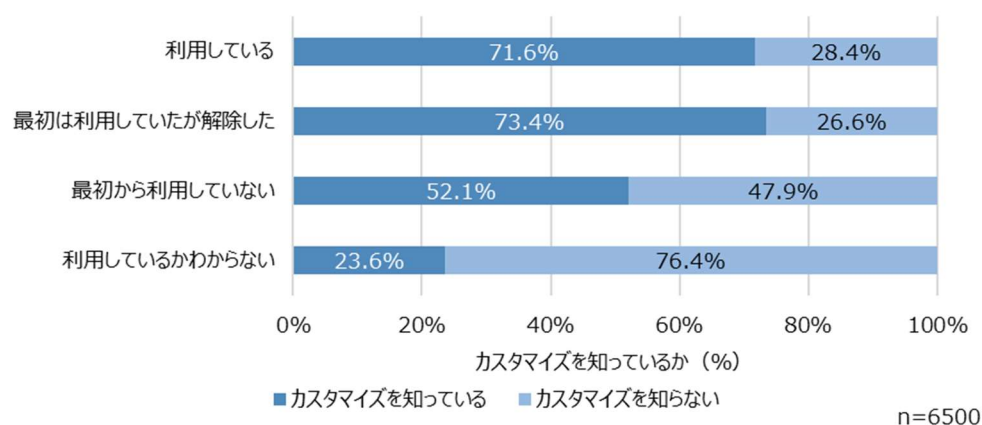
図表 4.12 フィルタリングサービスのレベル（年齢別）

図表 4.13 は、カスタマイズを知っているか、知っている場合にはしているかどうかを調査した結果である。フィルタリングサービス利用者の中では全体で 71.6%がカスタマイズを知っており、認知度は低くない。ただし実際に利用しているのは 36.4%にとどまる。また、未就学ではやや認知率が低い結果となっている。



図表 4.13 カスタマイズの認知と実施（年齢別）

カスタマイズを知っているかどうかについてフィルタリングサービス利用別に見たものが図表 4.14 である。フィルタリングサービスを利用している人や、解除した人の中では 70%以上がカスタマイズを知っている一方で、最初から利用していない人や利用しているか分からない人では認知率が低い。これらの人にカスタマイズを啓発することで、フィルタリングサービスに興味を持つ可能性がある。



図表 4.14 カスタマイズの認知（フィルタリングサービス利用別）

図表 4.15 では、利用しているカスタマイズが何かを示している。多く利用されているのは「スマートフォンで見られる Web サイトの個別許可」(50.8%)、「特定のアプリの個別許可」(51.3%)、「アプリのインストールの制限」(48.5%)であった。これらは概ねどの年齢でもニーズが高い。カスタマイズでできることとして優先的に啓発すべき内容といえる。

図表 4.15 利用しているカスタマイズ（年齢別）

利用しているカスタマイズ	未就学	小学低学年	小学高学年	中学	高校	全体
スマートフォンで見られるWebサイトの個別許可	53.9%	58.7%	50.7%	45.8%	56.2%	50.8%
特定のアプリの個別許可	46.2%	50.0%	54.1%	52.2%	48.3%	51.3%
特定のアプリの個別制限	30.8%	35.6%	34.3%	32.5%	33.0%	33.2%
アプリのインストールの制限	50.0%	52.3%	54.7%	49.6%	40.9%	48.5%
利用時間のカスタマイズ	48.1%	36.7%	43.9%	49.0%	40.9%	44.7%
フィルタリング強度（年齢に合わせたモード等）の設定	40.4%	40.3%	47.9%	42.6%	46.0%	44.3%
その他	1.9%	0.9%	0.2%	1.7%	3.4%	1.8%
わからない	1.9%	2.3%	1.2%	3.1%	1.1%	2.1%

n=1262

一方、図表 4.16 はカスタマイズしていない人に対して、カスタマイズしていない理由を調査したものである。「カスタマイズの存在を知らなかったから」(44.3%) が最も多く、どの年齢でもそのようになっている。また、2 位も「カスタマイズの設定方法を知らなかったから」(27.6%) となっており、面倒だとか必要性を感じなかったということより、そもそも存在や設定方法を知らないことがカスタマイズを利用しないことにつながっていると考えられる。カスタマイズは青少年のインターネット利用状況に合わせてフィルタリングサービスを導入するのに適した施策であり、カスタマイズに少なくないニーズがあることはこれまでの調査でもわかっている。より一層、カスタマイズの存在と設定方法をわかりやすく啓発していくことが求められていると考えられる。

図表 4.16 カスタマイズしていない理由（年齢別）

カスタマイズをしていない理由	未就学	小学低学年	小学高学年	中学	高校	全体
カスタマイズの存在を知らなかったから	42.8%	45.6%	49.5%	42.1%	43.9%	44.3%
カスタマイズが必要だと思わなかったから	23.8%	11.7%	13.5%	11.2%	4.1%	9.5%
カスタマイズの設定方法を知らなかったから	28.6%	26.6%	28.9%	27.3%	27.5%	27.6%
カスタマイズの設定が面倒だから	14.4%	10.9%	11.0%	9.3%	14.3%	11.4%
個別サイトやアプリの判断ができないから	4.7%	2.7%	2.5%	5.9%	5.1%	4.8%
その他	9.5%	10.1%	9.8%	13.1%	14.3%	12.7%

n=1251

4. 4. フィルタリングサービスを利用する理由・解除した理由・利用しない理由

フィルタリングサービスを利用したことのある人（解除者を含む）がフィルタリングサービスを利用した理由としては、「子供の適切なインターネット利用を管理できると考えたため」(60.8%)、「特定のサービスやアプリを子供に使わせないようにするため」(42.1%)、「子

供にとってフィルタリングが有益だと感じたため」(37.5%)が高く、この傾向は年齢によって変わらなかった(図表 4.17)。

図表 4.17 フィルタリングサービスを利用した理由(年齢別)

フィルタリングサービスを利用した理由	未就学	小学低学年	小学高学年	中学	高校	全体
子供の適切なインターネット利用を管理できると考えたため	56.8%	62.5%	63.7%	63.2%	57.1%	60.8%
特定のサービスやアプリを子供に使わせないようにするため	45.8%	49.0%	46.5%	42.1%	38.7%	42.1%
子供にとってフィルタリングが有益だと感じたため	32.3%	38.8%	41.0%	38.4%	35.2%	37.5%
フィルタリングサービスの設定が簡単だと知ったため	15.5%	11.9%	11.3%	10.8%	7.6%	9.8%
フィルタリングサービスのカスタマイズ設定ができると知ったため	14.9%	15.7%	11.5%	13.6%	12.5%	13.0%
実際にインターネット上でのトラブルに遭遇したため	8.4%	5.9%	6.4%	6.9%	3.0%	5.3%
お金がかからないため	15.5%	17.5%	16.5%	14.5%	13.1%	14.5%
家族・友人・知人に勧められたため	9.7%	9.3%	7.0%	6.6%	6.1%	6.7%
その他	1.9%	1.8%	0.9%	1.9%	5.2%	3.0%
特に理由はない	7.1%	7.0%	8.7%	9.1%	11.0%	9.6%

n=3336

一方、図表 4.18 をみると、対となる「フィルタリングサービスを利用しなくても、子供の適切なインターネット利用を管理できるため」(27.4%)、「フィルタリングサービスを設定すると使えないサービスやアプリを子供に使わせるため」(23.9%)、「子供にとってフィルタリングサービスが不便と感じたため」(37.5%)が高く、これも年齢によって傾向が変わらないことが分かる。特に解除した理由で多いのが「子供にとってフィルタリングサービスが不便と感じたため」であり、フィルタリングサービス解除者でカスタマイズを知っている人は7割以上いるにもかかわらず、不便に感じて解除する人が少なくないことが分かる。カスタマイズの啓発だけでなく、カスタマイズの改良とより一層の簡便化が求められている可能性がある。

図表 4.18 フィルタリングサービスを解除した理由(年齢別)

フィルタリングサービスを解除した理由	未就学	小学低学年	小学高学年	中学	高校	全体
フィルタリングサービスを利用しなくても、子供の適切なインターネット利用を管理できるため	18.6%	24.7%	22.1%	27.0%	28.8%	27.4%
フィルタリングサービスを設定すると使えないサービスやアプリを子供に使わせるため	18.6%	31.2%	32.9%	28.4%	20.0%	23.9%
子供にとってフィルタリングサービスが不便と感じたため	32.6%	25.1%	32.9%	35.5%	40.0%	37.5%
フィルタリングサービスの設定が難しいため	16.2%	17.6%	14.2%	10.0%	3.9%	7.2%
フィルタリングサービスのカスタマイズ設定が難しいため	9.3%	16.0%	15.0%	12.4%	7.3%	9.7%
フィルタリングサービスを利用しなくても、インターネット上のトラブルに遭遇しないと思ったため	7.0%	7.3%	11.0%	8.2%	5.5%	6.8%
お金がかかるため	11.6%	4.7%	4.8%	3.9%	3.9%	4.1%
家族・友人・知人が不要だと言っていたため	7.0%	3.8%	2.8%	3.5%	2.7%	3.0%
特に必要性を感じないため	9.3%	13.0%	6.3%	10.7%	15.8%	13.3%
その他	7.0%	4.4%	4.5%	7.4%	11.2%	9.2%
特に理由はない	7.0%	8.6%	6.2%	5.7%	9.1%	7.9%

n=823

その一方で、フィルタリングサービスを利用したことがない理由は、解除した理由とは全く異なる。図表 4.19 を見ると、「フィルタリングサービスを利用しなくても、子供の適切なインターネット利用を管理できるため」(26.6%)こそ同じように高いものの、次点が「特に必要性を感じないため」(23.9%)で、3位が「特に理由はない」(17.3%)となっている。これらはどの年齢でも高いが、未就学と小学低学年では相対的に「スマートフォンを保護者と

共同で使っているため」が高い。興味深いのは、年齢の低い層でも「特に必要性を感じないため」や「特に理由はない」が高いことである。本結果からは、フィルタリングサービスを利用したことがない人は、漠然と必要がないと考えているか、理由なく利用していない人が多いということを示唆している。

図表 4.19 フィルタリングサービスを利用したことがない理由（年齢別）

フィルタリングサービスを利用したことがない理由	未就学	小学低学年	小学高学年	中学	高校	全体
フィルタリングサービスを利用しなくても、子供の適切なインターネット利用を管理できるため	30.6%	26.8%	24.9%	23.8%	28.4%	26.6%
フィルタリングサービスを設定すると使えないサービスやアプリを子供に使わせるため	5.2%	6.5%	11.9%	10.8%	5.8%	8.0%
子供にとってフィルタリングサービスが不便と感じたため	4.1%	5.5%	10.5%	10.4%	17.7%	13.1%
フィルタリングサービスの設定が難しいため	6.6%	8.8%	13.4%	10.4%	6.6%	8.8%
フィルタリングサービスのカスタマイズ設定が難しいため	5.9%	6.9%	8.0%	7.6%	5.6%	6.6%
フィルタリングサービスを利用しなくても、インターネット上のトラブルに遭遇しなかったため	7.4%	6.2%	7.0%	6.9%	7.0%	6.9%
お金がかかるため	5.9%	7.4%	7.4%	8.9%	6.0%	7.1%
家族・友人・知人が不要だと言っていたため	2.6%	0.9%	1.4%	1.1%	1.4%	1.3%
特に必要性を感じないため	16.3%	20.2%	15.6%	20.0%	29.9%	23.9%
購入時に説明を受けなかったため	3.0%	3.2%	1.4%	2.9%	3.3%	2.9%
フィルタリングサービス自体を知らなかったため	9.2%	8.4%	4.6%	4.4%	2.3%	4.0%
スマートフォンを保護者と共同で使っているため	29.5%	24.7%	14.9%	4.9%	1.0%	7.5%
子供の周りの友人等がフィルタリングサービスを利用していないため	2.2%	1.2%	1.4%	1.6%	2.1%	1.8%
その他	6.6%	4.0%	3.6%	4.8%	3.7%	4.1%
特に理由はない	17.3%	16.9%	21.9%	19.8%	21.9%	20.7%

n=2196

4. 5. フィルタリングサービスの認知経路と知りたいこと、情報提供媒体の需要

図表 4.20 は、フィルタリングサービスについて知ったきっかけと、何を通じて知ることができるかというかをまとめたものである。ただし、知ったきっかけについては、「フィルタリングサービスを利用しているか分からない」という保護者以外に聞いている（n=5532）。また、「友人や保護者同士の会話で知ることができる」はフィルタリングサービスについて啓発するうえで施策に落とし込みにくいと、知りたい方法では空欄としている。

知ったきっかけとして多いのは「インターネットでフィルタリングサービスに関する情報を見て」（35.1%）、「販売店での説明を受けて」（28.4%）で、他よりかなり高い。ただし、「販売店での説明を受けて」は低年齢層（とりわけ未就学）で少ないことから、親のスマートフォンを利用するケースなどが多く、販売店でフィルタリングサービスに関する説明を受けていないことが多いことが推察される。

一方、知りたい方法としては「インターネット（ウェブページや動画）で知ることができる」（63.6%）、「テレビや本、パンフレットで知ることができる」（23.3%）、「販売店での説明で知ることができる」（28.8%）が高い。この傾向は家庭内ルールについて調査した図表 3.15

と似ている⁷。ギャップについては、「インターネット（ウェブページや動画）で知ることができる」（－28.5%）、「学校や保育園・幼稚園等での説明で知ることができる」（－11.9%）、「アプリで知ることができる」（－10.6%）が大きく、これも図表 3.15 と似た傾向である。特にインターネットでの分かりやすい情報伝達や啓発アプリの作成とともに、特に低年齢層における学校や保育園・幼稚園などでの説明が求められているといえる。

図表 4.20 フィルタリングサービスを知ったきっかけと知りたい方法（年齢別）

	フィルタリングサービスを知ったきっかけ・知りたい方法	未就学	小学低学年	小学高学年	中学	高校	全体
知ったきっかけ	インターネットでフィルタリングサービスに関する情報を見て	33.3%	40.2%	34.8%	35.7%	33.8%	35.1%
	友人や保護者同士の会話の中で聞いて	15.7%	18.8%	21.1%	17.3%	14.0%	16.7%
	テレビや本、パンフレットを見て	15.0%	15.7%	15.2%	14.0%	14.5%	14.6%
	販売店での説明を受けて	10.6%	18.4%	23.6%	29.0%	32.6%	28.4%
	学校や保育園・幼稚園等での説明を受けて	4.5%	8.4%	8.7%	10.8%	10.2%	9.9%
	国や地方公共団体や民間団体が行う講座に参加して	2.3%	2.8%	2.9%	1.8%	1.3%	1.9%
	病院（産科・小児科等）で教えてもらって	1.2%	1.4%	1.3%	1.1%	0.5%	0.9%
	アプリで知って	4.7%	4.7%	4.3%	4.8%	3.4%	4.1%
	その他	5.2%	3.0%	3.1%	3.5%	2.8%	3.1%
	特にきっかけはない・覚えていない	32.9%	25.2%	22.5%	20.0%	22.5%	22.1%
知りたい方法	インターネット（ウェブページや動画）で知ることができる	64.6%	64.0%	65.4%	63.7%	62.7%	63.6%
	テレビや本、パンフレットで知ることができる	28.6%	25.7%	26.0%	22.8%	21.8%	23.3%
	販売店での説明で知ることができる	23.6%	26.9%	26.7%	30.3%	29.0%	28.8%
	学校や保育園・幼稚園等での説明で知ることができる	30.6%	29.2%	25.7%	20.6%	19.3%	21.8%
	国や地方公共団体や民間団体が行う講座で知ることができる	10.2%	8.9%	9.0%	7.0%	6.3%	7.2%
	病院（産科・小児科等）で教えてもらうことができる	9.6%	6.0%	3.7%	2.4%	2.5%	3.1%
	アプリで知ることができる	18.6%	15.1%	15.1%	14.7%	14.3%	14.7%
	その他	2.4%	2.1%	1.3%	1.1%	2.2%	1.7%
	特に知りたいと思わない	13.4%	12.1%	12.4%	15.2%	18.2%	15.7%
実際に知ったきっかけと知りたい方法のギャップ	インターネット（ウェブページや動画）で知ることができる	-31.3%	-23.8%	-30.6%	-27.9%	-29.0%	-28.5%
	テレビや本、パンフレットで知ることができる	-13.6%	-10.0%	-10.8%	-8.8%	-7.4%	-8.7%
	販売店での説明で知ることができる	-13.0%	-8.4%	-3.0%	-1.3%	3.6%	-0.4%
	学校や保育園・幼稚園等での説明で知ることができる	-26.1%	-20.8%	-17.0%	-9.8%	-9.2%	-11.9%
	国や地方公共団体や民間団体が行う講座で知ることができる	-7.9%	-6.1%	-6.0%	-5.1%	-5.0%	-5.4%
	病院（産科・小児科等）で教えてもらうことができる	-8.4%	-4.6%	-2.4%	-1.4%	-2.0%	-2.2%
	アプリで知ることができる	-13.9%	-10.4%	-10.8%	-9.9%	-10.9%	-10.6%
	その他	2.8%	0.8%	1.8%	2.4%	0.6%	1.4%
	特に知りたいと思わない	19.5%	13.1%	10.2%	4.9%	4.3%	6.4%

n=5532, 6500, 5532

フィルタリングサービスで知りたいこととしては、「フィルタリング専用ブラウザでインターネットにアクセスする際の機能について」（37.8%）、「アプリケーションの利用を制限する機能について」（36.1%）、「スマートフォンの利用時間・状況などを通知する機能について」（30.8%）のニーズが高い（図表 4.20）。これらは利用しているフィルタリングサービスの機能について示した図表 4.8 の結果と似ており、やはりこの3つのニーズが高いといえる。さらに、この傾向は利用しているアプリ・サービスによってもほとんど変わらなかった（図表 4.21）。

⁷ ただし図表 3.15 では「友人や保護者同士の会話で知ることができる」が2番目に多い。

合計個数の平均では、年齢別には年齢の低い青少年保護者ほど個数が多くなっており（図表 4.20）、これも家庭内ルールを示した図表 3.16 と同じ傾向である。図表 4.21 のアプリ・サービス別では「動画共有サービス」と「SNS」の個数が少なく、これも家庭内ルールについて調査した図表 3.17 と同様の傾向である。これらのアプリ・サービス利用者の保護者は、家庭内ルールだけでなくフィルタリングサービスに対しても後ろ向きであることが推察される。

図表 4.20 フィルタリングサービスの機能で知りたいこと（年齢別）

フィルタリングサービスの機能で知りたいこと	未就学	小学低学年	小学高学年	中学	高校	全体
フィルタリング専用ブラウザでインターネットにアクセスする際の機能について	44.8%	47.1%	43.3%	38.6%	33.0%	37.8%
アプリケーションの利用を制限する機能について	47.2%	45.2%	43.0%	37.4%	30.3%	36.1%
スマートフォンの利用時間・状況などを通知する機能について	45.6%	39.1%	37.1%	32.9%	24.6%	30.8%
フィルタリングサービスの1～3以外の機能について	16.4%	16.1%	17.4%	14.4%	9.2%	12.8%
フィルタリングサービスを利用するうえでの注意点について	30.0%	28.2%	23.1%	21.9%	18.3%	21.2%
フィルタリングサービスで防げるインターネット上のトラブルについて	36.4%	31.4%	28.7%	25.7%	22.7%	25.6%
フィルタリングレベルの適切な設定について	35.0%	30.1%	25.8%	24.9%	23.4%	25.0%
フィルタリング機能の適切な選択方法について	28.8%	26.0%	23.0%	22.1%	20.0%	21.8%
フィルタリングサービスの導入方法について	24.8%	21.2%	18.5%	16.4%	13.5%	16.1%
フィルタリングサービスのカスタマイズ方法について	28.8%	29.3%	23.6%	22.8%	19.8%	22.3%
その他	1.4%	1.2%	1.2%	1.0%	1.9%	1.4%
知りたいことは特になし	20.2%	17.1%	21.0%	25.5%	33.3%	27.3%
合計個数の平均（「知りたいことは特になし」「その他」を除く）	3.4	3.1	2.8	2.6	2.1	2.5

n=6500

図表 4.21 フィルタリングサービスの機能で知りたいこと（アプリ・サービス別）

フィルタリングサービスの機能で知りたいこと	学習・勉強・知育アプリ					インターネット・ブラウザ・アプリ				
	動画共有サービス	ゲームアプリ	強・知育アプリ	メッセージアプリ	SNS	インターネット検索サービス	ブラウザ・アプリ・ショッピング・オークションサイト	メールアプリ	漫画アプリ	その他
フィルタリング専用ブラウザでネットにアクセスする際の機能	39.3%	40.6%	40.5%	38.1%	33.7%	37.1%	37.9%	38.6%	39.0%	31.6%
アプリケーションの利用を制限する機能	29.5%	41.9%	39.5%	35.8%	28.0%	37.5%	36.3%	36.5%	38.6%	31.8%
スマートフォンの利用時間・状況などを通知する機能	25.4%	34.4%	38.5%	28.8%	24.2%	32.1%	28.8%	31.4%	32.4%	31.3%
フィルタリングサービスの1～3以外の機能	8.2%	10.6%	16.7%	11.3%	7.7%	13.7%	12.0%	13.0%	17.2%	12.5%
フィルタリングサービスを利用するうえでの注意点	14.6%	18.8%	22.7%	18.9%	17.6%	20.5%	20.0%	23.5%	27.0%	20.9%
フィルタリングサービスで防げるインターネット上のトラブル	17.6%	26.0%	28.5%	23.0%	20.8%	27.2%	22.4%	26.4%	29.0%	26.9%
フィルタリングレベルの適切な設定	16.8%	22.0%	23.7%	22.9%	17.9%	26.0%	18.2%	27.4%	31.3%	25.9%
フィルタリング機能の適切な選択方法	12.9%	18.8%	21.8%	19.0%	16.8%	23.7%	18.3%	23.1%	26.5%	23.7%
フィルタリングサービスの導入方法	11.0%	16.5%	17.9%	14.2%	11.1%	18.2%	14.7%	15.5%	18.8%	16.2%
フィルタリングサービスのカスタマイズ方法	15.3%	19.9%	19.4%	19.8%	16.0%	25.5%	17.6%	23.4%	25.4%	22.2%
その他	1.0%	0.8%	0.9%	1.1%	1.0%	0.8%	1.6%	1.6%	1.7%	6.1%
知りたいことは特になし	27.5%	20.2%	14.9%	27.2%	30.2%	28.7%	26.3%	27.0%	26.5%	35.9%
合計個数の平均（「知りたいことは特になし」「その他」を除く）	1.9	2.5	2.7	2.3	1.9	2.6	2.3	2.6	2.9	2.4

n=6500

4. 6. 周囲にフィルタリングサービスに詳しい人はいるか

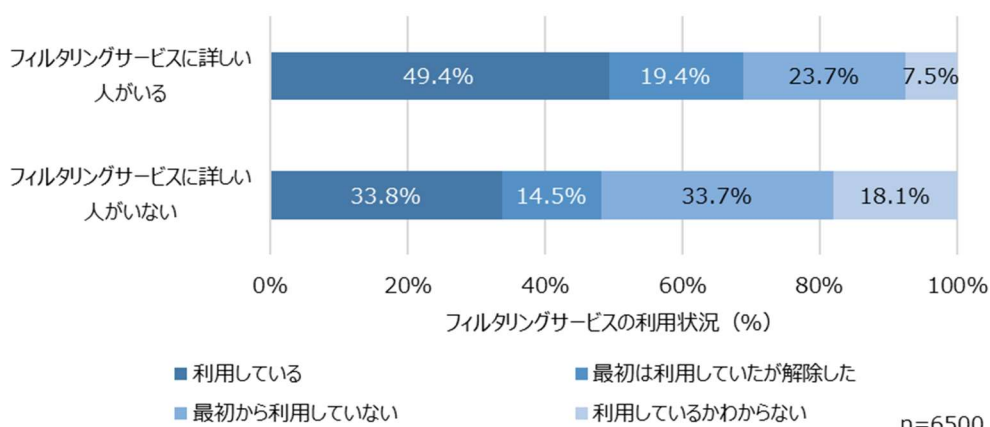
図表 4.22 は、周囲にフィルタリングサービスに詳しい人がどれくらいいるかを調査した結果である。「親族」（14.9%）、「親しい友人」（6.8%）が高いものの、「詳しい人物はいなかった」（74.4%）が圧倒的に多い。これは周囲にいたペアレンタルコントロールに詳しい人の割合を調査した図表 3.18 と似た傾向である。

図表 4.22 フィルタリングサービスに詳しい人の割合（年齢別）

フィルタリングサービスに詳しい人	未就学	小学低学年	小学高学年	中学	高校	全体
親族	20.8%	21.8%	19.5%	16.6%	10.2%	14.9%
親しい友人	6.6%	9.9%	8.8%	6.9%	5.4%	6.8%
知り合い	4.8%	6.5%	6.1%	5.6%	4.1%	5.1%
会社の同僚や上司	5.0%	5.1%	5.8%	4.4%	3.5%	4.3%
その他	0.8%	1.8%	2.1%	1.4%	2.1%	1.9%
詳しい人物はいなかった	69.8%	66.4%	68.4%	72.7%	79.6%	74.4%

n=6500

フィルタリングサービスに詳しい人がいるかどうかとフィルタリングサービス利用状況の関係を見た図表 4.23 からは、フィルタリングサービスに詳しい人が周りにいるとフィルタリングサービス利用率がかなり高いことが分かる。無論、詳しい人がいるから利用するようになったということと、利用しているから詳しい人が周りにいるようになった（いることに気づいた）という両因果が考えられるが、周囲にフィルタリングサービスに詳しい人がいるかどうかは、少なからずフィルタリング利用行動と関係していると考えられる。



図表 4.23 フィルタリングサービスに詳しい人がいるかどうかとフィルタリングサービス利用状況

4. 7. 家庭内ルールとフィルタリングサービス利用の関係

図表 4.24 は、フィルタリングサービスの利用状況別に、家庭内ルールの守らせている確率（家庭内ルールを施行しており、かつ、守らせている割合）を分析したものである。例えば、フィルタリングサービス利用者の中では、「利用時間帯に関する約束」を守らせている保護者が 40.5%いる。これを見ると、全ての家庭内ルールについて、フィルタリングサービス利用者が最も多く守らせており、2 位との差も大きいことが分かる。また、「親がいるところだけで使う」を除き、フィルタリングサービスを利用しているか分かっていない保護者が、家庭内ルールを守らせている割合が低い。また、合計数の平均を見ても同様の結果となっており、「フィルタリングサービスを利用している」 > 「フィルタリングサービスを利用

していたが解除した」>「フィルタリングサービスを利用していない」>「フィルタリングサービスを利用しているか分からない」となっている。

この結果は、フィルタリングサービスの利用と家庭内ルールを守らせる行動は正の相関をしており、「他のペアレンタルコントロールをしているからフィルタリングサービスを利用していない」といった保護者が多いというよりもむしろ、青少年管理について意識が高い保護者と低い保護者がおり、前者はフィルタリングサービス利用もその他のペアレンタルコントロールも実施している一方で、後者は両方ともしていないといえる。

図表 4.24 フィルタリングサービス利用状況と各家庭内ルールを守らせている行動の関係

家庭内ルール	フィルタリングサービス利用の状況			
	利用していたが			
	利用している	解除した	利用していない	分からない
利用時間帯に関する約束	40.5%	16.4%	15.1%	14.3%
合計利用時間に関する約束	20.6%	8.1%	8.9%	4.7%
情報の取り扱いに関する約束	35.7%	29.2%	19.0%	10.6%
必ず相談する約束	33.1%	30.3%	19.4%	12.9%
友達の登録は知っている人だけ	34.5%	19.2%	14.6%	11.7%
投稿内容に関する約束	26.7%	23.7%	13.7%	8.3%
親がいるところだけで使う	12.7%	3.9%	10.5%	7.3%
お金に関する約束	20.9%	18.5%	14.8%	9.3%
その他	3.6%	2.2%	2.1%	1.1%
合計数の平均	2.3	1.5	1.2	0.8

n=6500

その人数について調査した結果が図表 4.25 である。図表 4.25 において、「家庭内ルール」の欄は、家庭内ルールを1つ以上守らせていれば○となる列である。図表 4.25 からは、家庭内ルールを1つ以上守らせていてフィルタリングサービスを利用している保護者は30.2%いるのに対し、両方とも×の保護者も同程度（29.5%）存在することが分かる。とりわけこのような家庭は青少年のインターネット利用に対してほとんど何も施策をとっていないということであり、適切な青少年保護策がとられるように積極的に啓発すべき対象といえる。

図表 4.25 家庭内ルールとフィルタリングサービスの状況と人数

家庭内ルール	フィルタリングサービス	人数
○	○	30.2%
○	×	32.7%
×	○	7.6%
×	×	29.5%

n=6500

5. トラブルの遭遇状況とペアレンタルコントロールの関係

5. 1. トラブルの遭遇状況

図表 5.1 は、各種トラブルを心配しているかどうか調査したものである。全体的に多いのが「SNS・メッセージアプリ・ゲームなどで、いじめや誹謗中傷が発生する問題」(58.6%)、「インターネットの使い過ぎにより、体調や学業に支障をきたす問題」(52.5%)、「ワンクリック詐欺で、意図していない契約による多額の請求が来る問題」(47.4%)で、特に前者2つはどの年齢でも高い。

年齢別の違いでは、合計数の平均を見ると年齢が低い方が心配しているトラブルが多いことが分かる。挙げているトラブルは9つであるので、未就学については平均して半分以上のトラブルを心配していることになる。特徴的なのが、未就学でのみ「オンライン（ゲームアプリや漫画アプリなど）で過度な課金（支払い）をしてしまう問題」が56.0%でTOP3となっていることである。この背景には、保護者のスマートフォンを利用している青少年も多いため、登録されているクレジットカードなどで過剰な支払いをする可能性を危惧していると考えられる。実際、図表 2.10 では、未就学～小学高学年までは「フリマアプリ、ショッピング・オークションサイト」の利用率こそ低いものの、「ゲームアプリ」など他の支払いの発生する可能性のあるアプリ・サービスの利用率は低くない。

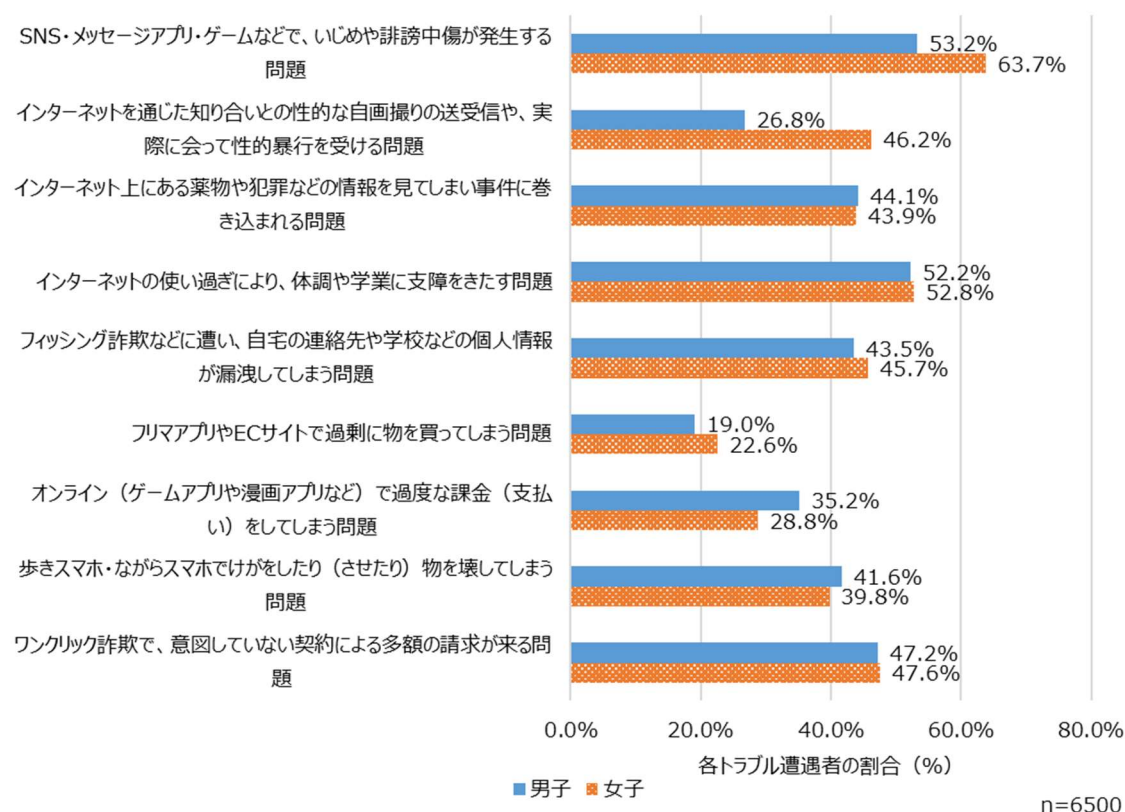
図表 5.1 遭うことを心配しているトラブル（年齢別）

トラブル	未就学	小学低学年	小学高学年	中学	高校	全体
SNS・メッセージアプリ・ゲームなどで、いじめや誹謗中傷が発生する問題	61.6%	63.0%	66.9%	65.9%	49.1%	58.6%
インターネットを通じた知り合いとの性的な自撮りの送受信や、実際に会って性的暴行を受ける問題	48.3%	48.5%	46.8%	38.7%	28.8%	36.8%
インターネット上にある薬物や犯罪などの情報を見てしまい事件に巻き込まれる問題	53.4%	54.3%	51.6%	47.9%	35.9%	44.0%
インターネットの使い過ぎにより、体調や学業に支障をきたす問題	63.0%	58.1%	55.9%	55.3%	47.6%	52.5%
フィッシング詐欺などに遭い、自宅の連絡先や学校などの個人情報が漏洩してしまう問題	48.0%	45.0%	46.4%	45.8%	42.8%	44.6%
フリマアプリやECサイトで過剰に物を買ってしまう問題	34.6%	29.8%	23.6%	20.0%	18.1%	20.9%
オンライン（ゲームアプリや漫画アプリなど）で過度な課金（支払い）をしてしまう問題	56.0%	48.4%	38.8%	31.3%	25.4%	31.9%
歩きスマホ・ながらスマホで物が壊れたり（させたり）物を壊してしまう問題	44.0%	41.7%	40.2%	39.8%	41.2%	40.7%
ワンクリック詐欺で、意図していない契約による多額の請求が来る問題	55.8%	51.7%	48.6%	48.2%	45.1%	47.4%
合計数の平均	4.65	4.40	4.19	3.93	3.34	3.77

n=6500

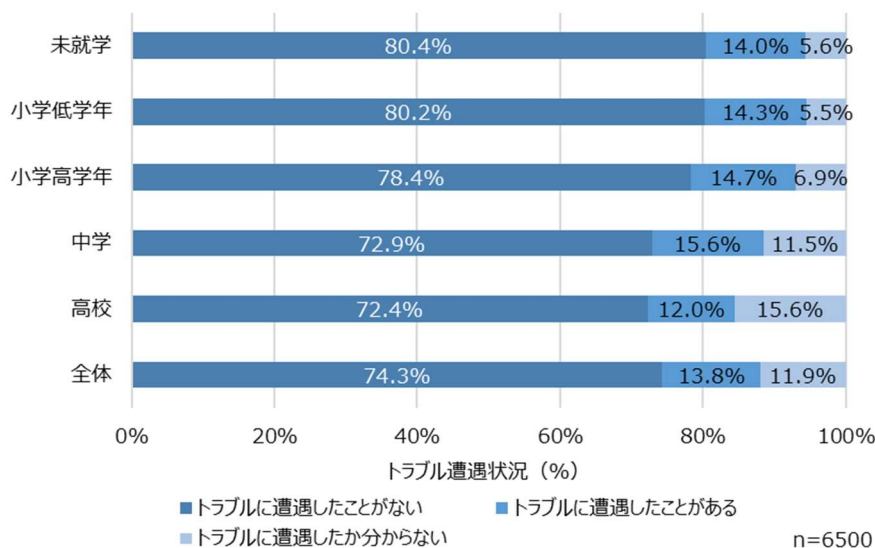
また、性別別には、「SNS・メッセージアプリ・ゲームなどで、いじめや誹謗中傷が発生する問題」と「インターネットの使い過ぎにより、体調や学業に支障をきたす問題」で差が

大きく、女子の保護者の方が心配する傾向にあった。一方で、オンライン（ゲームアプリや漫画アプリなど）で過度な課金（支払い）をしてしまう問題」は男子が多い傾向にある（図表 5.2）。



図表 5.2 遭うことを心配しているトラブル（性別別）

このようなトラブル全般について実際に遭遇したことがあるか、遭遇したことがないか、あるいは遭遇したか分からないかを調査した結果が図表 5.3 である。1 つ以上トラブルに遭遇したと回答した保護者は「トラブルに遭遇したことがある」としている。図表 5.3 からは、多くの人がトラブルに遭遇したことがない（74.3%）ことが分かる。しかしながら、高校生は「トラブルに遭遇したことがある」人こそ相対的にやや少ないものの、「トラブルに遭遇したか分からない」人が非常に多く、結局「トラブルに遭遇したことがない」人は年齢が上がるにつれて少なくなっていることが分かる。とりわけ中学生以降少ない。年齢が上がると青少年のインターネット利用管理が甘くなることや、青少年とのコミュニケーションが変化することが背景にあるだろう。「トラブルに遭遇したか分からない」の中には実際には遭遇しているケースも少なくない可能性がある。



図表 5.3 トラブル遭遇経験（年齢別）

また、図表 5.4 では各トラブル遭遇経験についてまとめている。全体的に多いのは「SNS・メッセージアプリ・ゲームなどでいじめや誹謗中傷を受けた」（3.7%）、「インターネットを通じた知り合いに性的な自画撮りを送って（受け取って）しまったり、実際に会って性的暴行を受けた（受けそうになった）」（2.5%）、「インターネットの使い過ぎにより、体調や学業に支障をきたしてしまった」（5.1%）であり、特に使いすぎが多かった。

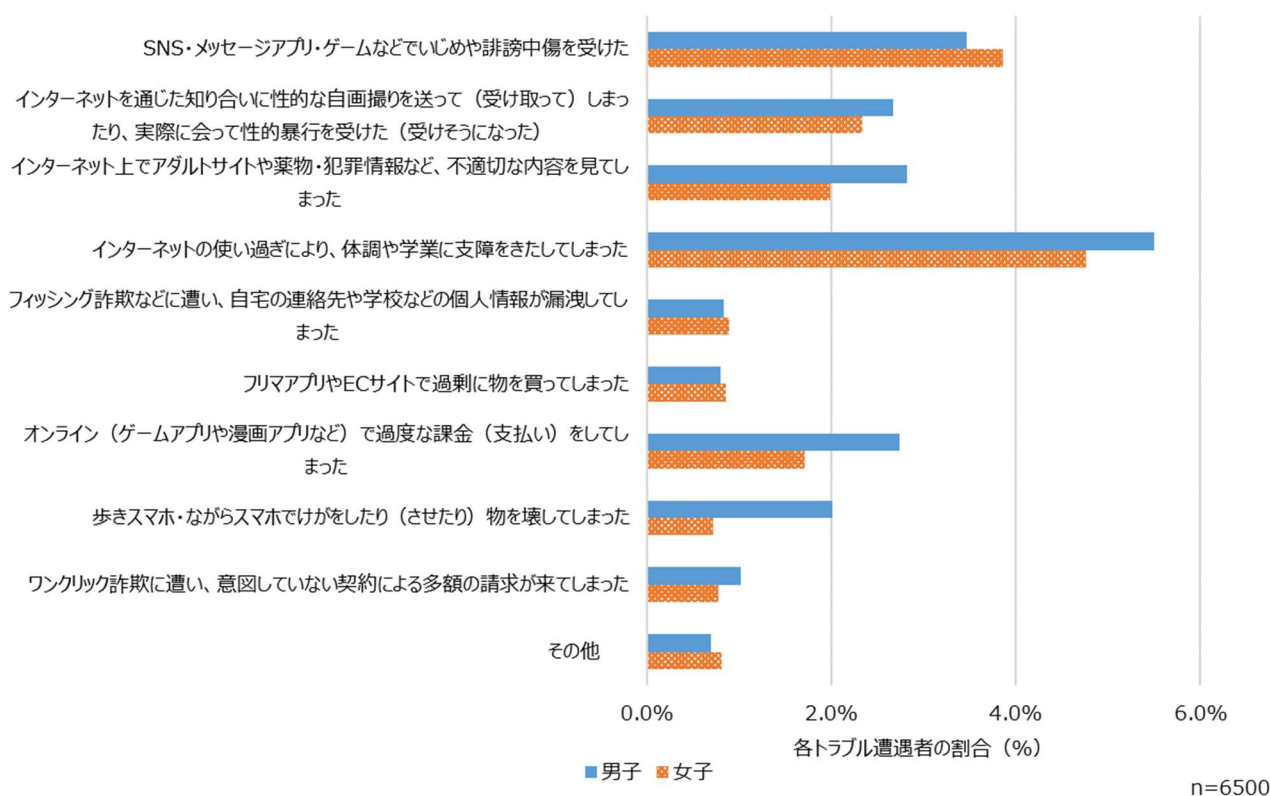
また、性的な自画撮りの送受信について男女差を見たところ、差はほとんどなく、どちらかといえば男子の方が多かった（男子：2.7%、女子：2.3%）。図表 5.2 において、女子の保護者の方が多く心配していたことと、実際のトラブル遭遇率との乖離が見られる。加害者・被害者双方について尋ねているため厳密なことはいえないが、少なくとも保護者の認識と実態に乖離があるのは間違いない。今後、加害・被害を区別したより詳細な調査が必要だろう。尚、男女差を考慮した統計は図表 5.5 のようになり、全体的に男子の方がトラブル遭遇確率が高い。

トラブル遭遇の合計数の平均は未就学～中学生ではほぼ同じで、高校生になるとやや少なくなる。ただし前述したとおり、高校生では「トラブルに遭遇したか分からない」が多いため、これをもってしてトラブルに遭遇しにくいとはいえない。また、未就学と小学高学年では「インターネット上でアダルトサイトや薬物・犯罪情報など、不適切な内容を見ってしまった」が相対的に多かった。

図表 5.4 各トラブル遭遇経験（年齢別）

トラブル	未就学	小学低学年	小学高学年	中学	高校	全体
SNS・メッセージアプリ・ゲームなどでいじめや誹謗中傷を受けた	4.0%	4.5%	3.1%	4.7%	2.9%	3.7%
インターネットを通じた知り合いに性的な自画撮りを送って（受け取って）しまったり、実際に会って性的暴行を受けた（受けそうになった）	2.8%	3.9%	4.2%	2.9%	1.3%	2.5%
インターネット上でアダルトサイトや薬物・犯罪情報など、不適切な内容を見てしまった	4.0%	2.7%	4.0%	2.4%	1.7%	2.4%
インターネットの使い過ぎにより、体調や学業に支障をきたしてしまったり	3.2%	3.9%	4.6%	6.3%	4.7%	5.1%
フィッシング詐欺などに遭い、自宅の連絡先や学校などの個人情報が漏洩してしまったり	0.8%	1.3%	1.1%	0.9%	0.7%	0.9%
フリマアプリやECサイトで過剰に物を買ってしまった	1.6%	1.2%	0.2%	0.9%	0.9%	0.8%
オンライン（ゲームアプリや漫画アプリなど）で過度な課金（支払い）をしてしまった	2.2%	1.6%	2.2%	2.6%	2.1%	2.2%
歩きスマホ・ながらスマホでけがをしたり（させたり）物を壊してしまったり	1.2%	1.7%	1.4%	1.4%	1.3%	1.3%
ワンクリック詐欺に遭い、意図していない契約による多額の請求が来てしまったり	1.8%	0.9%	0.8%	0.9%	0.9%	0.9%
その他	0.2%	0.5%	0.6%	0.9%	0.8%	0.8%
合計数の平均	0.22	0.22	0.22	0.24	0.17	0.21

n=6500



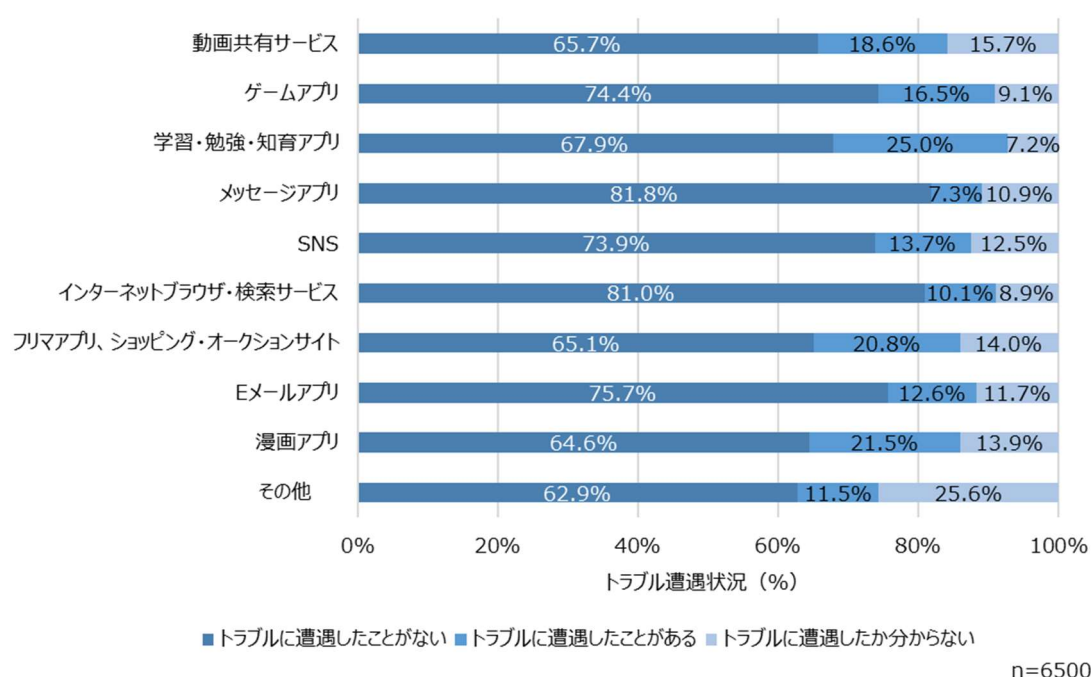
n=6500

図表 5.5 各トラブル遭遇経験（性別別）

図表 5.6 は、図表 5.3 のトラブル遭遇経験を、利用しているアプリ・サービス別に分析し

たものである。「トラブルに遭遇したことがない」割合は、「動画共有サービス」(65.7%)、「学習・勉強・知育アプリ」(67.9%)、「フリマアプリ、ショッピング・オークションサイト」(65.1%)、「漫画アプリ」(64.6%)で低くなっている。また、「トラブルに遭遇したことがある」割合も概ねこの4つで高い傾向となっており、特に「学習・勉強・知育アプリ」(25.0%)で高い。さらに個別のトラブル経験率を見た図表 5.7 からは、「学習・勉強・知育アプリ」では「インターネットを通じた知り合いに性的な自撮りを送って(受け取って)しまったり、実際に会って性的暴行を受けた(受けそうになった)」経験率が高いことが分かる。「学習・勉強・知育アプリ」利用中に知り合った人とトラブルになるということが可能性として考えられる。

ただし、これらはあくまで各アプリ・サービスを利用している人でトラブルに遭遇したことがない人が少ない(＋トラブルに遭遇したことがある人が多い)ということであり、各アプリ・サービス利用中にトラブルに遭遇したことがあることを厳密に示すものではない。実際、Eメールアプリ利用者での「オンライン(ゲームアプリや漫画アプリなど)で過度な課金(支払い)をしてしまった」トラブル経験が多いが、Eメールアプリ自体でそのようなトラブルに遭遇したとは考えにくい。また、統計的に差があるか検証したのではなく、利用しているアプリ・サービスによってトラブル遭遇経験に有意に差があるかどうかは5.3.で検証する。



図表 5.6 トラブル遭遇経験（年齢別）

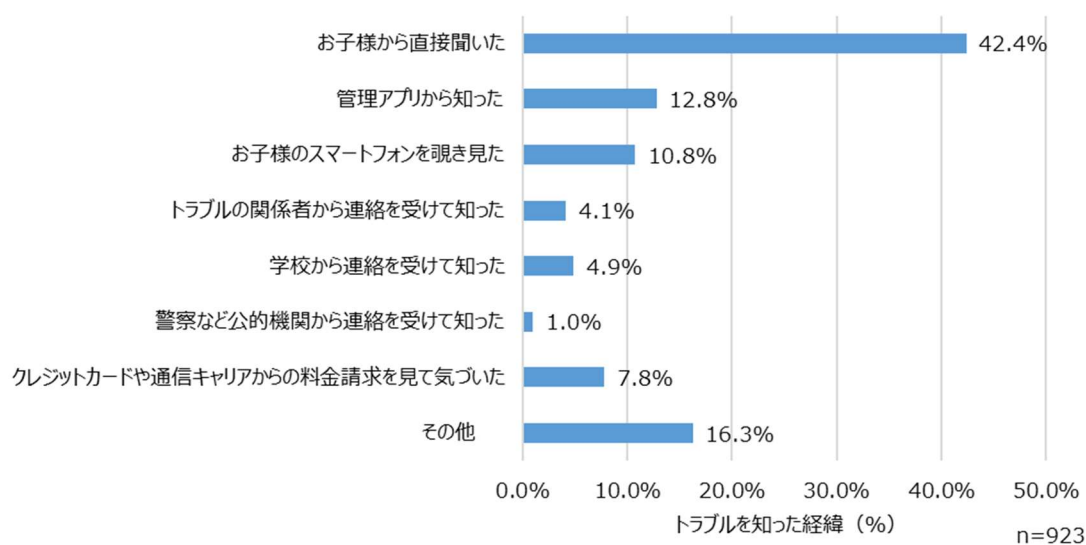
図表 5.7 各トラブル遭遇経験（アプリ・サービス別）

トラブル	動画共有サービス	ゲームアプリ	学習・勉強・知育アプリ	メッセージアプリ	SNS	インターネットブラウザ・検索サービス	フリマアプリ・ショッピングサイト	エメールアプリ	漫画アプリ	その他
SNS・メッセージアプリ・ゲームなどでいじめや誹謗中傷を受けた	6.0%	5.0%	4.1%	2.4%	3.9%	1.9%	5.5%	3.1%	7.2%	1.7%
インターネットを通じた知り合いに性的な自撮りを送って（受け取って）しまったり、実際に会って性的暴行を受けた（受けそうになった）	3.9%	4.9%	11.5%	2.1%	2.7%	1.0%	3.9%	2.3%	2.9%	1.4%
インターネット上でアダルトサイトや薬物・犯罪情報など、不適切な内容を見てしまった	2.9%	3.9%	6.0%	1.3%	3.5%	1.6%	3.3%	2.2%	3.4%	0.6%
インターネットの使い過ぎにより、体調や学業に支障をきたしてしまった	2.5%	4.4%	7.4%	1.8%	3.1%	4.3%	10.3%	4.9%	10.2%	5.5%
フィッシング詐欺などに遭い、自宅の連絡先や学校などの個人情報が漏洩してしまった	0.3%	0.2%	1.7%	0.4%	1.5%	0.2%	2.5%	0.9%	2.3%	0.0%
フリマアプリやECサイトで過剰に物を買ってしまった	0.9%	0.3%	0.8%	0.3%	0.7%	0.2%	3.0%	1.0%	2.0%	0.1%
オンライン（ゲームアプリや漫画アプリなど）で過度な課金（支払い）をしてしまった	1.0%	1.2%	1.1%	1.5%	1.4%	1.7%	2.4%	2.6%	5.2%	0.5%
歩きスマホ・ながらスマホでけがをしたり（させたり）物を壊してしまった	1.0%	1.0%	2.3%	0.1%	0.7%	0.7%	3.7%	1.5%	3.3%	0.9%
ワンクリック詐欺に遭い、意図していない契約による多額の請求が来てしまった	1.5%	0.5%	1.1%	0.1%	1.2%	0.0%	1.3%	1.2%	2.2%	0.8%
その他	0.4%	0.3%	1.5%	0.2%	0.9%	0.8%	1.6%	0.8%	0.9%	1.3%
合計数の平均	0.20	0.22	0.37	0.10	0.20	0.12	0.38	0.21	0.40	0.13

n=6500

5. 2. トラブルを知った経緯と対応

図表 5.8 は、実際にトラブルに遭遇した保護者に対して、直近で遭遇したトラブルを最初にどのような経緯で知ったかを調査した結果である。最多が「お子様から直接聞いた」（42.4%）であり、非常に高い。このことは、日頃から青少年と保護者がコミュニケーションしておくことの大切さと、何かあったときに相談するという約束が守られているかどうか非常に重要であることを示唆している。



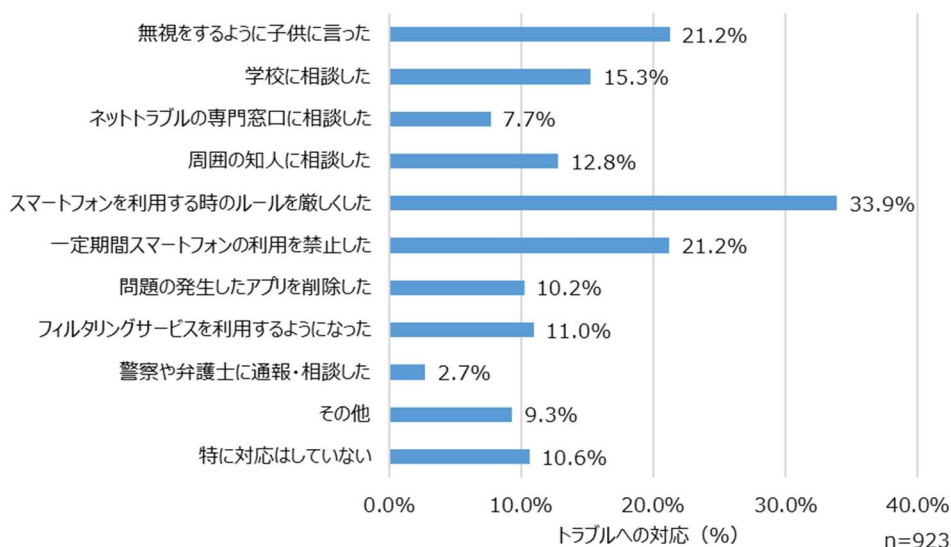
図表 5.8 直近で遭遇したトラブルを知った経緯

図表 5.9 は、それらのトラブルに対してどのように対応したかを調査した結果である。最も多いのが「スマートフォンを利用するときのルールを厳しくした」(33.9%)で、「無視をするように子供に言った」(21.2%)と「一定期間スマートフォンの利用を禁止した」(21.2%)も多い。

ただしこれはトラブル事象によって大きく異なる。図表 5.10 では、それぞれのトラブル遭遇時に行った対処方法の割合を示しており、その上位 3 位までを色付けしている(行で上位 3 つ)。図表 5.10 からは、「SNS・メッセージアプリ・ゲームなどでいじめや誹謗中傷を受けた」や「インターネットを通じた知り合いに性的な自画撮りを送って(受け取って)しまったり、実際に会って性的暴行を受けた(受けそうになった)」といったやり取りに関するトラブルでは、「無視をするように子供に言った」や「学校に相談した」が多いことが分かる。ただし、性的な被害については、「ネットトラブルの専門窓口相談した」も多い。

一方それ以外では、「スマホ利用時のルールを厳しくした」が非常に多い傾向にあり、多くのトラブルにおいて「一定期間スマホの利用を禁止した」も多い。「フィッシング詐欺などに遭い、自宅の連絡先や学校などの個人情報が漏洩してしまった」という犯罪被害に遭ったものについては「周囲の知人に相談した」が最も多く、個人情報漏洩については周囲に相談できることがトラブルにおいて支えになることが分かる。これは「SNS・メッセージアプリ・ゲームなどでいじめや誹謗中傷を受けた」でも多い。

これらの結果は、トラブルによってとる対応が異なるということである。無論、多くの人にとっての対応が適切とは限らないが、少なくとも本結果は、「他の保護者がどのように対応したか知りたい」という保護者のニーズに応えるものであろう。



図表 5.9 直近で発生したトラブルへの対応

図表 5.10 直近で発生したトラブルへの対応（トラブル別）

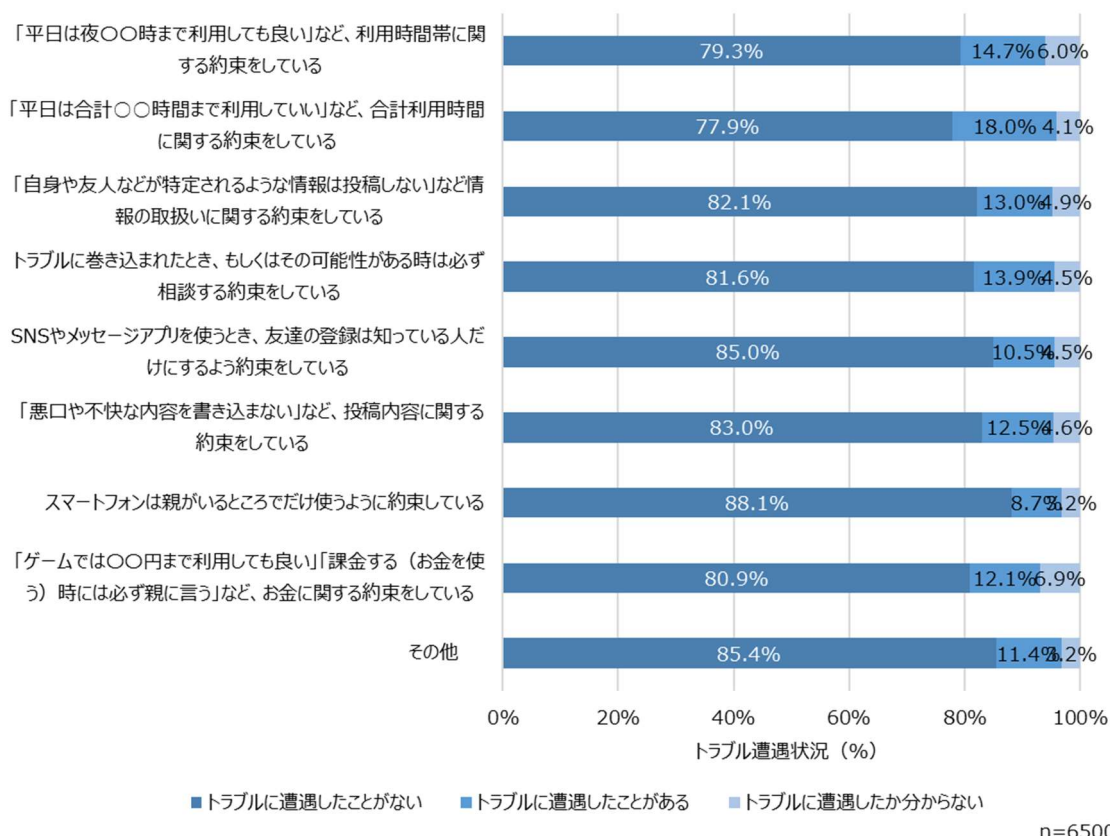
トラブル	無視をする ように子供 に言った	学校に相 談した	ネットトラ ブルの専門 窓口に相 談した	周囲の知 人に相談 した	スマホ利用 時のルール を厳しくし た	一定期間 スマホの利 用を禁止 した	問題の発 生したアプ リを削除し た	フィルタリ ングサービス を利用する ようになった	警察や弁 護士に通 報・相談し た	その他	特に対応 はしてい ない
SNS・メッセージアプリ・ゲームなどでいじめや誹謗中傷を受けた	46.7%	42.1%	5.0%	19.6%	14.8%	10.9%	5.0%	5.5%	2.7%	2.7%	8.7%
ネットを通じた知り合いに性的な自撮りを送って（受け取って）しまったり、実際に会って性的暴行を受けた（受けそうになった）	35.9%	30.7%	18.3%	12.4%	4.8%	13.5%	6.2%	7.1%	6.0%	0.4%	8.1%
インターネット上でアダルトサイトや薬物・犯罪情報など、不適切な内容を見てしまった	28.5%	6.0%	9.2%	13.8%	30.6%	10.0%	7.3%	17.2%	3.8%	7.2%	7.5%
インターネットの使い過ぎにより、体調や学業に支障をきたしてしまったり	2.9%	7.2%	4.4%	10.6%	51.3%	33.8%	7.8%	10.4%	0.1%	11.6%	14.5%
フィッシング詐欺などに遭い、自宅の連絡先や学校などの個人情報漏洩してしまった	26.6%	0.0%	21.0%	35.7%	22.5%	12.4%	22.7%	22.4%	0.0%	14.0%	0.0%
フリマアプリやECサイトで過剰に物を買ってしまった	12.3%	12.8%	2.4%	13.7%	48.0%	14.5%	20.7%	13.5%	1.2%	14.3%	6.8%
オンライン（ゲームアプリや漫画アプリなど）で過度な課金（支払い）をしてしまった	4.6%	2.6%	13.0%	6.7%	50.8%	31.1%	27.6%	19.4%	2.4%	14.2%	9.0%
歩きスマホ・ながらスマホでけがをしたり（させたり）物を壊してしまったり	18.9%	5.6%	1.6%	7.3%	38.3%	15.8%	1.6%	7.2%	4.6%	0.0%	11.8%
ワンクリック詐欺に遭い、意図していない契約による多額の請求が来てしまった	54.2%	3.4%	14.2%	15.0%	34.7%	18.9%	14.6%	12.9%	5.0%	13.4%	3.4%
その他	16.4%	0.9%	1.8%	8.5%	20.8%	13.6%	18.6%	9.5%	10.4%	34.8%	18.0%

n=923

5. 3. 家庭内ルール、フィルタリングサービス利用とトラブルに遭遇しないこととの関係

では、このようなトラブル遭遇状況と家庭内ルールやフィルタリングサービスの利用とはどのような関係にあるのだろうか。図表 5.11 は、守らせている家庭内ルール別に、トラブル遭遇状況を分析したものである。「トラブルに遭遇したことがない」割合を見ると、「SNS やメッセージアプリを使うとき、友達の登録は知っている人だけにしよう約束をしている」（85.0%）と「スマートフォンは親がいるところでだけ使うように約束している」（88.1%）が高い。後者はかなり強力な管理であるが、前者の場合もトラブルに遭遇しない傾向にあるのは興味深い。インターネットで繋がる人を限定することが、トラブル回避に効果的に寄与する可能性がある。他には「悪口や不快な内容を書き込まない」など、投稿内容に関する約束をしている」も 83.0%でやや高い傾向で、投稿内容に関するルールを決めることは、他人を傷つけないだけでなく、それに伴って青少年自身が何かのトラブルに巻き込まれることも防ぐと推察される。

一方で、「平日は夜〇〇時まで利用しても良い」など、利用時間帯に関する約束をしている」と「平日は合計〇〇時間まで利用していい」など、合計利用時間に関する約束をしている」は、トラブルに遭遇しない割合が相対的に低い。これらのルールのトラブルを防ぐ効果は相対的に低い可能性がある。ただし注意しなければならないのが、このような家庭内ルールを定めている家庭では、「インターネットの使い過ぎにより、体調や学業に支障をきたしてしまったり」といったトラブルの判断基準が低い可能性もある。



図表 5.11 各トラブル遭遇状況と各家庭内ルールの関係

以上を踏まえ、ここから「トラブルに遭遇したことがない」ということと、家庭内ルールやフィルタリングサービスといった青少年のスマートフォンによる ICT 利用管理状況や、利用アプリ・サービス、青少年の属性などの様々な要素がどう関連しているか、回帰分析により定量的に明らかにする。これにより、交絡因子などを考慮しながら、統計的に有意な関係にある要素を把握することができる。

分析するのは、保護者 i がトラブルに遭遇しない行動を表した次の式 (5.1) である。

$$\begin{aligned}
 \text{Logit}[P(\text{Trouble}_i = 1)] &= \log \left(\frac{P[\text{Trouble}_i]}{1 - P[\text{Trouble}_i]} \right) \\
 &= \alpha + \beta_1 \text{Rule_Fil}_i + \beta_2 \text{App_age}_i + \gamma_1 \text{App}_{it} + \gamma_2 \text{Smartphone}_i \\
 &\quad + \gamma_3 \text{Characteristics}_i
 \end{aligned}
 \tag{5.1}$$

ただし、各記号は以下を指す。また、モデルはロジットモデルとなっている。

- Trouble_i : 保護者 i が、長子のスマートフォンでのインターネット利用に関してトラブル遭遇経験がなければ 1 とするダミー変数。

- $P(\text{Trouble}_i = 1)$: $\text{Trouble}_i = 1$ となる確率。
- Rule_Fil_i : 保護者 i の家庭内ルールとフィルタリングサービス利用を表すベクトル。図表 4.25 の 4 分割に沿っており、「家庭内ルールあり・フィルタリングサービスあり」「家庭内ルールあり」「フィルタリングサービスあり」「家庭内ルールなし・フィルタリングサービスなし」の 4 種類となっている。実際の分析においては「家庭内ルールなし・フィルタリングサービスなし」を基準とする。
- App_age_i : アプリの推奨年齢・対象年齢を確認したうえで守らせていれば 1 とするダミー変数。 Rule_Fil_i と同様、保護者による青少年のインターネット利用管理に関する変数。
- App_i : 各アプリを利用していれば 1 とするダミー変数のベクトル。
- Smartphone_i : スマートフォン利用形態ベクトル。図表 2.3 の区分に従っており、「専用」「兄弟共用」「親と共用・親の前のみ」「親と共用」「その他」「わからない」の 6 つある。実際の分析においては「わからない」を基準とする。
- Characteristics_i : 個人 i とその子供に関する属性のベクトル。具体的には、「同居している子供の数 (人)」「子供の年齢 (歳)」「子供の性別」「子供のスマートフォン利用時間 (時間/日)」「保護者と子供の接している時間 (時間/日)」「保護者のスマートフォン利用歴 (年)」である。
- $\alpha, \beta_1, \beta_2, \gamma_1, \gamma_2, \gamma_3$: それぞれのベクトルにかかったパラメータ。この内、 β_1, β_2 は青少年の ICT 利用に関する管理とトラブル遭遇の関係を示す。

以上を踏まえて (5.1) 式を分析した結果が図表 5.14 である。ただし、 p 値は White (1980)⁸の標準誤差から算出されており、不均一分散に頑健な値となっている。限界効果列には平均限界効果を記載している⁹。この限界効果の推定結果を分かりやすく図としたものが図表 5.12 で、さらに主な特徴を表にまとめたのが図表 5.13 である。図表 5.12 においては、5%水準で優位とならなかった変数は「0.0%」と表記している。

図表 5.12 では、右側（青色）であればトラブルに遭遇しにくい傾向であるといえる一方で、左側（橙色）であればトラブルに遭遇しやすいか、遭遇しているか分からない傾向とい

⁸ White, H. (1980). A heteroskedasticity-consistent covariance matrix estimator and a direct test for heteroskedasticity. *Econometrica: Journal of the Econometric Society*, 817-838.

⁹ 限界効果とは、説明変数が 1 単位増加した時に確率がどの程度変化するかを表している。限界効果は、以下のような式で算出される。

$$\text{限界効果}_i = g(X_i'\beta)\beta^l = \Delta(X_i'\beta)[1 - \Delta(X_i'\beta)]\beta^l$$

ただし、 g は関数形、 β^l はベクトル X の 1 番目の変数のパラメータという意味である。注目すべきは、限界効果はサンプル i によって変化するという点である。そのため、サンプル全体の平均値を求めるのが一般的である。これを平均限界効果という。本稿でも、平均限界効果を用いる。

$$\text{平均限界効果}_l = \frac{1}{n} \sum_{i=1}^n g(X_i'\hat{\beta})\hat{\beta}^l$$

える。

分析結果について解釈を加えていく。まず、家庭内ルールとフィルタリングサービスに関しては、「フィルタリングサービスあり・家庭内ルールあり」と「フィルタリングサービスなし・家庭内ルールあり」だと、「フィルタリングサービスなし・家庭内ルールなし」に比べてトラブルに遭遇しにくい傾向が見られた。具体的には、「フィルタリングサービスあり・家庭内ルールあり」の場合、両方していない人に比べてトラブルに遭遇しない確率が 8.4% 高く、「家庭内ルールあり」だと 7.7% 高い。一方で、「フィルタリングサービスあり・家庭内ルールなし」では有意な影響が見られなかった。このことは、家庭内ルールを作らずにフィルタリングサービスのみ導入しても、トラブル防止という意味では効果は限定的であることを示唆している。あくまでも家庭内でルールを作る中で、フィルタリングサービスを効果的に活用するのが重要であるといえる。

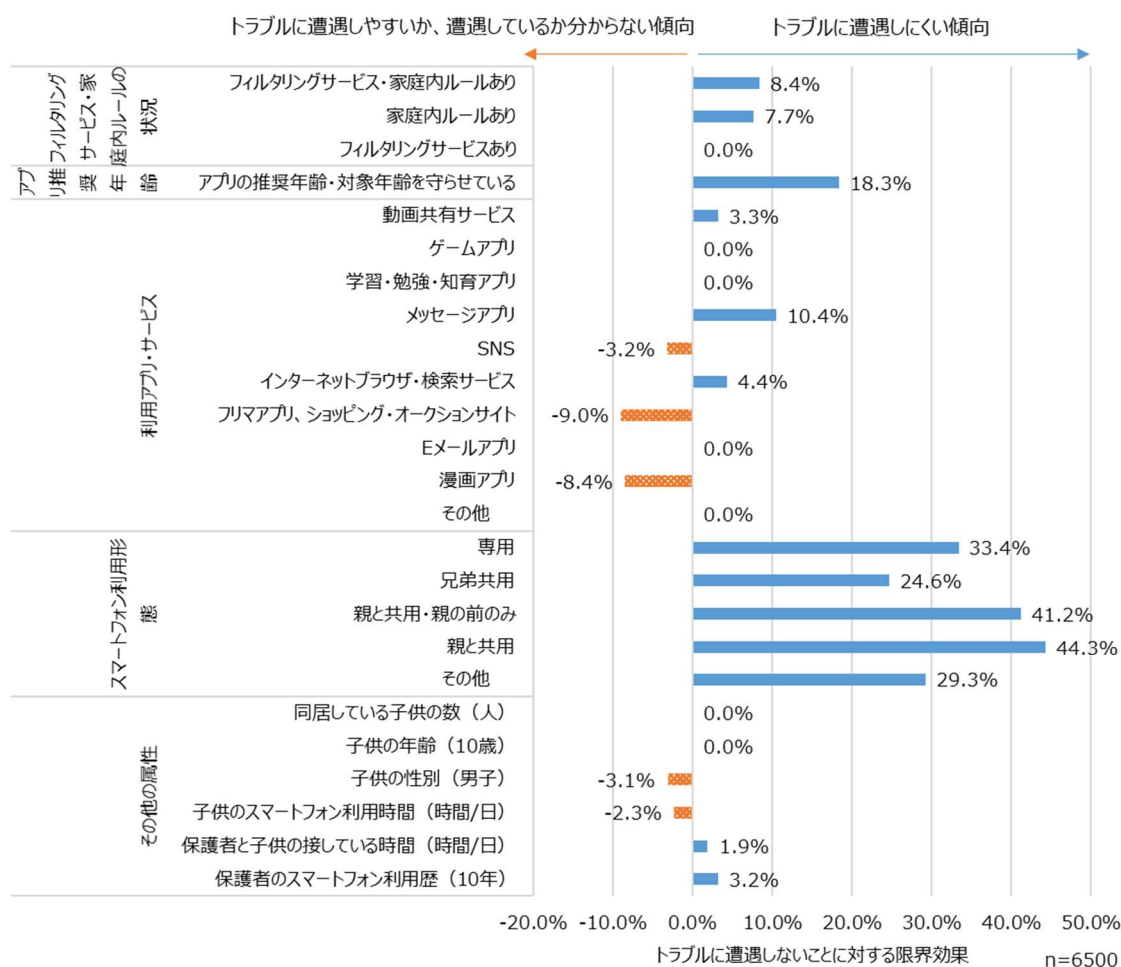
次に、アプリの年齢については、アプリの推奨年齢・対象年齢を守らせている人は、そうでない人に比べて 18.3% トラブルに遭遇しない確率が高かった。アプリの推奨年齢・対象年齢を守らせることはトラブル防止に非常に有効と考えられる。

利用アプリ・サービスでは、「動画共有サービス」「メッセージアプリ」「インターネットブラウザ・検索サービス」を利用している人はトラブルに遭遇しにくい一方で、「SNS」「フリマアプリ、ショッピング・オークションサイト」「漫画アプリ」を利用している人はトラブルに遭遇しやすいか、分からない傾向にあった。まず、前者の3つのアプリ・サービスがトラブルに遭遇しにくい背景は推測の域を出ないが、これらはいずれも不特定多数の他者とのやり取りが発生しにくいとはいえる。メッセージアプリはコミュニケーションツールだが、不特定多数とのやり取りは SNS やゲームアプリに比べれば少ない。ただし LINE オープンチャットもあるため一概にはいえない。また、トラブルに遭遇しやすいか遭遇しているか分からない傾向にあったアプリ・サービスについては、「SNS」はコミュニケーション上のトラブルが、「フリマアプリ、ショッピング・オークションサイト」と「漫画アプリ」は金銭関連のトラブルが発生しやすいと考えられる。「ゲームアプリ」より「漫画アプリ」の方がトラブルに遭遇しやすいか分からない傾向にあるのは興味深い。

スマートフォン利用形態では、「分からない」以外のどの利用形態の人も、「分からない」人よりはトラブルに遭遇しにくい傾向にあることが分かる。特にその傾向が強いのが「親と共用・親の前のみ」と「親と共用」の2つであり、親と共用の場合はトラブルに遭遇しにくい傾向が顕著に見られた。また、「専用」の方が「兄弟共用」よりもトラブルに遭遇しにくい傾向だった。これは、利用の幅が広がることや、子供のスマートフォン利用管理が難しくなることなどが要因と考えられる。

最後に、その他の属性については、「保護者と子供の接している時間」が長い人や、「保護

者のスマートフォン利用歴」が長い人はトラブルに遭遇しにくい傾向があった。日頃の子供とのコミュニケーション量や、保護者がスマートフォンに慣れているかが、青少年のトラブル遭遇防止に関係しているといえる。他方、子供が「男子」である場合や、「子供のスマートフォン利用時間」が長い場合は、トラブルに遭遇しやすいか遭遇しているか分からない傾向が見られた。



図表 5.12 トラブルに遭遇しないことに何が影響を与えているか（回帰分析結果・限界効果）

図表 5.13 トラブルに遭遇しない傾向とそれぞれの要素の主たる関係まとめ

分類	概要
青少年管理	「フィルタリングサービスあり・家庭内ルールあり」「フィルタリングサービスなし・家庭内ルールあり」の場合、トラブルに遭遇しにくい傾向。他方、「フィルタリングサービスあり・家庭内ルールなし」と「フィルタリングサービスなし・家庭内ルールなし」の場合にそのような傾向

	向は見られなかった。 「アプリの推奨年齢・対象年齢を守らせている」場合、トラブルに遭遇しにくい傾向が非常に強い。
利用アプリ・サービス	「動画共有サービス」「メッセージアプリ」「インターネットブラウザ・検索サービス」を利用している人はトラブルに遭遇しにくい傾向。 「SNS」「フリマアプリ、ショッピング・オークションサイト」「漫画アプリ」を利用している人はトラブルに遭遇したり、トラブルに遭遇しているか分からなかったりする傾向。
スマートフォン利用形態	「親と共用・親の前のみ」と「親と共用」だとトラブルに遭遇しにくい傾向。 「専用」の方が「兄弟共用」よりトラブルに遭遇しにくい傾向。
その他の属性	「保護者と子供の接している時間」が長い人や、「保護者のスマートフォン利用歴」が長い人はトラブルに遭遇しにくい傾向。 - 子供が「男子」である場合や、「子供のスマートフォン利用時間」が長い場合は、トラブルに遭遇しやすいか遭遇しているか分からない傾向。

図表 5.14 式 5.1（トラブルに遭遇しない行動モデル）の推定結果

変数分類	変数	限界効果	p値	
フィルタリングサービス・家庭内ルールの状況	フィルタリングサービス・家庭内ルールあり	0.084	0.000	**
	家庭内ルールあり	0.077	0.000	**
	フィルタリングサービスあり	0.023	0.329	
アプリの推奨年齢	アプリの推奨年齢を守らせている	0.183	0.000	**
利用サービス	動画共有サービス	0.033	0.034	*
	ゲームアプリ	-0.018	0.172	
	学習・勉強・知育アプリ	-0.029	0.058	
	メッセージアプリ	0.104	0.000	**
	SNS	-0.032	0.035	*
	インターネットブラウザ・検索サービス	0.044	0.003	**
	フリマアプリ、ショッピング・オークションサイト	-0.090	0.000	**
	Eメールアプリ	-0.031	0.055	
	漫画アプリ	-0.084	0.000	**
	その他	-0.045	0.130	
	スマートフォン利用形態			
スマートフォンの属性	専用	0.334	0.000	**
	兄弟共用	0.246	0.001	**
	親と共用・親の前のみ	0.412	0.000	**
	親と共用	0.443	0.000	**
	その他	0.293	0.002	**
	同居している子供の数（人）	0.000	0.974	
その他の属性	子供の年齢（歳）	0.004	0.067	
	子供の性別（男性）	-0.031	0.014	*
	子供のスマートフォン利用時間（時間/日）	-0.023	0.000	**
	保護者と子供の接している時間（時間/日）	0.019	0.000	**
	保護者のスマートフォン利用歴（年）	0.003	0.002	**
	サンプルサイズ		6500	

注1：** $p < 0.01$ 、* $p < 0.05$ 。

注2：p値は不均一分散に頑健な標準誤差から算出している。

注3：「フィルタリングサービス・家庭内ルールの状況」の基準は「フィルタリングサービスなし・家庭内ルールなし」。「スマートフォン利用形態」の基準は「分からない」。

6. 実験的調査による青少年の成長や ICT 利用状況に応じたペアレンタルコントロールに関する情報提供効果の検証

6. 1. 啓発フライヤーを見ての意識変化

付録 2. 1. に掲載している啓発フライヤーを本調査対象者に見せた後、意識調査をした結果が図表 6.1 と図表 6.2 である。

まず図表 6.1 を見ると、「この中にはない」の人は全体で 22.9%にとどまり、77.1%の人がフライヤーを見て何らかの意識変化があったことが分かる。特に多いのが、「フィルタリングサービスの効果を知ることができた」(29.5%)、「フィルタリングサービスが学齢やインターネット利用状況によって柔軟に設定できることを知った」(26.0%)、「適切な対策を知ることができた」(23.3%)であった。

年齢別には、低年齢層では「フィルタリングサービスを利用しようと思った」や「家庭内ルールを新たに作ろうと思った」といった直接のアクションに関する意識変化が大きいという結果となった。また、「子供のスマートフォン利用に関して心配していたことについて、適切な対策を知ることができた」も多い。未就学・小学低学年でまだ子供のスマートフォン利用に慣れていない保護者に、新しいアクション取らせたり、適切な対策を啓発したりするのに有効といえる。

図表 6.1 フライヤーを見ての意識変化（年齢別）

意識変化	未就学	小学低学年	小学高学年	中学	高校	全体
フィルタリングサービスを利用しようと思った	30.4%	17.1%	10.7%	8.0%	2.8%	8.0%
子供のスマートフォン利用に関する家庭内ルールを新たに作ろうと思った	20.0%	35.4%	19.9%	17.1%	11.0%	16.7%
フィルタリングサービスの効果を知ることができた	27.0%	33.4%	35.1%	33.4%	24.0%	29.5%
フィルタリングサービスが子供の学齢やインターネット利用状況によって柔軟に設定できることを知ることができた	27.0%	26.7%	27.3%	26.7%	18.0%	23.3%
子供のスマートフォン利用に関して心配していたことについて、適切な対策を知ることができた	32.0%	32.6%	25.9%	25.6%	16.0%	22.7%
子供の利用しているアプリに適した対策を知ることができた	19.0%	26.3%	20.6%	14.0%	11.0%	15.1%
今決めている子供のスマートフォン利用に関する家庭内ルールでは足りないと感じた	16.0%	21.7%	13.8%	19.0%	7.0%	13.4%
子供のスマートフォン利用全般に関して、適切な対策を知ることができた	31.0%	30.1%	27.2%	27.2%	23.0%	26.0%
子供のスマートフォン利用を適切に管理する自信がついた	5.0%	12.1%	5.5%	3.8%	4.0%	4.9%
この中にはない	16.0%	13.5%	8.8%	16.6%	36.0%	22.9%
合計数の平均	2.07	2.35	1.86	1.75	1.17	1.60

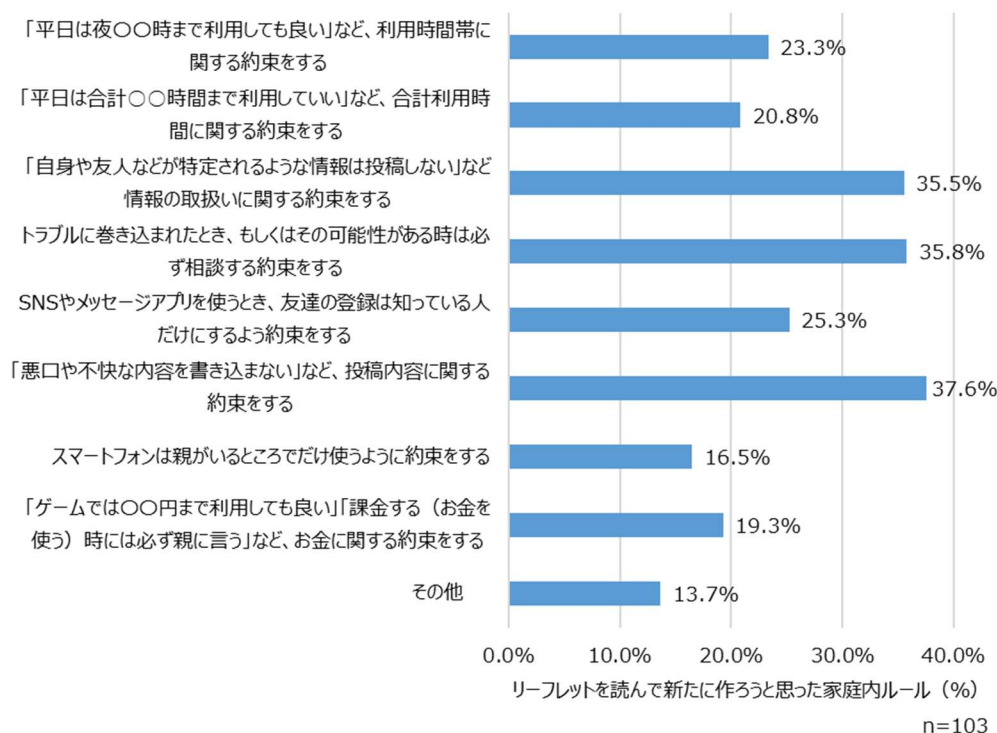
次に図表 6.2 からは、「フィルタリングサービスあり・家庭内ルールあり」の人の意識変化が最も大きい一方、「フィルタリングサービスあり・家庭内ルールなし」と「フィルタリングサービスなし・家庭内ルールなし」では小さく、「この中にはない」が最多であることが分かる¹⁰。既に施策をとっている保護者への効果は高いが、不足している保護者への効果は相対的に低いといえる。ただしそれでも 55%以上は何らかの意識変化がある。

図表 6.2 フライヤーを見ての意識変化（ペアレンタルコントロール状況別）

意識変化	フィルタリングサービスあり・家庭内ルールあり	フィルタリングサービスなし・家庭内ルールあり	フィルタリングサービスあり・家庭内ルールなし	フィルタリングサービスなし・家庭内ルールなし
フィルタリングサービスを利用しようと思った	0.0%	10.8%	0.0%	3.1%
子供のスマートフォン利用に関する家庭内ルールを新たに作ろうと思った	16.7%	20.2%	15.2%	10.8%
フィルタリングサービスの効果を知ることができた	35.8%	31.2%	10.7%	21.5%
フィルタリングサービスが子供の学齢やインターネット利用状況によって柔軟に設定できることを知ることができた	32.3%	21.4%	26.5%	11.3%
子供のスマートフォン利用に関して心配していたことについて、適切な対策を知ることができた	26.8%	25.2%	9.7%	15.1%
子供の利用しているアプリに適した対策を知ることができた	17.6%	15.9%	16.3%	9.4%
今決めている子供のスマートフォン利用に関する家庭内ルールでは足りないと感じた	15.0%	13.8%	10.7%	10.9%
子供のスマートフォン利用全般に関して、適切な対策を知ることができた	33.9%	25.5%	14.5%	17.0%
子供のスマートフォン利用を適切に管理する自信がついた	9.2%	3.0%	0.0%	2.6%
この中にはない	7.5%	21.6%	42.9%	44.9%
合計数の平均	1.87	1.67	1.04	1.02

「子供のスマートフォン利用に関する家庭内ルールを新たに作ろうと思った」を選択した人に対して、具体的にどのようなルールを作ろうと思ったか調査した結果が図表 6.3 である。ただし、回答者が既に作っている家庭内ルールは選べない仕様となっている。図表 6.3 からは、「自身や友人などが特定されるような情報は投稿しない」など情報の取扱いに関する約束をする（35.5%）、「トラブルに巻き込まれたとき、もしくはその可能性がある時は必ず相談する約束をする」（35.8%）、「悪口や不快な内容を書き込まない」など、投稿内容に関する約束をする（37.6%）の 3 つが多いことが分かる。

¹⁰ 尚、フィルタリングサービスの利用状況や家庭内ルールの状況は改めて聞いている。



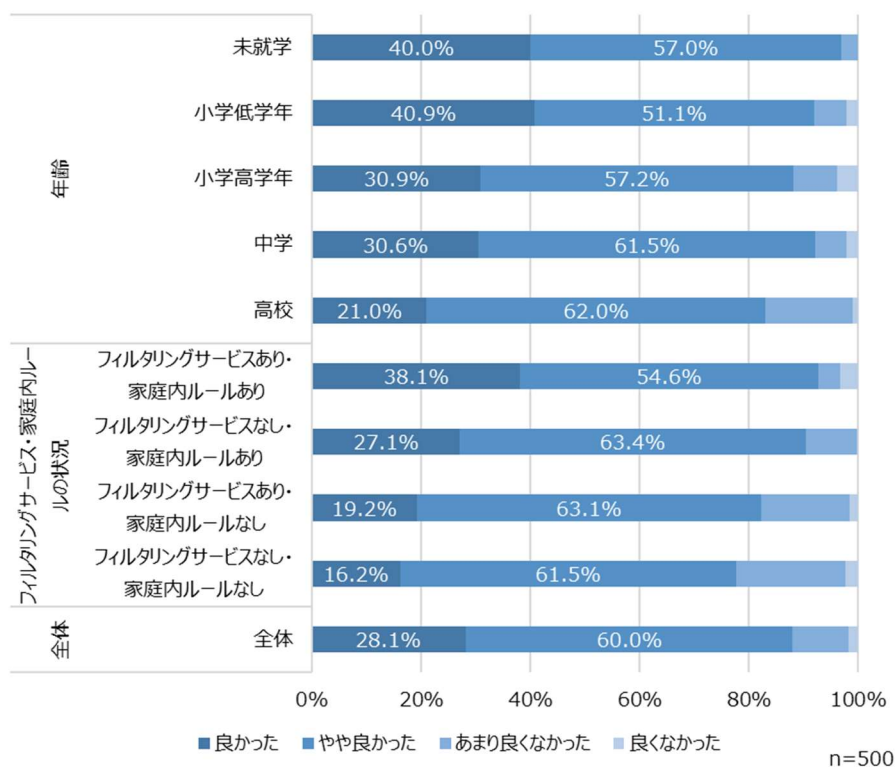
図表 6.3 フライヤーを見て作ろうと思った家庭内ルール

6. 2. 啓発フライヤーへの評価

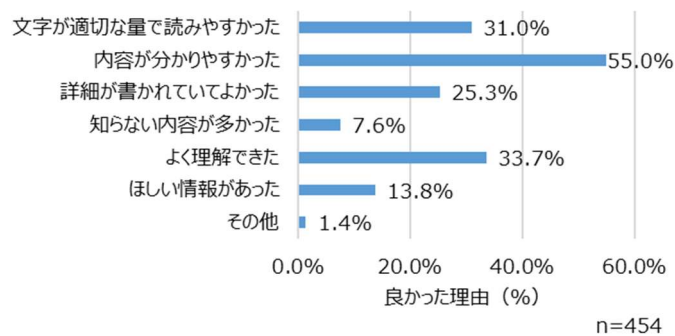
図表 6.4 は、フライヤーに対する評価をまとめたものである。全体的にフライヤーへの評価は高く、88.1%の人が「やや良かった」「良かった」と考えている。特に未就学では 97.0% がそのように考えており、高いニーズがあるため、優先的にフライヤーで啓発すべき対象といえる。他方、意識変化と同様、「フィルタリングサービスあり・家庭内ルールなし」や「フィルタリングサービスなし」「家庭内ルールなし」では相対的に「やや良かった」以上の人が少なかった。

また、図表 6.5 は、「やや良かった」以上の人に、その理由を尋ねている。理由としては、「内容が分かりやすかった」(55.0%) が最多で、「よく理解できた」(33.7%) や「文字が適切な量で読みやすかった」(31.0%) も高かった。このように解決したい問題に対応した簡潔な資料はニーズが高いといえる

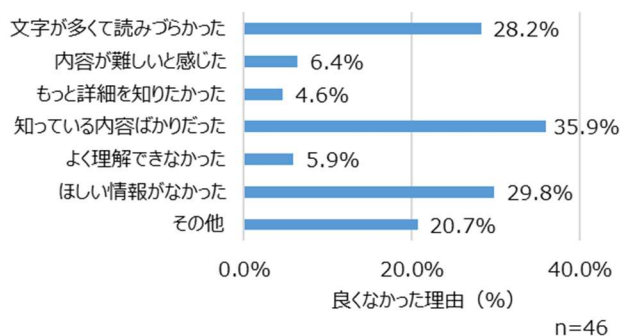
一方、「あまり良くなかった」以下の理由としては、「知っている内容ばかりだった」(35.9%) が最多で、「ほしい情報がなかった」(29.8%) も高かった(図表 6.6)。ただし、「あまり良くなかった」以下の人の多くはペアレンタルコントロールをしていない保護者であり、知っているが過信しているだけの可能性もある。



図表 6.4 フライヤーへの評価（年齢別・ペアレンタルコントロール状況別）



図表 6.5 良かった理由



図表 6.6 良くなかった理由

最後に、以下は自由記述での啓発フライヤーへの意見・要望（改善点等）・感想である。多くが「分かりやすかった」などのポジティブな評価であるが、中には改善点を示すものもあった。整理すると、ポジティブなものとしては①イラストなどもあり分かりやすかった、②問題点と解決法が紐づいていてわかりやすかった、③問題点が見える化した、といったものが多かった。他方、改善を希望するものとしては、①情報が多い・文字数が多い、②子供にもわかるような内容だと良い、③動画が良い、④情報が不足している（データ容量、より具体的な事例など）といったものがあつた。また、「夏休みや冬休み前などにメールやプリントで配布していただくとよい」「子供がスマホを購入する時に、この紙2枚を一緒にわたしてもらえたら」などといった、配布を希望する声も見られた。

- ありきたりの表現なので、見ても特に意識することは無さそうな印象
- イラストが可愛くて良かったです
- イラストが多くてわかりやすかった
- いろいろな問題がある
- ギガ消費など、データ容量についても取り上げるのがよいと思った
- こういう取り決めは決めても親子の信頼関係がなければ守らないと思います。その部分は触れなくていいんですかね。もうできている前提なんでしょうね。そうじゃないご家庭もきっとあると思います。
- この問題点にはこの解決法という感じで、わかりやすく掲載されてた。
- とても分かりやすかったです
- フィルタリングを具体的にどうすればいいのか。 子供を納得させられるかなど事例が知りたい
- もう少しイラストを増やす方が良い。難しいなら、動画アクセスできるようにする方が良い
- もっと具体的な事例を有効に活用した啓発方法をしてほしい
- もっと多くの情報を知らせてほしい
- わかりやすかった
- わかりやすくて参考になりました
- わかりやすく書いてあつたので読もうとする人がたくさんいると思う。
- 安心して使わせて上げられる
- 以前学校から同じような内容のプリントをいただいた。 作成は、教育委員会か警察かは忘れましたが。 内容も分かりやすいので、夏休みや冬休み前などにメールやプリントで配布していただくとよい（ありがたい） と思いました。
- 何が問題点なのかが見える化できた点がよかったです。
- 我が家は子供が自由に使えるようにしていません。低学年なので動画の方がリスクも分かりやすいと思いました、

- 簡素に書かれているが分かりやすく理解できた。
- 結局、あれできないこれできないと言われて解除する手間がふえる。
- 健康にも害が及ぶような内容も厳しく記載されたい。
- 見やすいイラストなどもあり、分かりやすかった。
- 今現在の問題がかなり細かく書かれていた
- 子供がスマホを購入する時に、この紙2枚を一緒にわたしてもらえたなと思いました。
- 子供もわかりやすく書いてほしい。
- 情報が多すぎて、分かりづらい
- 数値のデータを使った啓発内容もあるといい
- 設定方法が具体的に示されているともっと良い
- 大人は味方、相談先を知っている という文言がとても好きだった
- 定期的に dm のように発信してほしい
- 伝えたいことが多すぎて読む気にならない。内容が「ダメ・ダメ」しかないのでは先まで読む気にならない。
- 同じ内容で、子供に向けたリーフレットもあるといいと思いました。 大人がルールを設定しようとするときに、子供がその必要性を理解する助けになるのではと思います。
- 読みやすかったのですが、文字数を少なめにして 子供も、パッと見わかりやすい内容でかかれていると 尚嬉しい
- 必要な情報が分かりやすく書いてあって、とてもいい内容だと思う。ただ、情報量が多く、読む時間、読むこと自体がややハードルが高くなりそうな気もした。興味のある親ではなく、いかに広く興味を持ってもらえるか、が大事だと思う。
- 文字を大きくして、もうちょっと文字数を減らしてほしい
- 例となるようなスマホの画面も差し込んでほしい。

7. 保護者インタビュー分析

本章では、20名の保護者インタビューによって明らかになった共通因子の11のストーリーと、5つのニーズを掲載する。インタビュー実施は全20名でターゲットマトリクスとIDは図表7.1の通りである。

図表 7.1 保護者インタビュー調査のターゲットマトリクスとID（*は一人っ子家庭）

子の性別	男児			女兒		
フィルタリングサービスサービス	導入中	解除	未導入	導入中	解除	未導入
未就学児	A*	—	B	C、D*	—	—
小学校低学年	—	E	F*	G	—	H*
小学校高学年	I	J	—	K	L	—
中学生	M*	N*	—	—	O	P
高校生	—	Q*、R		S*	—	T

7. 1. 保護者インタビューから見てきたストーリー

7. 1. 1. 青少年とICT

7. 1. 1. 1. ストーリー1：最初に触れるICTは「親のスマートフォン」が多く、その理由はゲームや動画に興味を持つほか「家事や出かけ先で少し静かにしててもらおう」ため

昨今の青少年が利用するICTには、スマートフォン、パソコン、タブレット、ゲーム、テレビ（インターネットにつながったもの）など様々なものがあるが、最初に触れることの多いものは「スマートフォン」であり、その理由が動画やゲームに興味を持ち始めるほか、「出かけ先や家事の合間に少し静かにしてほしいときに見させていた」というものであった。（図表7.2）。また、その際見せているものは動画共有サイトほか、知育アプリなどもみられた。

図表 7.2 保護者の声

ID	属性	発言
A	男児・未就学・フィルタリングサービス導入中	「3歳くらいから触っている。外にいるときに暇をもてあましたり、大人しくしてほしい時に、知育のようなゲームをさせています。」

C	女兒・未就学児・フィルタリングサービス導入中	「2 歳くらいの時から親のスマートフォンを触っていました。動画を見るのがメインで、子供むけのアプリゲームや Amazon Kids+もやります。」
E	男児・小学校低学年・フィルタリングサービス解除	「幼稚園年少くらいから、病院などで時間を待つときにスマホで動画を見せていました。スマホを自分で使用するのは年中くらいからです。」
H	女兒・小学校低学年・フィルタリングサービス未導入	「2、3 歳の頃からスマホで子供をあやすアプリなどを使って見せていました。(親が) 移動中や家事をしたいときに、暇つぶし的に見せていました。」
J	男児・小学校高学年・フィルタリングサービス解除	「子供が泣いたりぐずったり暇になったときに、両親のスマホで幼児向けの動画をみせていました。保育園児の頃です。」
O	女兒・中学生・フィルタリングサービス解除	「スマホやタブレットで、YouTube を未就学児のころから親のスマホで見せていました。」

7. 1. 1. 2. ストーリー2: 全世代で利用が多いのは「動画共有サービス」、様々なデバイスで鑑賞

動画共有サービスがきっかけで ICT に触れることが多いことに加え(前述ストーリー1)、全世代を通じて動画共有サイトの利用が非常に多かった。また、その利用状況はスマートフォンだけでなく、タブレットや PC ほか、テレビ(インターネットにつながったもの)で閲覧する家庭も複数見られた。(図表 7.3)。

図表 7.3 保護者の声

ID	属性	発言
B	男児・未就学児・フィルタリングサービス未導入	「YouTube を観ることが多くて、タブレットやテレビで観ています。」
E	男児・小学校低学年・フィルタリングサービス解除	「動画がほとんどで、YouTube とプライム・ビデオを観ています。親のスマホを使うほか、テレビでも観させています。」
H	女兒・小学校低学年・フィルタリングサービス未導入	「家で YouTube やプライム・ビデオ等を、パソコンで観ています。有名 YouTuber の動画や Minecraft などのゲーム実況をよく観ています。」
J	男児・小学校高学年・フ	「YouTube とゲームがメイン。ゲームに関連する動画を見

	フィルタリングサービス解除	ている。基本はスマホで観ていますが、テレビでも観ています。」
L	男児・小学校高学年・フィルタリングサービス解除	「TikTok、YouTube、Netflix などの動画の視聴が一番多いです。」
P	女兒・中学生・フィルタリングサービス未導入	「アイドルの配信を見ているほか、アニメ観ています。大概 YouTube などの動画系を見ていることが多いです。スマホのほかパソコンがほぼ専用でずっと観ています。」

7. 1. 1. 3. ストーリー3：スマートフォン専用理由で大きいものは「メッセージアプリ」利用のため・スマートフォン専用利用を始めると「スマホ利用に集中」になる

青少年がスマートフォンを専用で利用するようになる時期は、家庭環境やその他の要因で多様にあるが、その背景に共通の理由として「メッセージアプリ」の利用が共通項としてみられた。また同時に、一度スマートフォンを専用し始めると、それまでゲーム機器やタブレットに夢中になっていてもスマートフォンの利用に夢中になる青少年が多く、長時間利用する傾向も見られた。(図表 7.4)。

図表 7.4 保護者の声

ID	属性	発言
L	男児・小学校高学年・フィルタリングサービス解除	「小学校に入ってから、子供の下校時間に親が不在になるように。帰ってきたかどうか、などの確認のやり取りがしたくて小学校 2 年生のときに専用にしました。」 「(ゲームやタブレットも使えるが) 今は一番スマホを使っています。平日は 1～2 時間、休日は 2～5 時間くらいで、遊びに行かなければずっと使っています。」
M	男児・中学生・フィルタリングサービス導入中	「習い事の連絡や学校との友達との連絡で必要になり、中学 1 年生の時に買いました。」 「今はずっとスマホでだいたい 1 日 2 時間くらい、タブレットやパソコンはほとんど使いません。」
O	女兒・中学生・フィルタリングサービス解除	「小 6 の 12 月にスマホを専用にしました。我が家としてはあまり持たせなかったのですが、上の子が LINE ですべての連絡(友達、部活、クラス)がくるのをみていたので、中学生でないと困ることが分かっていたので、買いました。」

Q	男児・高校生・フィルタリングサービス解除	「中1の4月にスマホ専用にしました。小学生までは見守り携帯でしたが、周りも持っているので中学生になったら買う、と約束してそうしました。」 「ゲームが好きで色々していましたが、スマホを持ってからスマホ集中です。1日平均7～8時間、休日は10時間以上触っていると思います。」
S	女児・高校生・フィルタリングサービス導入中	「スマホをできる限り持たせたくなかったもので、専用にさせたのは高校2年生6月です。でも、家族共用のタブレットを使ってLINE等をお友達とやっていました。」 「今は、学校にはもっていっていないので平日は1時間程度ですが、休日は許す限り使っています。」

7. 1. 2. リスク・トラブルエピソード

今回20名のインタビューで上がったリスク・トラブル一覧を図表7.5に掲載する。またそこから見えてきた共通項や特徴的な点をエピソードが3点である。

図表7.5 インタビューイが遭遇したリスク・トラブル一覧

ID	属性	内容
A	男児・未就学・フィルタリングサービス導入中	・アプリが無料にできるかわりに広告がでてくるもので、その広告を勝手に触っている。お金がかかるもの等を触っていた。 ・YouTubeで広告・おすすみがでてきてしまうため、どんどん見てしまう。
B	男児・未就学児・フィルタリングサービス未導入	【小3の姉に関して】 ・自分のメールアカウントをもっており、自分で勝手に占いに関するメルマガを登録していた。大きなトラブルにもならずまだ無料だったからよかったが、リスクを鑑みて退会させた。 ・ゲームアプリで表示名を登録する際に本名で登録しており特にトラブルはないが懸念。 ・カラオケができる無料アプリを最近使っており、フォロー機能に懸念。カラオケができるのはいいが、知らない人と繋がったりするのはいいらない。

E	男児・小学校低学年・フィルタリングサービス解除	・使いすぎでずっと動画を観ている。勉強しない、宿題しない。 【高2の姉に関して】 ・グループ LINE で友達たちが仲間はずれにされていた。
F	男児・小学校低学年・フィルタリングサービス未導入	・PlayStation 4 でオンラインゲームをやるのが好きで、繋がった人の中で汚い言葉をいってくる人が時折いる。 ・YouTube を通して仲良くなった高校生の子がいるが、ゲームのオンラインチャット上で性的なことを言ってくるがあった。 ・不意に不適切なサイト（子供にとっては卑猥なアニメのようなもの）に行ってしまったことがある。
G	女児・小学校低学年・フィルタリングサービス導入中	【小3の姉に関して】 ・Nintendo Switch のオンライン対戦でよくフレンド申請がくる。知らない人と友達にならないよう言っており今は従ってるいるが、もう少し大きくなったら言うことを聞くか分からない、と思う。
I	男児・小学校高学年・フィルタリングサービス導入中	・ゲーム（Minecraft）のチャットで誹謗中傷のいじめを受けていた。 ・スマートフォンで必要のない広告をみている。 ・スマートフォンでゲームをしていて、間違って課金してしまった。 【高1および中1の姉に関して】 ・スマートフォンで YouTube を見ている広告を押しそこから買い物をしていた。 ・裏アカウントを作っており、いじめの対象になっていた。（本人経由ではなく学校の担任から通知で知った。） ・TikTok で投稿した内容に対して友人からバッシングをうけていた。 ・女性のふりをした男性からコミュニケーションがきて、それに騙されて素直に答えていた。 ・グループ LINE で意図的に一人を排除するものが流行っているとのことだった。（対象ではなくそのグループに入っていた。）

J	男児・小学校高学年・フィルタリングサービス解除	・YouTube をみだすと動かなくなる。夜寝るのが遅くなり学校に遅刻することもある。 ・近距離で見ているためか、弱視になっていると眼科に言われたことがある。(因果関係は不明)。
K	女児・小学校高学年・フィルタリングサービス導入中	・LINE を母のアカウントを使ってやっているが、LINE でグループ外しトラブルにあったことがある。 【中2の兄に関して】 ・Instagram を使って他校の女の子とやり取りしており、卑猥なことを言ってしまうその相手から苦情がきた。
L	男児・小学校高学年・フィルタリングサービス解除	・使いすぎでずっとスマホを見ていることへの危機感がある。 【中3の姉に関して】 ・グループ LINE で時折問題が発生する。無断で卒園アルバムをあげたりする子がいて、学校が学年集会を開いて対応していた。このようなことが毎年ある。
M	男児・中学生・フィルタリングサービス導入中	・コロナをきっかけに過度に利用するようになり、本人も依存的な状況に「コントロールできない」と苦しんでいる様子だった。 ・顕著なものがフォートナイト (Nintendo Switch で利用) で、仲間外れやいじめなどのトラブルが多かった。 ・友達経由で有害情報を見ており、最終的にはかなり刺激的な海外サイトにたどり着いていた。 ・学校から配布されたアドレスを活用して裏アカウントをとっていた (LINE、Instagram、TikTok)。判明したのは、Instagram (SNS 等) を禁止しているはずだったのに、部活のやりとりをしていたため。 ・LINE のタイムラインでいいね! の数を競っていた。(上記の裏アカウントを使ってやっていた。) ・あんしんフィルターが外されていた (パスワードがばれていて自分ではずした)。その後、設定しなおした。

N	男児・中学生・フィルタリングサービス解除	・課金は基本的にやらないというルールだったが、戦関係で課金していた。 ・ゲームに熱中しすぎて感情的になる、突然大きな声を出す。
O	女兒・中学生・フィルタリングサービス解除	・緊急事態宣言後以降たくさん利用するようになり、親が注意しても止まらない現状。最後は怒鳴って止める。 ・学校での LINE いじめトラブルにあった。グループ LINE で悪口をいわれていた。最終的には先生や学校が対応をして収まった。 ・Twitter で面識のない人とやりとりをしていた。好きなアニメの繋がりで行っていたことが分かり重大な件にはならなかったが不安に思った。
Q	男児・高校生・フィルタリングサービス解除	・夜中の2時くらいまでやっており、無理やり起こすことがある。 ・スマートフォンをもちだしてすぐの頃、グループ LINE で急にブロックされたことがある。間違えてブロックしてしまっただけで杞憂に終わった。
R	男児・高校生・フィルタリングサービス解除	・実生活に影響あり。SNS（認識してる限りで Twitter）で知らない人と繋がり、そちらの世界にはまってしまって、実生活から逃げるがあった。
S	女兒・高校生・フィルタリングサービス導入中	・Instagram で知らない人とやり取りをしていた。 ・Instagram で裏アカウントを作っていた。学校で騒ぎになり泣いて帰ってきたこともあった。 ・男子の中で‘LINE なりすましの告白’が流行っているようで、それに娘もターゲットになった。学校でトラブルになった。
T	女兒・高校生・フィルタリングサービス未導入	・学校のグループ LINE で自分だけ取り残されるというちょっとしたいじめを経験した。 ・ワンクリック詐欺を経験した。不意に押してしまい、請求がきてしまった。

7. 1. 2. 1. ストーリー4：緊急事態宣言以降、在宅時間が増えてから ICT 利用時間が増大・そこから依存的になっている青少年も

緊急事態宣言以降、在宅時間が増えることによって特にスマートフォンをはじめとして利用時間が増えている家庭が多く見られた。「去年、コロナで休校になったときは 10 時間くらいみていました。その前までは LINE をするくらいでそんなに気にしたことがなかったのだが、今はずっと動画を観ていて危機感があります。(インタビューID：L)」「コロナをきっかけに過度に利用するようになり、本人も依存的な状況に『管理できない』と苦しんでいる様子でした。(インタビューID：M)」「(気になっている点の) 一番は、使いすぎです。緊急事態宣言後以降、たくさん動画を観るようになり止まらなくなりました。言っても止まらないし、最後は怒鳴って止めるような形です。(インタビューID：O)」。

7. 1. 2. 2. ストーリー5：知らない人との「SNS での繋がり」や「ゲームチャット」で不安を覚えた家庭が多い

SNS のほかゲームのオンライン接続において、知らない人と繋がる青少年も多く、そこから不安を覚えている家庭が多く見られた。「ゲーム (Minecraft) のチャットで知らない人と繋がってやっていたときに、息子のキャラクターが殺されてしまったりとか、誹謗中傷をうけたりとか、ちょっとしたいじめを受けていたことがあります。(インタビューID：I)」「Twitter で面識のない人とやりとりをしていることが分かりました。好きなアニメの繋がりで行っていたことが分かり重大な件にはならなかったが不安に思いました。(インタビューID：O)」「SNS で知らない人とのやり取りは禁止していましたが、結局 Instagram で知らない人とやり取りをしていました。(インタビューID：S)」。

7. 1. 2. 3. ストーリー6：学校の友人などの知っている間柄でも「メッセージアプリ (グループチャット)」でちょっとしたトラブル経験 (誹謗中傷や仲間外れ) が多い

トラブルが表出化するものとして、学校をはじめとする‘見知った間柄’でのメッセージアプリケーションでのグループやり取りが目立った。「スマホを本人は持っていないので、LINE を私 (母親) のを使ってやっているが、LINE でグループ外しトラブルにあったことがあります。(インタビューID：K)」「上の子に関してですが、グループ LINE でよく問題が起きます。無断で卒園アルバムをあげたりする子がいて、学校が学年集会を開いて対応していました。(インタビューID：L)」「学校のグループ LINE で自分だけ取り残されるというちょっとしたいじめを経験したことがあるみたいです。(インタビューID：T)」。

7. 1. 3. ペアレンタルコントロール

7. 1. 3. 1. ストーリー7: 成功している例は「購入時に子供と家庭内ルールを約束し、それを守らないと使わせないようにしている」と「限定した（ほどほどの）約束」

フィルタリングサービスを含むペアレンタルコントロールに関して、親として成功していると思われる家庭に共通する点が、「購入時にきちんと設計しそれを守らないと使えない」といった一種のしっかりした約束と条件付けであった。また同時に、「あまりたくさんのごとをせず絶対には守ってほしいもの」のみを設定する家庭も継続されている傾向がみられた（図表 7.6）。

図表 7.6 保護者の声

ID	属性	発言
L	男児・小学校高学年・フィルタリングサービス解除	「本人とは最初にスマートフォンを持たせるときに『条件』を設定し、『守れなかったらできなかったら取り上げる』としました。その結果、その内容があまり細かくないせいもあるかと思いますが、それくらい守ろうかな？という形で守っています。」
M	男児・中学生・フィルタリングサービス導入中	「(色々トラブルもあるが) 初期の約束をしっかりしていたことがよかったと思います。親が見ていい、時間をきめる。それができる場合にスマートフォンを買う、それができない場合はやめる、といった内容です。始めが肝要だと思います。」
G	女児・小学校低学年・フィルタリングサービス導入中	「ペアレンタルコントロールについては、ちょうど仕事で子供に持たせるタブレット端末の調査をしていて知っていた。それもあつてかざるざる約束を変える、というようなことはしていない。」
Q	男児・高校生・フィルタリングサービス解除	「Wi-Fi の設定時間などを最初に決めてはじめられたのは良かったと思います。それで利用時間などのペースを作ることができたかな、と思います。」 「中学校 3 年間でスマホと本人のかかわり方がうまく使える、邪魔にならずに依存せずにできる、ということが分かったと思います。あまり厳しくしすぎても逆効果だったかもしれません。」

7. 1. 3. 2. ストーリー8: 家庭内ルールをしても、「利用時間」に関して親が実行力をもてない現状

ペアレンタルコントロールでルールを設定するものの、特にスマートフォンの利用時間に関して「守らなくなった」「きつく言っても言うことを聞かない」という家庭が多くみられた。また、その状況に関して複数の過程において諦めの感情が伺えた（図表 7.7）。

図表 7.7 保護者の声

ID	属性	発言
A	男児・未就学・フィルタリングサービス導入中	「中毒にならないように適度にしてほしいが、子供自身はコントロールできないですね。子供自身にも多少危機管理は芽生えていますが、誘惑には負けるレベルです。」
E	男児・小学校低学年・フィルタリングサービス解除	「一応 1 日 2 時間まで、夜の 9 時前まで、などのルール自体はあるが、ほとんど守られていないです。」
I	男児・小学校高学年・フィルタリングサービス導入中	「一応ルールはありますが最近はいきなりモードです。(ICT 機器は友達など) 相手がいるから、LINE やゲームなどやめることが難しいと感じます。うちがダメといっても相手があるので強制終了して仲が悪くなったりしても困るな、と思います。」
J	男児・小学校高学年・フィルタリングサービス解除	「使いすぎをどうにかしたいですが、どううまい具合に調整したらいいか分からない、というのが現状です。制限したらしたで解除してほしい解除してほしいとうるさいので。」
K	女児・小学校高学年・フィルタリングサービス導入中	「結局ルールを作っても甘くなっちゃうな、と。親自身が使いすぎなどできていないのもあって難しいと思います。」
R	男児・高校生・フィルタリングサービス解除	「購入時には設定してたが、なくなっていました。理由は反抗して暴力的になるので、やめざるを得なかったです。」

S	女兒・高校生・ フィルタリ ングサービ ス導入中	「一応ルールはありますが、口約束なのでほぼ効果がないですね。くちすっぱく何度も言うので、その中でたまに守る程度です。」
---	-----------------------------------	---

7. 1. 4. フィルタリングサービス

7. 1. 4. 1. ストーリー9：導入している家庭でフィルタリングサービスにポジティブな評価の反面、特に「コンテンツフィルタリング」に関しては様々な意見あり

フィルタリングサービスを導入している家庭では多くがその機能に対して高評価をしていた。しかしながら、「ある程度オープンに利用させたく我が家としては（コンテンツフィルタリングは）使用していない」「コンテンツフィルタリングだが普通に検索してもみられるものがあり、その基準がいまいち分からない」といった声がうかがえた（図表 7.8）。

図表 7.8 保護者の声

ID	属性	利用フィルタ リングサービ ス	発言
C	女兒・未就 学児・フィ ルタリ ングサービ ス導入中	スクリーンタ イム	「機能的には素晴らしいと思います。家庭の考えや子供の性格に合わせて使えると思っており、現在うちとしては使用せずにオープンにしています。」
D	女兒・未就 学児・フィ ルタリ ングサービ ス導入中	スクリーンタ イム	「フィルタリング機能自体、気休め程度かなと思っています。精度などからそんなに信頼していないので。」
G	女兒・小学 校低学年・ フィルタ リングサ ービス導 入中	ファミリーリ ンク	「使いやすさとしては満点をあげたいですが、唯一ネガティブなのは、1 台ずつアカウント作るのが面倒くさいことくらいです。」

K	女兒・小学校高学年・フィルタリングサービス導入中	スクリーンタイム／あんしんフィルター	「有害なサイトにもいかないので、あってよかったなと思いますし、時間に関してもないとなががはずれたようになると思うので、使ってよかったです。」
M	男児・中学生・フィルタリングサービス導入中	あんしんフィルター	「子供なのでうまく使えないと思っているので、強制力が高い点がよくかなりポジティブです。」
S	女兒・高校生・フィルタリングサービス導入中	あんしんフィルター	「コンテンツフィルタリングだが普通に検索してもみられるものがあり、その基準がいまいち分からない、と思う。」

7. 1. 4. 2. ストーリー10: フィルタリングサービスの解除理由は「面倒くさい」と「見たいものがみれない」

フィルタリングサービス未導入家庭に加えフィルタリングサービスを解除した家庭でも、「わざわざ毎回設定するのが面倒くさい」「通知が煩わしい」という声が見られた。また解除した最大の特徴として「使いたいものが使えないのではスマホを買った意味がない」「見えないものが多すぎてあまりにも不便」という理由が複数みられた。フィルタリングサービス導入時にその目的に共感しているものの、いざ利用してみたら思ったよりも不都合が多かった、といった評価をしている家庭が多くみられる（図表 7.9）。

図表 7.9 保護者の声

ID	属性	利用フィルタリングサービス	発言
E	男児・小学校低学年・フィルタリングサービス解除	あんしんフィルター	「実際使ってみて、あんまりよい感じはしませんでした。思っていたのは、自分も不便性がなく子供が安心な状況になる、ということでしたが、わざわざ毎回自分の設定で変えるのが面倒臭かったです。」

L	男児・小学校 高学年・フィ ルタリングサ ービス解除	あんしんフィ ルター	「我が家としては不要で外してしまいました。まず 設定がいちいち面倒くさいのと、YouTube や検索サ イトで、あまりにも結果が得られないものが多く て、やめてしまいました。」
N	男児・中学生・ フィルタリン グサービス解 除	あんしんフィ ルター	「フィルタリングサービスについてあまり詳しく なくどういう制限がかかるか知らなかったのです が、やってみて、Google など検索サイトも制約にな っていることが分かり、それだと通学で電車を使う ときに検索ができなくて困りました。また、使いた いときに使えなくて外してしまいました。」
O	女児・中学生・ フィルタリン グサービス解 除	あんしんフィ ルター	「LINE が使えなくするのがナンセンスだと思いま した。子供の現状が分かったフィルタリングサービ スにしてほしいなと。」 「使えないなあ、という印象です。まず使えないア プリがあるのと、検索しても見えないのがあって、 不便だと思いました。」
Q	男児・高校生・ フィルタリン グサービス解 除	あんしんフィ ルター	「親としては高評価でしたが、本人的に見たいとこ ろに見えない不満があり、例えばダウンロードでき ないゲームがあるなど、それで外しました。」

7. 2. 保護者の経験からのニーズ

7. 2. 1. コンテンツ・機能・方針に関するニーズ

7. 2. 1. 1. ニーズ1: 共用利用期間の幼児～小学校低学年にはスマートフォンの「子供モード」が欲しい

ストーリー1 で挙げたように、スマートフォンの共用理由に多くみられるものが「出かけ先や家事の合間に少し静かにしてほしいときに見させていた」というものである。こうした状況下は往々にして急いでいることが多いこともあり、「すぐに切り替えできる」このへのニーズが見られた。また同時に、特に一人で利用を始めた初期のころにおいてはどれくらい使ったか、変なサイト等にアクセスしていないか、といった「通知」などの機能にもニーズがあった。(図表 7.10)。

図表 7.10 保護者の声

ID	属性	発言
A	男児・未就学・フィルタリングサービス導入中	「親のスマートフォンを渡す時に子供が見ても大丈夫なような『子供モード』になるといいな、と思います。機内モードの進化版のようなものでしょうか。」
B	男児・未就学児・フィルタリングサービス未導入	「画面に残り利用時間などカウントダウンされるといいな、と思います。親が言うより強制的にあるし、納得すると思うので。」
E	男児・小学校低学年・フィルタリングサービス解除	「スマホでログインするときに、最初から『親モード』『子供モード』に切り替わるのがあるといいと思います。今は自分で設定しなきゃいけないので・・・。」
I	男児・小学校高学年・フィルタリングサービス導入中	「子供がいつもと違うサイトを訪れていたり、新しい人とやり取りを始めたなど、イレギュラーな動きをしていた場合に通知してくれる機能があると良いと思います。」

7. 2. 1. 2. ニーズ2：小学生高学年くらいからは子供自身に危機意識や管理能力を芽生えさせたい

子供の学齢が上がるほどに「子供自身で危険性を判断できるようになってほしい」というニーズが複数見られた。(図表 7.11)。ただシャットアウトするだけでなく、少しずつ危機意識を本人で持てるようになってほしい家庭は多く、そうしたニーズにこたえる‘学習型フィルタリングサービス’も今後重要になるであろうと考えられる。

図表 7.11 保護者の声

ID	属性	発言
C	女児・未就学児・フィルタリングサービス導入中	「「見えない」にするのではなく「見せて」「危険性を」「表示する」方向性にしてはどうか、と思います。本人で認識できるようにすることが大切かな、と思います。」
F	男児・小学校低学年・フィルタリングサービス未導入	「そのたびに良し悪しを監視している状況なので、本人が判断できるように学んでいく必要があると思っています。」

J	男児・小学校高学年・フィルタリングサービス解除	「自分で制限できるのが一番いいですね。例えば自分で目標を設定して、ポイントがもらえるなど、そうした報酬システムのようなものがあると、やる気が出るような気がします。」
N	男児・中学生・フィルタリングサービス解除	「ある程度自分でやりたいことを尊重させています。管理や注意しすぎると余計に悪い方に走るといような気がするのです。」
O	女児・中学生・フィルタリングサービス解除	「「見ることに制限」をするより「共有して議論」する方を取りたいです。そのために、マンスリーレポートの子供版があるといいですね。何をみていたか、サイトの閲覧などを1週間に1回程度通知がくるといいなと。さらに、世代の平均があるともっといいですね。」

7. 2. 1. 3. ニーズ3：中学生以降では、授業や親子間での「対話の場」で自立を促したい・そして「大人が見本」になる必要性がある

特に中学生以降になると、スマートフォンをはじめとする ICT 利用環境に大きな差がなくなってくる。または家庭によっては子供（青少年）の方が詳しいことも出てくる。そうした中、ただ単に正しさや規律を求めるだけでなく、「使いすぎるとどうなるのか?」「私たちはどうしたらいいのか?」といった必要性を子供たち自身が自分で考えられるような場が必要だと感じている家庭が複数見られた。そして、それらを行うためにも親自身が知識をえて「大人が見本になる」必要性があると述べている家庭が多く見られた。(図表 7.12)。

図表 7.12 保護者の声

ID	属性	発言
D	女児・未就学児・フィルタリングサービス導入中	「規律はあまり求めない方です。なので、正しさを求めるのではなく考える場、という形でまず親や子供同士で対話できる場があるといいなと。またそうしたことが文化や国が変わるとどうなのか、そうしたグローバルな観点も必要ですね。」
J	男児・小学校高学年・フィルタリングサービス解除	「まず子供たちの使いすぎを注意する前に「親が使いすぎている」ことがある、と思っています。特に在宅勤務等にもなり、パソコンやスマホを実際ずっと親もいじっている状態です。もっともっと ICT が進化して私たちが追い付けないが、子供たちもあわせて、乗り遅れないように学んだり親が姿勢を見せたり、そうしたことも大切かなと思います。」

K	女兒・小学校高学年・フィルタリングサービス導入中	「使いすぎない、頼りすぎない、依存しすぎない、といった基本的なところは親が責任をもって教育すべきだと思います。ですが、いい手本でありたいと思う一方、親にもリテラシー格差があるのでその辺をカバーできる情報があればいいと思います。」
L	男児・小学校高学年・フィルタリングサービス解除	「親自身が自分も見すぎないようにしなきゃいけないな、と思います。」
O	女兒・中学生・フィルタリングサービス解除	「いくら厳しくしたとしても抜け道があるんですよね。なので、本人が意識を高められるように、教育や話し合う場、子供自身が危機意識を保つための頻度の高い対話の場が欲しいと思っています。今のように年に1回しかやらない講座ではあまり効果がないと思うので、継続性が大切だと思います。」 「ハード面で厳しくするよりは教育で改善することが大事だと思います。」
Q	男児・高校生・フィルタリングサービス解除	「使い方やマナー的なことを教えるのはもちろん大前提ですが、まず子供たちの方が親よりも詳しいですよね。自分も勉強してよく知らない子供にいうことはできないと思うので、大人が学んだり使い方の姿勢を子供に見せたり、そうした必要があるなと思っています。」

7. 2. 2. 情報提供に関するニーズ

7. 2. 2. 1. ニーズ4：注意喚起や必要性については「動画」や「講座」で自分ごと化できると良い

青少年をインターネットトラブルから防ぐため情報提供は様々存在するが、初期の「注意を喚起する」点に関しては、「動画（YouTube やテレビ）」や「講座」で気軽に子供自身が自分ごと化できるコンテンツにニーズが見られた。また、その内容についてはトラブル事例や、LINE 等の使い方やマナーなど親子で学べるものにもニーズがあった。（図表 7.13）。

図表 7.13 保護者の声

ID	属性	発言
B	男児・未就学児・フィルタリングサービス未導入	「学校で「課金」や「SNS リスク」など危ないことをちゃんと教えてほしいです。家だとなってみないと分からないし、教えられるので。」

E	男児・小学校低学年・フィルタリングサービス解除	「紙のチラシや張り紙もちらっと見ただけで流してしまいます。危機感などについては、ウェブ広告などを利用した方が印象を強められるように思いますね。」
K	女兒・小学校高学年・フィルタリングサービス導入中	「スマホのモラル的な使い方の動画 (YouTube) やテレビ番組 (Eテレ) などがあるといいな、と思います。それを親子で見たり、学校の道德の時間でみたりすると、意義があるなど。踏み込んだ深い情報を動画で提供してくれるといいですね。」
L	男児・小学校高学年・フィルタリングサービス解除	「通信事業者の出前講座を1年に1回程度やっていて、すごく分かりやすかったし、危機感を煽られました。『LINE を使って無断で動画を投稿して仲間外れになったストーリー』が印象的で、それがあって意識を持つようになったと思います。」
M	男児・中学生・フィルタリングサービス導入中	「資料はもらってきても、帰ってきてから読むことはないです。紙で伝えるのは限界を感じます。」
O	女兒・中学生・フィルタリングサービス解除	「資料をもらうだけでは残念ながら読まないですね。身に染みわたるための伝える時間が必要だと思います。」

7. 2. 2. 2. ニーズ 5: フィルタリングサービス等の具体的な設定については「窓口」だけでなく「サイト」での解説を

フィルタリングサービスをはじめとする具体的な設定をする段階になって見受けられるのが「ネット上で分かったらよい」というものであった。いわゆるスマホの中で‘ワンストップサービス’で分かりやすく解説がされ設定ができるようになることが、フィルタリングサービスをはじめとするペアレンタルコントロール導入率の向上に貢献する可能性が高いと考えられる。(図表 7.14)。

図表 7.14 保護者の声

ID	属性	発言
H	女兒・小学校低学年・フィルタリングサービス未導入	「まずはスマホで見れるものもいいし、困ったときは電話をして説明してくれるところがあるといいです。その他、アプリやメールなど、スマホで見やすいものでいつでも見れるといいな、と思います。学習系、子育て系、と一緒に来るメルマガのようなものがあったらいいなと。」

L	男児・小学校高学年・フィルタリングサービス解除	「契約の時に窓口だと（色々確認することがあって）疲れていて、フィルタリングサービスの時になると疲れて思考がおいっかない、という感じです。なので、自宅に帰ってからもスマホで分かりやすくワンクリックで設定できるようなものだな、と。」
M	男児・中学生・フィルタリングサービス導入中	「携帯を買いに行って契約するときのハードルをあげるほか、設定がスマホの中でできるといいな、と思います。」
N	男児・中学生・フィルタリングサービス解除	「ネット上でペアレンタルコントロールをどうしたらいいか、といったサイトがまとまっているといいですね。」
S	女児・高校生・フィルタリングサービス導入中	「通信事業者のカスタマーのセンターにきいたが「ファミリーリンクのことは分からない」といわれてしまいました。企業関係なく窓口で教えてもらえると助かります。」

7. 2. 2. 3. ニーズ 6: 「ルールサンプル」や「属性別のフィルタリングサービス設定事例集」があるとスムーズ

インターネット上のトラブルや問題を認識している家庭は多く、それに対し「具体的にどういう風に対応したらいいのか」ということに困っている声が複数見受けられた。また、「成功している家庭はどうやっているのか」「ルールの具体サンプルを」といった「年齢や性別などその時々にあわせた対処策や事例が知れたら」という声がいくつかうかがえた。（図表 7.15）。

図表 7.15 保護者の声

ID	属性	発言
G	女児・小学校低学年・フィルタリングサービス導入中	「色々調べていたときに分かりやすかったのは、「おすすめランキング」「メリット・デメリット」「こういう人におすすめ」といったまとめやブログです。そういう風に、サンプルや具体事例があると分かりやすいなと思います。」
J	男児・小学校高学年・フィルタリングサービス解除	「他の家庭はどうか、というのを知りたいです。よそのご家庭で成功例やモデルケースがあると、取り入れやすいなと思います。」
K	女児・小学校高学年・フィルタリングサービス導入中	「成功事例のほか失敗事例など、使い方の事例集があるといいなと思います。」

M	男児・中学生・フィルタリングサービス導入中	『親子間実行協定のサンプル』のようなものがあるといいですよね。結局各家庭で考えているだけなので。」
N	男児・中学生・フィルタリングサービス解除	「フィルタリングサービスをうまく使っている人のサンプル、フィルタリングサービスかけてそしてうまくいっている人はどういう使い方をしているのか知りたいです。（我が家としてはうまくいかず解除したので）制限の中でどのように使っているのか、ヒントが欲しいです。」 「子供の性格や状況にかわってくるので、一律に正解はないと思うので、個別家庭で調整する必要があると思うので。」

7. 3. 保護者インタビュー個別データ（全 20 件）

7. 3. A【男児・未就学・フィルタリングサービス導入中】

属性		
性別		男児
学齢		未就学児（6 歳）
兄弟姉妹有無		無
スマートフォン利用状況		共用
フィルタリングサービス利用状況		導入中／アプリケーション個別設定
Ⅰ：ICT 利用概況		
1	現在の ICT 環境	①スマートフォン：親と共用 ②PC：親と共用 ③タブレット：親と共用 ④ゲーム：親と共用（Wii）
2	スマートフォン専用時期・理由	—
3	スマートフォンの主な用途・使用アプリ	①ゲーム（オセロ等） ②知育・学習（ベネッセ等） ※どちらも外などでおとなしくしてもらうために活用。
Ⅱ：リスク・トラブル		
1	リスク・トラブル内容	①アプリが無料にできるかわりに広告がでてくるもので、その広告のものを勝手に触っている。お金がかかるもの等を触っていた。 ②YouTube で広告・おすすめがでてきてしまうため、どんどん見

		てしまう。
2	起きた理由／判明したポイント	①出かけ先（買い物や親の活動）で目を離したとき。
3	対処と効果	①子供に渡すときは設定を「機内モード」にするようにした。
4	経験から学び・ニーズ	①親のスマートフォンを渡す時に子供が見ても大丈夫なような「子供モード」になるといい。（機内モードの進化版）
III：ペアレンタルコントロール		
1	設定状況（ソフト）	①1回30分で区切る。休みをいれて休憩を挟む。 ②時間がきたらちゃんとやめさせる。
2	設定状況（ハード）	①外で渡すときはWi-Fi環境につながらない。（「機内モード」にする。） ②動画は「子供YouTubeモード」にする。
3	参考にした情報	特になし（自分でなんとなく）。
4	経験から学び・ニーズ	①中毒にならないようにしたいが、子供自身はコントロールできない。 ②まだ年齢的に検索ができないが、YouTubeや検索サイトで「広告」や「おすすめ」がでてくるとどんどん見てしまうのが困る。
IV：フィルタリングサービス		
1	設定状況・種類	【フィルタリングサービス導入中】 ①アプリ上での個別設定 ②Yahoo! 検索サイトを厳しいものにしている。 ③スマートフォン内にYouTube Kids と普通のYouTube を両方ダウンロードし、使い分けている。
2	レベル・カスタマイズ	無（アプリ設定のみのためなし）。
3	導入・解除・未導入の理由	導入理由： ①本人はまだ検索できないが、閲覧やおすすめからみれてしまうため。
4	フィルタリングサービスに対する評価	①YouTube Kids は漢字で変換できない（検索できない）ことが困る。 ②Yahoo!検索は特に問題ない。
5	経験から学び・ニーズ	①契約の時に窓口から渡されたり話をしてもらっても、ほかにも情報量がたくさんあるのでその重要性が認識されず流されてしまう。 ②幼稚園や小学校からのお手紙として入ってきた方がきちんと

		読む。
V：より良い青少年の ICT 環境		
1	理想の ICT、政府や企業への期待	①様々なゲームアプリにおいて「対戦モード（世界の人と繋がれる）」があるが、リスクが大きいため無くていいと思う。 ②タブレットも小学校から配布されているが、どうやって使わせているか分からない。タブレットを渡すのなら、その使い方までしっかりと教育してほしい。
2	親としての課題	①親自身もあまり使わない方がいいと思うが、（仕事も含め様々なため）子供からみたら親もパソコンやスマートフォンなど ICT をずっと使っているように見えてしまう。

7. 3. B【男児・未就学児・フィルタリングサービス未導入】

属性		
性別		男児
学齢		未就学児（6 歳）
兄弟姉妹有無		有／姉 1 人（小 3）
スマートフォン利用状況		共用
フィルタリングサービス利用状況		未導入
Ⅰ：ICT 利用概況		
1	現在の ICT 環境	①スマートフォン：親と共用 ②PC：×（利用無し） ③タブレット：家族で共用） ④ゲーム：専用（Nintendo Switch） ⑤テレビ：家族で共用（主に YouTube）
2	スマートフォン 専用時期・理由	【本人】 — 【兄弟姉妹】 ①上の子はスマートフォン専用、2 年生の夏から。 ②理由は、祖父母と LINE コミュニケーションをするため。キッズ携帯だとアプリができない。また、学童もいっておらず家の電話もなく、留守番の際にやりとりするため。
3	スマートフォンの 主な用途・使用 アプリ	①YouTube ②ゲーム（ROBLOX、ポケモンの何か、CM 流れてきて気になったものを使う）
Ⅱ：リスク・トラブル		

1	リスク・トラブル 内容	【本人】 今のところ末子に関しては特になし。 【兄弟姉妹】 ①自身の Google アカウントをもっており、それを用いてメールアプリで占いを登録しておりメルマガが何度も届いていた。無料の範囲だったからよかったものの、リスクを感じて退会した。 ②カラオケができるアプリを DL した。知らない人と繋がれる機能があり今現在トラブルはないが気になっている。 ③ゲーム（一緒にあそぼう）でキャラクターを登録する際に、その名前を本名にしており、現在トラブルはなっていないがリスクを感じている。
2	起きた理由／判 明したポイント	【本人】 — 【兄弟姉妹】 ①置いてあったスマホへの通知や遊んでいる様子をみて気づいた。
3	対処と効果	【本人】 — 【兄弟姉妹】 ①話しかけ「お金がとられるからだめだよ」といってやめさせた。 ②「あまりよくないんじゃないかな」とやんわり伝えているのみ。 ③「個人情報だめだよ」といっているが、そのままの設定になっている。
4	経験から学び・ニ ーズ	①必要以上にスマートフォンの機能を子供はいじらなくていい。家族間で繋がれるくらいでいい。
III：ペアレンタルコントロール		
1	設定状況（ソフ ト）	【本人】 特になし。 【兄弟姉妹】 ①宿題やってからにする。やりすぎない。
2	設定状況（ハー ド）	①Nintendo Switch で「みまもり設定」を設定。 ※特にタブレットやその他には設定せず。
3	参考にした情報	なんとなく。
4	経験から学び・ニ ーズ	① 時間を決めていたこともあったが、終わった後かまう必要があり大変だった。正直スマートフォン等で一人集中して遊ん

		でくれるから助かるところがある。 ② 画面に残り利用時間などがカウントダウンされてほしい。親が言うより強制的にあると納得する。
IV：フィルタリングサービス		
1	設定状況・種類	【フィルタリングサービス未導入】 —
2	レベル・カスタマイズ	—
3	導入・解除・未導入の理由	未導入理由： ① あんしんフィルターを入れると、インターネットに自由に接続できなくなり、自分のスマホが不便になるため。
4	フィルタリングサービスに対する評価	・上の子は導入中で高評価。 ※上の子：「あんしんフィルター」で年齢に即したものに設定。導入理由は窓口で言われたのと、アダルトサイトや SNS などでは子供が触れてほしくないものへのリスクを感じたから。
5	経験から学び・ニーズ	①親の共用スマートフォンの際にフィルタリングサービスを設定するのは面倒くさいのでやりたくない。 ② 仮に貸すときのモード変化機能があっても、今の子供本人が使うアプリは限られているため必要がなく、導入しないと思う。
V：より良い青少年の ICT 環境		
1	理想の ICT、政府や企業への期待	①GIGA スクールをはじめとして小さい頃から利用することにはポジティブ。学級閉鎖の際に家庭でも学校学習ができて便利だった。 ②学校でインターネット上のリスク、特に「課金」「SNS」のリスクを教えてほしい。家庭だとなつてみないと分からないし、教えられない。
2	親としての課題	①新しいものが色々でてきて分からなくなるが、子供と一緒に学び進めていけたらと思う。

7. 3. C【女兒・未就学児・フィルタリングサービス導入中】

属性	
性別	女兒
学齢	未就学児（6 歳）
兄弟姉妹有無	有／兄 2 人（高 2、小 3）、姉 1 人（中 1）

スマートフォン利用状況		共用
フィルタリングサービス利用状況		導入中／スクリーンタイム
I：ICT 利用概況		
1	現在の ICT 環境	①スマートフォン：親と共用 ②PC：×（利用無し） ③タブレット：家族で共用 ④ゲーム：家族で共用（Nintendo Switch）
2	スマートフォン専用時期・理由	—
3	スマートフォンの主な用途・使用アプリ	①動画共有サービス（YouTube）※ほぼメイン ②子供むけのアプリゲーム（Amazon Kids+）
II：リスク・トラブル		
1	リスク・トラブル内容	今のところに特にはない。上の兄弟姉妹たちもなかった。 背景として、 ・検索で自分で調べることがいまはできないから、元々あるアプリで使うから、そこまでは心配していない。 ・使う時間が過度に長くなればいい。
2	起きた理由／判明したポイント	—
3	対処と効果	（特にトラブルが兄弟姉妹全員にないという前提において）本人たちなりに自分で経験して慣れている様子。ある程度大きなトラブルにならない程度に、触ることで学び、「危険だ」ということも含めて勘所をつかんでほしいと思っているし、そのようにしている。
4	経験から学び・ニーズ	①過度にガードにかけて安全なところのみ見せるよりは、オープンにして自分なりの能力を身に着けることが大切だと考えている。 ②これまで兄弟姉妹含めて特に相談もない。友達等自分のコミュニティで解決している様子。 ③いつか独り立ちしないといけないため、手遅れかつ重大なことにならない程度には、自分で責任をとって取り組み自分で学ぶ姿勢をとっている。
III：ペアレンタルコントロール		
1	設定状況（ソフ	【本人】

	ト)	①使うときは親の前で使う。 ②時間は1日1時間以内をめどにする。 【兄弟姉妹】 一番上の子に設定はなし。2番目の女の子は「部屋にスマートフォンを持ちこまない」のみ。3番目は末っ子と同じ。
2	設定状況（ハード）	①ゲームで「みまもり設定」を時間管理のみしている。 ②タブレットで「子供ユーザ」設定をしている。
3	参考にした情報	インターネットサイトから検索して。
4	経験から学び・ニーズ	①そもそも「コントロールしない方がいい」と考えている。制限するよりオープンにして、どんどん触れてその中でより良い使い方を身につけてほしい。 ②（本人たちが自立していてトラブルも起きていないのは）信頼関係があることが大きいように思う。よく話すし、本人たちも「間違ったことをして親を悲しませたくない」という自尊心があるように思う。
IV：フィルタリングサービス		
1	設定状況・種類	【フィルタリングサービス導入中】 ①「スクリーンタイム（iOS）」で時間管理（1時間）を設定。
2	レベル・カスタマイズ	特になし。 ※年相応で色々なことに興味を持つのは仕方がない。
3	導入・解除・未導入の理由	導入理由： ①健康（視力）の観点から。 ②スマートフォンやインターネットだけではなく、他のことをやってほしい（外で遊ぶ、絵を描く）から。
4	フィルタリングサービスに対する評価	①フィルタリングサービスは機能的には素晴らしいと思う。家庭の考えや子供の性格に合わせて使えると思っている。 ②自身の家庭では、その教育方針とそぐわないため使っていない。仮にトラブルが起きても入れないと思う。
5	経験から学び・ニーズ	①フィルタリングサービスは大抵の場合において管理者（親、会社）が勝手にやっていることに根本の問題があるのは。（仕事関係で情報周りと担当しておりそのように感じた。） ②「見えない」にするのではなく「見せて」「危険性を」「表示する」方向性にして、本人で認識できるようにすることが大切ではないか。経験から学んでいくことが大切。
V：より良い青少年のICT環境		

1	理想の ICT、政府や企業への期待	①プログラミングなど積極的に ICT を用いた学習を義務教育から行うことは肯定。そこから興味をもつ子がいればいいし、いなくてもいい。 ②よく分かっていない家庭が多い印象。子供だけでなく大人を含めた日本全体の IT リテラシーを上げる必要があると感じる。そのために、文系理系関係なく、ICT について学べる環境、魅力に感じさせる状況が重要。 ③機械に「使わされる」のではなく「うまく使える」国民性にすべき。
2	親としての課題	①兄弟で異なる対応になるが仕方ない部分もある。

7. 3. D 【女兒・未就学児・フィルタリングサービス導入中】

属性		
性別		女兒
学齡		未就学児（6 歳）
兄弟姉妹有無		無
スマートフォン利用状況		専用（ほぼ共用）
フィルタリングサービス利用状況		導入中／スクリーンタイム
Ⅰ：ICT 利用概況		
1	現在の ICT 環境	①スマートフォン：専用 ②PC：家族で共用 ③タブレット：家族で共用 ④ゲーム：専用（PlayStation）
2	スマートフォン 専用時期・理由	①5 歳（およそ 1 年前）から専用。 ②両親のスマートフォンを更新し、おさがりができたから。
3	スマートフォンの 主な用途・使用 アプリ	①動画共用サービス（YouTube） ②コミュニケーション（LINE）※ご両親の友人等と話す。
Ⅱ：リスク・トラブル		
1	リスク・トラブル 内容	今のところ特になし。
2	起きた理由／判 明したポイント	—
3	対処と効果	—
4	経験から学び・ニ	①自身がシステム開発を行っている側だから難しいと感じる。フ

	ーズ	ilterは完璧に行うことはできない。 ②設定しても抜けるということを前提に考えている。ほどほどに付き合えるようにすることが大切であると考え。
III：ペアレンタルコントロール		
1	設定状況（ソフト）	①やること（プール、ピアノ、ごはん）等をやってから遊ぶ。
2	設定状況（ハード）	特にスマートフォン以外はなし。
3	参考にした情報	①自分の職業柄知っている。 ②その他友人等から。
4	経験から学び・ニーズ	①規律はあまり求めない。年齢でくるのはあまりポジティブではない。必要に応じて対策をとる。 ②教育では「正しさを求めるのではなく考える場」があってもいいと思う。設定している内容や時間はどうなのか、親や子供同士で対話できる場や、他の過程やグローバルでの比較などもあるといい。
IV：フィルタリングサービス		
1	設定状況・種類	【フィルタリングサービス導入中】 ①スクリーンタイム
2	レベル・カスタマイズ	①年齢相当の子供が使う設定。
3	導入・解除・未導入の理由	導入理由： ①とりあえずお試的に使っている。 ②有害情報など変なものは見せたくない。
4	フィルタリングサービスに対する評価	①気休め程度かなと思う。機能自体をそんなに信頼していない。
5	経験から学び・ニーズ	①対話して子供が納得することが大切。
V：より良い青少年の ICT 環境		
1	理想の ICT、政府や企業への期待	①タブレットもパソコンも、調べたりプログラムができたりするように使い方を教えてほしい。オンラインで学校から以外でも学び成長できるためのツールになればいい。 ②趣味同士でつながることで成長できるといい。有意義かつセキュリティ担保されている SNS があると良い。

2	親としての課題	①子供との時間がとれていない、向き合えていない課題がある。 しかし、今回のインターネットに関わることで子供と対話できる時間が必要だと思う。
---	---------	--

7. 3. E【男児・小学校低学年・フィルタリングサービス解除】

属性		
性別	男児	
学齢	小学校 3 年生	
兄弟姉妹有無	有／姉 2 人（高 2、小 6）	
スマートフォン利用状況	共用	
フィルタリングサービス利用状況	解除／スクリーンタイム	
Ⅰ：ICT 利用概況		
1	現在の ICT 環境	①スマートフォン：親と共用 ②PC：×（利用無し） ※クロームブック配布はあり。持って帰ってくる。 ③タブレット：家族で共用 ④ゲーム：共用（Nintendo Switch） ⑤テレビ：共用（主に YouTube、Prime Video）
2	スマートフォン 専用時期・理由	—
3	スマートフォンの 主な用途・使用 アプリ	①動画閲覧がほとんど（YouTube、Prime Video） ※SNS はやらない ※ゲームは少し
Ⅱ：リスク・トラブル		
1	リスク・トラブル 内容	【本人】 ①使いすぎでずっと動画を見ている。勉強しない、宿題しない。 【兄弟姉妹】 ①グループ LINE で別の友達たちが仲間はずれにされていた。
2	起きた理由／判 明したポイント	【本人】 ①普通にみていてそう感じる。 【兄弟姉妹】 ①奥さんが子供の様子がおかしいことに気づき、話しかけたら相談された。
3	対処と効果	【本人】 ①注意してぐずりながらやめる。

		【兄弟姉妹】 ②学校の先生にも相談して、学校含めて対応した。
4	経験から学び・ニーズ	①家庭でやるしかないかなと思う。一方、自分が子供の頃だったころの体験から、親にあまりにも利用を制限されるのはいいいイメージがない。 ②小さい頃から使ったりたくさん利用したりすることは、こういう時代だからある程度仕方がない。それがいやだったら使わせないしかないと思う。
Ⅲ：ペアレンタルコントロール		
1	設定状況（ソフト）	【本人】 ①1日2時間まで。 ②夜の9時前
2	設定状況（ハード）	特になし。
3	参考にした情報	①感覚で決めた（妻とも話して）。
4	経験から学び・ニーズ	①設定するのもめんどくさいうえ、できることが多すぎてどう設定していいか分からなくなる。一方、ざっくりした設定にすると子供が使いたいものが使えない。バランスが難しい。 ②チラシはあまり目を通さない、張り紙をみても「流して」しまう。ウェブ広告等の方が印象を強められると思う。
Ⅳ：フィルタリングサービス		
1	設定状況・種類	【フィルタリングサービス解除】 ①「あんしんフィルター」
2	レベル・カスタマイズ	どのようなものにしたか記憶がない。
3	導入・解除・未導入の理由	導入理由： ①勝手に買い物などをうっかりされたくなかった。 ②窓口で相談して、スタッフにも勧められたため。 解除理由： ①共用なので自分が困り、1か月ないくらいで外した。自分が使いたいアプリが使えなかった。 ②子供も特に問題なく使えていたため外した。
4	フィルタリングサービスに対する評価	①思った（自分も不便性がなく、子供が安心な状況になる）の と違い、あまりいい感じはしなかった。子供が触るときと自分の設定で変えるのが面倒くさかった。

5	経験から学び・ニーズ	①スマートフォンでログインするときに、親モード、子供モードに切り替わるような設定が欲しい。
V：より良い青少年の ICT 環境		
1	理想の ICT、政府や企業への期待	①これからはプログラミングをはじめとして、いろんな知識をつけなきゃいけない。それをサポートするサービスや授業が、学校だけでなく家でも気軽に受けられるようになると良い。
2	親としての課題	①自分もっともって学ばないといけない。情報を知らないと子供に教えることもできない。

7. 3. F【男児・小学校低学年・フィルタリングサービス未導入】

属性		
性別		男児
学齢		小学校 3 年生
兄弟姉妹有無		無
スマートフォン利用状況		共用
フィルタリングサービス利用状況		未導入
Ⅰ：ICT 利用概況		
1	現在の ICT 環境	①スマートフォン：共用→妻よりたくさん使っている。 ②PC：家族で共用 ※学校からクロームブック配布あり。たまに持って帰ってくるが学校でやるだけ。 ③タブレット：専用 ④ゲーム：専用（PlayStation 、Nintendo Switch）： ⑤テレビ：共用
2	スマートフォン 専用時期・理由	—
3	スマートフォンの 主な用途・使用 アプリ	①動画（YouTube） ②LINE ※LINE はスマートフォンでアカウントは妻のものを使っている。 ③ゲームアプリ ④検索アプリ ※SNS アプリは使える環境にあるが使っていない
Ⅱ：リスク・トラブル		
1	リスク・トラブル	①PlayStation を使ってオンラインゲームをやっているが、そこで

	内容	つながったフレンド（高校生）で性的なことを言ってくる人がいて困ったことがあった。また、汚い言葉をいってくる人もいる。 ②不意に不適切なサイトに行ってしまった（子供にとっては卑猥なもの、まんがみたいなもの）。
2	起きた理由／判明したポイント	①最初は仲良くしていたが、子供が相談を受けた。
3	対処と効果	①最初は無視していればいいといていたが、言葉がエスカレートしてきて、はっきりいうように指導したらおさまった。
4	経験から学び・ニーズ	①AI等を活用してNGな言葉が発せられたら、「音が聞こえなくなる」「管理者に気軽に相談している」というシステムができるようになればいい。 ※PlayStationにもそのような機能がある程度はあるが監視しきれてないと感じる。
III：ペアレンタルコントロール		
1	設定状況（ソフト）	①親の目がつくところでやる。 ②21時まで。
2	設定状況（ハード）	①スマートフォンでYouTubeの年齢制限付きモード ※ただしタブレットには導入しておらずそちらでは普通に見れる。
3	参考にした情報	①子供に携帯を持たせるか持たせないかを考えたときに、検索サイトを見て調べた。 ②購入窓口で少し聞いたりした。
4	経験から学び・ニーズ	①そのたびに良し悪しを監視している状況なので、本人が学べるようになる必要がある。 ②色々なものを子供が検索するときに、意図しないサイトが開けてしまうのが困る。広告から飛んで見えてしまう。
IV：フィルタリングサービス		
1	設定状況・種類	【フィルタリングサービス未導入】 —
2	レベル・カスタマイズ	—
3	導入・解除・未導入の理由	未導入理由： ①窓口等で説明を受けたことはない。特に意識したことがない。
4	フィルタリングサービスに対する	—

	る評価	
5	経験から学び・ニーズ	①携帯電話の購入時、機種変の時に解説してくれると良い。 ②学校で教育も大切に思う。
V：より良い青少年の ICT 環境		
1	理想の ICT、政府や企業への期待	①「家庭」「学校」「企業」「政府」のバランスが大切だと思う。 LINE など自殺する人もいた時代なので、家庭はもちろん、政府などが一律の厳しさを設ける必要があるように思う。 ②一方教育含め子供にとって必要なことは伝えてほしい。安全も確立して必要なものは届ける状況が理想。
2	親としての課題	—

7. 3. G【女兒・小学校低学年・フィルタリングサービス導入中】

属性		
性別		女兒
学齡		小学校 1 年生
兄弟姉妹有無		有／姉 1 人（小 3）
スマートフォン利用状況		専用
フィルタリングサービス利用状況		導入中／ファミリーリンク
Ⅰ：ICT 利用概況		
1	現在の ICT 環境	①スマートフォン：専用 ②PC：× ※学校貸与の Chromebook は利用している。 ③タブレット：共用 ④ゲーム：共用（Nintendo Switch） ⑤テレビ：共用（動画）
2	スマートフォン 専用時期・理由	①小学校に上がる年齢の 3 月 ②姉はすでに持っており喧嘩になるので持たせた。
3	スマートフォンの 主な用途・使用 アプリ	①ゲームアプリ（ROBLOX、アバターを作って遊ぶもの、ペットのお世話をするもの） ②動画共有サービス（YouTube） ※SNS 類ほか LINE も一切やっていない
Ⅱ：リスク・トラブル		
1	リスク・トラブル 内容	【兄弟姉妹】 ①動画を見る際は家庭の Wi-Fi を使用しているが、入れ忘れていて気づいたらモバイル通信で 2GB 使っていた。

		②Nintendo Switch のオンライン対戦でフレンド申請がくる。現在は知らない人と友達にならないようにさせているが、もう少し大きくなると分からない。
2	起きた理由／判明したポイント	①見ていて分かった。
3	対処と効果	① 家にいるときは「扇マークにする (Wi-Fi に繋ぐ)」と約束している。
4	経験から学び・ニーズ	①フレンド申請が来たとき利用者が未成年の場合は、親に通知が来るようにしてほしい。 ②広告もフィルターがかけられたらいい。
III : ペアレンタルコントロール		
1	設定状況 (ソフト)	【本人】 ①トータルで1時間30分。
2	設定状況 (ハード)	【兄弟姉妹で】 ①21時以降は使えない設定。 ②Nintendo Switch には「みまもり設定」をし、3時間設定 (一人1時間30分として姉妹合計)。 ③YouTube は YouTube kids を見る (スマートフォン)。 ④タブレットにはデジタルウェルビーイングを設定。
3	参考にした情報	①最初は SNS や記事で知った。 ②ネットで調べた。
4	経験から学び・ニーズ	①設定するとき調べていて分かりやすかったのは「ランキング」「メリット・デメリット」「こういう人におすすめ」といった情報だった。こういうものがあると良い。 ②ファミリーリンクは端末ごとに設定しておりそれが面倒くさい。例えばタブレットなど端末が増えたときに一括で管理できるとよい。 ③約束やルールがずるずると甘くなるのは良くない、と思う。
IV : フィルタリングサービス		
1	設定状況・種類	【フィルタリングサービス導入中】 ①「ファミリーリンク」
2	レベル・カスタマイズ	①7歳以下に設定 (上の子は13歳未満)
3	導入・解除・未導入の理由	導入理由： ①GPS 利用

4	フィルタリングサービスに対する評価	①機能ほか使うことの満足度としては満点をあげたい。 ②1個1個アカウント作るのだけが面倒くさい。
5	経験から学び・ニーズ	①朝の情報番組や「ランキング」「やってみた」動画のようなものがあると、とりあえず取り組んでみる家庭が増えそう。
V：より良い青少年の ICT 環境		
1	理想の ICT、政府や企業への期待	①1人1台に関して、自身の通っている学校がうまく活用できていないことがもったいない。今も学級閉鎖だが利用されていない。 ②先生方が使えないのなら、企業（チャレンジ等）と連携してうまく使えるようにしていつでも勉強できる環境にする方が、ばらまいて使えないよりは効率的だと思う。
2	親としての課題	—

7. 3. H【女兒・小学校低学年・フィルタリングサービス未導入】

属性		
性別	女兒	
学齡	小学校 2 年生	
兄弟姉妹有無	無	
スマートフォン利用状況	共用	
フィルタリングサービス利用状況	未導入	
I：ICT 利用概況		
1	現在の ICT 環境	①スマートフォン：共用（親） ②PC：共用（家族） ※学校貸与の Chromebook は利用。 ③タブレット：× ※進研ゼミの学習用（チャレンジタッチ）はやっている。 ④ゲーム：専用（Nintendo Switch、NINTENDO64、Wii、ニンテンドーDS） ⑤テレビ：×（インターネット利用は無し）
2	スマートフォン 専用時期・理由	—
3	スマートフォンの 主な用途・使用 アプリ	①主にゲームアプリ。 ※無料でできる範囲で、移動中や家事中の暇つぶし。 ※LINE や SNS はやっていない

		※動画（YouTube や Prime Video 等）は PC でみる。
Ⅱ：リスク・トラブル		
1	リスク・トラブル 内容	①スマートフォンでゲームをしていると課金をしていいかといわれたことがある程度（実際に課金はしていない）。
2	起きた理由／判 明したポイント	①やっていいかと聞いてくる。
3	対処と効果	①課金は際限がないからだめ、と夫婦そろって説明。 ※ゲームは無料内で利用するという原則。
4	経験から学び・ニ ーズ	特になし。
Ⅲ：ペアレンタルコントロール		
1	設定状況（ソフ ト）	①課金をしない。 ②やるべきことをやってからやる（遊ぶ）。
2	設定状況（ハー ド）	特になし。
3	参考にした情報	①夫が詳しいのでそれに任せている。
4	経験から学び・ニ ーズ	①リスク等の情報については学校からのチラシ等だとパラ見してして終わってしまう。教育系の会社や大学機関等からの分析された情報（科学的根拠や数字）があるものだときちんと読もうと思う。 ②アプリやメールなど、スマホで見やすいもので情報が来ると良い。学習や子育て情報と一緒に来るとより見ようと思うかもしれない。
Ⅳ：フィルタリングサービス		
1	設定状況・種類	【フィルタリングサービス未導入】 —
2	レベル・カスタマ イズ	—
3	導入・解除・未導 入の理由	未導入理由： ①特に意識なし。
4	フィルタリング サービスに対す る評価	—
5	経験から学び・ニ ーズ	①もう少し大きくなって年頃になってきたら導入を考えるかも

	ーズ	しれない。 ②まずは入り口の情報がスマートフォンで見れるといい。
V：より良い青少年の ICT 環境		
1	理想の ICT、政府や企業への期待	①今のところはまだ幼いこともあり特にはないが、SNS が始まったら困るかもしれない。そうしたときにある程度一律にきめてくれたらいいと思う。 ②自分も中学の時メールの返信等で困った経験があるので、トラブルが未然に防げる策としていくつか提示されているといい。
2	親としての課題	①自分もざっくりしか分かっていないし、子供の方ができていることがある。

7. 3. I 【男児・小学校高学年・フィルタリングサービス導入中】

属性		
性別		男児
学齢		小学校 4 年生
兄弟姉妹有無		有／姉 2 人（高 1、中 1）
スマートフォン利用状況		共用
フィルタリングサービス利用状況		導入中／スクリーンタイム
Ⅰ：ICT 利用概況		
1	現在の ICT 環境	①スマートフォン：共用 ②PC：専用 ③タブレット：家族で共用 ④ゲーム：専用（Nintendo Switch、Wii U、Nintendo 3DS） ※ゲームは兄弟全員一人一つずつもっている。
2	スマートフォン 専用時期・理由	—
3	スマートフォンの 主な用途・使用 アプリ	①主にゲーム（アプリをダウンロードし利用。Pokemon GO、等。） ②YouTube などの動画を時々。
Ⅱ：リスク・トラブル		
1	リスク・トラブル 内容	【実体験・本人】 ①ゲーム（Minecraft）のチャットで誹謗中傷のいじめを受けていた。 ②スマートフォンで必要のない広告をみている。 ③スマートフォンでゲームをしていて、間違って課金してしまっ

		た。 【兄弟姉妹】 ①スマートフォンで YouTube を見ている広告を押しそこから買い物をしていた。 ②裏アカウントを作っており、いじめの対象になっていた。（本人経由ではなく学校の担任から通知で知った。） ③TikTok で投稿した内容に対して友人からバッシングをうけていた。 ④女性のふりをした男性からコミュニケーションがきて、それに騙されて素直に答えていた。 ⑤グループ LINE で意図的に一人を排除するものが流行っているとのことだった。（対象ではなくそのグループに入っていた。）
2	起きた理由／判明したポイント	【本人】 ①基本リビングや親の前でやっているのを見てから分かる。 ②本人が親に言ってきた。 【兄弟姉妹】 自分から話してきたものもあるが、 ①ご主人が履歴をチェックしており監視することで分かった。
3	対処と効果	【本人】 ①顔の見える友達とだけゲームをやるようにしている。 ②課金等で勝手に進まないようにログアウト設定などをした。
4	経験から学び・ニーズ	①ゲームなどのインターネット上で、なりすましができないようにしてほしい。 ②いつもと違うサイトを訪れていたり、新しい人とやり取りを始めたりなど、イレギュラーな動きをしていた場合に通知してくれる機能があると良い。
Ⅲ：ペアレンタルコントロール		
1	設定状況（ソフト）	【本人】 ①課金をしない。 ②ゲームは1日あたり2時間以内。 ③知らない人とやりとりしない。 スマホを貸すときは、加えて ④インストールは勝手にしない。 ⑤親がいる前で使う。 【兄弟姉妹】

		①リビング以外ではスマートフォンをやらない。 ※ただし、試験勉強のときに YouTube を使うとあって、部屋にも っていつている。何をしているかは分からない。
2	設定状況（ハード）	①Nintendo Switch で「みまもり設定」をしているほか、カスタマイズ設定をしている。 ②共用のパソコンはアカウントで制限。 ③専用のパソコンでは Chromebook でプログラミングだけができる設定。
3	参考にした情報	一番上の子の時に調べた。 ①周りの親に聞く。 ②携帯ショップで聞く。 ③ネット上で検索する。
4	経験から学び・ニーズ	①放っておくと、無制限に使って知らない人ともつながってしまうので、コントロールしたいという気持ちは強い。 ②そのため、「いつでも親が解約できるというプレッシャー」も与えてはいる。 ③しかし、コミュニケーションツールなので、「うちがダメといっても相手（お友達関係）があるので、やらなかったりやめることで、いじめになったり仲がわるくなったら困る。」と思い、強く出れないときが多々ある。 ④携帯会社や社会等で一斉に時間や年齢などを制約してもらった方が楽、とは感じる。
IV：フィルタリングサービス		
1	設定状況・種類	【フィルタリングサービス導入中】 ①「スクリーンタイム（iOS）」で子供に自分のスマートフォンを貸す時に以下を設定している。 -1 アプリのコンテンツ制限で年齢設定 -2 無制限検索ができない -3 終わりの時間設定 ※あんしんフィルターを最初つけていたが途中で外れてしまった。理由不明。
2	レベル・カスタマイズ	①年齢にあったものに設定。
3	導入・解除・未導入の理由	導入理由： ①放っておくと、無制限に使って知らない人ともつながってしま

		うので、コントロールする必要があると思っている。 ②不適切なものを見せないように、排除をしたい。
4	フィルタリングサービスに対する評価	・あんしんフィルター：70 点 ・スクリーンタイム：30 点。理由：使えない。設定しても使えてしまう、機能しないことがある。
5	経験から学び・ニーズ	①スクリーンタイムが分かりづらい。→スマートフォン上で解説してほしい。 ②あんしんフィルターはとてもよかった。
V：より良い青少年の ICT 環境		
1	理想の ICT、政府や企業への期待	①社会全体がデジタル化に進む中で、家庭それぞれの教育方針で扱えるものではない。学校の授業でスマートフォンのことを教えてほしい。 ②LINE などは子供には使えないようにした方がいい。常にみてないと仲間外れにされるようで、LINE の中で生きているように見える。 ③通信事業者とアプリ事業者はもっと厳しく「よくない情報」をサーチして管理してほしい。特にゲームのチャット機能はいらない。
2	親としての課題	①子供に比べて親の知識が足りていない。親がスマートフォンで買い物をしていれば同じように子供だって買いたくなる。親自身がスマホの使い方をうまくできるようになるに、例えば通信事業者が親に対して講座を開くなどがあってもいい。

7. 3. J【男児・小学校高学年・フィルタリングサービス解除】

属性		
性別		男児
学齢		小学校 5 年生
兄弟姉妹有無		有／姉 1 人（小 6）
スマートフォン利用状況		専用
フィルタリングサービス利用状況		解除／スクリーンタイム
I：ICT 利用概況		
1	現在の ICT 環境	①スマートフォン：専用 ②PC：おさがりで専用 ※学校から貸与されているものもあるが学校に基本置きっぱなし。 使っていない。

		③タブレット：おさがりで専用 ④ゲーム：専用（Nintendo Switch） ⑤テレビ：共用（YouTube）
2	スマートフォン 専用時期・理由	①小2からスマホ専用（Android）、小4から（iPhone SE） ②姉が買うときに一緒に買った。
3	スマートフォンの 主な用途・使用 アプリ	①動画共有サービス（YouTube）がほとんど。 ②LINE は家族の連絡くらい。 ③SNS は TikTok をやっていてちょっと見る程度。 ※基本はスマートフォンか Nintendo Switch をやっている。
II：リスク・トラブル		
1	リスク・トラブル 内容	【本人】 ①使いすぎ。特に YouTube をみだすと動かなくなる。夜遅くなって学校に遅刻する。 ②健康被害。近距離で見ている弱視になっていると眼科に言われたことがある（老眼鏡）。ただし因果関係は不明。
2	起きた理由／判 明したポイント	①今の iPhone にかえたころからそのような状況になっている。 ②学校の視力検診で指摘された。
3	対処と効果	①②とも特に対策せずそのまま。
4	経験から学び・ニ ーズ	特になし。
III：ペアレンタルコントロール		
1	設定状況（ソフ ト）	ご褒美として買ったため特にルールなし。 ※暗黙の了解として、携帯にパスワードをかけさせず親が見れる状況になっている。
2	設定状況（ハー ド）	①タブレットはファミリーリンクの設定で9時以降は使えない。
3	参考にした情報	・任天堂からのお知らせメールで見たことがある。
4	経験から学び・ニ ーズ	①使いすぎをどうにかしたいが、制限したらしたで解除してほしい解除してほしいとうるさいので、どううまい具合に調整したらいいか、何をしたらいいか分からない。 ②他の家庭はどうか、というのが分からない。よその成功例があるといい。 ③子供が自分で制限できるのが一番いい。自分で目標を設定してポイントがもらえるとご褒美があるなどの報酬システムのようなものがあるといいかもしれない。

IV：フィルタリングサービス		
1	設定状況・種類	【フィルタリングサービス解除】 小2（ファミリーリンク） →小4（スクリーンタイム） →解除
2	レベル・カスタマイズ	主には時間設定 ①トータル利用設定 ②お休みタイム（21時～7時）
3	導入・解除・未導入の理由	導入理由： ①使いすぎを防ぎたい。 解除理由： ①iPhoneのユーザー登録を親の年齢で設定してしまい、子供用に設定できなかった。 ②スクリーンタイムを試みたが、「解除しますか？」で子供が解除できてしまう。時間制限がくる、という通知がくるだけで効力がなかった。 ③結果的に外れている状態。
4	フィルタリングサービスに対する評価	①便利だった。特にファミリーリンクで呼び出しなどの機能もあって便利だった。
5	経験から学び・ニーズ	①iPhoneでもファミリーリンクの時と同じように設定できたらよかった。 ②ネットで探したけど結局「どうしたらいいか」というステップが分かりやすく書いてあるサイトがなかった。
V：より良い青少年のICT環境		
1	理想のICT、政府や企業への期待	①使えるに越したことはない。使えないで時代遅れになると子供たちが困る。GIGAスクール構想にもポジティブだし、子供たちも楽しそうにやっている。 ②一方、学校で何しているか分からない。学校でパソコンに触わっているだけ、としか子供もいわない。どんな授業でどんなことを教えているのか分かるような共有システムがあるといい。
2	親としての課題	①使いすぎを注意する前に「親が使いすぎている」ことがある、特にスマートフォンではなにしているか分からないから伝わりにくい。

7. 3. K【女児・小学校高学年・フィルタリングサービス導入中】

属性		
性別	女児	
学齢	小学校 6 年生	
兄弟姉妹有無	有／兄 2 人（中 3、中 1）	
スマートフォン利用状況	共用	
フィルタリングサービス利用状況	導入中／スクリーンタイム、あんしんフィルタ ー	
Ⅰ：ICT 利用概況		
1	現在の ICT 環境	①スマートフォン：共用（兄弟姉妹で共用） ②PC：× ※学校 PC（Chromebook・専用）あり ③タブレット：共用（専用になりつつある） ④ゲーム：専用（Nintendo Switch Lite） ⑤テレビ：共用（YouTube）
2	スマートフォン 専用時期・理由	ー ※親のスマートフォンを小 2 くらいから動画やゲームを使って 触り始めた。去年の 9 月に兄弟共用を購入。
3	スマートフォンの 主な用途・使用 アプリ	①SNS（Instagram、TikTok。Twitter はやっていない。） ②メッセージアプリ（LINE） ※ただし兄弟姉妹共用なので、対象の妹に関しては「タブレット」 と「母親のスマートフォン」を用いて次のことをやる。 ①動画共有サービス（YouTube） ②ゲーム（プロジェクトセカイ カラフルステージ！） ③LINE※母親のアカウントを使って友人とやり取りしている。
Ⅱ：リスク・トラブル		
1	リスク・トラブル 内容	【本人】 ①LINE グループ外しのトラブルにあったことがある。 【兄弟姉妹】 ①Instagram を使って他校の女の子とやり取りしていて、卑猥な ことをいってしまっていた。その相手から苦情がきた。 【知人】 ①20 万超えの請求があるときがあった。
2	起きた理由／判 明したポイント	【本人】 ①先生から連絡きて、確認のため本人に聞き明らかになった。

		【兄弟姉妹】 ①学校の先生から電話がきた。
3	対処と効果	①親に見られては困ることや、自分がされて嫌なことはしない、と約束した。
4	経験から学び・ニーズ	①ノリで発言等をしてしまい「言葉の重さ」が分かってないと思う。 ②自身で管理できない故、専用ではまだ持たせようとは思っていない。キッズ携帯よりも機能性のある子供用のスマートフォンがあると良い。
Ⅲ：ペアレンタルコントロール		
1	設定状況（ソフト）	①兄弟姉妹共用のスマートフォンは持ち出し禁止。やむを得ず塾等で必要なときは親の許可が必要。 ②時間：トータル2時間を超えないようにしているが、最近守れていない。 ③勝手にインストールしない、ダウンロードしない。 ④課金はしない。（できない状況。） ⑤親が見ても大丈夫なことのみをする。
2	設定状況（ハード）	①Nintendo Switch Lite で利用時間通知設定。 ②タブレットにもフィルタリング設定。
3	参考にした情報	①友人の20万越えの請求トラブルが印象に残っていて何かしなければと思っていた。 ②検索して各社の説明サイトを見る。
4	経験から学び・ニーズ	①失敗事例やモラルに関する使い方の事例集があると良い。 ②LINE や Instagram に関する使い方やマナーを学べる場があると良い。使いながら学ぶ状況が大切だと思う。 ③またそうしたコンテンツは親子で見れる「動画」や「テレビ番組」だとより取り組みやすい。親子で見たり、学校でも道徳の時間等で利用したりして、学べばいいのではないかな。
Ⅳ：フィルタリングサービス		
1	設定状況・種類	【フィルタリングサービス導入中】 ①スクリーンタイム ②あんしんフィルター
2	レベル・カスタマイズ	①1日の使った時間のお知らせ、のみ ③有害サイトに行かない（コンテンツフィルタリング）設定のみ
3	導入・解除・未導入	導入理由：

	入の理由	①友人のトラブルを聞いて。
4	フィルタリングサービスに対する評価	①有害なサイトにもいかないの、あってよかったと思う。
5	経験から学び・ニーズ	①契約時に必ず入るように例えばオプトインにするなど最初からフィルターをかけてしまうのがよいのでは。
V：より良い青少年の ICT 環境		
1	理想の ICT、政府や企業への期待	①ベーシックな部分（使いすぎない、頼りすぎない、依存しすぎない）というところは責任をもって大人が教育すべき。 ②フィルタリングサービスをはじめとして色々大きな組織が情報を提供しているが、いずれも表象的に感じる。動画を作ったりモラルに関して少し深まった内容を提供するなど、踏み込んだコンテンツがあるといい。
2	親としての課題	①導入することによって便利になる半面、本人（子供や家族自身）に任せられてることが多いのでその対応には非常に差がある。 ②いい手本でありたいと思うが、親にもリテラシー格差があるのでその辺をカバーすることが必要だと思う。

7. 3. L【女兒・小学校高学年・フィルタリングサービス解除】

属性		
性別	女兒	
学齡	小学校 5 年生	
兄弟姉妹有無	有／姉 1 人（中 3）	
スマートフォン利用状況	専用	
フィルタリングサービス利用状況	解除／あんしんフィルター	
I：ICT 利用概況		
1	現在の ICT 環境	①スマートフォン：専用（Android） ②PC：× ※スマートフォン：有。持って帰ってきている。検索するはできるか勉強にしか使っていない。 ③タブレット：共用（Chromebook） ④ゲーム：専用（Nintendo Switch） ⑤テレビ：×
2	スマートフォン 専用時期・理由	①小 2 の時から。 ②理由は学校に行くようになり一方親が下校時間には不在で、

		「帰ってきたよ」の確認などのやり取りがしたくて。
3	スマートフォンの主な用途・使用アプリ	①動画共有サービス（YouTube、Netflix）が一番多い。 ②SNS（TikTok、Twitter） ※投稿は禁止している。閲覧だけ。 ③LINE ※その他ゲームはしていない、Nintendo Switch でやっている。
II：リスク・トラブル		
1	リスク・トラブル内容	【本人】 ①使いすぎ。ずっと見ていることに危機感を覚える。上の子も同様。去年のコロナ等で休校になったときは 10 時間くらい見ていた。休校になる前までは LINE しか使っていなかったのに、動画をよくみるようになった。 【知人】 ①学校でグループ LINE 問題あることが度々ある。無断で卒園アルバムをあげて、学校が学年集会を開いたことがある。このようなことが毎年ある。
2	起きた理由／判明したポイント	—
3	対処と効果	特に何もしていない。（学校が普通に始まるのを待つ。）
4	経験から学び・ニーズ	特になし。
III：ペアレンタルコントロール		
1	設定状況（ソフト）	①課金はだめ。 ②投稿はだめ。 ③寝るときはリビングで充電する。 ④ロックをかけない or ロックをかけるときはパスワードを親に伝える。小学校卒業するまでは抜き打ちで親がチェックするといっている。 ⑤知っている人とのみやりとりをする。 ※特に①と⑤は絶対にやるな、といっているのでトラブルはない。
2	設定状況（ハード）	特になし。 ※Nintendo Switch での「みまもり設定」は最初やっていたが 3 日くらいでやめた。
3	参考にした情報	①ニュース等でよく見る。

		②学校からもらってくるチラシ等。また、NTT ドコモ（出前講座）を1年に1回やっており、それがとても分かりやすく参考になっている。 ※DVD をみせてもらって効果があった。「LINE を使って無断で動画投稿して仲間外れストーリー」だった。
4	経験から学び・ニーズ	①親の言うことをこの年齢になると聞かないので、学校でやってほしい。出前講座や怖い事例など、子供は先生の話は聞く。 ②出前講座のようなドラマ仕立ての DVD がすごくよかったので、そうした動画のスタイルは効果があると思う。
IV：フィルタリングサービス		
1	設定状況・種類	【フィルタリングサービス解除】 ①あんしんフィルター
2	レベル・カスタマイズ	①中学生モードにした。 ※カスタマイズができることは知らなかった。
3	導入・解除・未導入の理由	導入理由： ①契約の際に窓口でほぼ強制的だったから。 解除理由： ①買ったその日中に解除した。 ②色々と設定するとき面倒くさかった。
4	フィルタリングサービスに対する評価	我が家としては不要、という結論。 ①設定がいちいち面倒くさい。 ②YouTube が使えない、あまりにも検索結果で得られないものが多い。
5	経験から学び・ニーズ	①制約をかける方向に対してポジティブではない。制約をかける余計に親に隠れて抜けようとしてよくない方向になると思っている。 ②スマートフォンを立ち上げる際に注意喚起がきたり、最近はやっているトラブル、など通知が来たりすると意識をするようになると思う。 ③契約窓口だと最後の方は疲れていてフィルタリングサービスの話になると思考がおいつかない。自宅でワンクリック設定できるといい。 ④休校中だけ、夏休み中だけ等利用が増えてしまう時期のみフィルタリングをかける、などできたらいい。
V：より良い青少年の ICT 環境		

1	理想の ICT、政府や企業への期待	①教育に ICT をもっともっと取り入れてほしいと思う。現在の住まいの自治体は取り入れている方だが、写真を撮ってレポート提出、などやっております子供もほかの子の様子がみえてやる気がでている。 ②スマートフォンの使い方も学校で指導してほしい。家でも言いつつ学校でも指導することに効果があると思う。 ※学校も以前は「早いうちから持たせるな」から「早いうちから適切に管理できるように」になっている。
2	親としての課題	①親自分も見すぎないようにしなきゃ、と思う。

7. 3. M【男児・中学生・フィルタリングサービス導入中】

属性		
性別		男児
学齢		中学校 2 年生
兄弟姉妹有無		無
スマートフォン利用状況		専用
フィルタリングサービス利用状況		導入中／あんしんフィルター
Ⅰ：ICT 利用概況		
1	現在の ICT 環境	①スマートフォン：専用 ②PC：母親のものを共有 ※学校 PC（Chromebook・専用）あり ③タブレット：家族で共有 ④ゲーム：専用（Nintendo Switch） ※現在は自主的に使用禁止している。
2	スマートフォン 専用時期・理由	①中 1 から専用 ②習い事のやり取りで必要。
3	スマートフォンの 主な用途・使用 アプリ	①中 1 から専用 ②習い事のやり取りで必要。
Ⅱ：リスク・トラブル		
1	リスク・トラブル 内容	【本人】 ①コロナをきっかけに過度に利用するようになり、本人も依存的な状況に「コントロールできない」と苦しんでいる様子だった。 ②顕著なものがフォートナイト（Nintendo Switch で利用）で、仲間外れやいじめなどのトラブルが多かった。

		③友達経由で有害情報を見ており、最終的にはかなり刺激的な海外サイトにたどり着いていた。 ④学校から配布されたアドレスを活用して裏アカウントをとっていた（LINE、Instagram、TikTok）。 ・判明したのは、Instagram（SNS 等）を禁止しているはずだったのに、部活のやりとりをしていたため。 ⑤LINE のタイムラインでいいね！の数を競っていた。（上記の裏アカウントを使ってやっていた。） ⑥あんしんフィルターが外されていた（パスワードがばれていて自分ではずした）。その後、設定しなおした。 【他者】 ⑦課金をしてはいけない家庭の子が、ゲーム上のアカウントのプレゼント機能を使い、友達経由で入手していた。
2	起きた理由／判明したポイント	①友達経由で起きている。 ②依存的な状況はコロナによる在宅時間の影響が大きい。 ③（分かりやすい子のため）本人の様子がおかしくなるので見ていて分かる。
3	対処と効果	①依存的な件に関しては、本人もどうにかしたいと思っていたため、ゲーム機を一切使えないようにしたり、親が管理に介入したりして解決した。 ②裏アカウントやフィルタリングサービスを外していた件は、きつく叱り再度フィルタリングサービスを設定するなどきっぱりと対応した。
4	経験から学び・ニーズ	①学校で時々警察などがきて話をしているが、文章で知っているだけで本人は’理解していない（他人事になっている）’。 ②プログラミングの授業があるのであれば、同様にインターネットのリスク等について学べる授業も同様の時間だけあるなど、子供自身が危機意識を持てる教育が必要だと感じる。
III：ペアレンタルコントロール		
1	設定状況（ソフト）	①スマートフォンは親が見てもよい。（親が見ても大丈夫なものだけを使いなさい、と指導。） ② スマートフォン利用時間は 21：30 まで。 ③ これらの①②ができない場合はスマートフォンを回収する。 ④スマートフォンは自分の部屋にもっていかない。 ⑤YouTube などは自宅用タブレットでみる。また、基本は土日限

		定。
2	設定状況（ハード）	①スマートフォンの契約は1G制限。通信は外で連絡用として使うのみ。 ②自宅のWi-Fiでインターネットに繋げる。
3	参考にした情報	・ご主人が詳しい。 ・ママ友（口コミ・相談）。
4	経験から学び・ニーズ	①（色々トラブルがあったが、）初期の約束をしっかりしていたことがよかった。（親が見ていい、時間を決める。それができる場合にスマートフォンを買う、それができない場合はやめる。）始めが肝要。 ②スマートフォンを購入する際「親子間実行協定のサンプル（厳しいルール・契約）」があるとスムーズにできてよい。
IV：フィルタリングサービス		
1	設定状況・種類	【フィルタリングサービス導入中】 ①NTTドコモの「あんしんフィルター」
2	レベル・カスタマイズ	①中学生モード（学齢と同じ） ②カスタマイズで一部厳しくしている設定
3	導入・解除・未導入の理由	導入理由 ①子供なのでうまく使えないと思った。 ②アダルトコンテンツ、個人情報流出（実際に以前話があった）、詐欺やトラブル、金銭トラブルに危機意識があった。
4	フィルタリングサービスに対する評価	①ポジティブ（強制力が強いことがいい）。
5	経験から学び・ニーズ	【課題】 ①最初に契約の際に話を聞いたが、窓口の人もあまりフィルタリングサービスについて知らない様子だった。フィルタリングサービスに関して知識や危機感がないのが問題に思う。やらされ感があった。 ②フィルタリングサービスをして友達から送られてきたものは見れてしまう（LINE等）。 ③フィルタリングサービスの情報が紙だけでいてもそれが行動には繋がりにくい。（スマートフォン契約時やアプリ設定時に中身にない意味がない。） 【ニーズ】

		①フィルタリングサービスをなんとなく設定するのではなく「なぜそれが必要なのか」という注意すべき観点をあわせて掲載してほしい。
V：より良い青少年の ICT 環境		
1	理想の ICT、政府や企業への期待	①子供からすると、先に各家庭で機器を与えられて自由に使えて、あとから学校などで知識として教えてもらってもあまり危機感がうまれない、または自分事にならない、と感じる。先に学校等でインターネットの危険性なども含めて、説明があると良い。 ②青少年が使うときのハードルを高くした方がいい。例えば窓口で必ず子供が説明を受ける、免許的な設定をする、など。
2	親としての課題	①親としてはもっと自由にさせてあげたいと思うが、危険と隣り合わせなので、自分で自分の身を守るしかない現状だと認識している。

7. 3. N【男児・中学生・フィルタリングサービス解除】

属性		
性別		男児
学齢		中学校 1 年生
兄弟姉妹有無		無
スマートフォン利用状況		専用
フィルタリングサービス利用状況		解除／あんしんフィルター
I：ICT 利用概況		
1	現在の ICT 環境	①スマートフォン：専用 ②PC：× ③タブレット：専用 ④ゲーム：専用（Nintendo Switch）
2	スマートフォン 専用時期・理由	①中 1 の春から。
3	スマートフォン の主な用途・使用 アプリ	①ゲームが多い（フォートナイト等との戦闘ゲームほか、野球ゲームなど） ②音楽 ③メッセージアプリ（LINE） ④動画（YouTube） ⑤SNS（Twitter） ※Instagram、TikTok はやっていない。

Ⅱ：リスク・トラブル		
1	リスク・トラブル 内容	【本人】 ①課金は基本的にやらないというルールだったが、ゲーム（戦闘系）で課金していた。 ②ゲームに熱中しすぎて感情的になる、突然大きな声を出す。
2	起きた理由／判 明したポイント	①コンビニでカードを買っておりそれが発覚した。
3	対処と効果	①事実関係を確認し、本人が使ったということで認めたので、今後はやらないと約束した。
4	経験から学び・ニ ーズ	①特にやりすぎに対して親が言っても聞かないところがある。特定のアプリのみ強制的に使えなくなる仕組みがあるといい。
Ⅲ：ペアレンタルコントロール		
1	設定状況（ソフ ト）	①1日2時間まで。 ②21時以降はやらない。 ③スマートフォンは自分の部屋でやらない。 ④課金しない。 ⑤知らない人とやりとりしない（ゲーム等）。
2	設定状況（ハー ド）	①Nintendo Switch でオンラインにアクセスする機能は親のみが知っているパスワードで管理。
3	参考にした情報	①ネットで探した。ブログ系（我が家はこういう設定にしています）というのが役に立った。
4	経験から学び・ニ ーズ	①全体に網をかけるよりは個別アプリケーションにかけられるといい。 ②ネット上で設定の仕方のサイトがまとまっているといい。
Ⅳ：フィルタリングサービス		
1	設定状況・種類	【フィルタリングサービス解除】 ①あんしんフィルター
2	レベル・カスタマ イズ	①中学生モード
3	導入・解除・未導 入の理由	導入理由： ①子供にはまだ危機管理能力がなくリスク管理するため。 ②予防措置として。 解除理由： まずどういった制限がかかるか知らなかったが、 ①検索サイトなども制約になっていることが分かり、それでは通

		学で電車を使うが検索ができなくて困るから。 ②その他使いたいときに使えなくて外した。
4	フィルタリングサービスに対する評価	—
5	経験から学び・ニーズ	①フィルタリングサービスをかけてうまくいっている人はどういう使い方をしているのか知りたい。色々使えない制限の中でどのように使っているのか。 ②インターネット上に情報があると良い。
V：より良い青少年の ICT 環境		
1	理想の ICT、政府や企業への期待	①まずある程度自分でやりたいことを尊重させることが大事だと考える。管理や注意しすぎると余計に悪い方に傾くように思う。 ②青少年の教育のみにフォーカスせず全体の環境底上げをしてほしい。日本の国自体が ICT というインフラ整備が遅れている。使い勝手がよくなってくれば子供たちもそういうモチベーションが高まるのではないかと。 ③そのうえで、「作られたものを遊ぶ」のみという状況になっているのが懸念。プログラムや創作などの面白さに興味が向くような教育をしてほしい。
2	親としての課題	①コントロールしたり制御したりしようとする、余計抜け出そうというようなモチベーションが働くので、何をやりたいのかを聞いてやりたいことを寛大にさせる方がよいと思う。 ②そのうえで、危ないときに多少コントロールをかける。 ③そうした観測と対応のきめ細やかさが大切だと考える。

7. 3. O【女兒・中学生・フィルタリングサービス解除】

属性		
性別		女兒
学齡		中学校 1 年生
兄弟姉妹有無		有／兄 1 人、姉 1 人（中 2）
スマートフォン利用状況		専用
フィルタリングサービス利用状況		解除／あんしんフィルター
I：ICT 利用概況		
1	現在の ICT 環境	①スマートフォン：専用

		②PC：家族で共用 ※学校貸与 PC（専用）あり。 ③タブレット：家族で共用
2	スマートフォン 専用時期・理由	①小6から専用 ②上の子が中学校の部活等の連絡がすべて LINE になっているのを見て、あまり持たせたくはなかったが、必要だと思ったため。
3	スマートフォンの 主な用途・使用 アプリ	①メッセージアプリ（友達との連絡、部活の連絡、クラス LINE、学年 LINE 等）。 ②SNS（Instagram、TikTok、Twitter） ③動画共有サービス（YouTube） ④写真アプリ（SNOW） ⑤ゲーム（ツムツム等）
II：リスク・トラブル		
1	リスク・トラブル 内容	【本人】 ①緊急事態宣言後以降たくさん利用するようになり、親が注意しても止まらない現状。最後は怒鳴って止める。 ②学校での LINE いじめトラブルにあった。グループ LINE で悪口を言われていた。最終的には先生や学校が対応をして収まった。 ③Twitter で面識のない人とやりとりをしていた。好きなアニメの繋がりで行っていたことが分かり、重大な件にはならなかったが不安に思った。 【他者】 ①小学校のときに YouTube に気軽に動画をあげてしまった子がおり、場所などが特定しやすい内容であったため、学校で騒ぎになり指導される件があった。 ②中学校で、投稿した写真から場所と人が分かっしまい、待ち伏せされた事件があった。
2	起きた理由／判 明したポイント	①使いすぎは緊急事態宣言等で家にいる時間が長くなってから。 ②いじめについては本人が親に言っていた。 ③知らない人とのやりとりは、親がスマートフォンをチェック（本人と購入時に同意済み）して気づいた。
3	対処と効果	①使いすぎについては、注意しても変わらず今も課題のまま。 ②いじめについては、学校や友達も含めて対応することで収まった。

		③知らない人とのやり取りは、最初は本人も「なんで勝手にみるの」と怒ったが、購入時の約束事項とリスクについて厳しく話すことで、最終的には本人も納得した。また、再度このようなことがあったら、フィルタリングサービスをもう一度かける約束をした。
4	経験から学び・ニーズ	①LINE ほか Twitter 等で知らない人とやり取りはできない、という設定ができるといい。
III : ペアレンタルコントロール		
1	設定状況（ソフト）	①22 時までに学校の宿題などやることを終えること。それ以降はどこで使ってもいい。 ②親がいつ見てもいいという約束（いつでもチェックしていいように、パスワードは共有。怪しくないことをする。） ③何か怪しいなと思ったら絶対に親に相談する。 ④知らない人とつながらない。 ⑤（グループ LINE トラブルで分かっただろうから）人に攻撃的なことは言わない。
2	設定状況（ハード）	利用無し。 （共用の時には検索サイトで設定を厳しくしていたが、普通のことでも表示されなくなってしまったため、意味がないと思い外した。）
3	参考にした情報	①上の子のスマホを買うときに、ネットで「使い方」を調べた。 ②契約時に窓口で話をきいた。 ③学校からの手紙（時間、個人情報分かるようなものはのせない）の内容。
4	経験から学び・ニーズ	①親として最初は色々設定したりもしたが現在は半ばあきらめモード。いくら厳しくしても抜け道がある。 ②資料や情報で来てもあまり読まないし、自分ごとにならない。 ③子供自身が危機意識を保つために、年に一度程度の講習やチラシでくるのではなく、継続的な頻度の高い対話の場などの教育があると良い。
IV : フィルタリングサービス		
1	設定状況・種類	【フィルタリングサービス解除】 ①KDDI の「あんしんフィルター」をしていたが解除。契約したときに設定したが、数日で解除に至った。
2	レベル・カスタマ	①小学生モード→中学生モード→高校生モード→高校生プラス

	イズ	と、日ごとに変えていった。 ②高校生プラスでも検索できないことがあって外した。
3	導入・解除・未導入の理由	導入理由： ①携帯ショップで契約時に言われて入れた。 ②女の子なので身の危険につながると怖いと思い入れた。あと課金等も心配だった。 解除理由： ①検索アプリ等で「なぜそれが見えないサイトになってしまうのか」が分からなかった。フィルタリングサービスのアルゴリズムが不明だと思った。 ②親への許可通知が都度くるのも面倒くさかった。
4	フィルタリングサービスに対する評価	・使えないという印象。 ①使えないアプリがある。 ②検索しても見えないのがある。
5	経験から学び・ニーズ	①LINE が必要なのに中学生モードでも LINE が使えないのがナンセンスだと思う。もう少し現実にあったフィルタリングサービス設定にしてほしい。 ②「スマートフォンの利便性」を担保しつつ「本当によくないものが見えない」というものだったら使っていた。
V：より良い青少年の ICT 環境		
1	理想の ICT、政府や企業への期待	①利用レポート機能があると良い。自分の子供が何をみていたか、サイトの閲覧などを1週間に1回程度通知がくる（世代の平均や今流行っている危険なトラブルなどがあるとさらによい）、と親として早めに対処ができる。 ②フィルタリングサービスといった「見ることに制限」をするより「共有して議論」する方が重要に思う。 ③学校では継続的な議論する場を求める。企業にはフィルタリングサービスをするなら現状の利用にあわせた設定を求めるのと、上記のレポート機能を求める。国には規制をすると中国のようになりかねないのでリスクも感じる。 ④総合して、ハード面で厳しくするよりは教育で改善していくのがよいと思う。
2	親としての課題	—

7. 3. P【女兒・中学生・フィルタリングサービス未導入】

属性		
性別	女兒	
学齡	中学2年生	
兄弟姉妹有無	有／姉1人（高2）	
スマートフォン利用状況	専用	
フィルタリングサービス利用状況	未導入	
I：ICT 利用概況		
1	現在の ICT 環境	①スマートフォン：専用（Android） ②PC：家族で共用（半分専用） ③タブレット：専用 ④ゲーム：専用（Nintendo Switch、ニンテンドーDS） ⑤テレビ：共用（YouTube）
2	スマートフォン専用時期・理由	①中1から専用。 ②上の子もそうだったから。その他特に理由はないが、今の時代高校からでは遅いと感じる。
3	スマートフォンの主な用途・使用アプリ	①動画共有サービスが多い（YouTube） ※アイドルの配信やアニメを見ている。 ②音楽 ③LINE ④SNS（Instagram、TikTok） ※SNS はやっているけど投稿はしていない。
II：リスク・トラブル		
1	リスク・トラブル内容	【本人】 特になし。 【他者】 ①SNS 経由で知らない人と会った。
2	起きた理由／判明したポイント	—
3	対処と効果	—
4	経験から学び・ニーズ	①基本的には親が悪いと考える。コミュニケーションをとるしかない。言っても分からない子は取り上げるしかない。
III：ペアレンタルコントロール		
1	設定状況（ソフ	①利用は夜の11時まで。それ以降は自分の部屋でやらない。

	ト)	※守っていない時もある ※課金やリスクもルールではなく、スタンスとして伝えている。
2	設定状況（ハード）	特になし。
3	参考にした情報	①テレビ等。
4	経験から学び・ニーズ	特になし。 ※ルールをあまり決めていないのは「当たり前」だから。また、課金やトラブルに巻き込まれるのも「ばかっている」から。
IV：フィルタリングサービス		
1	設定状況・種類	【フィルタリングサービス未導入】 —
2	レベル・カスタマイズ	—
3	導入・解除・未導入の理由	未導入理由： ①意味はないと思っているから。やろうと思えば突破できるから。
4	フィルタリングサービスに対する評価	—
5	経験から学び・ニーズ	特になし。
V：より良い青少年の ICT 環境		
1	理想の ICT、政府や企業への期待	①コロナ以降、デジタルでの教育で色々できることにはポジティブ。 ②色々な組織に言う前に、親が対応すべき。親がどうにかしないとどうにもならない。
2	親としての課題	①親がきちんと「しつけ」をすることが大切で学校のせいにしてもし方がない。親子のコミュニケーションが大事。

7. 3. Q【男児・高校生・フィルタリングサービス解除】

属性	
性別	男児
学齢	高校1年生

兄弟姉妹有無		無
スマートフォン利用状況		専用
フィルタリングサービス利用状況		解除
I : ICT 利用概況		
1	現在の ICT 環境	①スマートフォン：専用 2 台 ②PC：専用 ③タブレット：専用 ④ゲーム：専用（Nintendo Switch） ⑤テレビ：×（インターネット接続無し）
2	スマートフォン 専用時期・理由	①中 1 の 4 月（3 月誕生日）。 ②小学生までは見守り携帯だった。中学生になったら買う約束になっていた。
3	スマートフォンの 主な用途・使用 アプリ	①動画共有サービスがメイン（YouTube）（ゲーム実況系） ②メッセージアプリ（LINE、Discord） ③ゲームアプリ ④買い物（Amazon） ⑤SNS（Twitter） ※SNS は見るだけ。
II : リスク・トラブル		
1	リスク・トラブル 内容	①やりすぎがとにかく心配。夜中の 2 時くらいまでやっていることもある。
2	起きた理由／判 明したポイント	—
3	対処と効果	—
4	経験から学び・ニ ーズ	①フィルタリングサービスは使うべき。 ②時間で区切った方がいい。
III : ペアレンタルコントロール		
1	設定状況（ソフ ト）	①危険なサイトには入らない。 ②ゲームに課金しない。 ※しかしバイトをしているので自分で支払うなどしてコントロールできている。
2	設定状況（ハー ド）	利用無し。 ※小学校の時などはしていたが高校になった今何もしていない。
3	参考にした情報	①ネットで情報を集めた。

		②購入時等の初期の設定アナウンスに従った。
4	経験から学び・ニーズ	①中学校3年間でスマホと本人のかかわり方がうまく使える(邪魔にならずに依存せずに)ことが分かったようだった。 ②特に通信可能な時間を決めてたのは良かった。それでペースを作れた。 ③あまり厳しくしすぎてしまうと逆効果に思う。
IV：フィルタリングサービス		
1	設定状況・種類	【フィルタリングサービス解除】 ①あんしんフィルター (中1～) その後 ②OCN モバイルのフィルター (中3～)
2	レベル・カスタマイズ	①有害なサイトに入れない設定 (コンテンツフィルタリング)
3	導入・解除・未導入の理由	導入理由： ①契約時にそうしないと入れなかったから (無条件)。 ②守ってくれるなら入っておこう、というリスク管理。 解除理由： ①通信事業者を変えた高校生の4月に特に入らなかった。
4	フィルタリングサービスに対する評価	①親として基本的に高評価。 ②一方、子供本人的に見たいところに見えない不満があった。ダウンロードできないゲームがあった。
5	経験から学び・ニーズ	①本当に小さいときは守ることも必要だけど、高校生になるとルールをがちがちにするのは大変。ある程度の危機管理能力を養うためにも自分で知ること大切と思う。 ②リスク管理や危機意識醸成では、学校の授業であってもいいと思う。世の中のことを知る授業として、例えばインターネットだけでなく、お金など常識について。 ③一般的に広めるには YouTube の広告やアニメの時の「離れてみましょうね」のような CM 喚起などいいと思う。 ④情報として一貫したものがあればいい。
V：より良い青少年の ICT 環境		
1	理想の ICT、政府や企業への期待	①「人間自体がのっとられない(頼りすぎない、依存しすぎない)」といった ICT とのうまい付き合い方も含めて、学校で総合的な教育として取り組んでいただけると良い。 ②人間が育てることができるのは人間。あくまで人間が使うもの

		だという前提を大切にほしい。
2	親としての課題	①使い方やマナー的なことを教えるのは必須。 ②しかし、自分も触ってしまっているしさらに子供の方が詳しい状況なので、難しい。 ③自分も勉強してよく知らないと子供にいうことはできない。大人が学ぶ姿勢を子供に見せることが大切だと思う。

7. 3. R【男児・高校生・フィルタリングサービス解除】

属性		
性別		男児
学齢		高校 2 年生
兄弟姉妹有無		有／姉 1 人（大学生）
スマートフォン利用状況		専用
フィルタリングサービス利用状況		解除／ファミリーリンク、あんしんフィルター
Ⅰ：ICT 利用概況		
1	現在の ICT 環境	①スマートフォン：専用（Android） ②PC：ほぼ使わない ※学校貸与はなし。 ③タブレット：×（壊れてしまって使っていない） ④ゲーム：専用（Nintendo Switch、PlayStation Portable） ⑤テレビ：×（家にはあるが息子はみない）
2	スマートフォン 専用時期・理由	①高校 1 年生から。 ※姉は中学生の頃から持っていた。姉と弟の差は性格、行動範囲の違い。
3	スマートフォンの 主な用途・使用 アプリ	①動画共有サービス（YouTube） ②音楽 ③SNS（Twitter：投稿あり、TikTok：閲覧のみ、Instagram：閲覧のみ） ④LINE ※すべてインストール等も自由にできる。何をやっているか分からない。
Ⅱ：リスク・トラブル		
1	リスク・トラブル 内容	①実生活に影響あり。SNS（認識してる限りで Twitter）で知らない人と繋がって、そっちの世界にはまってしまった。実生活（学校や部活等やるべきこと）から逃げるがあった。

2	起きた理由／判明したポイント	①部屋を閉め切ってしゃべっており変な感じがした。オンラインでライブ配信のようなものをしていた。 ②気になりグーグルファミリーリンク経由で見たところ、ライブ配信アプリのようなものを使っていることが分かった。
3	対処と効果	①Wi-Fi の制限をかけて長くできないようにした。(強制的に通信環境をなくした。) ②しかし、そうこうしているうちに息子本人がスマホをなくしてしまい、おさがりの古いスマートフォンを使うようになりファミリーリンク等もなくなってしまい、今は親がチェックできない状況。
4	経験から学び・ニーズ	①18 歳以下は必要ないと思うので、本来は使用禁止がいい。 ②しかし、友達との連絡手段、学校からの連絡手段等で持たせざるを得ない。
III : ペアレンタルコントロール		
1	設定状況 (ソフト)	特になし。
2	設定状況 (ハード)	①家の中で Wi-Fi で深夜 24 時以降～朝 7 時は使えないようにしている。 ※2 系統あり息子のみその仕様。
3	参考にした情報	特になし。一般常識。
4	経験から学び・ニーズ	①インターネットサービスに繋がなくては機能しないものなので、害のある情報やツールは防ぐことができればいい。
IV : フィルタリングサービス		
1	設定状況・種類	【フィルタリングサービス解除】 ①ファミリーリンク ②通信事業者が提供しているもの (おそらく、あんしんフィルター)
2	レベル・カスタマイズ	ファミリーリンクについて ①閲覧する機能のみ 通信事業者が提供していたもの ②インストール許可制 ③使っているアプリ管理 ④制限時間管理
3	導入・解除・未導入	導入理由 :

	入の理由	①息子さんの性格上必要だと思ったから。 ※姉はいれていない。 解除理由： ②反抗がすごかった。
4	フィルタリングサービスに対する評価	①高校生に設定するには厳しいものがあつた。小さい子供ならよかったと思う。
5	経験から学び・ニーズ	①親が設定するいわゆる後付けのソフトだと「外せる」ということが息子にも分かるので、継続性に難があつた。 ②回線を契約するときに必ず設定しないと利用できなくなるレベルにならないとだめ（強制力）。
V：より良い青少年の ICT 環境		
1	理想の ICT、政府や企業への期待	①世界中の人と繋がれる、普段の生活では分からないことも知れる、などももちろんいい面もある。一方、使いすぎや便利なものに頼りすぎること失われる能力があるといった負の側面もある。 ②そうした状況を踏まえて、実際にモノを作れたり創造的になれる教育が必要。
2	親としての課題	①子供だけでの問題ではなく、大人自身も頼りすぎなどに問題がある。便利なものに頼りすぎること失われる能力について懸念。

7. 3. S【女兒・高校生・フィルタリングサービス導入中】

属性		
性別	女兒	
学齡	高校 2 年生	
兄弟姉妹有無	無	
スマートフォン利用状況	専用	
フィルタリングサービス利用状況	導入中／あんしんフィルター	
I：ICT 利用概況		
1	現在の ICT 環境	①スマートフォン：専用 ②PC：共用（ただしネットに繋がっていない） ③タブレット：共用 ④ゲーム：共用（Nintendo Switch）
2	スマートフォン 専用時期・理由	①高校 2 年 6 月から。 ②スマートフォンを持たせなかった。小学校 1 年生の時から

		キッズ携帯ももっており中学時代もガラケーだった。しかし周りがもっているため耐え切れず購入した。
3	スマートフォンの主な用途・使用アプリ	①メッセージアプリ (LINE) ②動画共有サービス (YouTube) ③SNS (Twitter) ※Instagram と TikTok はトラブル等でやめさせた。 ④音楽 (LINE ミュージック) ⑤ゲーム (AI とやるもの) ⑥ポイント活動 (アンケートに答える、歩けば集まる、広告を見る)
II : リスク・トラブル		
1	リスク・トラブル内容	①Instagram で知らない人とやり取りをしていた。 ②Instagram で裏アカウントを作っていた。学校で騒ぎになり泣いて帰ってきたこともあった。 ③男子の中で「LINE なりすましの告白」が流行っているようで、それに娘もターゲットになった。学校でトラブルになった。
2	起きた理由／判明したポイント	①母親が抜き打ち的にスマートフォンをチェックして分かった。 ※チェックすることは公認ではないが絶対だめというわけでもない。 ③は娘から直接報告してきた。
3	対処と効果	①「知らない人と SNS するのはだめ」と、強く言った。誰を登録しているのか見せてと見せて見た。 ②「全面的に守るから一回 Instagram はやめよう」となりやめさせた。 ③「無視しなさい」といった。
4	経験から学び・ニーズ	①本人が本人の責任をもてるようになる (支払いやトラブル対応) までスマホを持てないようにしてほしい。
III : ペアレンタルコントロール		
1	設定状況 (ソフト)	①知らない人とやりとりしない。 ②利用は 12 時半まで (週末も平日も一緒)。 ③食事中はスマートフォンに触らない。 ④自分の部屋に持ちこまない。 ※ただしどれもだんだん緩くなった。
2	設定状況 (ハード)	特になし。

3	参考にした情報	①年上のいとこの利用状況をきく。 ②ママ友から。 ③ネット検索をして。
4	経験から学び・ニーズ	①ルールは口約束なのでほぼ効果がない。ただしかなり何度か言う中でたまに守る。 ②スマートフォンを買うときにしっかり説明してほしい。
IV：フィルタリングサービス		
1	設定状況・種類	【フィルタリングサービス利用中】 あんしんフィルター（現在） ←ファミリーリンク（以前）
2	レベル・カスタマイズ	あんしんフィルター（現在） ①高校生モードにしていたが、トラブルがあってから小学生モードにしている。 ②LINE は認めないわけにはいかず個別で外した。 ファミリーリンク（以前） ①位置情報、利用時間、上限時間、アプリ許可等を設定していた。 ②しかし外されてしまった、理由は分からない。
3	導入・解除・未導入の理由	導入理由： ①元々スマートフォンを持たせることにもネガティブで、厳しくしたかったから。
4	フィルタリングサービスに対する評価	あんしんフィルター（現在） ①コンテンツフィルタリングだが普通に検索してもみられる（ブラウザでみれてしまう）。ひっかかるものもあるがみれてしまうものがある、その基準が分からない。 ファミリーリンク ①非常に良かった。
5	経験から学び・ニーズ	①ファミリーリンクが外されてしまったので、それを再設定したく通信会社のカスタマーのセンターに聞いたが、「ファミリーリンクのことは分からない」といわれてしまった。事業者関係なく一律に教えてもらえるといい。
V：より良い青少年の ICT 環境		
1	理想の ICT、政府や企業への期待	①スマートフォンについては自分で働いて責任が取れる年になるまで持てないようにしてほしい。

		②学校の勉強で YouTube をみてから授業をうける、と言っており時折見ているが、正直勉強しているのか遊んでいるのか分からない。様々なことを学べて便利だが、余計なことをしてしまうなど害の方が多いように思う。
2	親としての課題	① あまり締め付けるとお互いストレスがたまるが、目を光らせることは大事だと思う。

7. 3. T【女兒・高校生・フィルタリングサービス未導入】

属性		
性別		女兒
学齡		高校 1 年生
兄弟姉妹有無		有／姉 1 名（大学 2 年）
スマートフォン利用状況		専用
フィルタリングサービス利用状況		未導入
Ⅰ：ICT 利用概況		
1	現在の ICT 環境	①スマートフォン：専用 ②PC：家族で共用 ③タブレット：共用 ④ゲーム：専用（Nintendo Switch Lite）
2	スマートフォン 専用時期・理由	①小 6 から専用 ②友達とのやり取りで必要だといわれ、あまり持たせたくはなかったが購入。（上の子も中学生で持たせたのも大きい。）
3	スマートフォンの 主な用途・使用 アプリ	①本人が自由に使っている。 ②おそらく LINE、Instagram、YouTube、各種ゲームアプリ、等。
Ⅱ：リスク・トラブル		
1	リスク・トラブル 内容	【本人】 ①学校のグループ LINE で自分だけ取り残されるというちょっとしたいじめを経験した。 ②ワンクリック詐欺を経験した。不意に押してしまい、請求がきてしまった。
2	起きた理由／判 明したポイント	①本人が親に言うことで分かった。
3	対処と効果	①いじめに関しては、学校からの連絡で対話を設けた。本人も納得した。

		②ワンクリック詐欺については、「無視したらいい」とアドバイスをして解決した。
4	経験から学び・ニーズ	(上の子が勉強しないでスマートフォンを見ている等が多かったから必死に対応していたが、下の子に関してはしっかりしているので心配していない。)
Ⅲ：ペアレンタルコントロール		
1	設定状況（ソフト）	①人にされて嫌なことを自分ではしない。 ②画像はアップしない、個人情報を入力しない。 ③悪口的なことなども残るから書かない。 ④親がいつ見てもいいという約束（パスワードでロックしない）。 ※時間、場所、課金等は制限なし。 ※本人がしっかりしているため。
2	設定状況（ハード）	利用無し。
3	参考にした情報	①契約したときに見聞きした程度。
4	経験から学び・ニーズ	①本人がしっかりしているタイプなのであまり意識的でない。 ②放任気味。(教育はしていない。)
Ⅳ：フィルタリングサービス		
1	設定状況・種類	【フィルタリングサービス未導入】
2	レベル・カスタマイズ	—
3	導入・解除・未導入の理由	未導入理由： ①スマートフォン契約の際に「設定しますか」と聞かれたが、必要ないかなと思って、入れなかった。 ②「あまりよく分からない」「必要だとは思ったが、大丈夫かなと思った」「子供と約束をすることで大丈夫かと思った」。
4	フィルタリングサービスに対する評価	—
5	経験から学び・ニーズ	(どういう状況であれば入っていたか?) ①子供が(上の子のように)危ない性格だったら入っていたかもしれない。 ②設定も解除も分かりやすく簡単だったら入っていたかもしれない。
Ⅴ：より良い青少年のICT環境		

1	理想の ICT、政府 や企業への期待	①詐欺サイト等危険なものがそもそもインターネット上で見れないようにして、安全に使えたらいいと思う。
2	親としての課題	①親の自分がスマートフォンに変えたのがここ最近で、子供の方が詳しい。 ②子供に言いながらも、大人の自分もみてしまっているからみる など注意できるという立場ではない、と感じる。

8. 企業インタビュー分析

本章では、先端企業インタビュー結果を掲載する。インタビュー対象者は図表 8.1 の通りである。

図表 8.1 企業インタビュー対象概要

会社名	エースチャイルド株式会社
事業概要	・こどもセキュリティ『Fili』の開発・運用・展開 ・こどもセキュリティ『Fili』利用技術の B2B 展開（データ収集／分析、レピュテーションリスクマネジメントなど） ・マルチ SNS 相談窓口プラットフォーム『つながる相談』の開発・運用・展開 ・SNS 学校連絡システム『つながる連絡』の開発・運用・展開 ・子供の情報モラル、リテラシ、ネットセキュリティ系セミナー／講演・研究事業の実施
設立	2013 年 10 月 10 日
web サイト	https://www.as-child.com/

インタビュー対象であるエースチャイルド株式会社は、「IT のチカラで子供の未来を明るくすべく、「教育」と「IT」を軸に、様々な教育場面・テーマでの IT 活用推進に取り組んで（エースチャイルド web サイトより引用）」おり、「子供たち自身や学校・教育、自治体の現場のニーズを把握し、我々の得意とする SNS の活用、データ分析などの技術を詰め込んだ自社サービスである『Fili（フィリー）』、『つながる相談』、『つながる連絡』を軸に、子供たちの未来を明るくできるような環境・機会・手段の提供（エースチャイルド web サイトより引用）」をしている。今回のインタビューではそのうち『Fili（フィリー）』（図表 8.2 参照）にフォーカスを当て、インタビューおよび分析を行った。



図表 8.2 こどもセキュリティ『Fili』（『Fili』公式 web サイトより）

8. 1. サービスの背景と特徴 5 点

8. 1. 1. 「使わせない」ではなく「使いながら守る」

コンセプトは「使いながら守る」であり、一番の特徴として「子供に制限をかけない」点が挙げられる（図表 8.3 参照）。家庭のルールに基づき、使っている状況をデータ分析し、「ルールに沿っているかどうか」、「ルールを見直した方がいいかどうか」、「トラブルに巻き込まれるような流れのあるコミュニケーションをしていないかどうか」等についてデータ分析をし、アラートやダッシュボードにして保護者と子供、両方に同じ情報を提供している。基本的には子供たちが「使いたいものを使いながら」運用できるシステムになっている。



図表 8.3 こどもセキュリティ『Filiti』（『Filiti』公式 web サイトより）

8. 1. 2. 「プライバシーを守りながら SNS 利用を分析・見える化」する特許技術

本サービス開発の背景が「いじめをはじめとする SNS トラブルから子供たちを守りたい」と思ったことから、SNS 上でのコミュニケーションを分析対象にしている点もあわせて特徴的である。2022 年 1 月現在、LINE、Twitter、Facebook Messenger、SNOW、Instagram、KakaoTalk が対象となっており、その中から分析対象とするものを選べるようになっている。

11

さらに、通信の秘密やプライバシーの観点からメッセージ内容をそのまま取得・通知するのではなく、SNS が端末に出す通知を基にデータ（時間、誰が、どの SNS で、どのような

11 子供の利用端末が iOS の場合は Twitter のみ分析可能。

メッセージがやりとりされた等)を取得し、「会話のまとまり」を定義する独自のアルゴリズムを用いて、分析・アラート通知をしている(図表 8.4 参照)。このように、会話の原文は通知されず危険性のみが通知されるため、利用する親子同士にとってもプライバシーの保護ができるようになっている。



図表 8.4 こどもセキュリティ『Fili』の機能(『Fili』公式 web サイトより)

8. 1. 3. 利用許可は「保護者」だけでなく「子供」にも同意をもらう

Fili の利用料金を払うのは保護者であるため、「利用者」は保護者である。しかしながら分析対象となる SNS 上でのやりとり(データ)は子供たちが利用しているスマートフォン等から取得するため、「データの所有権は子供にある」という前提のもと、利用する時に「利用規約」や「プライバシーポリシー」を保護者だけではなく、子供にも見てもらう形で同意登録する仕様となっている。

なお、プライバシーポリシー等については子供でも理解できるように要約版が表示され、確認・同意の上で利用するというプロセスを踏んでいる。このように「子供が Fili の利用に同意している」ことを重んじているため、仕様上は「子供自身が任意のアプリを分析対象から外す」こともできるようになっている。しかしそれを野放しにしまうと「使いながら守る」という意味をなさないため、子供が任意のアプリを分析対象から外した際には、その状況が保護者に通知(たとえば「Twitter が分析対象から外されました」など)が届くよう

になっている。

このように、あくまで「スマホ等の利用を認めた上で、見守りのためにあなた（子供）のデータを分析します」ということを理解・同意した上で利用すること、家庭できちんと話し合って使ってもらうことを大切にしている（図表 8.5 参照）。



図表 8.5 こどもセキュリティ『Fii』の特徴的な点（『Fii』公式 web サイトより）

8. 1. 4. 利用状況にあわせて「アドバイス情報」を付与

分析された利用状況やリスク状況に応じて、例えば「スマホで悪口を言われるトラブルが世の中で起きているので注意してください」といった話や、状況に対して「家庭で行うとよい事例やルール」、「学校で似たようなことが起きてないか等を聞いてみてください」等の情報を付与している。また、こうした情報については代表および開発者をはじめとしてこの分野に長けており、小中学校での情報モラルの講演等を複数行っていることを活かしている（図表 8.6 参照）。



図表 8.6 ネット上の危険（『Fii』公式 web サイトより）

8. 1. 5. 1 年後の導入継続率は約 90%を超える

継続率は高く 1 年後の継続率は 90%を超える。3 年後の継続率でもおよそ 70%程度のレベルになっている。手厚いサポート体制や伴走を行っており、一度導入すると利用継続となる家庭が多い。

8. 2. フィルタリング導入率向上およびより良い青少年の ICT 環境のために

8.1.に挙げたサービス特徴をもった企業へのインタビューを通じて、フィルタリング導入率向上、およびよりよい青少年の ICT 環境のために必要な視点について、次の 3 点を掲載する。

8. 2. 1. 保護者の「危機意識の醸成・必要性の理解」と「フィルタリング・ペアレンタルコントロールサービスの設定力」の双方が重要

フィルタリングをはじめとするペアレンタルコントロールは、その必要性を認識していれば導入し、そして解除しないはずであるため、最初にその点を保護者に認識してもらうことが大切である。同社では学校などからの要望を受け、情報モラルの講演を実施しており好評となっている他、入学説明会や卒業式といった式典は保護者がおおよそ必ず参加するので、情報提供のタッチポイントとして重要であり、学校からのニーズも高いとのことだった。しかし、そういった情報を閲覧・参加し話を聞く親はある程度危機意識が高い家庭であり、本当に届けたい危機意識の不足している家庭にはソリューションがない現状であり、その点には課題が残る。一方で、講演の動画配信などアーカイブでの閲覧のほか、ネット・スマホの利用については親子での対話が増えており、そうした点には期待ができるということも同時に指摘された。

また、必要性を理解したとしても、保護者自身がフィルタリングをはじめとするツールの使い方を習得していなければ、導入およびその継続には至りにくい。例えばカスタマイズという選択肢があるが、「中学生」と「高校生」と「高校生プラス」の具体的なサービスの違いとなると分からない保護者も多い。また、そうしたカスタマイズ設定を知らないためにオン・オフしかできないと考え、外してしまう家庭もたくさんあると指摘された。そうした観点からも、やはり保護者が「設定」についても勉強する必要性がある。

8. 2. 2. まずは「使ってもらう」ことが大切。そのために「具体サービス名を含めたソリューション」を提示する

前述した理解度や設定力に加え、「具体的な方法がきちんと伝わる」ということが重要であると指摘があった。例えば SNS 上でのいじめについての認知度はある程度あるが、それ

に対して「どういう対策を打つのが望ましいか」という点になると、多くの保護者においてその知識は不足している。また、フィルタリングをはじめとするサービスを導入・経験したことのない家庭にとっては、「導入している人がどういった生活をしているのかまったく想像がつかない」ということが起きているとも指摘があった。

こうした際に、特に重要なのは「SNS 上でのやりとりを分析するサービスもあります」と抽象的な紹介をするのではなく、「具体的なサービス名とソリューション」を伝えることがとても重要である、との意見だ。前述した両親の知識不足とも相まって、具体的なサービス名や具体的なプロセスを指し示さないと、行動変容（フィルタリングサービスを導入する等）に至らないことが最大の理由である。よって、ペアレンタルコントロールという広い枠組みの中で、複数の事業者からの多種多様な製品・サービスを平等に掲載することが望ましいだろう。

8. 2. 3. 「コントロール」ではなく対話と心理的安全性による「見守り」を

同社では『Fili』の説明する際に「ペアレンタルコントロール製品」ではなく「見守りツール」という言い方をしている。必要なのはコントロールではなく見守ることであり、親子、家族の対話・会話を増やすことだという。そして併せて、子供には何かあったら親に報告・相談することをルールに入れる、つまり心理的安全性を高めることが重要であると考えていた。

9. MVNO におけるフィルタリングサービス提供状況と工夫

本章では、申し込み率・有効化率の高いフィルタリングサービスは何か、それはどのような特徴を持っており、どのような申し込み画面となっているかを明らかにするために、MVNO 各社のフィルタリングサービスの現状について調査を行う。具体的には、総務省「青少年の安心・安全なインターネット利用環境整備に関するタスクフォース」での議論を基に、MVNO10 社を対象として調査を行った。

9. 1. 提供サービスの概要

MVNO 各社が提供するフィルタリングサービスの機能の概要は図表 8.1 のとおりである。各社は主にネット経由で申込、アクティベート可能なフィルタリングサービスを提供している。各社のサービスは 1 台当たり 200 円台から提供されており、家族で使うパソコンを含めた利用環境を想定したマルチデバイス対応を謳うサービスも見られる。すべてオプションサービスで、申込方法不明の 1 社を除き、ネット経由で申込を受け付けている。

フィルタリングサービスについては 10 社中 6 社で i-フィルターを導入しており、i-フィルター以外のサービスを提供するオプテージ (mineo) とイオンモバイルを含めた残り 5 社は他のセキュリティソフト、もしくは自社のサービスを提供している。機能はフィルタリング、利用時間制限、利用管理を中心に構成されており、各サービスの紹介ページではサービスの安心、簡単、利便性が強調されている。しかし、機能を網羅して紹介している企業もあれば、説明を省略している企業もあり、各社のウェブサイトを読覧することでフィルタリングサービスについて理解できる情報が十分に提供されているとは言い難い。

図表 9.1 MVNO10 社のサービス概要

企業名	IIJ	NTT コミュニケーションズ	オプテージ (mineo)	
サービス名	i-フィルター	マイセキュア	①安心フィルタリング (i-フィルター)	②ジュニアパック (スマモリ・Fili Lite)
利用料金	396 円 (マルチデバイス/月) 2 か月間無料	250 円 (1 台/月) ・ 550 円 (5 台/月) 利用開始月無料	385 円 (1 台/月) 2 か月間無料	220 円 (1 台/月)
申込方法の特徴 オプトイン/アウト	ネット経由 オプトイン	ネット経由 オプトイン	ネット経由 オプトイン	ネット経由 オプトイン
提供機能				
ウェブフィルタリング	○	○	○	○
アプリフィルタリング	○	○	○	○
アプリ警告	○		○	○

利用時間制限	○	○	○	○
利用状況確認	○		○	○
位置情報履歴	○		○	○
個人情報保護	○		○	○
利用状況の通知配信	○	○	○	○
SNS アクティビティ管理				
ウイルススキャン				

企業名	BIGLOBE	イオンリテール（イオンモバイル）		
サービス名	i-フィルター	①イオンモバイルセキュリティ Plus	②スマモリ	③i-フィルター
利用料金	220 円（1 台／月） 利用開始月無料	220 円（1 台／月） 利用開始月無料	165 円（1 台／月） 利用開始月無料	396 円（1 台／月） 利用開始 31 日以内 無料
申込方法の特徴	ネット経由	ネット経由		
オプトイン/アウト	オプトイン	オプトイン		
提供機能				
ウェブフィルタリング	○	○	○	○
アプリフィルタリング	○	○	○	○
アプリ警告	○	○	○	○
利用時間制限	○	○	○	○
利用状況確認	○	○	○	○
位置情報履歴	○	○	○	○
個人情報保護	○	○	○	○
利用状況の通知配信	○	○	○	○
SNS アクティビティ管理		○		
ウイルススキャン				

企業名	ニフティ（NifMo）	TOKAI コミュニケーションズ	ST ネット	近畿ケーブルネットワーク（KCN モバイル）
サービス名	常時安全セキュリティ 24	TOKAI SAFE	i-フィルター	i-フィルター for ZAQ
利用料金	550 円（7 台まで／月） 利用開始月無料	440 円（7 台まで／月）	385 円（1 台／月）	220 円（1 契約・3 台まで／月）
申込方法の特徴	ネット経由	ネット経由	不明	ネット経由
オプトイン/アウト	オプトイン	オプトイン	オプトイン	オプトイン

提供機能			詳細不明	
ウェブフィルタリング	○			○
アプリフィルタリング	○			
アプリ警告	○			○
利用時間制限	○			
利用状況確認	○			○
位置情報履歴	○			
個人情報保護	○	○		
利用状況の通知配信	○			
SNS アクティビティ管理				
ウイルススキャン	○	○		

9. 2. 各社のフィルタリングサービス紹介ページの特徴

各社がフィルタリングサービスを紹介するページに挙げている項目は以下の図表 9.2 の内容となる。フィルタリングサービスについて、機能や料金、利用までの流れを説明し、申込画面への遷移ボタンが設置されているとともに、問い合わせ先への遷移ボタンあるいはフリーダイヤルが記載されているのが基本のフォーマットとなっている。「機能の説明」の項目では図表 9.1 に挙げたフィルタリング、利用時間制限、利用管理などの主となる機能を挙げ、細かい説明は他の画面で行うか、省略しているサイトが多いが、mineo や BIGLOBE では全ての機能がフィルタリングサービスのトップページで説明されている。申込については、イオンモバイルと ST ネット以外は申込画面に遷移してサービスを申し込む形態であるが、イオンモバイルはユーザが「設定方法」の画面を見ながら、記載されている QR コードにアクセスして、登録を進める形式となっている。

特徴的な項目として、mineo ではユーザレビューが掲載されている点が挙げられる。ネガティブな評価も含め、実際のサービス利用者による評価が掲載されている。また、イオンモバイルではフィルタリングサービスのトップページに、「私たちのスマホルール」や「青少年のご利用とフィルタリングサービスについて」というテレコムサービス協会を参考としたフィルタリングサービスの解説を掲載している。フィルタリングサービスを契約する前に、そのサービスの必要性について親子で話し合うことの必要性を喚起しているコンテンツとなっている。さらに、mineo、イオンモバイル両社では総務省が作成・公表している「僕のヒーローアカデミア」を使ったフィルタリング啓発動画を紹介しており、子供への訴求コンテンツとなっている。

図表 9.2 MVNO10 社のフィルタリングサービスサイト掲載項目

企業名	IIJ	NTT コミュニケーションズ	オプテージ (mineo)	BIGLOBE	イオンリテール (イオンモバイル)
サービス概要	○	○	○	○	○
機能の説明		○	○	○	○
料金	○	○	○	○	○
利用までの流れ	○	○	○		
インストール手順	○	○	○	○	○
設定方法		○	○	○	○
問い合わせ先	○	○	○	○	○
申込画面 (別サイトに誘導)	○	○	○	○	
利用規約	○		○	○	
ユーザレビュー			○		
僕のヒーローアカデミア動画			○		○
スマホ利用ルールの解説					○
青少年向けフィルタリングサービスの説明					○

企業名	ニフティ (NifMo)	TOKAI コミュニケーションズ	ST ネット	近畿ケーブルネットワーク (KCN モバイル)
サービス概要	○	○	○	○
機能の説明	○	○		
料金	○	○	○	○
利用までの流れ	○	○		○
インストール手順				
設定方法				
問い合わせ先	○	○	○	○
申込画面 (別サイトに誘導)	○	○		○
利用規約		○		
ユーザレビュー				
僕のヒーローアカデミア動画				

スマホ利用ルールの解説				
青少年向けフィルタリングサービスの説明				

9. 3. 申込促進の工夫

各社がフィルタリングサービスの申込促進のために、どのような施策を行っているかを概観する。ユーザがサービスを申し込む際のモチベーションとしては、フィルタリングサービスの必要性を認識していることに加え、フィルタリングサービスの有効性が認知できることと、その利用のハードルが低く、利用しやすいという認識が形成されることだと考えられる。そのため、申込促進の対策の柱として、フィルタリングサービスが未成年にとって必要であるとの説明が十分に行われていることと、利用しやすい仕組みが講じられていることが重要であるといえる。前者のフィルタリングサービスの説明については、フィルタリング紹介ページを含めた様々なコンタクトポイントの設置での説明や啓発コンテンツの活用、そして後者の利用しやすい仕組みとしてはスマートフォン契約時の確認、利用設定の支援や料金と手続きの簡素化といった対策が挙げられる。

電気通信事業者協会が2021年5月にまとめた資料¹²によると、NTTドコモ、KDDI、Softbank、楽天モバイルの各社ではフィルタリングサービス促進策を継続的に展開している。スマートフォン利用のリスクやフィルタリングの機能をまとめた冊子の配布、スマートフォン教室やオンライン講座、出前講座の開催を行ったり、フィルタリングサービスの使い方の動画、ルール作りのアドバイスコンテンツを提供したりしており、フィルタリングサービスの説明が十分に行われている状況である。コンタクトポイントとしては、店頭や出前講座、オンラインがあり、多様に提供されている。啓発コンテンツとしても総務省が2021年に提供を開始した人気漫画「僕のヒーローアカデミア」を活用したコンテンツが各企業を介して視聴できるようになっている。

また、今回の調査の対象となっているイオンモバイルではフィルタリングサービスについて販売員に対する定期的な研修を行い、販売員が十分な知識や理解を得たうえで案内することを心掛けている。店頭で直接、販売員が納得できる説明を行っていることが、有効化措置率の高さにも影響を与えているといえよう。また、BIGLOBEではスマートフォン利用者向けコンテンツ「しむぐらし」で、青少年フィルタリングに関する記事を掲載しているほか、イオンモバイルでは前述のように、家庭内ルールのひな型（図表9.3）をページに掲載

¹² 電気通信事業者協会.(2021, 5-6). 青少年の安心・安全なインターネット利用環境整備に関するタスクフォース（第12回資料）事業者の取組について.
https://www.soumu.go.jp/main_content/000748311.pdf（参照 2022-1-5）.

したり、青少年利用におけるペアレンタルコントロール・フィルタリングサービスの必要性について説明を行っていたりしている。ウェブを経由して申し込むユーザを想定して、店頭でのサービスを補う形でサービスの紹介や機能の説明を充実させることも重要であるといえる。これは図表 5.12 で、フィルタリングサービスと家庭内ルールは両方導入しておくことが重要という結果になったことを踏まえても、有効な施策といえる。

お子さまとともに楽しみいただくために

AEON MOBILE

私たちのスマホルール

保護者の方とちゃんと話し合って、スマホのルールを決めましょう。

- 1 ☒ スマホを使う時間、使っている場所を決めましょう。
時から時まで。または、1日時間まで使っているのはにかぎります。
- 2 ☒ IDやパスワードを決めて、保護者の方に報告しましょう。
- 3 ☒ 使っているアプリを決めましょう。(新しいアプリを使いたいときは、相談しましょう)
- 4 ☒ 勉強中や、食事中にはスマホを使わない。
- 5 ☒ ながらスマホ(歩きながら、自転車に乗りながら)は絶対にしない。
- 6 ☒ お金を使うときはかならず相談する。絶対に勝手な課金はしない。
- 7 ☒ 自分や家族、友だちの名前や場所がわかる内容や写真は投稿しない。
(知らない人に特定されて事件に巻き込まれるおそれ)
- 8 ☒ 人のわるぐちや、自分がよくわからないうわさを投稿しない。
(知らないあいだにだれかをきずつけたり、犯罪にかかわったりするおそれ)
- 9 ☒ 実際に会ったことがない人とは電話やLINEをしない。
ID(アカウント)はかならず非公開にする。
 連絡先(IDや電話番号)の交換もしない。
- 10 ☒ ネットの危険から自分を守るため、フィルタリングサービスを常に使います。
- 11 ☒ メールやLINEのメッセージを保護者と確認します。
- 12 ☒ なやみやこまったことがあるときは、すぐに相談します。
(言いづらいことがあっても、絶対にウソはつかない)

私たちはちゃんと話し合って、スマホを使うルールを決めました。

年 月 日 子どものサイン

 保護者のサイン

↓ 「私たちのスマホルール」PDFダウンロードはこちら

図表 9.3 私たちのスマホルール (イオンモバイル) ¹³

¹³イオンモバイルウェブサイトより。

次に、利用しやすい仕組みを見ると、まず、スマートフォン契約時の確認として、mineoとイオンモバイル、TOKAI コミュニケーションズでは、利用者が未成年者であった場合に、フィルタリングサービス契約を前提とした手続きを行っている。mineo ではウェブ申込で利用者が未成年者であった場合にフィルタリングサービスの利用を促す画面を表示させ（図表 8.4）¹⁴、イオンモバイルでは店頭で行う重要事項説明の際に相当量をフィルタリングサービスの説明に充てている。TOKAI コミュニケーションズでは店頭での契約の際に、未成年者向けにフィルタリングに関する同意書の記入を必須としている。また、ST ネットでは店頭で無料の初期設定サービスを行っていることに加え、有効化操作を店員が実施していることが有効化率向上に寄与していると述べている。さらに、店頭で総務省作成のトラブル事例やフィルタリングの説明資料を用いた丁寧な説明を心掛けていることで、ユーザがフィルタリングの機能を理解したうえでサービスの申込ができているとの見解を示している¹⁵¹⁶。

¹⁴ テレコムサービス協会 MVNO 委員会.(2021, 2-12). 青少年の安心・安全なインターネット利用環境整備に関するタスクフォース（第 16 回資料）フィルタリング提供に関しての MVNO の対応状況など. https://www.soumu.go.jp/main_content/000733059.pdf（参照 2022-1-5）。

¹⁵ テレコムサービス協会 MVNO 委員会.(2020, 10-8). 青少年の安心・安全なインターネット利用環境整備に関するタスクフォース（第 11 回資料）フィルタリング提供に関しての MVNO の対応状況など. https://www.soumu.go.jp/main_content/000710960.pdf（参照 2022-1-5）。

¹⁶ テレコムサービス協会 MVNO 委員会.(2021, 11-11). フィルタリングサービス利用促進に向けた MVNO 業界の取組みについて. 青少年の安心・安全なインターネット利用環境整備に関するタスクフォース（第 16 回資料）フィルタリング提供に関しての MVNO の対応状況など. https://www.soumu.go.jp/main_content/000777525.pdf（参照 2022-1-5）。

2. オンライン契約時に青少年が利用者となる場合の契約方法
(参考：オペページ契約手順)

⑤フィルタリング案内

ご利用者さまが青少年の場合の注意事項

18歳未満の方が利用される場合は、以下の項目をご確認ください。

【1】フィルタリングサービスの提供

- ・青少年インターネット環境整備法の規定により、インターネットサービスを青少年が利用するにあたっては、保護者が不要としない限りフィルタリングサービスの利用が本サービスの利用条件となります。
- ・店頭にて新規契約、または契約変更と同時に本サービスで利用する端末を購入された場合は、保護者が不要としない限り、フィルタリングサービスの有効化設定を有料にて実施させていただきます。

【2】保護者の義務等

- ・保護者は青少年インターネット環境整備法の規定に

青少年のご利用について

ご利用者が18歳未満の場合は安心フィルタリングをお申し込みください

- ・青少年インターネット環境整備法により、保護者は青少年のインターネットの利用状況を把握/管理する努力義務が課せられています。
- ・インターネットサービスの利用に当たって違法・有害情報の閲覧等の一定のリスクがあり、フィルタリングサービスの利用はリスク軽減に有効な手段です。

☒ 安心フィルタリングを申し込む (385円/月)

☐ 申し込まない (別途利用しない旨の申請が必要です)

⑥フィルタリング申込み

保護者は青少年インターネット環境整備法の規定に

青少年のご利用について

ご利用者が18歳未満の場合は安心フィルタリングをお申し込みください

- ・青少年インターネット環境整備法により、保護者は青少年のインターネットの利用状況を把握/管理する努力義務が課せられています。
- ・インターネットサービスの利用に当たって違法・有害情報の閲覧等の一定のリスクがあり、フィルタリングサービスの利用はリスク軽減に有効な手段です。

☒ 安心フィルタリングを申し込む (385円/月)

☐ 申し込まない (別途利用しない旨の申請が必要です)

メール配信設定

料金が安くなるキャンペーンやお客さまのお役に立つお知らせのメールを配信しております。メール配信を希望する項目にチェックをつけてください。

☐ 登録内容はマイページからいつでも変更いただけます。

☐ ご契約や料金に関わるメールは配信停止できません。

☐ 連絡用メールアドレスにお送りします。

☒ セキュリティに関するお知らせ

☒ プロバイダサービスに関するお知らせ

⑦不加入の場合の申請

フィルタリングサービスの利用はリスク軽減に有効な手段です。

☐ 安心フィルタリングを申し込む (385円/月)

☒ 申し込まない (別途利用しない旨の申請が必要です)

フィルタリングサービス不加入申請

☒ 私は、フィルタリングサービスを利用せず、個別に青少年のインターネット利用状況を把握/管理します。

以下からフィルタリングサービスを利用しない理由を選択してください。

☐ 青少年本人が仕事をしており、フィルタリングサービスを利用することで、仕事上著しい支障が出るため

☐ 青少年本人の障がい、病気により、フィルタリングサービスを利用することで、生活上著しい支障が出るため

☐ 有害情報を閲覧等することがないよう、保護者が利用者となる青少年本人による利用状況を把握するため

☐ 他社フィルタリングサービスを利用するため

TELECOM 一般社団法人テレコムサービス協会
Copyright(c)3TELECOM SERVICES ASSOCIATION/ALL RIGHTS RESERVED

図表 9.4 mimeo の契約申込画面¹⁷

さらに料金での対策として、図表 9.1 に挙げた 12 のサービスのうち 7 のサービスで利用開始月無料、もしくは 2 か月無料となっている点を挙げることができる。各社で料金のハードルを低くすることにより、フィルタリングサービスの利用を促進しているといえる。最後の手続きの簡素化としては、NTT コミュニケーションズで、フィルタリングサービスの申込はチェックを入れるのみの仕様にしており、画面遷移することなく簡単に申し込みができる仕様になっているという申込時の利便性の工夫が挙げられる。

ほかにも、Nifty の「常時安全セキュリティ 24」(図表 9.5)、NTT コミュニケーションズの「マイセキュア」は家族のパソコンを含めたインターネット利用の安全性を確保し、そのなかで子供のフィルタリングを行うというサービスとなっており、子供だけでなく家族でサービス申込ができる点で、利用のハードルを下げているといえる。

¹⁷ 青少年の安心・安全なインターネット利用環境整備に関するタスクフォース（第 16 回資料）より。



図表 9.5 Nifty「常時安全セキュリティ24」紹介ページ

10. 調査研究結果から得られる政策的含意

以上の調査研究で得られた結果や、有識者会議での議論等を踏まえ、青少年の成長や ICT 利用状況に即したペアレンタルコントロールの普及について、以下 11 個の含意が得られる。

10.1. 全体施策：青少年トラブルを減らすためには、フィルタリングサービスの導入促進と家庭内ルール啓発を共に行う

- 「家庭内ルールあり・フィルタリングサービスあり」「家庭内ルールあり・フィルタリングサービスなし」の場合、両方ない場合に比べてトラブルに遭遇しにくい傾向が顕著に見られた一方で、「家庭内ルールなし・フィルタリングサービスあり」の場合、そのような傾向はみられなかった。
 - フィルタリングサービス利用者や、アプリの推奨年齢・対象年齢を守らせている家庭では、家庭内ルールも多い傾向だった。また、「家庭内ルールなし・フィルタリングサービスなし」の家庭は 29.5%存在していた。
- ⇒ 青少年トラブルを減らすためには、フィルタリングサービスの導入促進と家庭内ルールの啓発を共に行う。フィルタリングサービスと家庭内ルールがセットとなった啓発資料のさらなる開発と普及が求められる。
- ⇒ 特に「家庭内ルールなし・フィルタリングサービスなし」家庭への普及啓発を重点的に行う。

10.2. 対象：低年齢層への啓発をより充実させる

- 全体で家庭内ルールが 1 つもない家庭が 37.1%存在する。また、家庭内ルールの個数は未就学や高校生で少ない傾向だった。
 - 一方で、年齢層の低い保護者ほど知りたい家庭内ルールが多く、家庭内ルールへの需要は高かった。つまり、特に未就学保護者は、家庭内ルールを守らせたいが何をしてもいいのかわからない状況の人が多くと考えられる。
 - ペアレンタルコントロール啓発フライヤーによる意識変化や評価も、未就学と小学低学年の保護者で最多であった。
 - 保護者インタビューでは、未就学から ICT 利用をしている例が多かった。最初に触れる ICT としては「親のスマートフォン」が多く、その理由の多くはゲームや動画に興味を持つほか「家事や出かけ先で少し静かにしてもらおう」ためであった。
- ⇒ 低年齢層まで対象に含んだ啓発資料を作成し、多様なチャネルを使って低年齢層の青少年を持つ家庭へのペアレンタルコントロール啓発をより充実させる。

10. 3. 内容①：注意喚起に関しては、実際に遭いやすい「SNS・メッセージトラブル」と「利用過多」を優先的に啓発する

- 「SNS・メッセージアプリ・ゲームなどで、いじめや誹謗中傷が発生する問題」「インターネットの使い過ぎにより、体調や学業に支障をきたす問題」を心配する保護者は多く、実際にトラブル遭遇確率も高かった。保護者インタビューにおいてもその傾向は同様であった。
- 保護者があまり危惧していないが遭遇率の高いトラブルとして「インターネットを通じた知り合いに性的な自画撮りを送って（受け取って）しまったり、実際に会って性的暴行を受けた（受けそうになった）」があった。
- ⇒ 青少年の ICT 利用で起こり得るトラブルについてより一層啓発し、適切なインターネット利用を促す。
- ⇒ 特に遭遇確率の高い「SNS・メッセージアプリ・ゲームなどで、いじめや誹謗中傷が発生する問題」「インターネットの使い過ぎにより、体調や学業に支障をきたす問題」「インターネットを通じた知り合いに性的な自画撮りを送って（受け取って）しまったり、実際に会って性的暴行を受けた（受けそうになった）」といったトラブルについて、優先的に啓発する。

10. 4. 内容②：対策に関しては、保護者のニーズの高い情報を優先し且つ「設定サンプル」など具体事例とともに啓発する

- 家庭内ルールに関連して知りたいこととしては、「フィルタリングサービスの機能の活用の仕方」(30.4%)、「お子様の年齢に合わせた適切なルール」(29.5%)、「スマートフォンやインターネットのお子様への危険性」(28.9%) のニーズが高い。
- 利用しているフィルタリングサービスの機能では、「Web フィルタリング機能」が最多の 76.2%で、「アプリフィルタリング機能」が 45.8%、「スマートフォンの利用可能時間帯の設定・制限」が 40.8%と続いた。また、「アプリ内課金を保護者に通知する機能」を有益だと考えている保護者が多かった。
- フィルタリングサービスの各要素に対してお金を払ってでも使ってよいという保護者は 30%以上おり、特に「子供に使わせたいアプリのフィルタリング解除の個別設定が簡単にできる」「サイトの閲覧履歴を保護者が確認する機能がある」「SNS でどのようなメッセージをやり取りしているかを確認する機能がある」が人気で、平均して 70 円/月以上の支払い意思額があった。
- インタビューをした複数の家庭において「ルールサンプル」や「属性別のフィルタリング設定事例集」があるとスムーズとの声があった。実際、ルールサンプルを載せた啓発フライヤーの評価は高かった。
- インタビューでは、購入時に子供と家庭内ルールを約束し、それを守らないと使わせな

いようにしていると上手く管理できていた。

- ⇒ 家庭内ルールにおいては、特にニーズの高い、「フィルタリングサービスの機能の活用の仕方」「お子様の年齢に合わせた適切なルール」「スマートフォンやインターネットのお子様への危険性」について、優先的に啓発する。
- ⇒ フィルタリングサービスでは、特にニーズの高い、「Web フィルタリング機能」「アプリフィルタリング機能」「スマートフォンの利用可能時間帯の設定・制限」「子供に使わせたいアプリのフィルタリング解除の個別設定が簡単にできる」「サイトの閲覧履歴を保護者が確認する機能がある」について、優先的に啓発する。
- ⇒ 「SNS でどのようなメッセージをやり取りしているかを確認する機能がある」ようなペアレンタルコントロールサービスも啓発し、普及を促進する。
- ⇒ 家庭内ルールを購入時にしっかり定めることの大切さを啓発する。
- ⇒ 家庭内ルールを記載した「ルールサンプル」や「属性別フィルタリング設定事例集」など、具体的な情報を記載した啓発資料を作成・普及する。

10.5. 内容③：アプリの推奨年齢・対象年齢を守ることの重要性を啓発する

- アプリの推奨年齢・対象年齢を確認していない保護者が約半分存在していた。
- 一方、「アプリの推奨年齢・対象年齢を守らせている」場合、トラブルに遭遇しにくい傾向が非常に強くなった。
- ⇒ アプリの推奨年齢・対象年齢を守ることの重要性を啓発する。

10.6. 内容④：フィルタリングサービスの効果・カスタマイズ方法・設定方法を分かりやすく啓発する

- フィルタリングサービスの機能を理解していない保護者が多く、フィルタリングサービスの効果や設定方法などは未だあまり浸透していない。
- フィルタリングサービス利用者は37.8%だが、フィルタリングサービスを有益と考えている保護者は70%以上存在する。
- カスタマイズで多く利用されているのは「スマートフォンで見られる Web サイトの個別許可」(50.8%)、「特定のアプリの個別許可」(51.3%)、「アプリのインストールの制限」(48.5%)であった。
- カスタマイズしていない理由として最多は「カスタマイズの存在を知らなかったから」(44.3%)で、2位が「カスタマイズの設定方法を知らなかったから」(27.6%)であった。
- 啓発フライヤーによって、特に「フィルタリングサービスの効果を知ることができた」(29.5%)、「フィルタリングサービスが学齢やインターネット利用状況によって柔軟に設定できることを知った」(26.0%)といった人が多かった。

- ⇒ フィルタリングサービスの効果や設定方法についてフライヤーなどで分かりやすく啓発することが、フィルタリングサービス利用促進につながる。
- ⇒ フィルタリングサービス全体だけでなく、カスタマイズの存在や設定方法についても啓発する。また、特にニーズの高い「スマートフォンで見られる Web サイトの個別許可」「特定のアプリの個別許可」「アプリのインストールの制限」を重点的に知らせる。

10. 7. 啓発経路：対面での説明会の充実と共に、オンラインでの動画を含めた媒体・手段で、広範囲にリーチする

- 家庭内ルールを知りたい経路として、「インターネットで知ることができる」と「友人や保護者同士の会話で知ることができる」が高かった。ただし、低年齢では「学校や保育園・幼稚園等での説明で知ることができる」ことへの需要が高かった。家庭内ルールを知りたい経路と知る経路のギャップでは、これらに加えて「アプリで知ることができる」のギャップも大きかった。以上の傾向は、フィルタリングサービスも同様であった。
- インタビューでは、注意喚起や必要性については動画や講座で自分ごと化できると良い、という意見があった。また、フィルタリングサービスなどの具体的な設定については、購入窓口だけでなくウェブサイトでの解説を希望するニーズもあった。
- 有識者会議では、職場で会社の研修として受けてもらうようにすることが、啓発の广がりにも効果的だという意見が出た。
- ⇒ 家庭内ルールやフィルタリングサービスの使い方について、インターネットでの分かりやすい情報公開や、学校や保育園・幼稚園等での説明をより一層充実させる。保護者同士の知見を共有する場の提供も効果があると考えられる。
- ⇒ スマートフォン利用率の低い保育園や小学校（低学年）でも、可能な限り、青少年の ICT 利用に関する保護者向けの説明を行う。
- ⇒ 初期の危機意識を醸成する際には動画などで、意識を持った段階で具体的な設定を求める家庭にはウェブサイトでの解説など、利用フェーズに応じて情報の内容とアプローチ方法を最適化することも効果が期待されたため、そのような多様なコンテンツを作成し、普及させる。誰もが利用できるような啓発アプリを公開することも効果がある。
- ⇒ 青少年保護に関する研修プログラムを開発し、企業に展開する。

10. 8. 開発①：親子で端末共用している家庭を踏まえ、フィルタリングサービスの ON/OFF が簡単にできるサービスの開発を促す

- フィルタリングサービスにおいて、「ワンタッチでフィルタリングサービスの ON/OFF を切り替えられる」を重視する保護者は、特に未就学と小学低学年で多く、70%以上存在していた。全体でも 60%存在している。
- 一方、有識者会議では、既に利用されているフィルタリングサービスに後から ON/OFF

を切り替える機能を追加するのが困難な可能性があるという指摘もあった。

- 未就学児から親のスマートフォンに共用で触れる家庭が多く、「機内モードの進化版のように、親のスマートフォンを渡す時に子供が見ても大丈夫なような『子供モード』になるといい」といった声がうかがえた。
- ⇒ 親との共用家庭において、スムーズに設定を ON/OFF できるようなフィルタリングサービスや子供モードにニーズがある。
- ⇒ 現在のフィルタリングサービスでそのような機能をつけにくい場合、新たに開発するという事案も考えられる。

10.9. 開発②：人気サービスの子供向けアプリ・サービスの開発や、子供向け機能の開発を促進する

- 2022 年 3 月現在、子供向けアプリ・サービスは少ない。また利用者も多くなく、動画共有サービスを利用している青少年の内、YouTube KIDS を利用しているのは未就学で 40%強、小学低学年で 33%程度、小学高学年で 17%程度であった。
 - 有識者会議では、メッセージアプリなどではほんの一部の機能を使わせたいがために、フィルタリングサービスをオフにして全て使えるようにしてしまうというケースが多いことが指摘された。つまり、アプリ内で子供向け機能を実装することで利便性が向上し、青少年保護が進む可能性がある。
- ⇒ 子供向けアプリ・サービスの開発を促進すると共に、存在を啓発していく。
- ⇒ 特に青少年利用者の多いアプリ・サービスでは、子供向け機能（子供向けモード）などの開発が望まれる。

10.10. 教育：青少年自身が危機意識を醸成できるような教育や対話の場を作る

- インタビューでは、小学校低学年までは親の管理が重要だと考える一方、「小学生高学年くらいからは子供自身に危機意識や管理能力を芽生えさせたい」といった声が複数あった。また、「本人が意識を高められるように、教育や話し合う場、子供自身が危機意識を保つための頻度の高い対話の場が欲しい」といった声も見受けられた。
 - 「使わせない」ではなく「使いながら守る」をコンセプトに展開している企業では、結果 1 年後の導入継続率は約 90%を超える（企業インタビュー調査）。
- ⇒ コントロールするだけでなく、青少年自身の自立を促すための教育や対話の場をさらに作っていく。
- ⇒ 必要に応じて、そのような場に適した講座の開発・普及も行う。

10. 11. 調査・コンテンツ開発：青少年の新たな環境に関する調査や、具体的なリスクなどについてわかりやすいコンテンツの開発を進める

- 有識者会議では、1～10で提示された今後求められるアクション以外についても、様々な調査やコンテンツ開発の必要性が指摘された。整理すると、以下のような意見が見られた。
 - ①学校から配布される GIGA 端末と私用のスマートフォンを両方利用しているという現在の ICT 環境を踏まえた調査が必要である。
 - ②フィルタリングサービスについて多くの保護者は購入時に説明受けているはずなのに、頭に入っていない。より瞬時に頭に入るような、動画やパンフレットなどの簡単な啓発コンテンツが入り口として求められている。
 - ③青少年がトラブルに遭遇する際のパターンの導出と、それを啓発する資料の作成が求められている。
 - ④保護者向けでなく、青少年向けの分かりやすい啓発資料もより充実させるべきである。
- ⇒ GIGA 端末と私用のスマートフォンの両方の利用を前提とした、青少年の ICT 利用環境について実態を調査し、対策を検討していく。また、青少年がトラブルに遭遇する際のパターン調査も求められる。
- ⇒ ペアレンタルコントロールについて、動画やパンフレットなどの簡単な啓発コンテンツを開発していく。また、青少年がトラブルに遭遇するのは具体的にこういった時・パターンなのかも啓発コンテンツ化していく。
- ⇒ 青少年向けの啓発コンテンツも開発していく。

付録

A 1. アンケート調査票¹⁸

F1
あなたの性別をお知らせください。

ひとつだけ

必須

☐ 男性

☐ 女性

改ページ

F2
あなたの年齢をお知らせください。

↑

¹⁸ 調査票中「表示条件ここまで」「表示条件ここから」「改ページ」など書かれているが、実際の調査においては回答者に表示されていない。

必須

歳

[改ページ](#)

F3

あなたのお住まいをお知らせください。

ひとつだけ

必須

選択してください



[改ページ](#)

F4

あなたは結婚していますか。

ひとつだけ

必須

☐ 結婚していない（未婚・離死別）

☐ 結婚している



改ページ

F5

あなたの職業をお知らせください。

ひとつだけ

必須

☐ 会社員・役員

☐ 自営業

☐ 専門職（医師、弁護士、美容師、デザイナー等）

☐ 公務員

☐ 学生

☐ 専業主婦・専業主夫

☐ パート・アルバイト・フリーター

☐ 無職・定年退職

☐ その他

改ページ



これから最大58問の設問にお答えいただきます。
各設問では、**あなたやお子様のスマートフォン利用等**についてお聞きます。
質問文をよく読み、適切な回答をお選びください。

[改ページ](#)

PQ1

同居している**お子様の人数**を、男の子と女の子それぞれお答えください。

それぞれひとつだけ

必須

	男の子	女の子
	↓	↓
1人	☐	☐
2人	☐	☐
3人	☐	☐
4人以上	☐	☐
その性別の子どもはいない	☐	☐

[改ページ](#)

表示条件ここから

PQ2

同居しているなかで、**一番大きいお子様の年齢（学齢）**をお答えください。



ひとつだけ

必須

☐ 4歳以下

☐ 5歳・6歳で未就学

☐ 小学1年生

☐ 小学2年生

☐ 小学3年生

☐ 小学4年生

☐ 小学5年生

☐ 小学6年生

☐ 中学1年生

☐ 中学2年生

☐ 中学3年生

☐ 高校1年生

☐ 高校2年生

☐ 高校3年生

☐ 高校3年生より上

↑

[改ページ](#)**PQ3**同居している一番大きいお子様の性別をお答えください。

ひとつだけ

必須

☐ 男の子☐ 女の子[改ページ](#)**PQ4**あなたと、同居している一番大きいお子様は、インターネットに接続できる機器として何をお使いですか？この中から、それぞれ使っているものをすべてお選びください。

それぞれいくつでも

必須

	あなた自身	一番大きいお子様
	↓	↓
スマートフォン	☐	☐
タブレット端末	☐	☐

^

パソコン	☐	☐
テレビでのインターネット（YouTubeやNetflix等のアプリ）	☐	☐
この中にはない	☐	☐

改ページ

表示条件ここから

PQ5

同居している一番大きいお子様のインターネットに接続できる機器の利用状況を、それぞれお答えください。

ただし、各機器について、一番大きいお子様が同じ種類を複数利用している場合（例えばスマートフォン2台など）は、最も使っているものについてお答えください。

それぞれひとつだけ

必須

	スマートフォン	タブレット端末	パソコン	テレビでのインターネット (YouTubeやNetflix等のアプリ)
	↓	↓	↓	↓
そのお子様専用のものを持っており、それを利用している	☐	☐	☐	☐
兄弟姉妹で共用のものを持っており、それを利用している	☐	☐	☐	☐
親（自分または配偶者）の機器を用いて、親が見ている前でのみ利用している	☐	☐	☐	☐

↑

親（自分または配偶者）の機器を用いて、一人で利用することがある	☐	☐	☐	☐
その他の形態で利用している	☐	☐	☐	☐
わからない	☐	☐	☐	☐

[改ページ](#)

PQ6

同居している一番大きいお子様がスマートフォンを利用し始めた時期をお答えください。

ひとつだけ

必須

☐ 4歳以下

☐ 5歳・6歳で未就学

☐ 小学1年生

☐ 小学2年生

☐ 小学3年生

☐ 小学4年生

☐ 小学5年生

☐ 小学6年生

☐ 中学1年生

☐ 中学2年生



☐ 中学3年生

☐ 高校1年生

☐ 高校2年生

☐ 高校3年生

☐ 高校3年生より上

改ページ

PQ7

同居している一番大きいお子様は、平均して1日当たり、どのくらいの時間、それぞれの機器を使いますか。

それぞれ最も近いものを1つお選びください。

それぞれひとつだけ

必須

				テレビでのインターネット (YouTubeやNetflix等のアプリ)
				パソコン
				タブレット端末
				スマートフォン

15分未満	☐	☐	☐	☐
15分～30分未満	☐	☐	☐	☐
30分～1時間未満	☐	☐	☐	☐
1時間～2時間未満	☐	☐	☐	☐
2時間～3時間未満	☐	☐	☐	☐
3時間～4時間未満	☐	☐	☐	☐
4時間～5時間未満	☐	☐	☐	☐
5時間～	☐	☐	☐	☐

[改ページ](#)

表示条件ここまで

表示条件ここまで

PQ8

あなたは、スマートフォンのフィルタリングとは何かを知っていますか。
最も近いものを1つお選びください。

ひとつだけ

必須

☐ 人に説明できる程度に詳しく知っている

☐ 人に説明はできないが、どのようなものか何となく知っている

☐ 名前を聞いたことがある

☐ 知らない


[改ページ](#)

[表示条件ここから](#)

PQ9

一番大きいお子様が使っているスマートフォンについて、**契約しているキャリア**をお答えください。

ただし、一番大きいお子様が複数のスマートフォンを利用している場合は、最も使っているものについてお答えください。

ひとつだけ

必須

☐ au

☐ docomo

☐ Softbank

☐ Y!mobile

☐ 楽天モバイル

☐ IIJmio

☐ UQ mobile

☐ BIGLOBEモバイル

☐ TONEモバイル



☐ mineo
☐ イオンモバイル
☐ OCNモバイルONE
☐ LINEモバイル
☐ その他の格安SIM (MVNO)
☐ 契約は切れている

改ページ

PQ10

一番大きいお子様が使っているスマートフォンについて、**利用している機種**をお答えください。

ただし、複数のスマートフォンを利用している場合は、最も使っているものについてお答えください。

ひとつだけ

必須

☐ iPhoneシリーズ
☐ Xperiaシリーズ
☐ Galaxyシリーズ
☐ AQUOSシリーズ
☐ LGシリーズ



☐ Google Pixelシリーズ
☐ HUAWEIシリーズ
☐ OPPOシリーズ
☐ 機能限定(子ども用)スマートフォン
☐ その他のスマートフォン

[改ページ](#)

表示条件ここまで

本調査

Q1

あなたの一番大きいお子様は以下のサービスやアプリを、スマートフォンで日ごろ利用していますか。

日ごろ利用しているものとして、当てはまるものを全てお選びください。

いくつでも

必須

☐ 動画共有サービス（YouTube・ニコニコ動画など）

☐	ゲームアプリ (Pokémon Go・モンスターストライクなど)
☐	学習・勉強・知育アプリ (Studyplus・コソ勉・単語帳メーカーなど)
☐	メッセージアプリ (LINE・Messengerなど)
☐	SNS (Facebook・Twitter・Instagram・TikTokなど)
☐	インターネットブラウザ・検索サービス (Safari・Google Chrome・Yahoo!JAPANなど)
☐	フリマアプリ、ショッピング・オークションサイト (メルカリ・Amazon・楽天など)
☐	Eメールアプリ (メール・Gmailなど)
☐	漫画アプリ (LINEマンガ、ジャンプ+、ピッコマ!など)
☐	その他

改ページ

Q2

あなたの一番大きいお子様は、以下のアプリを日頃利用していますか。
それぞれあてはまるものを1つお選びください。

それぞれひとつだけ

必須

		利用している	利用していない
YouTube KIDS	→	☐	☐
Messengerキッズ	→	☐	☐



インターネットブラウザ・検索サービスのセーフサーチ機能	→	☐	☐
-----------------------------	---	-----------------------	-----------------------

改ページ

Q3

あなたは一番大きいお子様がスマートフォンでダウンロードするアプリを、どのように管理していますか？

この中から、当てはまるものを1つお選びください。

ひとつだけ

必須

☐ 本人が自由にダウンロードできる

☐ 親が許可したものだけ、本人がダウンロードできる

☐ 親がダウンロードしている

☐ ダウンロードしていない

改ページ

Q4

お子様のスマートフォン利用中のリスクとして、以下のようなものが挙げられます。文章をよく読み、この中から、あなたがわからない・知らないトラブルとして、当てはまるものを全てお選びください。

いくつでも

必須



☐	SNS・メッセージアプリ・ゲームなどで、 <u>いじめや誹謗中傷</u> が発生する問題
☐	インターネットを通じた知り合いとの <u>性的な自画像</u> の送受信や、 <u>実際に会って性的暴行</u> を受ける問題
☐	インターネット上にある <u>薬物や犯罪などの情報</u> を見てしまい <u>事件に巻き込まれる</u> 問題
☐	インターネットの <u>使い過ぎ</u> により、 <u>体調や学業に支障</u> をきたす問題
☐	<u>フィッシング詐欺</u> などに遭い、自宅の連絡先や学校などの <u>個人情報</u> が漏洩してしまう問題
☐	フリマアプリやECサイトで <u>過剰に物を買ってしまう</u> 問題
☐	オンライン（ゲームアプリや漫画アプリなど）で <u>過度な課金（支払い）</u> をしてしまう問題
☐	<u>歩きスマホ・ながらスマホ</u> でけがをしたり（させたり）物を壊してしまう問題
☐	<u>ワンクリック詐欺</u> で、意図していない契約による <u>多額の請求</u> が来る問題
☐	特になし

改ページ

Q5

あなたの一番大きいお子様に関するスマートフォン利用中のリスクについて、どのような内容のトラブルに遭うことが心配だと感じていますか。

この中から、心配だと感じるトラブルとして、当てはまるものを全てお選びください。

いくつでも

必須



☐	SNS・メッセージアプリ・ゲームなどでいじめや誹謗中傷を受ける
☐	インターネットを通じた知り合いに性的な自画像を送って（受け取って）しまったり、実際に会って性的暴行を受ける（受けそうになる）
☐	インターネット上でアダルトサイトや薬物・犯罪情報など、不適切な内容を見ってしまう
☐	インターネットの使い過ぎにより、体調や学業に支障をきたしてしまう
☐	フィッシング詐欺などに遭い、自宅の連絡先や学校などの個人情報が漏洩してしまう
☐	フリマアプリやECサイトで過剰に物を買ってしまう
☐	オンライン（ゲームアプリや漫画アプリなど）で過度な課金（支払い）をしてしまう
☐	歩きスマホ・ながらスマホでけがをしたり（させたり）物を壊してしまう
☐	ワンクリック詐欺に遭い、意図していない契約による多額の請求が来ってしまう
☐	その他
☐	怖いと感じるトラブルはない

改ページ

Q6

あなたが一番大きいお子様は、これまでにスマートフォンを利用して、以下のようなトラブルに実際に遭ったことがあるでしょうか。

この中から、実際に遭遇したトラブルとして、当てはまるものを全てお選びください。



いくつでも

必須

☐ SNS・メッセージアプリ・ゲームなどでいじめや誹謗中傷を受けた

☐ インターネットを通じた知り合いに性的な自画像を送って（受け取って）しまったり、実際に会って性的暴行を受けた（受けそうになった）

☐ インターネット上でアダルトサイトや薬物・犯罪情報など、不適切な内容を見てしまった

☐ インターネットの使い過ぎにより、体調や学業に支障をきたしてしまった

☐ フィッシング詐欺などに遭い、自宅の連絡先や学校などの個人情報が漏洩してしまった

☐ フリマアプリやECサイトで過剰に物を買ってしまった

☐ オンライン（ゲームアプリや漫画アプリなど）で過度な課金（支払い）をしてしまった

☐ 歩きスマホ・ながらスマホでけがをしたり（させたり）物を壊してしまった

☐ ワンクリック詐欺に遭い、意図していない契約による多額の請求が来てしまった

☐ その他

☐ トラブルに遭ったことはない

☐ トラブルに遭っているかわからない

改ページ

表示条件ここから

↑

Q7

Q6でいずれかのトラブル遭遇経験があると回答した方にお伺いします。

そのトラブルの中で、**直近で遭遇したトラブル**は何ですか？

この中から、当てはまるものを1つお選びください。

なお、Q6で1つしか選択していないときは、それを選択してください。

ひとつだけ

必須

- ☐ SNS・メッセージアプリ・ゲームなどで**いじめや誹謗中傷**を受けた
- ☐ インターネットを通じた知り合いに**性的な自画像**を送って（受け取って）しまったり、**実際に会って性的暴行**を受けた（受けそうになった）
- ☐ インターネット上で**アダルトサイトや薬物・犯罪情報**など、不適切な内容を見してしまった
- ☐ インターネットの**使い過ぎ**により、**体調や学業に支障**をきたしてしまった
- ☐ **フィッシング詐欺**などに遭い、自宅の連絡先や学校などの**個人情報**が漏洩してしまった
- ☐ フリマアプリやECサイトで**過剰に物を買って**しまった
- ☐ オンライン（ゲームアプリや漫画アプリなど）で**過度な課金（支払い）**をしてしまった
- ☐ **歩きスマホ・ながらスマホ**でけがをしたり（させたり）物を壊してしまった
- ☐ **ワンクリック詐欺**に遭い、意図していない契約による**多額の請求**が来てしまった
- ☐ その他

改ページ



Q8

Q7でご回答いただいた、**直近で遭遇したトラブル**についてお伺いします。
そのトラブルは**最初にどのようにして知りましたか**？
この中から、当てはまるものを1つお選びください。

ひとつだけ

必須

☐ お子様から**直接聞いた**

☐ **管理アプリ**から知った

☐ お子様の**スマートフォンを覗き見た**

☐ **トラブルの関係者**から連絡を受けて知った

☐ **学校**から連絡を受けて知った

☐ **警察など公的機関**から連絡を受けて知った

☐ クレジットカードや通信キャリア（docomo、softbank、auなど）からの**料金請求を見て気づいた**

☐ その他

改ページ

Q9

Q7でご回答いただいた、**直近で遭遇したトラブル**についてお伺いします。
そのトラブルは**お子様がいくつ（学齢）の時に経験**しましたか？
この中から、当てはまるものを1つお選びください。



ひとつだけ

必須

☐ 4歳以下

☐ 5歳・6歳で未就学

☐ 小学1年生

☐ 小学2年生

☐ 小学3年生

☐ 小学4年生

☐ 小学5年生

☐ 小学6年生

☐ 中学1年生

☐ 中学2年生

☐ 中学3年生

☐ 高校1年生

☐ 高校2年生

☐ 高校3年生

☐ 高校3年生より上



[改ページ](#)

Q10

Q7でご回答頂いた、**直近遭遇したトラブルについて**お伺いします。
あなたはそのトラブルに対して**どのように対応**されましたか？
この中から、**当てはまるものを全て**お選びください

☐ いくつでも☐ 必須☐ 無視をするように子供に言った☐ 学校に相談した☐ ネットトラブルの**専門窓口**に相談した☐ 周囲の**知人**に相談した☐ スマートフォンを利用する時の**ルール**を厳しくした☐ 一定期間スマートフォンの**利用を禁止**した☐ 問題の発生した**アプリ**を削除した☐ **フィルタリングサービス**を利用するようになった☐ **警察や弁護士に通報・相談**した☐ その他☐ 特に対応はしていない

[改ページ](#)

表示条件ここまで

Q11

あなたの一番大きいお子様のスマートフォンの使い方について、何か家庭でルールを決めているでしょうか。

あなたの家庭で決めているスマートフォンの使い方の家庭内のルールとして、当てはまるものを全てお選びください。

ただし、特にルールを決めていない場合は、「特にルールは決めていない」をお選びください。

☐ いくつでも☒ 必須☐ 「平日は夜〇〇時まで利用しても良い」など、利用時間帯に関する約束をしている☐ 「平日は合計〇〇時間まで利用していい」など、合計利用時間に関する約束をしている☐ 「自身や友人などが特定されるような情報は投稿しない」など情報の取扱いに関する約束をしている☐ トラブルに巻き込まれたとき、もしくはその可能性がある時は必ず相談する約束をしている☐ SNSやメッセージアプリを使うとき、友達の登録は知っている人だけにしよう約束をしている☐ 「悪口や不快な内容を書き込まない」など、投稿内容に関する約束をしている☐ スマートフォンは親がいるところだけで使うように約束している☐ 「ゲームでは〇〇円まで利用しても良い」「課金する（お金を使う）時には必ず親に言う」など、お金に関する約束をしている

☐ その他

☐ 特にルールは決めていない

改ページ

隠し設問

☐ 「平日は夜〇〇時まで利用しても良い」など、利用時間帯に関する約束をしている

☐ 「平日は合計〇〇時間まで利用していい」など、合計利用時間に関する約束をしている

☐ 「自身や友人などが特定されるような情報は投稿しない」など情報の取扱いに関する約束をしている

☐ トラブルに巻き込まれたとき、もしくはその可能性がある時は必ず相談する約束をしている

☐ SNSやメッセージアプリを使うとき、友達の登録は知っている人だけにしよう約束をしている

☐ 「悪口や不快な内容を書き込まない」など、投稿内容に関する約束をしている

☐ スマートフォンは親がいるところでだけ使うように約束している

☐ 「ゲームでは〇〇円まで利用しても良い」「課金する（お金を使う）時には必ず親に言う」など、お金に関する約束をしている

☐ その他

表示条件ここから



Q12

Q11でいずれかの「家庭内のルール」を決めていると回答した方にお伺いします。
 あなたのご家庭で決めているルールは、どの程度守られていると思いますか？
 この中から、それぞれ当てはまるものを1つお選びください。

それぞれひとつだけ

必須

		守られていると思う	だいたい守られていると思う	どちらとも言えない	あまり守られていないと思う	守られていないと思う
「平日は夜〇〇時まで利用しても良い」など、 <u>利用時間帯に関する約束</u> をしている	→	☐	☐	☐	☐	☐
「平日は合計〇〇時間まで利用していい」など、 <u>合計利用時間に関する約束</u> をしている	→	☐	☐	☐	☐	☐
「自身や友人などが特定されるような情報は投稿しない」など <u>情報の取扱いに関する約束</u> をしている	→	☐	☐	☐	☐	☐
トラブルに巻き込まれたとき、もしくはその可能性がある時は <u>必ず相談する約束</u> をしている	→	☐	☐	☐	☐	☐
SNSやメッセージアプリを使うとき、友達の登録は <u>知っている人だけにしよう</u> 約束をしている	→	☐	☐	☐	☐	☐
「悪口や不快な内容を書き込まない」など、 <u>投稿内容に関する約束</u> をしている	→	☐	☐	☐	☐	☐
<u>スマートフォンは親がいるところでだけ使う</u> ように約束している	→	☐	☐	☐	☐	☐
「ゲームでは〇〇円まで利用しても良い」「課金する（お金を使う）時には必ず親に言う」など、 <u>お金に関する約束</u> をしている	→	☐	☐	☐	☐	☐
その他	→	☐	☐	☐	☐	☐
		守られていると思う	だいたい守られていると思う	どちらとも言えない	あまり守られていないと思う	守られていないと思う

☐ 中学1年生
☐ 中学2年生
☐ 中学3年生
☐ 高校1年生
☐ 高校2年生
☐ 高校3年生
☐ 高校3年生より上

改ページ

Q14

Q11でいずれかの「家庭内のルール」を決めていると回答した方にお伺いします。
あなたが家庭内のルールの存在や必要性を知ったきっかけは何ですか？
この中から、知ったきっかけとして、当てはまるものを全てお選びください。

いくつでも

必須

☐ インターネット（ウェブページや動画）で家庭内のルールに関する情報を見て
☐ 友人や保護者同士の会話の中で聞いて
☐ テレビや本、パンフレットを見て
☐ 販売店での説明を受けて



☐	学校や保育園・幼稚園等での説明を受けて
☐	国や地方公共団体や民間団体が行う講座に参加して
☐	病院（産科・小児科等）で教えてもらって
☐	アプリで知って
☐	その他
☐	特にきっかけはない・覚えていない

[改ページ](#)

表示条件ここまで

Q15

家庭内のルールについて、以下の何を通じて知ることができると便利だと思いますか？

この中から、当てはまるものを全てお選びください。

いくつでも

必須

☐	インターネット（ウェブページや動画）で知ることができる
☐	友人や保護者同士の会話で知ることができる
☐	テレビや本、パンフレットで知ることができる
☐	



☐	販売店での説明で知ることができる
☐	学校や保育園・幼稚園等での説明で知ることができる
☐	国や地方公共団体や民間団体が行う講座で知ることができる
☐	病院（産科・小児科等）で知ることができる
☐	アプリで知ることができる
☐	その他
☐	特に知りたいと思わない

[改ページ](#)

Q16

家庭内でのインターネット利用に関するルールに関して何について知りたいと思いますか？

この中から、当てはまるものを全てお選びください。

ただし、選択肢に書かれているフィルタリングサービスとは、例えば以下のようなものを指します。

- スクリーンタイム（iOSのフィルタリング機能）
- スクリーンタイムのファミリー共有（iOSのフィルタリング機能）
- Digital Wellbeing（AndroidOSのフィルタリング機能）
- ファミリーリンク（AndroidOSのフィルタリング機能）
- au、docomo、Softbankの提供するフィルタリングサービス「あんしんフィルター」
- その他キャリア（MVNO・格安スマホ）の提供するフィルタリングサービス（「i-フィルター」「スマモリ」等）

いくつでも

必須



☐	お子様への <u>適切なインターネットの利用の</u> 促し方
☐	<u>家庭内でのインターネット利用に関するルール</u> の <u>必要性</u> について
☐	<u>フィルタリングサービスの機能</u> の <u>活用</u> の仕方
☐	お子様の <u>年齢に合わせた適切なルール</u> について
☐	<u>家庭のルールを決める適切な方法・プロセス</u> について
☐	困ったときに <u>相談する先</u> について
☐	<u>スマートフォンやインターネットのお子様への危険性</u> について
☐	お子様の <u>インターネット利用状況に合わせた適切なルール</u> について
☐	その他
☐	上記に当てはまるものはない

改ページ

Q17

以下のお子様のスマートフォン利用に関する家庭内でのルールについて、あなたのお子様にとってどの程度重要だと思いますか。

この中から、それぞれ当てはまると思うものを1つお選びください。

それぞれひとつだけ

必須

非 ま ど あ 全

		常に重要だと思う	あ重要だと思う	ちたともいえない	まり重要だと思わない	く重要だと思わない
「平日は夜〇〇時まで利用しても良い」など、 <u>利用時間帯に関する約束</u> をする	→	○	○	○	○	○
「平日は合計〇〇時間まで利用していい」など、 <u>合計利用時間に関する約束</u> をする	→	○	○	○	○	○
「自身や友人などが特定されるような情報は投稿しない」など <u>情報の取扱いに関する約束</u> をする	→	○	○	○	○	○
トラブルに巻き込まれたとき、もしくはその可能性がある時は <u>必ず相談する約束</u> をする	→	○	○	○	○	○
SNSやメッセージアプリを使うとき、友達の登録は <u>信頼できる・知っている人だけにしよう約束</u> をする	→	○	○	○	○	○
「悪口や不快な内容を書き込まない」など、 <u>コミュニケーションに関する約束</u> をする	→	○	○	○	○	○
<u>親がいるところだけで使う</u> ように約束をする	→	○	○	○	○	○
<u>歩きスマホ・ながらスマホ</u> をしないように約束する	→	○	○	○	○	○
「ゲームでは〇〇円まで利用しても良い」「課金する（お金を使う）時には必ず親に言う」など、 <u>お金に関する約束</u> をしている	→	○	○	○	○	○
		非常に重要だと思う	まあ重要だと思う	どちらともいえない	あまり重要だと思わない	全く重要だと思わない

改ページ

Q18

スマートフォンのアプリには、対象としている年齢層や推奨する年齢が設定されています。

あなたの一番大きいお子様がアプリを利用する前に、アプリの対象年齢（推奨年齢）へ

を確認していますか。

この中から、当てはまるものを1つお選びください。

ひとつだけ

必須

☐ 全て確認している

☐ だいたい確認している

☐ あまり確認していない

☐ 全く確認していない

改ページ

Q19

Q18で「全て確認している」「だいたい確認している」を選んだ方にお伺いします。
対象年齢を確認した場合、それを守ってお子様に利用させるようにしていますか。
この中から、当てはまるものを1つお選びください。

ひとつだけ

必須

☐ 確認したものは、全て守らせている

☐ 確認したものは、だいたい守らせている

☐ 確認したもので、ほとんど守らせていない

☐ 確認したもので、全く守らせていない



[改ページ](#)

Q20

お子様のスマートフォンの活用方法として、以下のようなものが挙げられます。
この中から、あなたが一番大きいお子様に教えたり提案したりしたものとして、当てはまるものを全てお選びください。

☐ いくつでも☐ 必須☐ YouTubeやGoogle Earthなど、インターネット上のコンテンツを使っての学習☐ 勉強・学習アプリやゲームなどのアプリを通じての学習☐ わからないことがあったとき、インターネット検索を使って情報を得る方法☐ アプリを使って自分の勉強の進捗や時間を管理する方法☐ デジタル教科書や電子書籍など、デジタル教材を用いた学習☐ 文章作成ソフト（Wordなど）や表計算ソフト（Excelなど）の活用方法☐ 学校からの連絡など、家族との情報共有にスマートフォンを使う☐ その他☐ 当てはまるものはない[改ページ](#)

Q21

あなたの一番大きいお子様が利用しているスマートフォンについて、有害サイトへのアクセスを防止する、フィルタリングサービスを利用していますか。
この中から、当てはまるものを1つお選びください。

ただし、一番大きいお子様が複数のスマートフォンを利用している場合は、最も使っているものについてお答えください。

また、フィルタリングサービスとは、例えば以下のようなものを指します。

- スクリーンタイム（iOSのフィルタリング機能）
- スクリーンタイムのファミリー共有（iOSのフィルタリング機能）
- Digital Wellbeing（AndroidOSのフィルタリング機能）
- ファミリーリンク（AndroidOSのフィルタリング機能）
- au、docomo、Softbankの提供するフィルタリングサービス「あんしんフィルター」
- その他キャリア（MVNO・格安スマホ）の提供するフィルタリングサービス（「i-フィルター」「スマモリ」等）

ひとつだけ

必須

☐ 利用している

☐ 最初は利用していたが解除した

☐ 最初から利用していない

☐ 利用しているかわからない

改ページ

表示条件ここから



Q22

Q21で「利用している」と答えた方にお伺いします。

あなたの一番大きいお子様が利用しているスマートフォンで、どのフィルタリングサービスを利用していますか。

この中から、当てはまるものを全てお選びください。

ただし、一番大きいお子様が複数のスマートフォンを利用している場合は、最も使っているものについてお答えください。

いくつでも

必須

☐

スクリーンタイム (iOSのフィルタリング機能)

☐

スクリーンタイムのファミリー共有 (iOSのフィルタリング機能)

☐

Digital Wellbeing (AndroidOSのフィルタリング機能)

☐

ファミリーリンク (AndroidOSのフィルタリング機能)

☐

au、docomo、Softbankの提供する**フィルタリングサービス「あんしんフィルター」**

☐

その他キャリア (MVNO・格安スマホ) の提供する**フィルタリングサービス** (「i-フィルター」「スマモリ」等)

☐

その他のフィルタリング

☐

わからない

改ページ



Q23

Q21で「利用している」と答えた方にお伺いします。

あなたの一番大きいお子様が利用しているスマートフォンでは、具体的にフィルタリングサービスのどのような機能を利用していますか？

この中から、当てはまるものを全てお選びください。

☐ いくつでも☒ 必須☐ **Webフィルタリング機能**（アダルトサイトや薬物・犯罪に関するサイトなどの不適切なWebサイトへのアクセスを遮断する機能）☐ **アプリフィルタリング機能**（使わせたくないアプリを使えなくする機能）☐ スマートフォン**利用可能時間帯の設定・制限**☐ **利用状況の確認機能**（レポート閲覧、電子メール通知等）☐ **位置情報検索機能**☐ **設定の遠隔操作機能**☐ インターネット検索の**セーフサーチ機能**☐ **歩きスマホ防止機能**☐ アプリ内**課金を保護者に通知する機能**☐ その他[改ページ](#)

Q24

Q21で「利用している」と答えた方にお伺いします。

フィルタリングには、お子様の年齢に合わせたフィルタリングレベルが設定されている場合があります。

あなたの一番大きいお子様が利用しているスマートフォンでは、フィルタリングはどの程度の制限レベルを設定していますか。

この中から、当てはまるものを1つお選びください。

ただし、一番大きいお子様が複数のスマートフォンを利用している場合は、最も使っているものについてお答えください。

また、一番大きいお子様が高校生で、高校生プラスモードを利用している場合は、「お子様の年齢に合ったレベルのフィルタリング」をお選びください。

ひとつだけ

必須

☐ お子様の年齢に合ったレベルのフィルタリング（お子様：中学生、フィルタリング：中学生モード等）

☐ お子様の年齢よりも制限が弱いフィルタリング（お子様：中学生、フィルタリング：高校生モード等）

☐ お子様の年齢よりも制限が強いフィルタリング（お子様：中学生、フィルタリング：小学生モード等）

☐ 小学生・中学生・高校生とレベルのないフィルタリング

☐ わからない

改ページ

表示条件ここまで



Q25

あなたはフィルタリングサービスの設定をカスタマイズできることはご存知ですか。
この中から、当てはまるものを1つお選びください。

なおカスタマイズとは、フィルタリング強度（モード）の設定や個別アプリの使用許可、個別サイトの閲覧許可等を指します。

ひとつだけ

必須

☐ フィルタリングサービスの設定がカスタマイズできることを知っている

☐ フィルタリングサービスの設定がカスタマイズできることを知らない

[改ページ](#)

Q26

Q21で「利用している」とお答えいただき、Q25で「カスタマイズできることを知っている」と答えた方にお伺いします。

あなたの一番大きいお子様が利用しているスマートフォンで、フィルタリングサービスの設定をカスタマイズしていますか。

この中から、当てはまるものを1つお選びください。

ただし、一番大きいお子様が複数のスマートフォンを利用している場合は、最も使っているものについてお答えください。

ひとつだけ

必須

☐ フィルタリングサービスの設定をカスタマイズしている

☐ フィルタリングサービスの設定をカスタマイズしていない

[改ページ](#)

Q27

Q26で「カスタマイズしている」と答えた方にお伺いします。

あなたの一番大きいお子様が利用しているスマートフォンで、どのようなカスタマイズをしていますか。

この中から、当てはまるものを全てお選びください。

ただし、一番大きいお子様が複数のスマートフォンを利用している場合は、最も使っているものについてお答えください。

いくつでも

必須

☐ スマートフォンで見られるWebサイトの個別許可

☐ 特定のアプリの個別許可

☐ 特定のアプリの個別制限

☐ アプリのインストールの制限

☐ 利用時間のカスタマイズ

☐ フィルタリング強度（年齢に合わせたモード等）の設定

☐ その他

☐ わからない



改ページ

Q28

Q26で「カスタマイズしていない」と答えた方にお伺いします。
フィルタリングサービスの設定をカスタマイズしていない理由は何ですか。
この中から、当てはまるものを全てお選びください。

いくつでも

必須

☐ カスタマイズが必要だと思わなかったから

☐ カスタマイズの設定方法を知らなかったから

☐ カスタマイズの設定が面倒だから

☐ 個別サイトやアプリの判断ができないから

☐ その他

☐ 当てはまるものはない

改ページ

Q29

スマートフォンのフィルタリングサービスの機能として正しいものは、次のうちどれ
でしょうか。

文章をよく読み、正しいと思うものをこの中から全てお選びください。



いくつでも

必須

☐ フィルタリング専用ブラウザでインターネットにアクセスする際に有害情報を遮断することができる

☐ アプリの利用を制限することができる

☐ スマートフォンの利用時間管理、利用状況の通知などができる

☐ 利用を許可したアプリからアクセスする場合、インターネット上の有害情報を遮断することはできない

☐ お子様の居場所を確認することができる

☐ フィルタリングで規制されたアプリケーションは、後から利用できるように変更することができる

☐ フィルタリングの対象年齢の設定はお子様の年齢に合わせて、複数のレベルで設定することができる

☐ フィルタリング設定は遠隔で変更できるので、お子様のスマートフォンから直接変更する必要はない

☐ 有害サイトやアプリケーションの利用制限だけでなく、使い過ぎを防ぐ利用時間の制限ができる

☐ 年齢や個別設定のほかに、カテゴリ・ジャンル単位で有害サイトへのアクセスを制限することができる

☐ 正しいものはない

[改ページ](#)

Q30

スマートフォンのフィルタリングサービスは、有害情報排除、位置情報確認、利用時間管理等の様々なサービスを提供し、何を利用するかは保護者が選択できます。



スマートフォンのフィルタリングサービスについて、あなたはどう考え・評価していますか。

この中から、当てはまるものを1つお選びください。

ひとつだけ

必須

- ☐ 非常に有益なサービスである
- ☐ やや有益なサービスである
- ☐ どちらでもない
- ☐ あまり有益なサービスではない
- ☐ 全く有益なサービスではない

改ページ

Q31

Q21で「利用しているかわからない」と答えの方以外にお伺いします。
あなたの一番大きいお子様が利用しているスマートフォンで、フィルタリングサービスを知ったきっかけは何ですか？
この中から、知ったきっかけとして、当てはまるものを全てお選びください。

いくつでも

必須

- ☐ インターネット（ウェブページや動画）でフィルタリングサービスに関する情報を見て
- ☐ 友人や保護者同士の会話の中で聞いて



☐	テレビや本、パンフレットを見て
☐	販売店での説明を受けて
☐	学校や保育園・幼稚園等での説明を受けて
☐	国や地方公共団体や民間団体が行う講座に参加して
☐	病院（産科・小児科等）で教えてもらって
☐	アプリで知って
☐	その他
☐	特にきっかけはない・覚えていない

改ページ

Q32

フィルタリングサービスの機能や使い方などの情報について、以下の何を通じて知ることができると便利だと思いますか？

この中から、当てはまるものを全てお選びください。

いくつでも

必須

☐	インターネット（ウェブページや動画）で知ることができる
☐	テレビや本、パンフレットで知ることができる
☐	販売店での説明で知ることができる



☐	学校や保育園・幼稚園等での説明で知ることができる
☐	国や地方公共団体や民間団体が行う講座で知ることができる
☐	病院（産科・小児科等）で知ることができる
☐	アプリで知ることができる
☐	その他
☐	特に知りたいと思わない

改ページ

Q33

フィルタリングサービスについて、**知りたいと思うこと**はどのようなことでしょうか？

この中から、**当てはまるものを全て**お選びください。

いくつでも

必須

☐	1. フィルタリング専用ブラウザで インターネットにアクセスする際の機能 について
☐	2. アプリケーションの利用を制限する機能 について
☐	3. スマートフォンの 利用時間・状況などを通知する機能 について
☐	4. フィルタリングサービスの 1~3以外の機能 について
☐	5. フィルタリングサービスを 利用するうえでの注意点 について



☐	6. フィルタリングサービスで <u>防げるインターネット上のトラブル</u> について
☐	7. フィルタリング <u>レベルの適切な設定</u> について
☐	8. フィルタリング <u>機能の適切な選択方法</u> について
☐	9. フィルタリングサービスの <u>導入方法</u> について
☐	10. フィルタリングサービスの <u>カスタマイズ方法</u> について
☐	11. その他
☐	12. 知りたいことは特にない

[改ページ](#)

Q34

Q21で「利用している」「利用していたが解除した」と答えた方にお伺いします。
あなたの一番大きいお子様が利用しているスマートフォンで、フィルタリングサービスを使おうと思った理由は何ですか？

この中から、使おうと思った理由として、当てはまるものを全てお選びください。

☐ いくつでも

☒ 必須

☐	フィルタリングサービスを利用することで、子供の <u>適切なインターネット利用を管理できる</u> と考えたため
☐	フィルタリングサービスを利用することで、 <u>特定のサービスやアプリを子供に使わせない</u> ようにするため
☐	



☐	子供にとってフィルタリングが 有益 だと感じたため
☐	フィルタリングサービスの 設定が簡単 だと知ったため
☐	フィルタリングサービスの カスタマイズ設定 ができると知ったため
☐	実際にインターネット上での トラブルに遭遇 したため
☐	お金がかからない ため
☐	家族・友人・知人 に勧められたため
☐	その他
☐	特に理由はない

改ページ

Q35

Q21で「利用していたが解除した」と答えた方にお伺いします。

あなたの一番大きいお子様が利用しているスマートフォンで、フィルタリングサービスを解除したのはなぜですか。

この中から、解除した理由として、当てはまるものを全てお選びください。

いくつでも

必須

☐	フィルタリングサービスを利用しなくても、子供の 適切なインターネット利用を管理 できるため
☐	フィルタリングサービスを設定すると 使えないサービスやアプリ を子供に使わせるため
☐	子供にとってフィルタリングサービスが 不便 と感じたため



☐	フィルタリングサービスの <u>設定が難しい</u> ため
☐	フィルタリングサービスの <u>カスタマイズ設定が難しい</u> ため
☐	フィルタリングサービスを利用しなくても、インターネット上の <u>トラブルに遭遇しないと思った</u> ため
☐	<u>お金がかかる</u> ため
☐	<u>家族・友人・知人が不要だと言っていた</u> ため
☐	特に <u>必要性を感じない</u> ため
☐	その他
☐	特に理由はない

改ページ

Q36

Q21で「最初から利用していない」と答えた方にお伺いします。
あなたの一番大きいお子様が利用しているスマートフォンで、フィルタリングサービスを利用しなかったのはなぜですか。
この中から、利用しなかった理由として、当てはまるものを全てお選びください。

いくつでも

必須

☐	フィルタリングサービスを利用しなくても、子供の <u>適切なインターネット利用を管理できる</u> ため
☐	フィルタリングサービスを設定すると <u>使えないサービスやアプリを子供に使わせる</u> ため

☐ 子供にとってフィルタリングサービスが不便と感じたため
☐ フィルタリングサービスの設定が難しいため
☐ フィルタリングサービスのカスタマイズ設定が難しいため
☐ フィルタリングサービスを利用しなくても、インターネット上のトラブルに遭遇しなかったため
☐ お金がかかるため
☐ 家族・友人・知人が不要だと言っていたため
☐ 特に必要性を感じないため
☐ 購入時に説明を受けなかったため
☐ フィルタリングサービス自体を知らなかったため
☐ スマートフォンを保護者と共同で使っているため
☐ 子供の周りの友人等がフィルタリングサービスを利用していないため
☐ その他
☐ 特に理由はない

改ページ

Q37

スマートフォンのフィルタリングサービスの機能として、以下のようなものが挙げられます。

それぞれの機能は、あなたの一番大きいお子様にとってどの程度有益だと思います



か？

この中から、それぞれ当てはまるものを1つお選びください。

それぞれひとつだけ

必須

		非常に有益だと思う	まあ有益だと思う	どちらともいえない	あまり有益でないと思う	全く有益でないと思う
Webフィルタリング機能 （アダルトサイトや薬物・犯罪に関するサイトなどの不適切なWebサイトへのアクセスを遮断する機能）	→	☐	☐	☐	☐	☐
アプリフィルタリング機能 （使わせたくないアプリを使えなくする機能）	→	☐	☐	☐	☐	☐
スマートフォン 利用可能時間帯の設定・制限機能	→	☐	☐	☐	☐	☐
利用状況の確認機能 （レポート閲覧、電子メール通知等）	→	☐	☐	☐	☐	☐
位置情報検索機能	→	☐	☐	☐	☐	☐
設定の遠隔操作機能	→	☐	☐	☐	☐	☐
インターネット検索の セーフサーチ機能	→	☐	☐	☐	☐	☐
歩きスマホ防止機能	→	☐	☐	☐	☐	☐
アプリ内課金を保護者に 通知する機能	→	☐	☐	☐	☐	☐

改ページ

Q38

フィルタリングサービスを利用するにあたり、**どのような機能や仕様を重視**しますか？この中から、それぞれの機能の重要度合いとして、**それぞれ当てはまるものを1つ**お選びください。

それぞれひとつだけ

必須



		非常に重要だと思う	まあ重要だと思う	どちらともいえない	あまり重要でないと思う	全く重要でないと思う
子供に使わせたいアプリのフィルタリング解除の個別設定が簡単にできる	→	☐	☐	☐	☐	☐
スマートフォンに入っているアプリを保護者が確認する機能がある	→	☐	☐	☐	☐	☐
サイトの閲覧履歴を保護者が確認する機能がある	→	☐	☐	☐	☐	☐
SNSでどのようなメッセージをやり取りしているかを確認する機能がある	→	☐	☐	☐	☐	☐
子供がどのような操作をしているのかをモニタリングする機能がある	→	☐	☐	☐	☐	☐
子供のスマートフォン利用時間を把握することができる	→	☐	☐	☐	☐	☐
ワンタッチでフィルタリングサービスのON/OFFを切り替えられる	→	☐	☐	☐	☐	☐
無料で利用できる	→	☐	☐	☐	☐	☐

改ページ

Q39

Q38で提示した各機能に関してお伺いします。

仮に、以下の機能が有料で提供されるフィルタリングサービスのプランが提供されることになったと想定して下さい。

あなたはそれぞれの機能に対し、ひと月あたりいくらまで支払ってもよいと思いますか。

その支払ってもよい最高額（税込み）について、それぞれ最も近いものを1つお選びください。

ただし、お金を払ってまで使いたくない場合は0円をお選びください。

それぞれひとつだけ

必須

	0円	500円	1000円	2000円	3000円	5000円	7000円	10000円	↑
--	----	------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	---

		お金を払ってまで使いたくない	程度	程度	程度	程度	程度	程度	程度	0円程度	0円より高い
子供に使わせたいアプリのフィルタリング解除の個別設定が簡単にできる	→	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
スマートフォンに入っているアプリを保護者が確認する機能がある	→	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
サイトの閲覧履歴を保護者が確認する機能がある	→	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
SNSでどのようなメッセージをやり取りしているかを確認する機能がある	→	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
子供がどのような操作をしているのかをモニタリングする機能がある	→	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
子供のスマートフォン利用時間を把握することができる	→	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ワンタッチでフィルタリングサービスのON/OFFを切り替えられる	→	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		0円（お金を払ってまで使いたくない）	50円程度	100円程度	200円程度	300円程度	500円程度	700円程度	1000円程度	1000円より高い	

改ページ

Q40



お子様をインターネット上の潜在的な危険性から守る手段として、フィルタリング以外にもペアレンタルコントロールに関する機能が存在しています。

あなたの一番大きいお子様が利用しているスマートフォンで、フィルタリング以外のペアレンタルコントロールに関する機能は利用していますか。

この中から、利用している機能として、当てはまるものを全てお選びください。

ただし、一番大きいお子様が複数のスマートフォンを利用している場合は、最も使っているものについてお答えください。

また、ペアレンタルコントロールとは、家庭内のルール作りやフィルタリングサービスによって、保護者が青少年のインターネット利用を適切に管理することを指します。

いくつでも

必須

☐

アプリ内の設定をしている

☐

SNSの利用監視サービス（Filli等）を導入している

☐

時間管理アプリや機能を導入している

☐

子供用のアプリ（KIDSバージョンなど）を利用している

☐

その他

☐

利用していない

改ページ

Q41



あなたは日ごろ一番大きいお子様と、どのくらいの時間接されていますか？
平日と休日のそれぞれ、平均して1日あたり接している時間を教えてください。

それぞれひとつだけ

必須

	平日	休日
	↓	↓
ほとんどない	☐	☐
30分未満	☐	☐
30分～1時間未満	☐	☐
1時間～2時間未満	☐	☐
2時間～3時間未満	☐	☐
3時間～5時間未満	☐	☐
5時間～7時間未満	☐	☐
7時間～10時間未満	☐	☐
10時間～13時間未満	☐	☐
13時間以上	☐	☐

改ページ

Q42

一番大きいお子様とのご家庭でのコミュニケーションについて、お伺いします。
この中から、それぞれ当てはまるものを1つお選びください。

それぞれひとつだけ

必須

	かなり当てはまる	少し当てはまる	あまり当てはまる	ほとんど当てはまる
--	----------	---------	----------	-----------

↑

		まる	まる	まら	はま
		まる	まる	まら	はま
子どもの友達について子どもと話す	→	○	○	○	○
子どもとコミュニケーションが取れていると思う	→	○	○	○	○
子どもの方から話をする	→	○	○	○	○
子どもをよく褒める	→	○	○	○	○
子どもの気持ちがよくわかる	→	○	○	○	○
子どもとの関わりから、自分のことで気づかされることがある	→	○	○	○	○
子どもの相手をするのは楽しい	→	○	○	○	○
子どもと一緒に食事をする	→	○	○	○	○
食事をするときは、子どもと色々なことをよく話す	→	○	○	○	○
		かなり当てはまる	すこし当てはまる	あまり当てはまらない	ほとんど当てはまらない
朝起きると、子どもと「おはよう」とあいさつする	→	○	○	○	○
親子で楽しい時を過ごす時間がある	→	○	○	○	○
休日と一緒に出かける	→	○	○	○	○
一緒にテレビやビデオなどを見る	→	○	○	○	○
服装のことで子どもと話す	→	○	○	○	○
子どもの言葉づかいのことで子どもと話す	→	○	○	○	○
携帯電話の使い方をめぐって子どもと話す	→	○	○	○	○
将来や進路について子どもと話す	→	○	○	○	○
自分の子どもの頃について子どもと話す	→	○	○	○	○
		かなり当てはまる	すこし当てはまる	あまり当てはまらない	ほとんど当てはまらない



改ページ

Q43

あなたはスマートフォンを利用し始めて何年経ちましたか。

この中から、**あなたのスマートフォンの利用歴**として、当てはまるものを1つお選びください。

ひとつだけ

必須

☐ 半年未満

☐ 半年～1年未満

☐ 1年～2年未満

☐ 2年～4年未満

☐ 4年～7年未満

☐ 7年～10年未満

☐ 10年～13年未満

☐ 13年～16年未満

☐ 16年～20年未満

☐ 20年以上



[改ページ](#)

Q44

お子様の学齢やインターネット利用状況に応じた、**有効なペアレンタルコントロールの取組**が簡単にわかるフローチャート式の資料をがあると想定してください。

あなたは、この**フローチャート式の資料を利用したい**と思いますか。

この中から、当てはまるものを1つ選びください。

ただし、ペアレンタルコントロールとは、家庭内のルール作りやフィルタリングサービスによって、保護者が青少年のインターネット利用を適切に管理することを指します。

ひとつだけ

必須

☐ 非常に利用したいと思う

☐ やや利用したいと思う

☐ どちらでもない

☐ あまり利用したいと思わない

☐ まったく利用したいと思わない

[改ページ](#)

Q45

あなたの周りに、以下のものの使い方・設定の仕方について**詳しい人物**はいましたか？



この中から、それぞれ当てはまるものを全てお選びください。

ただし、ペアレンタルコントロールとは、家庭内のルール作りやフィルタリングサービスによって、保護者が青少年のインターネット利用を適切に管理することを指します。

それぞれいくつでも

必須

	フィルタリングサービス	ペアレンタルコントロール
	↓	↓
親族	☐	☐
親しい友人	☐	☐
知り合い	☐	☐
会社の同僚や上司	☐	☐
その他	☐	☐
詳しい人物はいなかった	☐	☐

[改ページ](#)

Q46

あなたが最後に卒業した学校について、もっとも近いものを1つお選びください。
ただし、現在学生の場合は、現在所属している学校をお選びください。

ひとつだけ

必須



☐ 大学院
☐ 大学
☐ 短大・高専
☐ 専門学校
☐ 高校（旧制中学）
☐ 中学（旧制小学）

改ページ

Q47

あなたの家の世帯年収はおおよそいくらですか。額面での世帯年収をお答えください。

ひとつだけ

必須

☐ 0円（なし）
☐ 100万円未満
☐ 100万円～200万円未満
☐ 200万円～300万円未満
☐ 300万円～500万円未満
☐

☐ 500万円～700万円未満
☐ 700万円～1000万円未満
☐ 1000万円～1500万円未満
☐ 1500万円～2000万円未満
☐ 2000万円以上

改ページ

Q48

あなたはパートナー（夫・妻）と現在同居していますか。
当てはまるものをお選びください。

ただし、現在単身赴任などで同居していない場合も「同居していない・パートナーはいない」をお選びください。

ひとつだけ

必須

☐ 同居している
☐ 同居していない・パートナーはいない

改ページ



A 2. 実験的調査における提供資料・追跡調査票

A 2. 1. 提供資料（啓発フライヤー資料）





ご家庭でやれることはこれ！

フィルタリングサービスで解決！



01 いじめ、誹謗中傷が心配…



日頃から「私たちは味方、大人は相談先を知っている」と伝え続け、一人で抱え込ませない

人を傷つける投稿、嫌な気持ちにさせる投稿はしないなど、加害者にならないための約束を



いじめが起きやすいアプリのインストールは、制限機能を使って**保護者が阻止**

02 自撮り被害、わいせつ犯罪に巻き込まれてない？



「誰にでも起きること、私は怒らない」というメッセージをマメに発信、相談できる関係を

性的な**自撮り**をしない、友達登録やメッセージ送信は**信頼できる知人**のみ、などのルール作りを



成長に応じて、ダウンロードできるアプリを**許可制**に

お子さんが今どんなアプリを使っているか**把握**

03 架空請求、個人情報の漏洩、どうすれば…



「架空請求」で、本当に支払いが必要となるケースはほぼないので**焦らない**

自分や友人が**特定される情報**は投稿しないルールを
ウイルスを使った詐欺に備え、セキュリティソフトを導入



違法・有害サイトへの**接続を制限**

お子さんの**学齢**に応じて
フィルターの**強度**を調節

04 やりすぎ、使い過ぎ、やめられない…



利用時間、利用をやめる時刻のルール決めを

勉強時間や睡眠など「**すでに起きている弊害**」を解決するためには？どうすれば良い？という視点で話し合いを



アプリ毎に利用時間の上限を設定

必要な時は、**保護者のスマホ**から
お子さんのアプリを停止

05 課金、フリマ、通販…支払いは大丈夫？



未成年の課金制限があるサービスには、正しい**年齢**を登録して金額上限を有効化

お金についての「約束事」をしっかり決める



お子さんの課金状況を**確認**

「課金はその都度、**許可制**」の設定を活用

A 2. 2. 追跡調査票

Q1

あなたの一番大きいお子様が利用しているスマートフォンについて、有害サイトへのアクセスを防止する、フィルタリングサービスを利用していますか。

ただし、一番大きいお子様が複数のスマートフォンを利用している場合は、最も使っているものについてお答えください。

フィルタリングサービスとは、例えば以下のようなものを指します。

- スクリーンタイム (iOSのフィルタリング機能)
- スクリーンタイムのファミリー共有 (iOSのフィルタリング機能)
- Digital Wellbeing (AndroidOSのフィルタリング機能)
- ファミリーリンク (AndroidOSのフィルタリング機能)
- au、docomo、Softbankの提供するフィルタリングサービス「あんしんフィルター」
- その他キャリア (MVNO・格安スマホ) の提供するフィルタリングサービス (「i-フィルター」「スマモリ」等)

ひとつだけ

必須

☐ 利用している

☐ 最初は利用していたが解除した

☐ 最初から利用していない

☐ 利用しているかわからない

改ページ

Q2

あなたの一番大きいお子様のスマートフォンの使い方について、何か家庭でルールを決めているでしょうか。

あなたの家庭で決めているスマートフォンの使い方の家庭内のルールとして、**当てはまるものを全て**お選びください。

ただし、特にルールを決めていない場合は、「特にルールは決めていない」をお選びください。

いくつでも

必須

☐ 「平日は夜〇〇時まで利用しても良い」など、利用時間帯に関する約束をしている

☐ 「平日は合計〇〇時間まで利用していい」など、合計利用時間に関する約束をしている

☐ 「自身や友人などが特定されるような情報は投稿しない」など情報の取扱いに関する約束をしている

☐ トラブルに巻き込まれたとき、もしくはその可能性がある時は必ず相談する約束をしている

☐ SNSやメッセージアプリを使うとき、友達の登録は知っている人だけにしよう約束をしている

☐ 「悪口や不快な内容を書き込まない」など、投稿内容に関する約束をしている

☐ スマートフォンは親がいるところだけで使うように約束している

☐ 「ゲームでは〇〇円まで利用しても良い」「課金する（お金を使う）時には必ず親に言う」など、お

☐ 金に関する約束をしている
☐ その他
☐ 特にルールは決めていない

[改ページ](#)

Q3

あなたの一番大きいお子様は以下のことを、スマートフォンで日ごろ利用していますか。

日ごろ利用しているものとして、**当てはまるものを全て**お選びください。

☐ いくつでも☒ 必須

☐ 動画共有サービス（YouTube・ニコニコ動画など）
☐ ゲームアプリ（Pokémon Go・モンスターストライクなど）
☐ 学習・勉強・知育アプリ（Studyplus・コソ勉・単語帳メーカーなど）
☐ メッセージアプリ（LINE・Messengerなど）
☐ SNS（Facebook・Twitter・Instagram・TikTokなど）
☐ インターネットブラウザ・検索サービス（Safari・Google Chrome・Yahoo! JAPANなど）
☐ フリマアプリ、ショッピング・オークションサイト（メルカリ・Amazon・楽天など）
☐ Eメールアプリ（メール・Gmailなど）

☐	漫画アプリ（LINEマンガ、ジャンプ+、ピッコマ！など）
☐	その他

改ページ

これからインターネットに関するリーフレットを見ていただきます。
よくお読みになってから、次の問いにお進みください。

リーフレット表面

お子さんの
スマホ利用



保護者のみなさん、その心配

解決しましょう！

様々なアプリが「色々な心配」のタネに…



動画



SNS



メッセージ
アプリ



ゲーム



メール



ブラウザ
検索



漫画アプリ



通販

01

いじめ、誹謗中傷が心配…
「大人は頼れる」を伝えよう！
裏面 01へ



02

自画撮り被害、わいせつ犯罪に
巻き込まれてない？
「信頼できる知人以外と
やり取りしない」がポイント！
裏面 02へ



03

架空請求、個人情報の漏洩、
どうすれば…
「知識とウイルス対策ソフト」で対抗！
裏面 03へ



04

やりすぎ、使い過ぎ、
やめられない…
「このルールはなぜ作る？」の
意識共有が成功のカギ！
裏面 04へ



05

課金、フリマ、通販…
支払いは大丈夫？
「設定と正しい年齢登録」で安心を！
裏面 05へ



このリーフレットは、お子さんのスマホ利用に係る保護者の方々向けのものです

リーフレット裏面



ご家庭でできることはこれ！

フィルタリングサービスで解決！



01 いじめ、誹謗中傷が心配…



日頃から「**私たちは味方、大人は相談先を知っている**」と伝え続け、一人で抱え込ませない

人を傷つける投稿、嫌な気持ちにさせる投稿はしないなど、加害者にならないための約束を

いじめが起きやすいアプリのインストールは、制限機能を使って**保護者が阻止**

02 自撮り被害、わいせつ犯罪に巻き込まれてない？



「**誰にでも起きること、私は怒らない**」というメッセージをマメに発信、相談できる関係を

性的な**自撮り**をしない、友達登録やメッセージ送信は**信頼できる知人**のみ、などのルール作りを

成長に応じて、ダウンロードできるアプリを**許可制**に

お子さんが今どんなアプリを使っているか**把握**

03 架空請求、個人情報の漏洩、どうすれば…



「**架空請求**」で、本当に支払いが必要となるケースは**ほぼないので焦らない**

自分や友人が**特定される情報**は投稿しないルールを

ウイルスを使った詐欺に備え、セキュリティソフトを導入

違法・有害サイトへの**接続を制限**

お子さんの**学齢**に応じてフィルターの**強度**を調節

04 やりすぎ、使い過ぎ、やめられない…



利用時間、利用をやめる時刻のルール決めに

勉強時間や睡眠など「**すでに起きている弊害**」を解決するためには？どうすれば良い？という視点で話し合いを

アプリ毎に利用時間の上限を設定

必要な時は、**保護者のスマホ**からお子さんのアプリを停止

05 課金、フリマ、通販…支払いは大丈夫？



未成年の課金制限があるサービスには、正しい**年齢**を登録して金額上限を有効化

お金についての「**約束事**」をしっかり決める

お子さんの課金状況を**確認**

「課金はその都度、**許可制**」の設定を活用

Q4

今お読みいただいたリーフレットでは、主に何について書かれていたでしょうか。
正しいものを2つお選びください。

2つだけ

必須

☐

パソコンの適切な使い方について書かれていた

☐

子供のスマートフォン利用に関する家庭内ルールについて書かれていた

☐

子供向けの啓発資料だった

☐

2枚になっていて、表面では子供のスマートフォン利用に関する心配事が書かれていた

☐

2枚になっていて、裏面では子供にスマートフォン利用をやめさせる方法が書かれていた

改ページ

Q5

リーフレットをお読みいただき、どう感じたでしょうか。
当てはまるものを全てお選びください。

いくつでも

必須

☐

フィルタリングサービスを利用しようと思った

☐

子供のスマートフォン利用に関する家庭内ルールを新たに作ろうと思った

☐	フィルタリングサービスの効果を知ることができた
☐	フィルタリングサービス が子供の学齢やインターネット利用状況によって 柔軟に設定できる ことを知ることができた
☐	子供のスマートフォン利用に関して 心配していたこと について、 適切な対策を知ることができた
☐	子供の利用している アプリに適した対策を知ることができた
☐	今決めている子供のスマートフォン利用に関する 家庭内ルールでは足りないと感じた
☐	子供の スマートフォン利用全般 に関して、 適切な対策を知ることができた
☐	子供のスマートフォン利用を適切に管理する 自信がついた
☐	この中にはない

改ページ

Q6

Q5で「子供のスマートフォン利用に関する家庭内ルールを新たに作ろうと思った」をお選びいただいた方にお伺いします。

どのルールを新たに作ろうと思いましたか。

当てはまるものを全てお選びください。

いくつでも

必須

☐	「平日は夜〇〇時まで利用しても良い」など、 利用時間帯に関する約束 をする
☐	「平日は合計〇〇時間まで利用していい」など、 合計利用時間に関する約束 をする

☐	「自身や友人などが特定されるような情報は投稿しない」など 情報の取扱いに関する約束 をする
☐	トラブルに巻き込まれたとき、もしくはその可能性がある時は 必ず相談する約束 をする
☐	SNSやメッセージアプリを使うとき、友達の登録は 知っている人だけにしよう約束 をする
☐	「悪口や不快な内容を書き込まない」など、 投稿内容に関する約束 をする
☐	スマートフォンは親がいるところだけで使う ように約束をする
☐	「ゲームでは〇〇円まで利用しても良い」「課金する（お金を使う）時には必ず親に言う」など、 お金に関する約束 をする
☐	その他

改ページ

Q7

お読みいただいたリーフレットについて、総合的にどのように感じましたか。

ひとつだけ

必須

☐	良かった
☐	やや良かった
☐	あまり良くなかった
☐	良くなかった

改ページ

Q8

Q7で「良かった」「やや良かった」を選んだ方にお聞きします。
なぜそのように思いましたか。当てはまるものを全てお選びください。

いくつでも

必須

☐ 文字が適切な量で読みやすかった

☐ 内容が分かりやすかった

☐ 詳細が書かれていてよかった

☐ 知らない内容が多かった

☐ よく理解できた

☐ ほしい情報があった

☐ その他

改ページ

Q9

Q7で「あまり良くなかった」「良くなかった」を選んだ方にお聞きます。
なぜそのように思いましたか。**当てはまるものを全て**お選びください。

いくつでも

必須

☐ 文字が多くて読みづらかった

☐ 内容が難しいと感じた

☐ もっと詳細を知りたかった

☐ 知っている内容ばかりだった

☐ よく理解できなかった

☐ ほしい情報がなかった

☐ その他

改ページ

Q10

お読みいただいたリーフレットについて、意見・要望（改善点等）・感想などがあればご自由にお書きください。

特にない場合は「特に意見・要望・感想はない」をお選びください。

必須



	入力してください
☐	特に意見・要望・感想はない

改ページ

A 3. 保護者インタビュー調査票の概要

以下の調査票に沿ってインタビューをしている。

項目	インタビュー内容
インタビューー（保護者ご本人）概況	
年齢	・ ご自身の年齢。
性別	・ ご自身の性別。
ご家族構成	・ 同居のご家族構成。
子供の人数、性別	・ 子供の人数と性別構成。
ICT に関する知識	・ 自身の ICT に関する知識の主観的評価（よく知っている、普通、知らない）。
基礎情報	
A1 属性	・ 子供の年齢。 ・ 子供の性別。
A2 ICT 環境	・ 何を使っているか（スマートフォン、PC、タブレット、ゲーム等）。 ・ 専用か共用か。 ・ アプリケーションの設定を子供が自分でできるか。
A3 利用開始時期	・ 利用開始時期はそれぞれいつか。
A4 ICT 利用の遷移	（現状になるまで） ・ 共用はいつからしているか。 ・ 専用になったのはいつからか。
A5 利用時間	・ それぞれどれくらい利用しているか（時間）。
A6 主な用途	・ それぞれ用いてどのようなことをしているか（家族との連絡目的、勉強目的、娯楽目的、それぞれの割合など）。 ・ 主な利用アプリ。
A7 コミュニケーション 時間・信頼関係	（ICT にかかわらず） ・ 日常の子供との対話の時間（1 日あたり）。 ・ 主観的信頼関係度合い。
A8 子育ての方針	・ （ICT にかかわらず）認知している子育ての方針（放任主義、管理主義、等）。 ・ ICT に関する積極性（学習で積極的に取り入れている、普通に使っている、仕方なく使っている、等）。
リスク・トラブル	
B1 リスク認知	・ 子供の ICT 利用に関して感じているリスクや不安は何か。

	(健康、時間(睡眠)、有害情報、事件、勉強、友人関係、等)
B2 トラブル経験	・具体的に危機感を覚えたことや、不安になったエピソードはあるか？(実体験) ・お子様自身ではなくても、身近な人の話や報道などを通じて危機感を覚えたことはあるか？(他者)
B3 エピソード(背景)	・上記で「有る」場合、どのような形で起きたか。何がきっかけだったか。
B4 エピソード(時期)	・それはいつごろか。
B5 エピソード(対処)	・どのように対応したか。
B6 エピソード(効果)	・対応によってどうなったか(その効果の有無)。
B7 エピソード(ニーズ)	・一連の経験によって「こういうことがあったらよかった」と思うことはあるか。 ・具体の体験がない場合でも、何かリスクやトラブルに対して「こんなことがあったらいい」というニーズはあるか。
ペアレンタルコントロール	
C1 設定状況(ソフト)	・どのようなことをしているか(フィルタリング以外)。 ・例：家庭内ルールメイキング、場所の指定、等
C2 設定状況(ハード)	・事業者から提供されているものはどのようなことをしているか。 ・例：PC やタブレットでの「ログインアカウント設定」、Nintendo Switch での「みまもり設定」、検索サイトでの「セーフサーチ機能」、YouTube の「制限付きモード」、等
C3 情報取得(場所)	・そのような手段をどのような場所で見聞きしたことがあるか。
C4 情報取得(資料)	・そのような手段の参考となる資料はどのようなものをみたことがあるか。
C5 情報取得(知人)	・そのような手段に詳しい知人友人がまわりにいるか。
C6 設定背景	・なぜそのような設定にしようと思ったのか。理由や背景。
C7 設定プロセス	・その設定するにあたりお子様との対話やプロセスはどのようなものだったか。 ・その設定にするにあたりご家族との対話やプロセスはどのようなものだったか。
C8 設定担保	・特にソフト面(管理が難しいもの)についてどのような工夫で継続しているか。
C9 変化	・初期から現在にかけて変化はあったか。(利用期間が長くな

	ったり利用目的が増えたりするにつれて、約束や管理のあり方について変更)
C10 設定状況 (重みづけ)	・特に何が重要と考えているか。 ・効果があったもの、あったが続かなかったものはあるか。
C11 設定状況 (評価)	・子供の ICT 環境について適切に管理できていると思うか。 ・自己評価。
C12 ニーズ (内容)	・ペアレンタルコントロールで特に困っていること。 ・そこからどのようなものがあるといいと考えるか。
C13 ニーズ (場)	・どのような場でそれが知られると効果的であると思うか。
C14 ニーズ (資料)	・どのような形の資料があると効果的であると思うか。
フィルタリングサービス (スマートフォン)	
D1 状況	・現在の状況は、利用中・解除：利用したことない、のどれか。
D2 種類	・どのフィルタリングおよびフィルタリングサービスを利用しているか。 ① 機種への設定 「スクリーンタイム (iOS)」、「Digital Wellbeing (Android OS)」 ② 親子アカウント設定 「ファミリー共有 (iOS)」、「ファミリーリンク (Android OS)」 ③ キャリアによるサービス NTT ドコモ、KDDI、SoftBank など通信事業者の提供する「あんしんフィルター」等 ④ その他フィルタリング サービス 「i-フィルター」、「スマモリ」等 ⑤ アプリ上での個別設定 Twitter や YouTube などのアプリ上での「年齢設定」等 ⑥ その他
D3 レベル	(1) レベル設定はどのようなものか。 (2) カスタマイズ機能を知っているか。 (3) (2) で「知っている」と回答した場合、実際にカスタマイズをしているか。 (4) (3) で「している」と回答した場合、どのようなカスタマイズをしているか。 (5) (3) で「していない」と回答した場合、なぜカスタマイズをしていないのか。
D4 設定状況 (重みづけ)	・特に重要だと思う機能はどれか。
D5 導入理由・目的	・(利用中または解除した場合) 導入した理由は何か。

	・目的はどのようなものか（アダルトコンテンツ、詐欺やトラブル、金銭トラブル、等）
D6 解除理由・未導入理由	・（解除または利用していない場合）解除した理由は何か。 また、導入しなかった理由は何か。
D7 継続意向	・（利用中の場合）引き続き利用を考えているか。解除の予定はあるか。その場合の条件とは。
D8 情報取得（場所）	・そのフィルタリングをどのような場所で知ったか。
D9 情報取得（資料）	・そのフィルタリングをどのような資料で知ったか。
D10 情報取得（知人）	・フィルタリングに詳しい知人友人がまわりにいるか。
D11 フィルタリングに対する評価	・フィルタリングに対する評価 （総合的、ポジティブ、ネガティブ）
D12 ニーズ（内容）	・フィルタリングサービスで特に困っていること。 ・そこからどのようなものがあるといいと考えるか。 ・どれくらいまでコストをかけられるか。
D13 ニーズ（場）	・どのような場でそれが知られると効果的であると思うか。
D14 ニーズ（資料）	・どのような形の資料があると効果的であると思うか。
お子様の状況や全体的な期待	
E1 子供の自主性・様子	・子供自身の ICT への興味関心、危機意識はどうか。 ・子供の現在の環境についての要望など（もっと使えるようにしてほしい、コントロールがある方が安心、など）。
E2 教育指針	・（ICT 以外も含めた）子供の自主性を育む意識や教育で気を付けている点はあるか。
E3 ICT に関する期待	・子供にとってより良い ICT 環境に求めるもの。 ・GIGA スクール構想についての意見、子供の端末を使っているか。
E4 親としての課題	・上記の状況やニーズ、これまでの一連のヒアリングを経て、親として課題に思っていること。
E5 政府や企業への期待	・上記の状況やニーズ、これまでの一連のヒアリングを経て、政府や企業に期待すること。

A 4. 企業インタビュー調査票

ペアレンタルコントロールサービスに関するヒアリング調査票¹²

2022年1月18日

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター

本調査「我が国における青少年のインターネット利用に係るペアレンタルコントロールに関する調査」は、国際大学が総務省から受託している調査研究です。本調査では次の3つを明らかにすることを目的としており、その中の「優良ペアレンタルコントロール事例及び普及しているペアレンタルコントロールサービスの分析」に関する調査として、本企業インタビュー調査を実施しております。

- (ア) 青少年の ICT 利活用の普及に伴い生じるリスク及び当該リスクに対する必要な措置
- (イ) 子供の成長や ICT 利用状況に即した、ペアレンタルコントロールの実態及びベストプラクティス、並びに適切なペアレンタルコントロール、優良ペアレンタルコントロール事例及び普及しているペアレンタルコントロールサービスの分析
- (ウ) 保護者によるペアレンタルコントロールの実態及び低年齢層の子供の保護者への啓発を促進するために有効な取組

御社が展開されている「ペアレンタルコントロールに関わる各種サービス」について、以下をお教えいただければ幸いです。

1. 【概要】御社で展開されている『Fili (フィリー)』、『つながる相談』、『つながる連絡』について、サービスの概要、導入組織など、可能な範囲で教えていただけますでしょうか。
2. 【プロセス】なぜそのようなサービスを開発するに至ったのでしょうか。また開発・改善に当たり、保護者をはじめとするユーザの声をどのように反映していったのでしょうか。
3. 【背景】上記 1, 2 を含む独自の積極的なお取り組みに関して、企業として取り組む意義をどのようにお考えでしょうか。
4. 【過去の課題】現在の状況に至るまでに困難な点や特に困った点などはありませんでしたか。

¹ 本ヒアリング調査結果は、国際大学グローバル・コミュニケーション・センターが責任をもって管理し、本研究以外で使用しません。

² インタビュー調査の内容の公開是非についてご相談させていただければ幸いです。また、公開可能な場合も、原稿を事前にチェックしていただき、公開できない部分は削除いたします。

- しょうか。(法制度、技術、事業性、普及、等)
5. 【導入促進】保護者の皆様に特にペアレンタルコントロールサービス（『Fili（フィリー）』）を利用してもらうにあたり、工夫している点は何でしょうか。
 6. 【強み】総合的に、御社の事業の強み、社会への貢献をどのようにお考えでしょうか。
 7. 【課題】（御社のサービスだけでなく全体的な）ペアレンタルコントロールサービスの普及に際し、課題と感じていることはあるでしょうか。（法制度、技術、保護者の理解、等様々な側面から。）
 8. 【適用】小規模企業も含む通信事業者においてフィルタリングサービスやペアレンタルコントロールサービスの申し込み率・有効化率を高めたい場合に、特に何に気を付けると良いと思うでしょうか。

最後に、「青少年を ICT 利活用の普及に伴い生じるリスクから守る」ということにおいて、

9. ペアレンタルコントロール（家庭内ルールなど）として何が重要とお考えでしょうか。
10. 改めてペアレンタルコントロールと御社の各種サービス（『Fili（フィリー）』、『つながる相談』、『つながる連絡』）の関係性について、お考えをご教示いただけますでしょうか。
11. 政府をはじめとして事業者、各家庭等の各セクターに期待することとして何かあるでしょうか。

調査研究報告書執筆メンバー

- 山口 真一 国際大学 GLOCOM 准教授・主任研究員
- 青木 志保子 国際大学 GLOCOM 主任研究員
- 井上 絵理 国際大学 GLOCOM 客員研究員

調査研究プロジェクトメンバー

- 山口 真一 国際大学 GLOCOM 准教授・主任研究員
- 青木 志保子 国際大学 GLOCOM 主任研究員
- 渡辺 智暁 国際大学 GLOCOM 教授・研究部長・主幹研究員
- 井上 絵理 国際大学 GLOCOM 客員研究員
- 大島 英隆 国際大学 GLOCOM リサーチアシスタント
- 小室 敬 国際大学 GLOCOM リサーチアシスタント
- 谷原 吏 国際大学 GLOCOM リサーチアシスタント

有識者会議メンバー

<委員>

- 小木曾 健 国際大学 GLOCOM 客員研究員
- 尾花 紀子 ネット教育アナリスト
- 鈴木 朋子 IT ライター・スマホ安全アドバイザー
- 田中 辰雄 慶應義塾大学経済学部 教授
- 曾我部 真裕 京都大学大学院法学研究科 教授
- 松岡 英治 一般社団法人 安心ネットづくり促進協議会 部長
- 森 亮二 英知法律事務所 弁護士

<オブザーバー>

- 総務省総合通信基盤局電気通信事業部消費者行政第一課

<国際大学グローバル・コミュニケーション・センター>

- 山口 真一 国際大学 GLOCOM 准教授・主任研究員
- 渡辺 智暁 国際大学 GLOCOM 教授・主幹研究員・研究部長
- 青木 志保子 国際大学 GLOCOM 主任研究員

フライヤー制作監修

- 小木曾 健 国際大学 GLOCOM 客員研究員

総務省

「我が国における青少年のインターネット利用に係るペアレンタルコントロールに
関する調査」

発行：2022 年 5 月

総務省

〒100-8926 東京都千代田区霞が関 2-1-2 中央合同庁舎第 2 号館

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター（委託先）

〒106-0032 東京都港区六本木 6-15-21 ハークス六本木ビル 2F

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター

Center for Global Communications, International University of Japan

〒106-0032 東京都港区六本木 6-15-21 ハークス六本木ビル2階

TEL: 03-5411-6677 FAX: 03-5412-7111

<https://www.glocom.ac.jp/>



国際大学
INTERNATIONAL
UNIVERSITY OF JAPAN

GLOCOM

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター